Canon

POWER
PROJECTOR

WUX7000Z
WUX6600Z
WUX5800Z

使用説明書



AISYS
Aspectual Illumination System

HDBT™

Wi Fi® CERTIFIED

HDMI™
HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

PJLink™

ご使用の前に、必ずこの使用説明書をお読みください。
特に「安全にお使いいただくために」の項は必ずお読みになり、正しくご使用ください。
またお読みになった後、この使用説明書をいつでも見られる場所に保管してください。

本製品は日本国内用に設計されております。
電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。

安全にお使いいただくために
はじめに
基本編
投写のしかた
便利な投写のしかた
設置編
設置のしかた
接続のしかた
映像を調整する
特殊な設置方法
メニュー編
メニューの使いかた
メニューの構成
メニューの説明
メンテナンス
製品の仕様
困ったときには

JPN

本書の読みかた

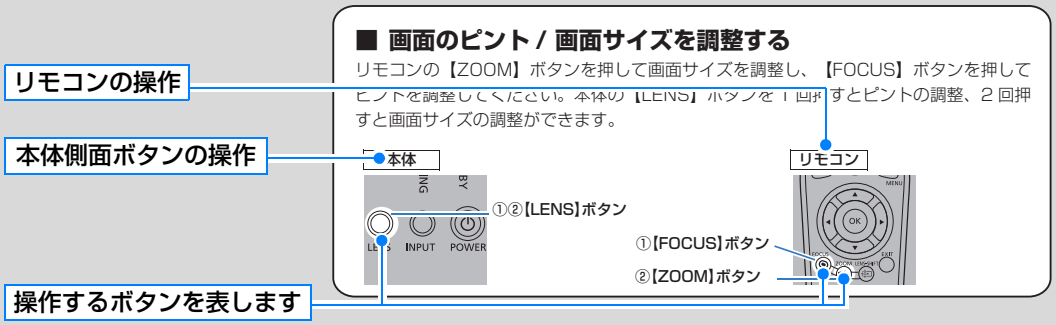
キヤノン製品のお買い上げ、誠にありがとうございます。
パワープロジェクター WUX7000Z/WUX6600Z/WUX5800Z は、高解像度コンピューターの画面や高画質デジタル映像を、高精細で大画面に投写可能な高性能レーザー光源プロジェクターです。

本書について

本書はパワープロジェクター **WUX7000Z/WUX6600Z/WUX5800Z**（以降「本機」または「プロジェクター」と呼びます）の使用説明書です。**基本編**には、投写するまでの基本的な操作の流れやプレゼンテーションなどのときに使える便利な機能について説明しています。**設置編**には、本機の設置方法やネットワークへの接続について、**メニュー編**にはメニューの説明や使いかたについて説明されています。
本機の機能を十分に活用していただくため、お使いになる前に本書をよくお読みください。また、設置作業については設置業者または販売店に依頼することをお勧めします。

ボタン操作を表す記号

本機は、付属のリモコンまたは本体側面のボタンを使って操作します。なお、リモコンではすべての機能が操作できます。
本書では、ボタン操作を次のように表記しています。



説明の内容を表す記号

本文中で以下のマークがついた欄は、次のような内容となっています。

操作上の注意事項や知っておいていただきたいことが記載されています。

4K6021Z/4K6020Z/4K5020Z/WUX7000Z/WUX6600Z/WUX5800Z/WUX7500/WUX6700/WUX5800

ファームウェアバージョンアップによる機能追加のお知らせ

4K6021Z (Ver. 01.010100)
4K6020Z/4K5020Z (Ver. 01.040300)
WUX7000Z/WUX6600Z/WUX5800Z (Ver. 01.040400)
WUX7500/WUX6700/WUX5800 (Ver. 01.040200)

■ ダイナミックコントラストの機能追加 (4K6021Z/4K6020Z/4K5020Z/WUX7000Z/WUX6600Z/WUX5800Z のみ)

本書の「コントラスト詳細調整」をご参照ください。

■ 設定値コピー機能の追加 (全機種共通)

本機を有線LAN または無線LAN に接続することで、ネットワーク経由でコンピューターからプロジェクターの設定値を他のプロジェクターにコピーすることができます。

次の設定内容はコピーできません

- [映像設定] タブ
  入力レベル / カラーフォーマット / プログレッシブ / PC フリーマルチプロジェクション / 二画面
- [イメージ調整] タブ
  イメージ優先 / イメージモード (*1)
- [設置設定] タブ
  ズーム / キーストーン / デジタルイメージシフト / プロフェッショナル設定→RGB アライメント、レンズシフトモード、周辺フォーカス、エッジブレンディング / レンズポジション
- [システム設定] タブ
  ユーザー画面設定→ユーザー画像 / オンスクリーン→メニュー表示位置 / リモコンチャンネル / その他の設定
- [ネットワーク設定] タブ
  PJLink、AMX Device Discovery、Crestron RoomView以外の項目
- [インフォメーション] タブの内容
- その他
  ズーム、フォーカス、レンズシフト、インプット、デジタルズーム、ミュート、フリーズ

設定値コピーの手順

1. **コンピューターとプロジェクターを有線 LAN または無線 LAN で接続します。(*2) (*3)**
2. **Web ブラウザを起動し、アドレスに「http://（読み出し用プロジェクターの IP アドレス）/professional/read」を入力して［Enter］キーを押します。**
3. **Web画面のログインユーザー名とパスワードを入力します。(*4)**
   READ 画面が表示されます。
4. **[読み出し開始] ボタンを押します。**
5. **読み出しが完了したら [OK] ボタンを押します。**
   読みだしたファイルはダウンロードフォルダに保存されます。
6. **Web ブラウザの、アドレスに「http://（書き込み用プロジェクターの IP アドレス）/professional/write」を入力して［Enter］キーを押します。**
   手順 3 と同様 Web 画面のログインユーザー名とパスワードを入力します。
   WRITE 画面が表示されます。
7. **[参照]ボタンを押し、手順5で保存した設定値ファイルを選択して[書き込み開始]ボタンを押します。**
8. **書き込みが完了したら [OK] ボタンを押します。**

*複数台のプロジェクターに設定値をコピーする場合は６～８を繰り返します。

(*1) ユーザーメモリに関しては、コピー元で作成済みの場合、その内容がコピー先に反映されます。
コピー元で未作成の場合、コピー先のユーザーメモリが維持されます。
(*2) 詳細は本書の「ネットワーク設定」をご参照下さい。
(*3) 動作条件
- プロジェクターが投写状態またはスタンバイ状態であること。(4K6021Z/4K6020Z/4K5020Z/WUX7000Z/WUX6600Z/WUX5800Z)
- プロジェクターが投写状態であること。(WUX7500/WUX6700/WUX5800)
- ネットワーク機能の有線または無線が ON であること。

(*4) 詳細は本書の「パスワードの設定」をご参照ください。

注 意 **ブラウザの仕様によっては、プロジェクターのスタンバイ電力設定が「省電力」の場合、タイムアウトにより通信に失敗することがあります。その場合はブラウザでリロードして、再度読み出し/書き込みを実行ください。**

目次

本書の読みかた 2
おもな特長 4
安全にお使いいただくために 5
安全上の注意を表す記号 5
使用上のご注意 6
電源について 6
設置・ご使用について 8
レーザー光源について 9
リモコンの電池について 11
取り扱いについて 12
正しくお使いいただくために 13
持ち運びおよび設置について 13
設置の前に 15
持ち運び時／輸送時のご注意 15
設置のときのご注意 15
無線 LAN（Wi-Fi）について 20
第三者のソフトウェアについて .. 21
はじめに 22
同梱品の確認 22
本体各部の名まえと機能 23
リモコン 27
基本編 31
投写のしかた 32
ステップ 1　機器を接続する 33
ステップ 2　電源を入れる 34
ステップ 3　入力信号を選択する 35
ステップ 4　画面を調整する 36
ステップ 5　画質（イメージモード）を選択する 37
電源を切る 39
便利な投写のしかた 40
便利な機能 40
USB メモリの画像を投写する 43
2 つの映像を並べて投写する 47
設置編 49
設置のしかた 50
投写距離と画面サイズの関係 50
レンズユニットの取り付け・取り外し 53
設置する 56
周辺フォーカスを調整する 61
接続のしかた 64
機器を接続する 64
ネットワークに接続する 68
コンピューターからプロジェクターを制御する 82
映像を調整する 84
スクリーンのサイズに合わせて投写する 84
台形ひずみを調整する 88
テストパターンを使って調整する 91
特殊な設置方法 92
エッジブレンディング機能を使って投写する 92
PC フリーマルチプロジェクション機能を使って投写する 98
メニュー編 102
メニューの使いかた 103
メニューの構成 106
メニューの説明 113
映像設定 113
イメージ調整 123
設置設定 134
システム設定 146
ネットワーク設定 166
インフォメーション 182
プロジェクターの Web 画面メニューの説明 183
メンテナンス / 製品の仕様 / 困ったときには 200
メンテナンス 201
本体を清掃する 201
エアフィルターを交換する 201
製品の仕様 203
困ったときには 213
LED インジケーターのワーニング 213
困ったときのアドバイス 214
索引 220
保証とアフターサービス 222

おもな特長

レーザー光源採用の高輝度コンパクト機
従来の水銀ランプ光源に対して、寿命が長いレーザーダイオードを光源に採用し、高輝度でありながら、幅480mm ×奥行き545mm ×高さ196mmとコンパクトです。

周辺フォーカス調整
画面周辺部のフォーカスを調整できるため、ドーム型スクリーンに対応します。

HDBaseT 入力
次世代のデジタル通信規格「HDBaseT」に対応しました。HDMI と同等の高画質な映像信号 / 音声信号を、最長 100mの距離までLANケーブル1本で簡単に接続できます。

レンズシフト機能を搭載
映像位置を上下左右に電動で調整できるレンズシフト機能を搭載しており、設置の自由度が高まります。

ズーム、フォーカスの電動調整
ズーム、フォーカスの調整を電動で行えるので効率的な設置ができます。

バリエーション豊富なレンズユニットを用意
投写距離や目的に応じて最適なレンズユニットを選択できます。

動画視認性を向上
動画視認性を向上する MB リダクションに新方式を採用し、従来よりも快適な動画を表示できます。

スケジュール機能
あらかじめ登録したスケジュールに従って、電源の入 / 切、入力信号の選択などプロジェクターを自動制御できます。

エッジブレンディング
複数のプロジェクターを並べて一つの画面にして投写するとき、映像の重なり部分の境界を目立たなくします。

ネットワーク・マルチ・プロジェクション（NMPJ）
ネットワークを介して複数のコンピューターの映像を複数のプロジェクターで投写することができます。

Wi-Fi 機能
有線LANに加え、無線LAN（Wi-Fi）をサポートしました。
PJ AP（プロジェクターアクセスポイント）モードを使用すれば、無線アクセスポイントを用意しなくても最大5台のコンピューターに接続可能です。

Canon Service Tool for PJ（Canon ST）
Wi-Fiを介して、プロジェクターと接続しリモコン操作やプロジェクターの状態管理が簡単に行えるiOSアプリケーションです。プロジェクターをアクセスポイントとして接続する（P68）か、既にお使いのアクセスポイントを使って接続してください（P69）。Canon ST使用時にはパスワード（P183）が必要になります。

安全にお使いいただくために

安全上の注意を表す記号

この使用説明書で使用しているマークについて説明します。本書では製品を安全にお使いいただくため、大切な記載事項には次のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

警 告	**この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、死亡または傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。**
注 意	**この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。**
感電注意	**この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、感電の可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。**
高温注意	**この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、やけどをする可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。**
	この記号は、使用規定を正しく守らない場合に目がレーザー照射により損傷を受ける危険性があることを示しています。
禁 止	**この記号は、その他の行ってはいけない行為（禁止事項）を示しています。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。**
	この記号は、行わなければならない行為を示しています。 図の中に具体的な指示内容が描かれています。
注 意	**この記号は、必ず守っていただきたい行為や内容を示します。**

電波障害自主規制について

この装置は、クラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

使用上のご注意

安全に関する重要な内容ですので、ご使用の前によくお読みの上、正しくお使いください。

⚠警告

電源について

設置する際は、電源プラグをすぐに抜けるようにするか、または配線用遮断器を手の届くところに設置してください。
以下のような場合はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店へご連絡ください。放置すると火災や感電の原因になります。





- **煙が出ている。**
- **変なにおいや音がする。**
- **水などの液体が本機に入った。**
- **金属類や異物が本機に入った。**
- **本機を倒したり、落としたりしてキャビネットを破損した。**

電源および電源プラグ、コネクターの取り扱いについて以下の点にご注意ください。火災や感電の原因になります。





- **電源コードの上に重い物を載せたり、本機の下敷きにならないようにしてください。**
- **電源コードを敷物などで覆わないでください。**
- **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、また、巻いたり、束ねたりしないでください。**
- **電源コードを熱器具に近づけたり加熱したりしないでください。**
- **破損した電源コードを使用しないでください。電源コードが破損した場合は販売店にご相談ください。**
- **表示されている電源電圧（AC100V）以外の電圧で使用しないでください。**
- **電源プラグやコネクターの接点部に金属類を差し込まないでください。**
- **付属している電源コードは、本製品専用です。他の製品では使用できません。**





- **電源コードのアース線を必ずアースに接続してください。**
- **アース線の接続は、必ず電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。またアース線を外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。**





- **ぬれた手で電源プラグやコネクターを抜き差ししないでください。**

⚠警告

電源および電源プラグ、コネクターの取り扱いについて以下の点にご注意ください。火災や感電の原因になります。


注 意


感電注意

- **電源プラグやコネクターは根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだ電源プラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。**
- **電源プラグやコネクターを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグやコネクターを持って抜いてください。電源コードが破損します。**
- **コンセント付き延長コードを使う場合は、延長コードの定格容量を超えない範囲でお使いください。**
- **たこ足配線などで定格容量を超えると、発熱による火災の原因になりますので行わないでください。**
- **電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ゴミ・汚れなどを取り除いてください。**
- **雷が鳴り出したら、本機、電源コード、ケーブルに触れないでください。**
- **本機を移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間のケーブル類を外してから行ってください。**
- **本機のお手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。**
- **レンズユニットを取り付け・取り外すときは、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。**

⚠警告

設置・ご使用について

設置およびご使用上、以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。


水ぬれ禁止


感電注意

- **水や雨のかかるおそれのある室外や風呂、シャワー室などで使用しないでください。**
- **本機の上に液体の入った容器を置かないでください。**

- **天吊りのように高所に設置する場合は必ず落下防止ワイヤーなどの落下防止措置をプロジェクター本体に施してください。**
- **キャビネットを外したり本機を分解しないでください。内部には電圧の高い部分および温度の高い部分があります。内部の点検・整備・修理は販売店にご相談ください。**
- **本機（消耗品を含む）やリモコンの分解や改造をしないでください。**
- **使用中は排気口をのぞかないでください。**
- **吸気口や排気口などの穴から物などを差し込まないでください。**
- **排気口の前にはスプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、スプレー缶が破裂する原因になります。**
- **本機のレンズ、フィルターなどに付着したゴミ、ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを絶対使用しないでください。本機内部の一部が高温になっているため、引火による火災の原因になります。**
- **本機のメンテナンスの際に接着剤、潤滑剤、油、アルカリ性の洗剤などを使用しないでください。付着するとキャビネットが割れ、本機が落下し事故やけがの原因になります。**


禁 止

- **使用中は強い光が出ていますので、レンズをのぞかないでください。目を傷める恐れがあります。特に小さなお子様にはご注意ください。**



- **操作者は、人が障害距離内の投写光にさらされることがない高さに本機を設置するか、あるいは人が障害距離内に近づくことがないように管理してください。**
- **本製品の投写光は IEC62471-5：2015 に基づくリスクグループ 2（RG2）に分類されます。ただし、投写比 2.6 より大きい交換レンズを装着すると、リスクグループ 3（RG3）になることがあります。各交換レンズに対する障害距離（P9）の表を参照してください。**
- **投写光が通る範囲に光学機器（ルーペ、反射鏡、メガネなど）をかざしたり、設置しないでください。投写光が屈折または反射しそれが目に入ると、目を傷めるなどの原因になります。**
- **子供が本機に近づいたり触れたりする可能性がある場合は、必ず大人の管理・監督のもとで使用してください。**
- **投写光が直接人体にさらされないようにしてください。**

⚠警告

設置およびご使用上、以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。

注意

- **本機を持ち上げるときは２人以上で行ってください。**
- **本機を高いところに置いて使用する場合は、必ず水平で安定した場所に設置してください。**
- **カーペットやスポンジマットなどの柔らかい面の上に設置しないでください。**
- **天吊り設置および設置工事は必ず設置業者または販売店に依頼してください。工事の不備により、事故の原因になります。**
- **天吊り設置しているプロジェクターのレンズを交換する場合は、部品落下などの危険がありますので、設置業者または販売店にご依頼ください。**
- **可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在するおそれのある場所で使用しないでください。本機内部では一部が高温になっているため、引火による火災の原因となります。**

各交換レンズ装着時の障害距離（IEC62471-5）

	投写比 *1	WUX7000Z	WUX6600Z	WUX5800Z
RS-SL01ST	1.49-2.24 : 1	– *2		
RS-SL02LZ	2.19-3.74 : 1	167cm	167cm	167cm
RS-SL03WF	0.80 : 1	– *2		
RS-SL04UL	3.55-6.94 : 1	400cm	400cm	400cm
RS-SL05WZ	1.00-1.50 : 1	– *2		
RS-SL06UW	0.54 : 1	– *2		

*1 投写比はスクリーンアスペクトが 16:10、画面サイズが 100 型のときの計算値です。
*2 投写光は IEC62471-5:2015 に基づくリスクグループ２（RG2）に分類されます。

障害距離について

- 投写中この距離より近いところでレンズをのぞくと視力障害など、重大な傷害を負う可能性があります。
- 障害距離が記載された投写レンズとプロジェクターを組み合わせる場合、操作者は、人が障害距離内の投写光にさらされることがない高さに本機を設置するか、あるいは、人が障害距離内に近づくことがないように管理してください。

⚠警告

レーザー光源について



- **本製品は IEC/EN60825-1:2014、JIS C6802:2014 に基づくクラス１レーザー製品であることを確認しています。（IEC/EN60825-1:2007 ではクラス 3R が適用されます）**
- **レーザーモジュールの仕様**
  波長：450nm ～ 460nm
  最大出力：144W
  ビーム広がり角：2°

⚠ 警告

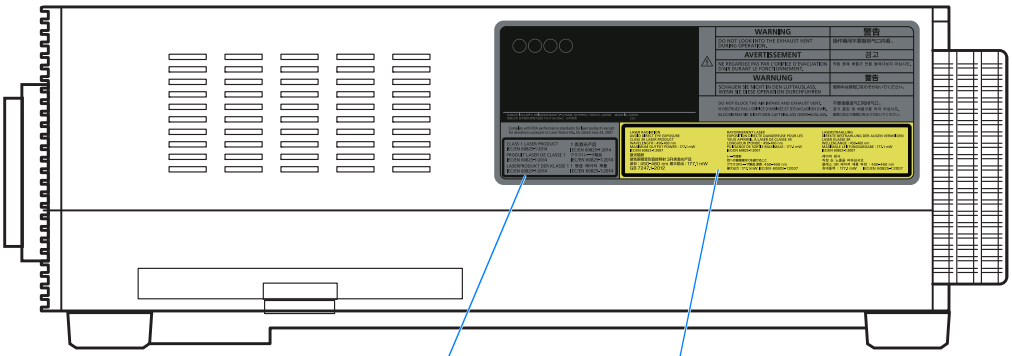
禁 止

- **本機はレーザーモジュールを内蔵しています。分解・改造は危険ですので行わないでください。**
- **使用説明書に記載した手順で操作や調整を行ってください。間違った手順で操作や調整を行うと危険なレーザー光にさらされることになります。**

注 意

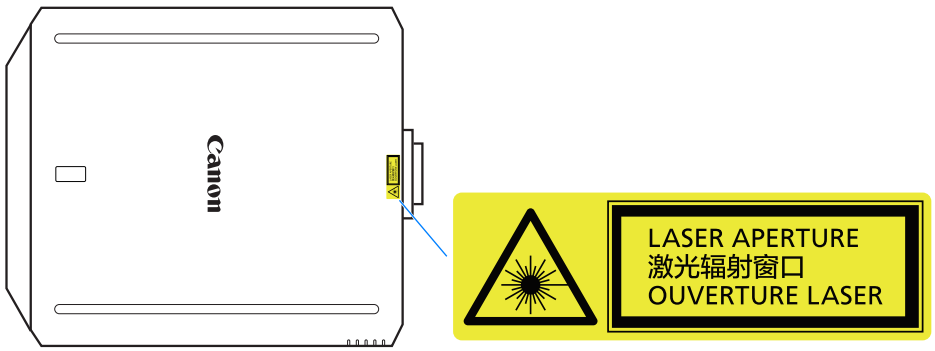
- **故障したまま使用しないでください。本書に従って正しく使用しても、画面に異常があるなど故障状態のまま使用すると火災・感電・レーザー光により視力障害の原因になります。**
- **本機を廃棄する際は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。廃棄の際にお客様自身で本機を分解しないでください。**
- **レンズユニットの取り付け、取り外しはお客様自身では行なわず、設置業者または販売店に依頼するか、キヤノンお客様相談センターにお問い合わせください。**

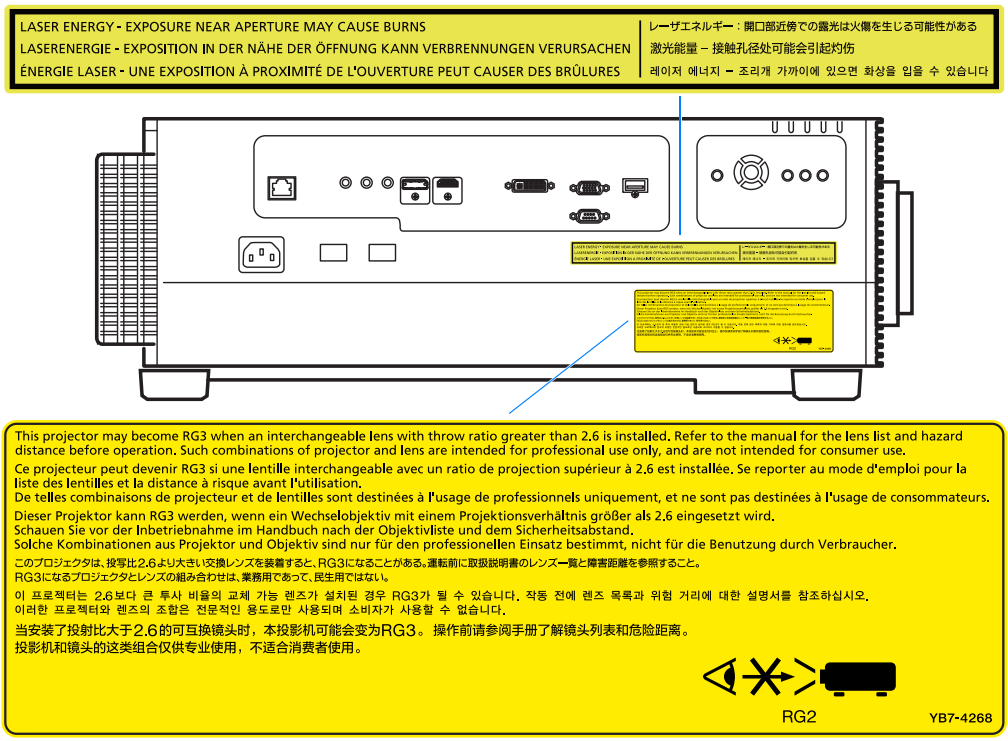
説明ラベルと警告ラベルは、本機の以下の箇所に添付されています。











⚠ 警告

リモコンの電池について

電池の取り扱いについて以下の点に注意してください。火災やけがの原因になります。

禁 止

- **電池を火の中に入れたり、加熱、ショート、分解したりしないでください。**
- **付属の電池は充電しないでください。**

注 意

- **電池を使いきったときや、長時間使用しないときは電池を取り外してください。**
- **電池を交換するときは２本一緒に交換してください。また、種類の異なる電池を一緒に使用しないでください。**
- **＋と－の向きを正しく入れてください。**
- **万一、液漏れなどで内部の液体が体についたときは、水でよく洗い流してください。**

⚠注意

取り扱いについて

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。



- **長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグやコンセントにホコリがたまり、火災の原因になることがあります。**



- **AUDIO OUT 端子には、ヘッドホンやイヤホンを接続しないでください。聴力障害の原因になることがあります。**
- **初めから音量を上げすぎないでください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります。電源を切る前に音量（ボリューム）を下げておき、電源を入れた後で徐々に上げてください。**



- **投写中は排気口周辺や排気口上部のキャビネットが高温になりますので、手で触れたりしないでください。特に小さいお子様にはご注意ください。また、排気口周辺や上部に金属類を置かないでください。高温になり、やけどやけがの原因になることがあります。**



- **本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。**
- **電源コードのアース端子からはずした絶縁キャップなどの小さな部品は、幼児が飲み込む恐れがあるので、手の届かないところに保管してください。**
- **ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。**
- **レンズの前に物を置いて投写しないでください。火災の原因になることがあります。**



- **本機はレンズシフト機能により、モーターでレンズが上下左右に動きます。レンズが動いているときは、レンズに触れないでください。けがの原因になることがあります。**
- **レンズユニットを交換する際は、本機の電源を切った後、30 分以上経過し、レンズユニットが十分に冷えたことを確認してから行ってください。やけどやけがの原因となることがあります。**

正しくお使いいただくために

注意

持ち運びおよび設置について

本機を持ち運ぶ際は、以下の点にご注意ください。



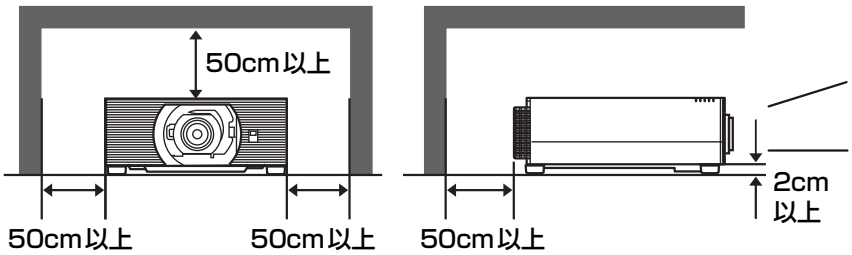
- **本機の輸送が必要になったときは、本機からレンズユニットを取り外して輸送してください。輸送時に本機へ過度の衝撃がかかり、レンズユニットの故障の原因になります。**
- **本機は精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因になります。**
- **移動時に調整脚が出たまま移動すると破損の恐れがありますので、調整脚をおさめてください。**
- **レンズユニット取り付け後に本機を運んだり持ち上げたりするとき、レンズ部を絶対に持たないでください。レンズユニットの故障の原因になります。**
- **レンズを素手で触らないでください。レンズに汚れや指紋が付くと、画質を損なう原因になります。**
- **使用済みの梱包材、緩衝材では十分保護できなかったり、また、緩衝材の破片などが本機内部に入り込んで故障の原因になることがあります。**

注意

設置または使用に関して、以下の点にご注意ください。

- **結露に注意してください。**
  低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、映像に影響がでることがあります。その場合、しばらくまって結露がとれたことを確認後、使用してください。
- **高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。なお使用環境と保管温度の範囲は次の通りです。**
  - **使用環境　温度 0 ℃～ 45 ℃　湿度20%～85%**
  - **保管温度　-20 ℃～ 60 ℃**
- **海抜2,300m 以上の高地でご使用されるお客様へ**
  本機の設置設定をメニューから変更してください（P139）。
- **本機の各側面の吸気口、排気口を壁などから50cm以上離して設置してください。また、本機の底面から2cm以上隙間を空けてください。底面に吸気口があります。内部に熱がこもり故障の原因になることがあります。**

注 意



- **熱で変形や変色の恐れのあるものを本機の上に置かないでください。**
- **高圧電線や電力源の近くに設置しないでください。正しく動作しないことがあります。**
- **同じ画像を長時間表示していると、画像が変わったときに前の画像が残存として見えることがあります。これは、液晶パネルの特性であり、故障ではありません。なお、残像は通常の動画をしばらく表示すれば解消されます。**

設置の前に

持ち運び時／輸送時のご注意

本機を以下の状態にしてから持ち運んでください。

注意

- **本機の接続ケーブルを外してください。ケーブルを取り付けたまま運ぶと、事故の原因になります。**
- **移動時に調整脚が出たまま移動すると破損の恐れがありますので、調整脚をおさめてください。**
- **強い衝撃や振動を与えないでください。**

設置のときのご注意

5～13ページの「安全にお使いいただくために」および「正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。また、設置するときは次のことに注意してください。

注意

- **本機をたたいたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因になることがあります。**
- **本機を縦置きで立てかけたり、不安定な状態で置かないでください。転倒により故障の原因になることがあります。**

■ 以下のような場所には設置しないでください。

注意

- **湿気やホコリ、油煙やタバコなどの煙が多い場所**
  レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になることがあります。
- **高圧電線や電力源の近く**
  正しく動作しないことがあります。
- **カーペットやスポンジマットなどの柔らかい面の上**
  火災または本機の故障の原因になります。
- **高温、低温、高湿度になる場所**
- **振動/衝撃が加わる場所**
- **熱感知器や煙感知器のそば**
- **海の近く、エアコン吹き出し口の近く**
- **温泉から出る硫黄ガスなどの腐食性ガスが発生する場所**
  故障の原因になることがあります。なお、使用温度・湿度、保管温度の範囲は以下の通りです。
  ※ 使用温度範囲・使用湿度範囲は、通電中（投写状態、または、スタンバイ状態）において対象範囲となります。

使用温度範囲	使用湿度範囲	保管温度範囲
0℃～45℃	20%～85%	−20℃～60℃

■ レンズを素手で触らないでください

注 意

レンズを素手で触らないでください。レンズに汚れや指紋が付くと、画質を損なう原因になることがあります。

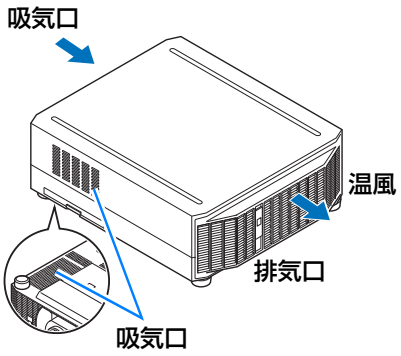
■ 画面のピントを合わせる（P36）ときは、30 分以上点灯させてから行うことを推奨します。

電源を入れた直後は光源の熱の影響でピント位置が安定しない場合があります。また、ピントを合わせる際はテストパターン（P91、P145）の⑩の画像を使用することをお勧めします。

■ 壁などから十分な距離をあけて設置してください

注 意

吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、本機の寿命を縮めたり、故障の原因になります。
また、密閉された風通しの悪い狭いところに設置しないで、風通しのよい場所に設置してください。上方、側面、後部いずれも壁などから 50cm 以上離してください。また、本機の底面は2cm以上隙間を空けてください。



■ 結露にご注意ください

部屋の温度を急に上げたときなど、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

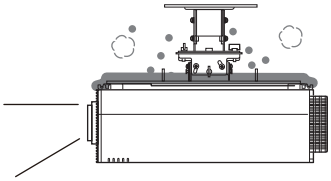
■ 海抜 2,300m 以上の高地で使用するときは設定を変更してください

海抜 2,300m 以上の高地でご使用される場合は、プロジェクターの設定を変更する必要があります。詳しくは、設置設定メニューの［高地設定］（P139）を参照してください。

■ 天井から吊り下げてご使用になる場合

注 意

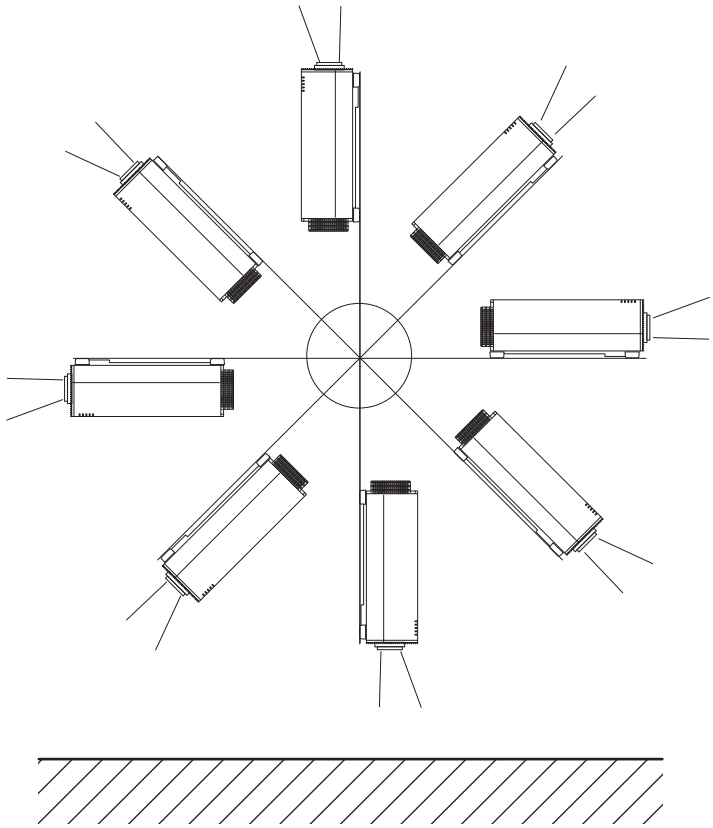
天井から吊り下げたり、高いところへ設置してご使用になるときは、吸気口や排気口、エアフィルター周辺の掃除を定期的に行ってください。吸気口や排気口にホコリがたまると、冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障や火災の原因になることがあります。吸気口や排気口についたホコリは掃除機などで 取り除いてください。



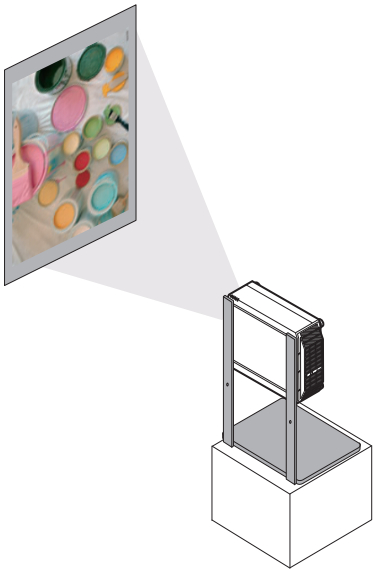
■ 上下投写、斜め投写の設置

注 意

- 本機は、上向き投写、下向き投写などあらゆる方向で投写できますが、吸気口、排気口をふさがないでください。特に底面の吸気口から 2cm 以上の隙間を必ず空けてください。
- 本機は天吊り金具以外の設置のためのオプションは用意されていません。



■ ポートレート（縦置き）設置のときの注意



注 意

- **吸気口、排気口をふさがないでください。特に底面に吸気口があるため、底面から2cm以上の隙間を必ず空けてください。**
- **ポートレート設置のための取り付け金具等のオプションは用意されていません。**

■ 光源について

本機の光源はレーザーを使用しています。レーザーには以下のような特性があります。

注 意

本機を長期間使用した場合や環境の変化などにより画質が変化します。使用時間と環境温度による輝度の変化は、［キャリブレーション］の［光源補正］（P164）で調整することができます。

著作権についてのご注意

営利目的または公衆に視聴させることを目的として、本機の画面サイズ切り換え機能などを利用して画面の圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

ネットワークのセキュリティについてのご注意

ネットワークのセキュリティ対策に関しては、お客様ご自身の責任で行ってください。
不正アクセスなどネットワークのセキュリティ上の問題により発生した直接、間接の損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。

利用に際しては、プロジェクター本体、コンピューター、ネットワークに適切なセキュリティの設定を行ってください。

- プロジェクターはインターネットに直接接続せず、ファイアウォールなどで保護されたネットワーク内に設置してください。
- 無線LAN環境でご利用される場合、無線LANのセキュリティ設定を行うことを推奨します。
- 無線LANのセキュリティキーは定期的に変更してください。

商標について

- Ethernet は Xerox 社の登録商標です。
- Microsoft、Windowsは、米国 Microsoft Corporation の米国および、その他の国における登録商標または、商標、商品名です。
- Mac, Mac OS, およびMacintosh は米国その他の国で登録されたApple Inc. の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
- PJLinkはJBMIAの登録商標です。
- PJLink商標は、日本、米国および、その他の国や地域における登録または出願商標です。
- AMXは、Harman International Industries,Inc.の登録商標です。
- Crestron®、Crestron RoomView®、Crestron Connected™は、Crestron Electronics, Inc.の登録商標です。
- ExtronおよびXTPはRGB Systems,Inc.の米国その他の国における商標まはた登録商標です。
- HDBaseT™およびHDBaseT Allianceロゴは、HDBaseT Allianceの登録商標です。
- Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED、WPA、WPA2とWi-Fi CERTIFIEDロゴは、Wi-Fi Alliance Setupを意味しています。
- その他の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。

無線 LAN（Wi-Fi）について

■ 無線 LAN が使える国や地域について

無線LAN機能の使用は、国や地域ごとの法令等により規制されていることがあるため、違反すると罰せられることがあります。そのため、無線LAN機能が使用できる国や地域については、キヤノンのWebサイトで確認してください。
なお、それ以外の国や地域で無線LAN機能を使用した際のトラブル等については、弊社は一切責任を負いかねます。

■ モデルナンバー

WUX7000Z/WUX6600Z/WUX5800Z（無線モジュールモデル：ES202）

- 次の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
  「本製品を分解、改造すること」、「本製品上の証明ラベルをはがすこと」。
- 医療用の装置や、電子機器の近くで本製品を使用しないでください。医療用の装置や、電子機器の動作に影響を及ぼす恐れがあります。
- 本機には、電波法に基づく認証を受けた無線装置が内蔵されており、証明ラベルは無線設備に添付されています。

■ 電波干渉に関するご注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、お客様相談センターにご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談下さい。
③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談センターへお問い合わせ下さい。



この表示は、2.4GHz帯を使用している無線機器であることを意味します。

本製品は、他の電波を発する機器から、電波干渉を受ける場合があります。これらの機器からできるだけ遠くへ離すか、ご利用時間を分けるなどして、電波干渉を避けて使用してください。



第三者のソフトウェアについて

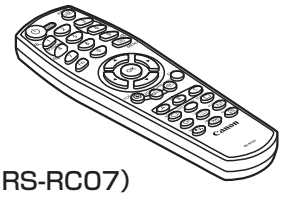
この製品には、第三者のソフトウェアモジュールが含まれています。
詳細は、ダウンロードサイト（https://global.canon/iprj/）経由で、『使用しているソフトウェアについて』から取得したファイルをご確認ください。また、各モジュールのライセンス条件も同ファイルに記載されていますので、ご覧ください。

第三者ソフトウェアには、実行形式のソフトウェアモジュールを配布する条件として、そのモジュールのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。こうした第三者ソフトウェアのソースコードの入手方法については、製品をお買い上げいただいた販売会社にお問い合わせください。

同梱品の確認

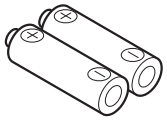
次の同梱品が揃っていることを確認してください。

・リモコン

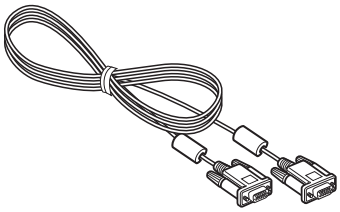


（品番：RS-RC07）

・リモコン用乾電池（単４形２本）

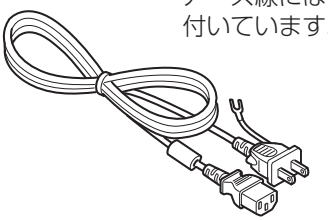


・コンピューターケーブル（1.8m）
（ミニ D-sub15 / ミニ D-sub15 ピン用）

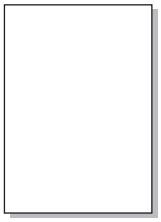


・電源コード（1.8m）

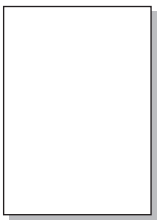
アース線にはキャップが
付いています。



・重要なおしらせ
（Important Information）（冊子）



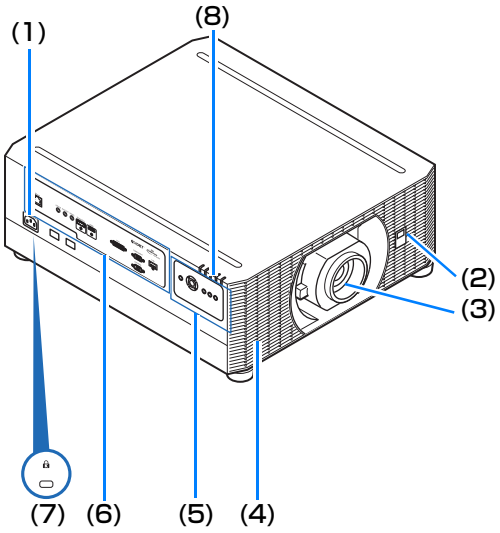
・かんたんガイド



・保証書

本体各部の名まえと機能

■ 前面

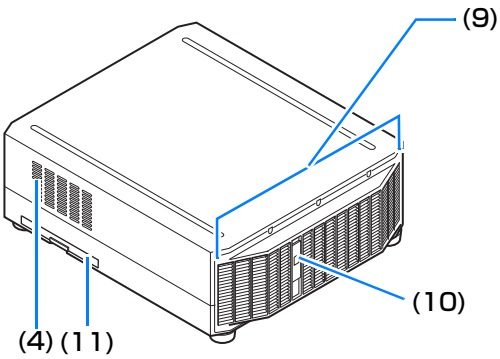


(1) 電源コード接続部（P67）
(2) リモコン受光部（P30）
(3) レンズユニット（別売品）
(4) 吸気口

> 注意 **吸気を妨げないようにしてください。故障の原因になることがあります。**

(5) 本体操作部（P24）
(6) 入出力端子（P26）
(7) 盗難防止用ロック穴
市販の盗難防止用ワイヤケーブルを接続できます。
(8) LEDインジケーター（P25）

■ 背面

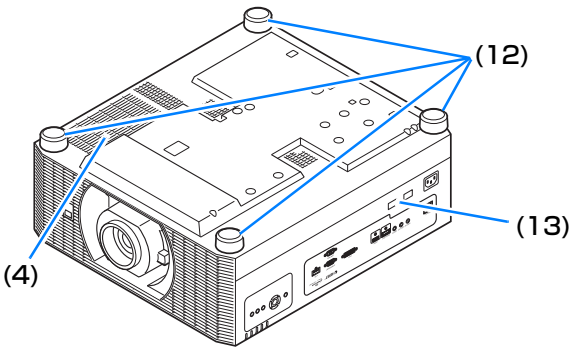


(9) 排気口

> 注意 **排気を妨げないようにしてください。故障の原因になることがあります。**

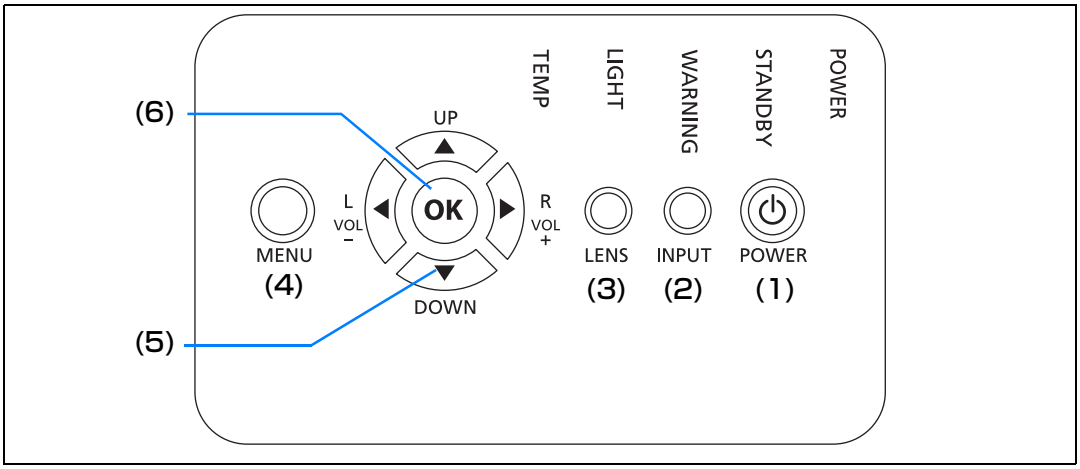
(10) リモコン受光部（P30）
(11) エアフィルター枠（P201）

■ 底面



(12) 調整脚（P62）
(13) セキュリティバー

■ 本体操作部



(1) POWERボタン（P34、P39）
電源をON / OFFします。

(2) INPUTボタン（P35）
投写する入力信号を選びます。

(3) LENSボタン
押すごとに、
フォーカス（ピント）調整（P36）、
ズーム（画面サイズ）調整（P36）、
レンズシフト（画面位置）調整（P56）
の画面に切り換わります。
調整は【▲】【▼】または【◀】【▶】で行います。

(4) MENUボタン（P105）
投写画面にメニューを表示します。

(5) 方向 / VOLボタン（P103）
メニュー操作などでは上下左右の方向を指定します。

音量を調整します。

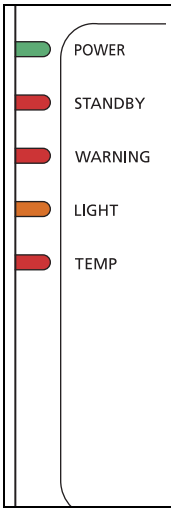
【▲】【VOL ＋】ボタンは音量を上げます。

【▼】【VOL −】ボタンは音量を下げます。

(6) OKボタン（P103）
メニューなどで選んだ項目を確定します。

■ LED インジケーター

LEDの表示（消灯 / 点灯 / 点滅）で本機の状態を知らせます。



- POWER（緑）：投写された状態で点灯します。また、下記の状態で点滅します。
  - スタンバイ状態から投写されるまでの間。
  - パワーマネージメントモードで光源を消灯時。
- STANDBY（赤）：スタンバイ状態で点灯します。また、下記の状態で点滅します。
  - 投写された状態からスタンバイ状態までの間。
  - パワーマネージメントモードで光源を消灯時。
- WARNING（赤）：エラー発生時に点灯または点滅します。
- LIGHT（橙）：光源の異常時に点灯または点滅します。
- TEMP（赤）：内部が高温状態になったときに点灯または点滅します。

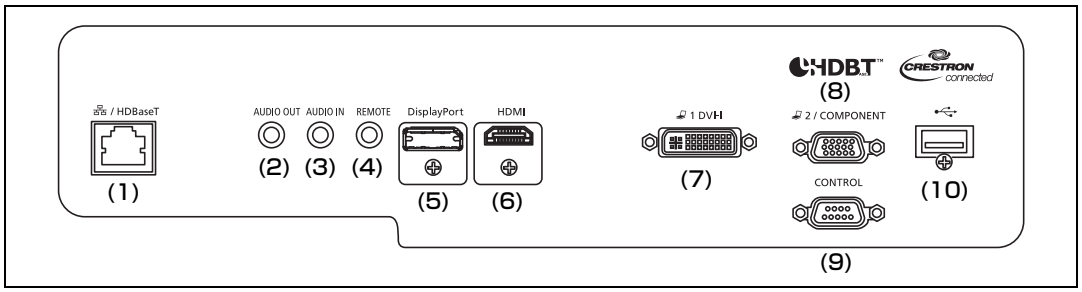
LED インジケーターの表示について

本機の動作状態を各LED インジケーターの点滅または点灯で示します。

凡例：[POWER] インジケーターの点灯例　□: 消灯　■: 点灯　■: 点滅

LED インジケーター					動作状態
POWER（緑）	STANDBY（赤）	WARNING（赤）	LIGHT（橙）	TEMP（赤）	
□	□	□	□	□	電源が接続されていません
□	■	□	□	□	スタンバイ状態です
■	□	□	□	□	電源が入っています（投写しています）
■	□	□	□	□	スタンバイ状態から電源 ON（投写）に移行中です
□	■	□	□	□	電源 ON からスタンバイ、またはパワーマネージメントモードに移行中で、クーリングダウンしています
■	■	□	□	□	パワーマネージメントモードで光源を消灯しています（緑、赤が交互に点滅）
□	■	□	□	■	内部の温度が高くなっています（スタンバイ時）
■	□	□	□	■	内部の温度が高くなっています（投写時）
□	□	■	■	□	光源ユニットのエラーが発生しています
□	□	■	□	■	温度のエラーが発生しています
□	□	■	□	□	3 回点滅：エアフィルターのエラーが発生しています 4 回点滅：ファンのエラーが発生しています 5 回点滅：電源のエラーが発生しています 6 回点滅：レンズユニットの装着エラーが発生しています。

■ 接続端子



(1) LAN / HDBaseT端子（P66、P68）

デジタル映像信号とデジタル音声信号を含むHDBaseTの入力端子です。
映像と音声を1本のLANケーブル（シールドタイプ）で入力できます。
また、ネットワークに接続することもできます。

(2) 音声出力端子（P66）

外部 AV 機器に音声出力するための出力端子です。投写中の映像信号の音声信号が出力されます。

(3) 音声入力端子（P66）

音声の入力端子です。選択中の映像入力に対応した［音声入力端子選択］で［オーディオイン］を設定していた場合に、本端子から入力した音声が内蔵スピーカーから出力されます。（P153）

(4) ワイヤードリモコン用端子（P30）

別売品のリモコン (RS-RC05) をケーブルで接続するときに使用する端子です。

(5) DisplayPort端子（P65）

デジタル映像信号とデジタル音声信号を含むDisplayPortの入力端子です。
映像と音声を1本のケーブルで入力できます。

(6) HDMI端子（P64）

デジタル映像信号とデジタル音声信号を含むHDMIの入力端子です。
映像と音声を1本のケーブルで入力できます。

(7) DVI-I端子（P64）

コンピューターの外部モニター出力と接続します。
デジタル信号（デジタルPC）の入力端子です。
VGA-DVI-Iケーブルを使用して、アナログPC信号（アナログPC-1）を入力することもできます。

(8) アナログPC-2 / コンポーネント端子（P65）

アナログPC 信号（アナログPC-2）の入力端子です。
コンポーネントケーブルを使用して、コンポーネント映像（コンポーネント）を入力することもできます。

(9) サービス用端子（P210）

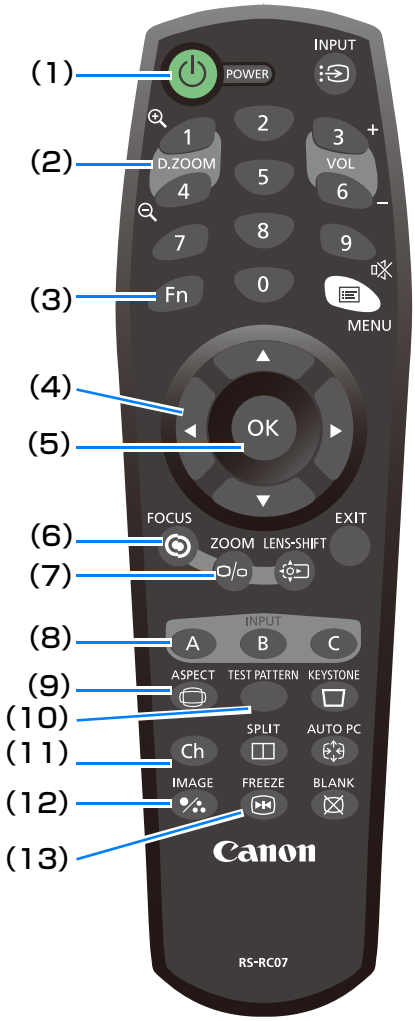
ユーザーコマンド（P211、P212）による制御に使用します。

(10) USB端子（P43、P98、P118、P164）

USBメモリを接続する端子です。USBメモリの画像の表示やファームウェアのバージョンアップに使用します。

リモコン

■ 各部の名まえと機能



(1) POWERボタン（P34、P39）
電源をON / OFFします。

(2) D. ZOOMボタン（P42）
映像をデジタルズームで拡大縮小します。
【1】ボタン　拡大（最大12倍）
【4】ボタン　縮小（最小1倍）
【▲】【▼】【◀】【▶】ボタン
拡大場所を移動します。

(3) Fnボタン（P153）
ボタンに機能を割り当てることができます。

(4) 方向ボタン（P103）
メニューなどで上下左右の方向を指定します。また、リモコンのチャンネル設定を行います。

(5) OKボタン（P103）
メニューなどで選んだ項目を確定します。

(6) FOCUS ボタン （P36）
画面のピントを合わせます。
【▲】【▶】ボタン
ピントの位置を遠くにします。
【▼】【◀】ボタン
ピントの位置を近くにします。

(7) ZOOM ボタン （P36）
画面サイズを調整します。
【▲】【▶】ボタン
画面サイズを拡大します。
【▼】【◀】ボタン
画面サイズを縮小します。

(8) INPUT-A～Cボタン（P153）
3つのボタンに入力信号選択機能を割り当てることができます。

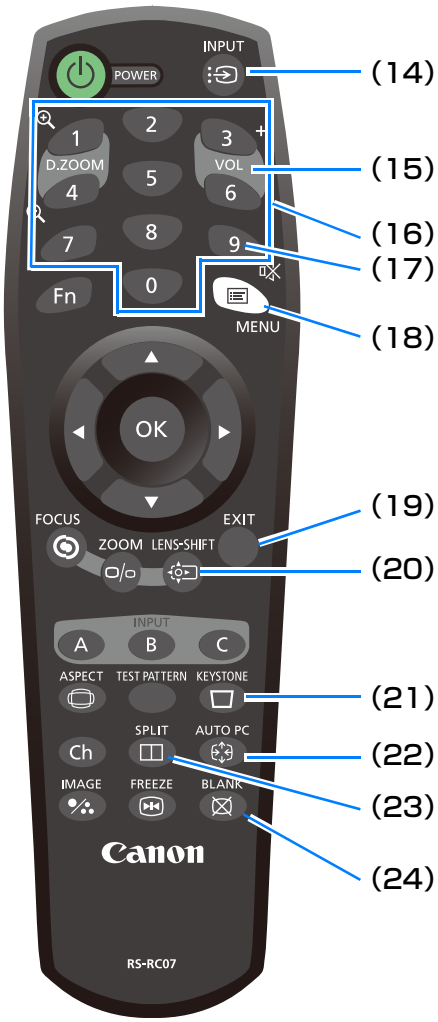
(9) ASPECTボタン（P87、P114）
映像の縦横比（アスペクト）を切り換えます。

(10) TEST PATTERNボタン(P145)
テストパターンを表示します。

(11) Chボタン（P152）
リモコンのチャンネルを切り換えます。

(12) IMAGEボタン（P37）
イメージモード（画質）を切り換えます。

(13) FREEZEボタン（P40）
映像を静止させます。



(14) INPUT ボタン（P35）
投写する入力信号を選びます。

(15) VOL ボタン（P41）
音量を調節します。
【3】ボタン
音量を上げます。
【6】ボタン
音量を下げます。

(16) 数字ボタン（P158、P167、P169）
パスワードや TCP/IP の設定値などの入力をします。

(17) MUTE ボタン（P42）
音声を一時的に消します。

(18) MENU ボタン（P105）
投写画面にメニューを表示します。

(19) EXIT ボタン（P104）
メニュー表示や、テストパターンなどの使用中の機能を解除し、映像の表示に戻ります。

(20) LENS-SHIFT ボタン （P56）
レンズを上下左右に移動します。
【▲】【▼】【◀】【▶】ボタン
画面を移動します。
- スクリーンアスペクトの設定が［16:9 D イメージシフト］、［4:3 D イメージシフト］時は画面を上下または左右に移動します。
- 画面の移動は【▲】【▼】または【◀】【▶】ボタンで行います。

(21) KEYSTONE ボタン（P88）
台形ひずみを調整します。
操作は［キーストーン］の設定により、上下、または左右方向の長さを調整する縦横キーストーンと、各角ごとに調整する 4 点補正があります。

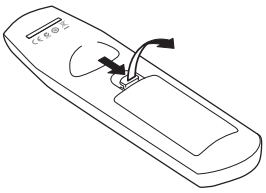
(22) AUTO PC ボタン（P114）
アナログ PC 入力時に、コンピューターの信号に合わせて投写映像を最適な状態に調整します。

(23) SPLIT ボタン（P47）
二画面機能を呼び出します。

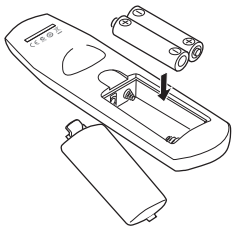
(24) BLANK ボタン（P40）
映像を一時的に消します。

■ リモコンへの電池の入れかた

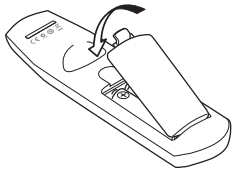
1 **電池カバーを開く。**
押しながらスライドさせて外します。



2 **電池を入れる。**
新しい単４乾電池２本を＋プラスと－マイナスの向きに注意して入れます。



3 **電池カバーを閉じる。**
スライドさせ、パチンと音が出るまでしっかり閉じます。



- リモコンでの操作ができない場合は、新しい電池と交換してください。
- リモコンを落としたり衝撃を与えないでください。
- リモコンに液状のものをかけないでください。故障の原因になることがあります。

警告

禁止

電池の取り扱いについて以下の点に注意してください。火災やけがの原因になります。

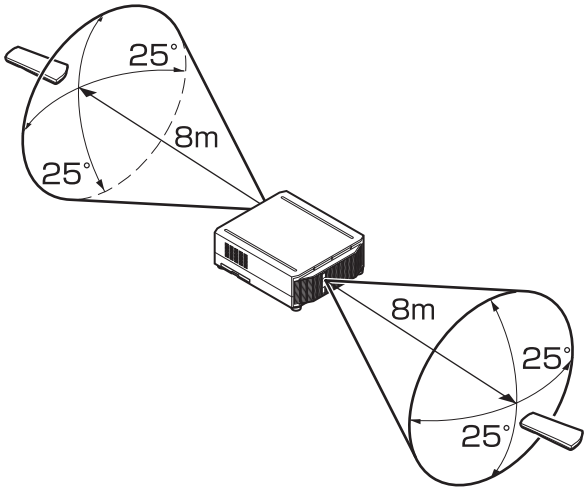
- **電池を火の中に入れたり、加熱、ショート、分解したりしないでください。**
- **付属の電池は充電しないでください。**

注意

- **電池を使いきったときや、長時間使用しないときは電池を取り外してください。**
- **電池を交換するときは２本一緒に交換してください。また、種類の異なる電池を一緒に使用しないでください。**
- **＋と－の向きを正しく入れてください。**
- **万一、液漏れなどで内部の液体が体についたときは、水でよく洗い流してください。**

■ リモコンで操作できる範囲

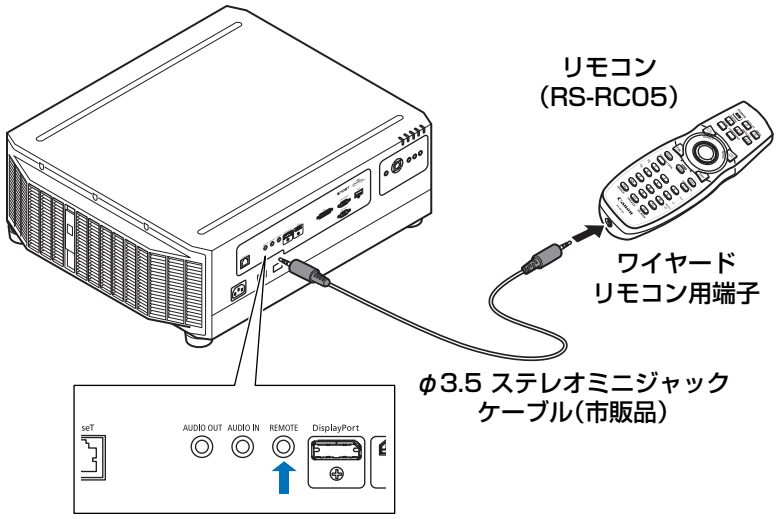
リモコンは赤外線方式です。本体の前面または背面にあるリモコン受光部に向けて操作してください。



- リモコンは本体から 8m 以内で使用してください。
- リモコンは本体の受光部の正面から 25° の範囲で使用してください。
- 本体との間に障害物があるときや、本体の受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっているときは、リモコンが操作できないことがあります。
- 2 台以上のプロジェクターを使用する場合は、リモコンが干渉し合わないようにチャンネル設定を切り換えてください。(P152)

■ 別売品のリモコン (RS-RC05) をケーブルで接続して使う場合

リモコンを本体とケーブルで接続して使用したい場合は、別売品の RS-RC05 をご使用ください。
ケーブルは、市販品の φ3.5 ステレオミニジャックケーブルをご使用ください。



- 本体、またはリモコンにケーブルを接続している場合は、赤外線方式での操作ができません。
- φ3.5ステレオミニジャックケーブル(市販品)は、**長さ30m以下**のものを使用してください。

基本編

投写のしかた

ここでは、投写までの作業を以下の手順で説明します。

ステップ1　機器を接続する　（P33）

コンピューターをネットワークに接続する設定をする
→P71

ステップ2　電源を入れる　（P34）

ステップ3　入力信号を選択する　（P35）

ステップ4　画面を調整する　（P36）

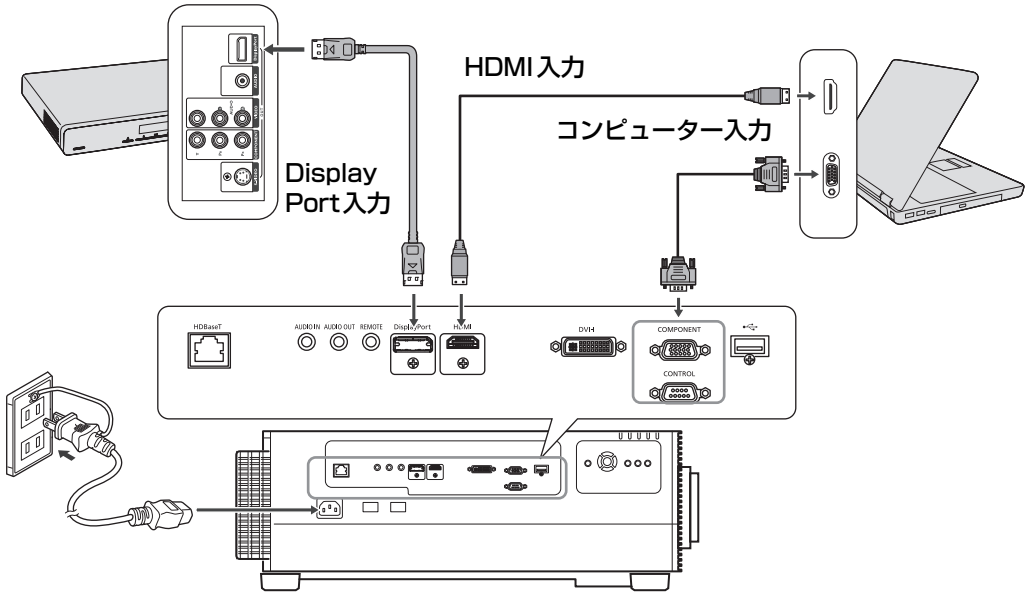
ステップ5　画質（イメージモード）を選択する　（P37）

その他の投写

- USBメモリに保存した画像を投写する
  →P43
- 複数台接続した機器から二画面表示で投写する
  →P47
- 複数台接続したプロジェクターを一画面で投写する
  →P98

電源を切る　（P39）

ステップ１　機器を接続する



コンピューターをネットワークに接続する場合、IP アドレスの設定が必要になります。詳しくは「コンピューターのネットワーク設定をする」（P71）を参照してください。

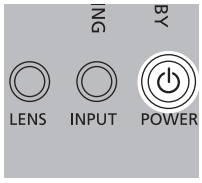
ステップ 2　電源を入れる

1 【POWER】ボタンを押します。

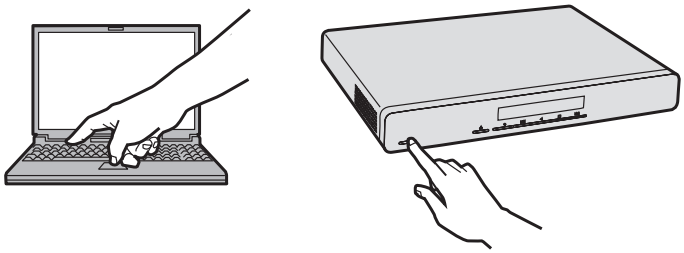
リモコン



本体



2 コンピューターまたはその他の機器の電源を入れます。

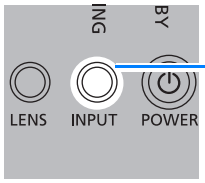


- メニューの言語を選ぶ画面が表示された場合、方向ボタンで言語を選び、【OK】ボタンを押してください。
- パスワードを設定しているときは、パスワードを入力する画面が表示されます。パスワードを入力してください。（P158、P159）
- 「入力信号がありません」と表示されたときは、【INPUT】ボタンを押して入力信号を選びます。
- コンピューターの画面が表示できないときは、コンピューターの画面設定を変更してください。コンピューター画面の切り換え方法は、ご使用のコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

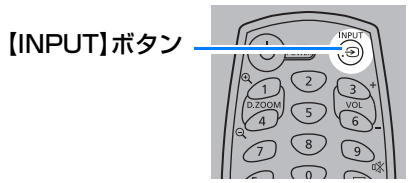
ステップ３　入力信号を選択する

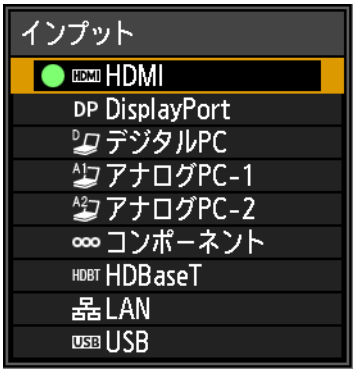
本機に接続した機器からの映像を切り換えるときは、［インプット］メニューで入力信号を選びます。
【INPUT】ボタンを押すたび、または［インプット］メニューを表示中に【▲】【▼】ボタンを押して切り換えます。
現在投写中の信号に○（緑）が点き、オレンジ色の枠で表示されます。
投写可能な状態の信号は文字が白で表示され、入力のない信号は文字がグレーで表示されます。

本体



リモコン





一画面表示している場合



二画面表示している場合

- ［デジタル PC］と［アナログ PC-1］は、投写可能な状態でも文字がグレーで表示されることがあります。
- 入力信号として［LAN］を選択した場合、ネットワーク上のコンピューターの映像を投写することができます。詳しくは、NMPJ 使用説明書をご覧ください。
- 入力信号として［USB］を選択した場合、USB メモリ内の画像を投写することができます。詳しくは「USB メモリの画像を投写する」（P43）を参照してください。
- 二画面表示の場合、操作権のない画面の入力信号が○（白）で表示されます。
- リモコンの【INPUT A】～【INPUT C】ボタンでも、設定により入力信号を選択できます。詳しくは「［INPUT A-C］ボタン設定」（P153）を参照してください。

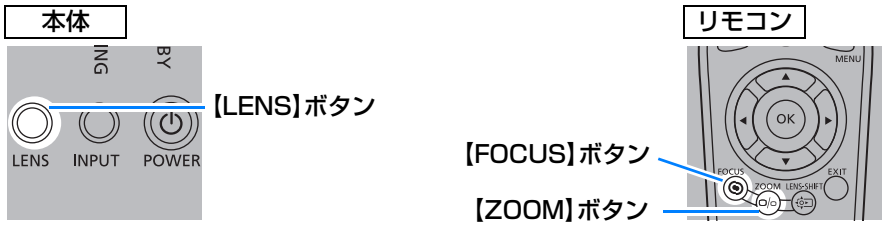
ステップ 4　画面を調整する

■ コンピューターの出力解像度を調整する

本機の最大解像度は 1920 x 1200 になります。（P203）
コンピューターの出力解像度を調整する場合はコンピューターの取扱説明書をご参照ください。

■ 画面のピント / 画面サイズを調整する

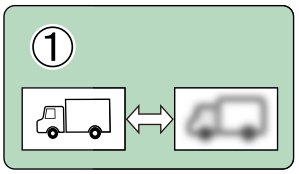
リモコンの【ZOOM】ボタンを押して画面サイズを調整し、【FOCUS】ボタンを押してピントを調整してください。本体の【LENS】ボタンを 1 回押すとピントの調整、2 回押すと画面サイズの調整ができます。



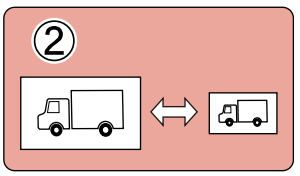




フォーカス調整



ズーム調整

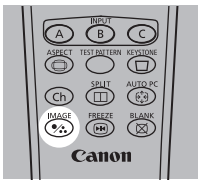


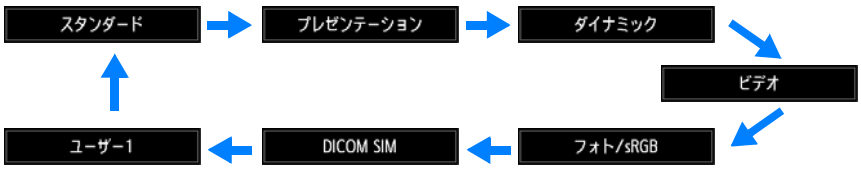
- コンピューターの映像の表示のずれや画面のちらつきは、オート PC で調整してください。（P114）
- 台形ひずみの補正が不十分なときは【KEYSTONE】ボタンで調整してください。（P88）
- スクリーンの縦横比、入力信号の種類などに合わせて、スクリーンアスペクトとアスペクトを選んでください。（P84 ～ P86）
- 投写する映像の内容に合わせてイメージモード（画質）を選んでください。

ステップ５　画質（イメージモード）を選択する

リモコンの【IMAGE】ボタンを押し、投写する映像の内容に合わせてイメージモード（画質）を選べます。各イメージモードでは、明るさ、コントラスト、シャープネス、ガンマ、HDRレンジ、色調整、高度な調整、光源モード（P132）と輝度レベル（P132）の設定ができます。

リモコン





■ イメージモードの種類

イメージモード	効果 **（1）周りの明るさ** **（2）入力映像の種類** **（3）投写映像の特長**
スタンダード	（1）明るい （2）コンピューター画面や映像ソフト（動画） （3）白の色味、自然な彩色
プレゼンテーション	（1）明るい （2）文字を中心とした画像 （3）画面が明るい
ダイナミック	（1）明るい （2）映像ソフト（動画） （3）画面が明るい
ビデオ	（1）やや暗い （2）ビデオカメラ映像 （3）テレビに近い色表現
フォト /sRGB	（1）やや暗い （2）sRGB 対応のデジタルカメラ画像 （3）sRGB 規格対応
DICOM SIM	（1）やや暗い （2）モノクロ映像（医療用など） （3）DICOM Standard Part14 規格の GSDF カーブに合わせて調整
ユーザー１～５	ユーザー自身が画質の設定の組み合わせを５種類までメモリに登録することができます（P124）。 保存した設定は、イメージモードとしてここで選択できます。

■ DICOM SIM モードで投写する

本機の DICOM シミュレーションモード（以下、DICOM SIM）では、レントゲンや CT、MRIなどのモノクロ医療用の映像を、DICOM（Digital Imaging and Communications in Medicine）規格に近似した階調で投写することができます。通常、DICOM規格に準じて投写するには、環境に合わせて輝度計を用いたグレースケール階調の補正が必要となります。本機では、あらかじめ環境光に対応した 21 通りの階調設定が用意されており、DICOMテストパターン（P91）を選ぶことで、簡易的に階調の補正を行うことができます。医療についての講演や、学会、院内カンファレンスなどで投写するのに適しています。

本機は、医療用画像表示用モニタではないため、読影や診断には使用できません。

注 意

- **本機は、経年変化に対する自動輝度補正、または校正機能を搭載していないため、使用時ごとの階調の確認をお勧めします。**
- **本機の投写輝度が安定するまで、およそ30分かかります。**

DICOM SIMモードの切り換え

1 リモコンの【IMAGE】ボタンを［DICOM SIM］と表示されるまで押すか、［イメージ調整］メニューの［イメージモード］から［DICOM SIM］を選びます。





2 リモコンの【TEST　PATTERN】ボタンまたは［設置設定］メニューの［テストパターン］から［入］を選び、テストパターンを表示させ、【▲】【▼】ボタンでDICOMテストパターンを選択します。



3 テストパターンを確認しながら［イメージ調整］メニューの［ガンマ］（P125）調整を行い最適な映像にします。

4 調整が終わったら【OK】ボタンを押します。

以下のいずれかを行って十分な視認性を確保してください。
- 室内の明かりを暗くする。
- 映像サイズを小さくする。
- 投写距離を短くする。

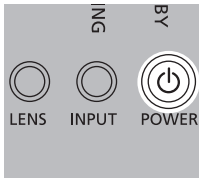
電源を切る

1 **【POWER】ボタンを押します。**

リモコン

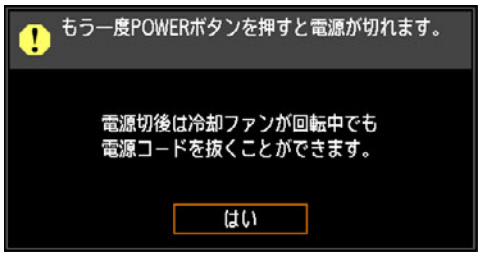


本体



2 **画面の表示中にもう一度【POWER】ボタンを押します。**

電源を切った後、投写光が消え、[STANDBY] インジケーターが赤く点滅して本機の冷却が始まります。本機の冷却が終了するとスタンバイ状態になります。スタンバイ状態は［STANDBY］インジケーターが点灯に換わります。



- 電源を切らずになお投写を続ける場合は、【POWER】以外のボタンを押すか、メッセージが消えるまでお待ちください。
- 冷却中は、電源を入れることができません。
- 連続使用は、内部光学部品の寿命を縮める原因になることがあります。
- 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。ただし、日付・時刻の設定がリセットされるため再設定してください。
- パワーマネージメント機能の設定により電源が切れることがあります。（P156）

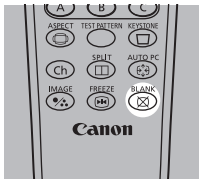
便利な機能

プレゼンテーションなどで便利に使える機能について説明します。

映像を一時的に消す

プレゼンテーションが終了したときや、プレゼンテーション時に出席者の注意をスクリーンからそらすときなど、一時的に映像を消すことができます。

リモコン



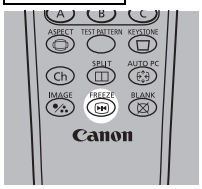
リモコンの【BLANK】ボタンを押すと映像が消えます。
もう一度【BLANK】ボタンを押すと元の映像が表示されます。

- 映像を消している間の画面の状態を、メニューで設定できます。（P147）

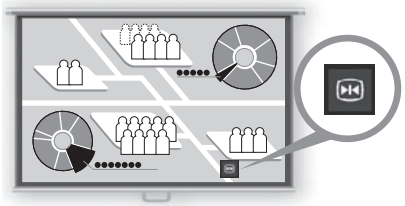
映像を静止させる

コンピューターから離れて操作するときや、変化する映像を途中で止めて見せるときなど、映像を一時的に静止することができます。

リモコン



リモコンの【FREEZE】ボタンを押すと映像が静止し、画面に次のアイコンが表示されます。
もう一度【FREEZE】ボタンを押すと元の映像に戻ります。



スクリーン

•入力信号がなくなると解除されます。

メニューからテストパターンを投写する

入力信号がなくても、テストパターンを投写することができます。設置時に投写することで、テストパターンを確認しながら設定することができます。
テストパターンの表示については、「テストパターン」（P145）または、「テストパターンを使って調整する」（P91）をご覧ください。

エコ設定を行う

省電力に関する機能を設定します。
設定できるのは、以下の４項目です。詳細は、各機能の解説ページを参照してください。

- **光源モード（P132）**
  明るさを抑えたモードを選択すると、消費電力を削減できます。

- **スタンバイ電力設定（P155）**
  スタンバイ状態時にネットワーク機能の一部を停止し、消費電力を削減する設定です。

- **パワーマネージメントモード（P156）**
  一定時間入力信号と操作がない状態（無信号 / 無操作状態）が続くと、自動的に消灯や電源がオフになる機能です。

- **パワーマネージメント時間（P156）**
  ［パワーマネージメントモード］の設定を［消灯］、または［スタンバイ］に設定した際、入力信号と操作がない状態（無信号 / 無操作状態）が続くと、自動的に消灯や電源がオフになる時間を設定します。

音量を調整する

こんなときに便利

- **本機または外部スピーカーの音量を調整したいとき**

リモコン



【VOL】ボタンを押すと、下の画面が表示されます。



- 本体の【◀】【▶】ボタンでも音量が調整できます。
- 音が出ないときは、コンピューター側の音量調整やミュートなどの設定を確認してください。
- 本機から音声出力端子で接続したスピーカーなどの音量も調整できます。

音声を一時的に消す

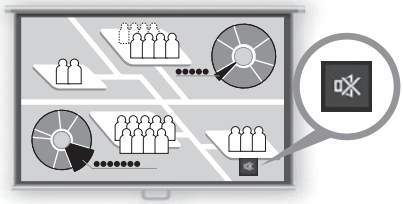
こんなときに便利

- 一時的に不要な音声を消したいとき
- 急いで音声を消したいとき

リモコン



リモコンの【MUTE】ボタンを押すと音声が消え、下のアイコンが表示されます。



スクリーン

もう一度【MUTE】ボタンを押すと元の音量に戻ります。

- 音声出力端子で接続したスピーカーなどの音声も消えます。

映像の一部を拡大する

こんなときに便利

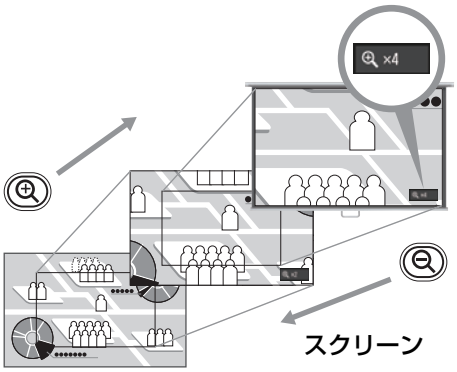
- 細かいグラフなどを大きく見せたいとき（最大12倍）
- 説明箇所を強調したいとき

リモコン



リモコンの【D.ZOOM】ボタンの＋を押すと映像の一部が拡大され、－を押すと映像が縮小されます。

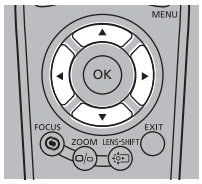
- 画面に拡大率が表示されます。



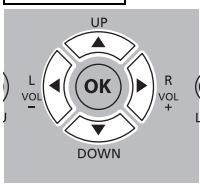
スクリーン

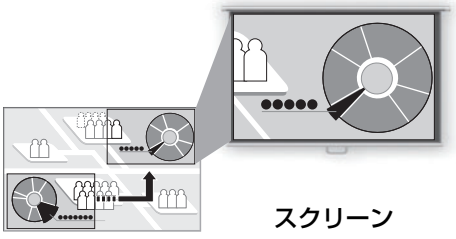
拡大する場所は【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで移動できます。

リモコン



本体





スクリーン

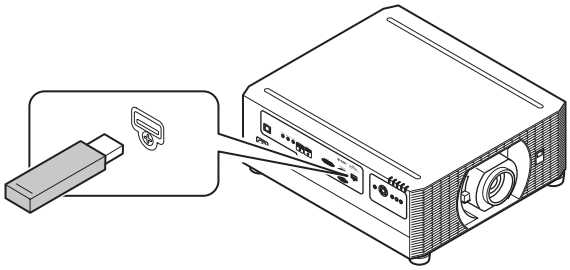
【OK】ボタンを押すと元の大きさに戻ります。

【D.ZOOM】ボタンは設置設定メニューの［ズーム］（P136）と別の機能です。

USB メモリの画像を投写する

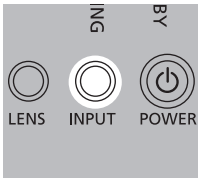
USB端子に接続したUSBメモリ内のJPEG画像を投写することができます。
選択した画像を投写したり、スライドショーで投写することができます。
表示できるJPEG画像のサイズは**最大10912×8640**ドットです。

1 **USBメモリをUSB端子に接続します。**



2 **【INPUT】ボタンを押し、［USB］を選びます。**

本体

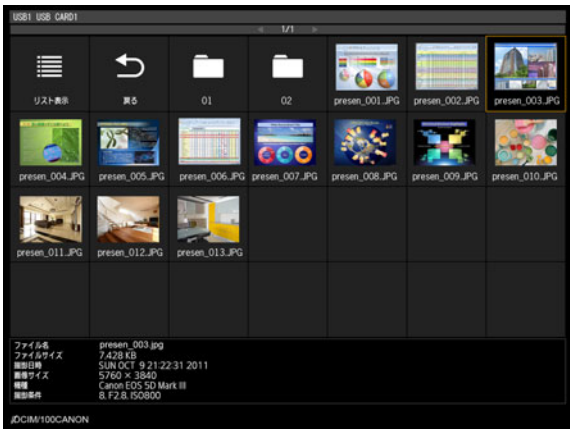


リモコン





3 **USBファイルブラウザから投写するファイルを選択します。**
USB ファイルブラウザについては「USB ファイルブラウザの見かた」（P44）、ファイルの選び方については「画像を選んで投写する」（P46）を参照してください。

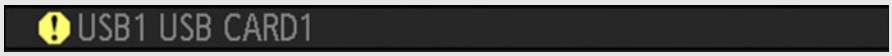


USB 端子には USB カードリーダーも使用できます。

表示を終了するには

USBメモリを抜き取ります。

- セキュリティ機能付きのUSBフラッシュメモリは、本機で認識できず、ドライブ選択できない場合があります。
- ファイルシステムへのマウントに失敗した場合、ドライブ名がグレー表示となり、以下のアイコンが表示されます。その場合、そのUSBドライブは使用できません。



- 表示できるのは、最大6ドライブ、999フォルダ、9999ファイルです。
- 複数のドライブが設定されている場合は、ドライブ選択画面が表示されるので、【▲】【▼】ボタンでドライブを選択し、【OK】ボタンを押してください。そのドライブ内のファイル一覧が表示されます。
- ファイル選択画面とドライブ選択画面は、サムネイル表示とリスト表示の切り換えができます。
- 入力信号を［USB］にした場合、LAN入力との二画面表示は無効になります。
- USBメモリ内のJPEGファイルの投写時は、MBリダクションの設定はできません。(P157)
- USBメモリ内の画像を自動的に順次表示していくスライドショー機能があります。(P46)

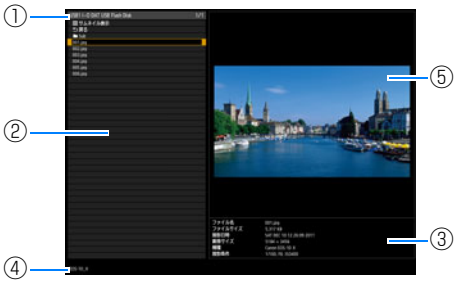
■ USBファイルブラウザの見かた

USBメモリをプロジェクターに接続すると、USBファイルブラウザが表示されます。USBファイルブラウザでは、メモリ内のファイルリストを操作して、投写する画像ファイルを選びます。

サムネイル表示



リスト表示



①リストタイトル

現在選択されているドライブ名と表示中のファイルリストのページ数が表示されます。(現在表示ページ／総ページ数)

②ドライブ / ファイルリスト

認識されたUSBメモリやフォルダ内のファイルリストがファイル名順に表示されます。方向ボタンで画像ファイルまたはフォルダを選びます。表示されるアイコンは、以下になります。

アイコン	機能	アイコン	機能
	正常に認識された USB メモリ（サムネイル表示時）		リスト表示に切り換え（サムネイル表示時）
	正常に表示された USB メモリ（リスト表示時）		サムネイル表示に切り換え（リスト表示時）
	認識に失敗した USB メモリ（サムネイル表示時）		上位フォルダに移動
	認識に失敗した USB メモリ（リスト表示時）		フォルダ
	カードリーダーなどにリムーバブルメディアが接続されていないとき（サムネイル表示時）		サポートされていない JPEG 形式のファイル（サムネイル表示時）
	カードリーダーなどにリムーバブルメディアが接続されていないとき（リスト表示時）		

ファイル名、およびフォルダ名にアラビア語が使用されている場合、正しく表示されません。

③ファイル情報エリア

ファイルリストで選んだ画像の情報が表示されます。

- ファイル名
- ファイルサイズ
- 撮影日時
- 画像サイズ
- 撮影機種
- 撮影条件

④ファイルパスエリア

ファイルリストで選んだ画像のパス名が表示されます。

⑤プレビューエリア（リスト表示時）

ドライブ / ファイルリストで選んだ画像が縮小表示されます。サポートされていない JPEG形式を選んだ場合、  が表示されます。

フォルダを選んでいるときは、フォルダアイコンが表示されます。

■ 画像を選んで投写する

USB ファイルブラウザで画像を選び、投写する操作を説明します。

ドライブを選ぶ

USB端子に直接USBメモリを接続した場合、この操作が不要な場合があります。
メモリスロットを複数持つUSBメモリカードリーダーを接続すると、ファイルリストにドライブ（メモリスロット）のリストが表示されます。
メモリカードをセットしたドライブを【▲】【▼】ボタンで選び、【OK】ボタンを押します。

- 使用できるドライブは白、使用できないドライブはグレーで表示されています。

フォルダを選ぶ

画像ファイルがフォルダ内にあるときは、フォルダを選択できます。

- 上位のフォルダに戻るときは、[⮌] を選択します。

画像ファイルを選んで投写する

リスト表示のときは、画像ファイルを選ぶと画像がプレビューエリアに縮小表示されます。
【OK】ボタンを押すと画像をスクリーン全面に投写します。
上位のフォルダに戻るときは、[⮌] を選択します。

表示形式を変更する

ドライブ / ファイルリストの［サムネイル表示］または［リスト表示］を選び、【OK】ボタンを押すと表示形式が切り換わります。

■ スクリーン全面に投写された画像を操作する

スクリーン全面に画像投写中は、次の操作ができます。
【▲】【▼】ボタンで前後の画像を投写できます。
【◀】【▶】ボタンで画像を左右に90° 回転できます。
【OK】ボタンを押すと、USB ファイルブラウザに戻ります。

- スライドショー表示中でも、ボタン操作は反映されます。ただし、アニメーション効果中を除きます。
- 画像に回転情報が含まれているときは、自動的に適切な向きに回転して表示します。

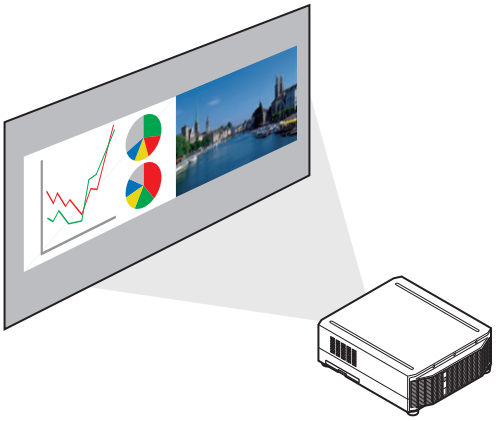
■ USB メモリからスライドショーで投写する

USBメモリに保存されている複数の画像を、一定の間隔で連続して投写できます。

スライドショーの投写間隔を設定する

メニューの［スライドショー間隔］（P117）で投写間隔を設定してください。

2 つの映像を並べて投写する



本機に接続した 2 系統の映像入力を並べて投写することができます。これを「二画面表示」といいます。二画面表示にすると、それまで表示していた画面が左側に表示され、新しく右側に別の画面が表示されます。【INPUT】ボタンにより、各画面の映像入力を変更することができます。
本機に 2 系統の映像を入力してください。
二画面表示可能な組み合わせは下記のようになります。
ただし、入力信号によっては二画面表示のできない組み合わせがあります。

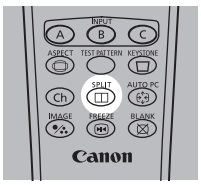
二画面表示の組み合わせ

		右画面								
		HDMI	DisplayPort	デジタル PC	アナログ PC-1	アナログ PC-2	コンポーネント	HDBaseT	LAN	USB
左画面	HDMI		○	X	X	X	X	X	○*	○*
	DisplayPort	○		○	○	○	○	○	○*	○*
	デジタル PC	X	○		X	X	X	X	○*	○*
	アナログ PC-1	X	○	X		X	X	X	○*	○*
	アナログ PC-2	X	○	X	X		X	X	○*	○*
	コンポーネント	X	○	X	X	X		X	○*	○*
	HDBaseT	X	○	X	X	X	X		○*	○*
	LAN	○*	○*	○*	○*	○*	○*	○*		X
	USB	○*	○*	○*	○*	○*	○*	○*	X	

○：組み合わせ可能
○*：組み合わせ可能（50:50 の表示となります。）
×：組み合わせ不可能

二画面表示で投写するには、リモコンの【SPLIT】ボタンを押します。

リモコン



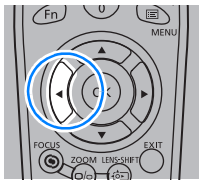


一方の画面の中央に数字が表示されます。左画面が 1、右画面が 2 です。数字の表示されているほうに「画面の操作権」があり、その画面の映像の音声が出力されます。

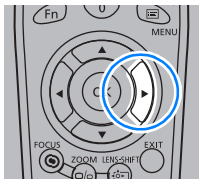
■ 入力信号を切り換えるには

画面中央に◁または▷が出ているときに、リモコンの【◀】【▶】で操作権を移動することができます。

リモコン

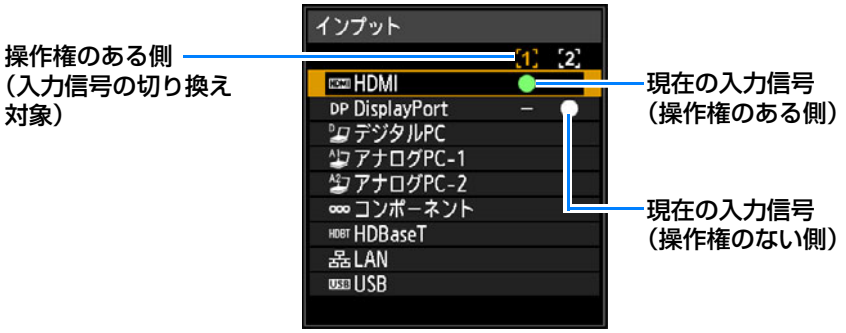








【INPUT】ボタンを押し、操作権のある画面の入力信号を選択します。
現在の操作権は、メニューの右上にオレンジ色で表示されている画面 ID で確認できます。
また、操作権がない側の入力信号は○ (白) で示されます。



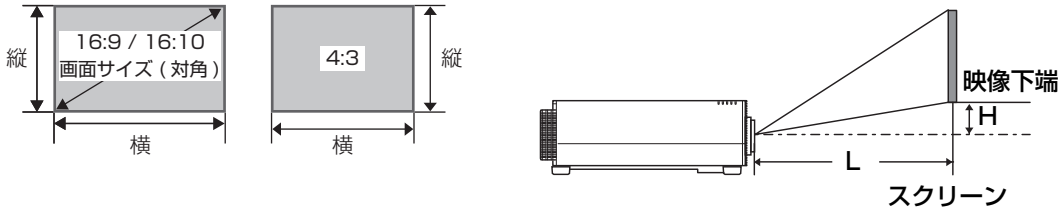
- 画面の中央に表示される数字は一定時間経過後に消えますが、リモコンの【SPLIT】ボタンを押すことで再び表示されます。
- 二画面表示を終了するにはリモコンの【EXIT】ボタンを押します。
- ［映像設定］メニューの［二画面］で二画面表示に切り換えることもできます。(P120)
- シャープネス (P125)、ダイナミックガンマ (P128)、MB リダクション (P157) など一部の調整はできません。
- 反転表示 (P135) 、スクリーンアスペクト (P136) 、キーストーン (P137) 、ユーザー画像登録 (P147) など一部の機能が使用できません。
- 2 画面のイメージ調整の設定は［イメージ優先］(P133) から行ってください。
- 一画面で表示しているときと、イメージモードの色味が異なる場合があります。

設置編

本機を設置する前に、「設置の前に」（P15）を必ずお読みください。

投写距離と画面サイズの関係

投写画面のサイズは、本機からスクリーンまでの距離（投写距離）とズームで決まります。
次の表を参考に、本機とスクリーンまでの距離を決めてください。



L：投写距離
H：レンズ中心から映像下端までの高さ

スクリーンアスペクトが16：10の場合

レンズユニット			RS-SL01ST		RS-SL02LZ		RS-SL04UL		RS-SL05WZ		高さ H** [cm]
投写比 *			1.49-2.24: 1		2.19-3.74: 1		3.55-6.94: 1		1.00-1.50: 1		RS-SL01ST RS-SL02LZ RS-SL04UL RS-SL05WZ
対角 [型]	画面サイズ [cm]		投写距離 L [m]								
	横	縦	ワイド端	テレ端	ワイド端	テレ端	ワイド端	テレ端	ワイド端	テレ端	
40	86	54	1.3	1.9	1.9	3.2	–	–	0.9	1.3	-35.0 ～ +2.7
60	129	81	1.9	2.9	2.8	4.8	4.6	9.0	1.3	1.9	-52.5 ～ +4.0
80	172	108	2.6	3.9	3.8	6.4	6.1	12.0	1.7	2.6	-70.0 ～ +5.4
100	215	135	3.2	4.8	4.7	8.0	7.6	14.9	2.2	3.2	-87.5 ～ +6.7
150	323	202	4.8	7.2	7.1	12.1	11.4	22.3	3.2	4.9	-131 ～ +10.1
200	431	269	6.4	9.6	9.5	16.1	15.2	29.8	4.3	6.5	-175 ～ +13.5
250	538	337	8.0	12.1	11.9	20.2	18.9	37.2	5.4	8.1	-219 ～ +16.8
300	646	404	9.6	14.5	14.2	24.2	22.7	44.6	6.5	9.7	-263 ～ +20.2
350	754	471	11.3	16.9	16.6	28.3	26.4	52.0	7.5	11.4	-306 ～ +23.6
400	862	538	12.9	19.3	19.0	32.3	30.2	59.4	8.6	13.0	-350 ～ +26.9
450	969	606	14.5	21.7	21.4	36.4	34.0	66.8	9.7	14.6	-394 ～ +30.3
500	1077	673	16.1	24.1	23.8	40.4	37.7	74.2	10.8	16.3	-438 ～ +33.7
550	1185	740	17.7	26.6	26.1	44.5	41.5	81.6	11.8	17.9	-481 ～ +37.0
600	1292	808	19.3	29.0	28.5	48.5	45.2	89.0	12.9	19.5	-525 ～ +40.4

レンズユニット			RS-SL03WF	RS-SL06UW	高さ H [cm] **	
投写比 *			0.80:1	0.54:1		
対角 [型]	画面サイズ [cm]		投写距離 L [m]		RS-SL03WF	RS-SL06UW
	横	縦				
40	86	54	0.69	0.45	-33.0 ～ -20.8	-35.0 ～ +13.5
60	129	81	1.04	0.69	-49.5 ～ -31.3	-52.5 ～ +20.2
80	172	108	1.38	0.92	-66.0 ～ -41.7	-70.0 ～ +26.9
100	215	135	1.73	1.16	-82.5 ～ -52.1	-87.5 ～ +33.7
150	323	202	2.59	1.75	-123 ～ -78.1	-131 ～ +50.5
200	431	269	3.45	2.33	-165 ～ -104	-175 ～ +67.3
250	538	337	4.31	2.92	-206 ～ -130	-219 ～ +84.1
300	646	404	5.17	3.51	-248 ～ -156	-263 ～ +101

* 投写比は画面サイズ100型投写時の計算値です。

** 高さHはレンズシフトモードが「標準」の場合の計算値です。
レンズシフトモードが「拡張」の場合の画面位置は「レンズシフト機能で調整する」（P58）を参考にしてください。

スクリーンアスペクトが16：9の場合

レンズユニット			RS-SL01ST		RS-SL02LZ		RS-SL04UL		RS-SL05WZ		高さ H** [cm]
投写比 *			1.53-2.30 :1		2.25-3.84 :1		3.65-7.13 :1		1.03-1.54:1		RS-SL01ST RS-SL02LZ RS-SL04UL RS-SL05WZ
対角 [型]	画面サイズ [cm]		投写距離 L [m]								
	横	縦	ワイド端	テレ端	ワイド端	テレ端	ワイド端	テレ端	ワイド端	テレ端	
40	89	50	1.3	2.0	1.9	3.3	–	–	0.9	1.3	-33.2 ～ +5.5
60	133	75	2.0	3.0	2.9	4.9	4.8	9.3	1.3	2.0	-49.8 ～ +8.3
80	177	100	2.6	4.0	3.9	6.6	6.3	12.3	1.8	2.7	-66.4 ～ +11.1
100	221	125	3.3	5.0	4.9	8.3	7.9	15.4	2.2	3.3	-83.0 ～ +13.8
150	332	187	5.0	7.4	7.3	12.4	11.7	23.0	3.3	5.0	-125 ～ +20.8
200	443	249	6.6	9.9	9.7	16.6	15.6	30.6	4.4	6.7	-166 ～ +27.7
250	553	311	8.3	12.4	12.2	20.7	19.4	38.2	5.5	8.3	-208 ～ +34.6
300	664	374	9.9	14.9	14.6	24.9	23.3	45.8	6.6	10.0	-249 ～ +41.5
350	775	436	11.6	17.4	17.1	29.1	27.2	53.4	7.7	11.7	-291 ～ +48.4
400	886	498	13.2	19.9	19.5	33.2	31.0	61.0	8.9	13.4	-332 ～ +55.3
450	996	560	14.9	22.3	22.0	37.4	34.9	68.6	10.0	15.0	-374 ～ +62.3
500	1107	623	16.5	24.8	24.4	41.5	38.8	76.3	11.1	16.7	-415 ～ +69.2
550	1218	685	18.2	27.3	26.9	45.7	42.6	83.9	12.2	18.4	-457 ～ +76.1
580	1284	722	19.2	28.8	28.3	48.2	44.9	88.4	12.8	19.4	-482 ～ +80.3

レンズユニット			RS-SL03WF	RS-SL06UW	高さ H [cm] **	
投写比 *			0.82:1	0.55:1		
対角 [型]	画面サイズ [cm]		投写距離 L [m]		RS-SL03WF	RS-SL06UW
	横	縦				
40	89	50	0.71	0.48	-31.2 ～ -18.7	-33.2 ～ +16.6
60	133	75	1.07	0.72	-46.7 ～ -28.0	-49.8 ～ +24.9
80	177	100	1.42	0.96	-62.3 ～ -37.3	-66.4 ～ +33.2
100	221	125	1.77	1.20	-77.9 ～ -46.6	-83.0 ～ +41.5
150	332	187	2.66	1.79	-117 ～ -69.9	-125 ～ +62.3
200	443	249	3.54	2.39	-156 ～ -93.3	-166 ～ +83.0
250	553	311	4.43	2.99	-195 ～ -117	-208 ～ +104
290	642	361	5.14	3.47	-226 ～ -135	-241 ～ +120

* 投写比は画面サイズ100型投写時の計算値です。
** 高さHはレンズシフトモードが「標準」の場合の計算値です。
レンズシフトモードが「拡張」の場合の画面位置は「レンズシフト機能で調整する」（P58）を参考にしてください。

スクリーンアスペクトが４：３の場合

レンズユニット			RS-SL01ST		RS-SL02LZ		RS-SL04UL		RS-SL05WZ		高さ H** [cm]
投写比 *			1.69-2.53 :1		2.48-4.23:1		4.01-7.85 :1		1.13-1.70 : 1		RS-SL01ST RS-SL02LZ RS-SL04UL RS-SL05WZ
対角 [型]	画面サイズ [cm]		投写距離 L [m]								
	横	縦	ワイド端	テレ端	ワイド端	テレ端	ワイド端	テレ端	ワイド端	テレ端	
40	81	61	1.4	2.2	2.1	3.6	–	–	1.0	1.4	-39.6 ～ +3.0
60	122	91	2.2	3.3	3.2	5.5	5.2	10.2	1.5	2.2	-59.4 ～ +4.6
80	163	122	2.9	4.4	4.3	7.3	6.9	13.5	2.0	2.9	-79.2 ～ +6.1
100	203	152	3.6	5.5	5.3	9.1	8.6	16.9	2.4	3.7	-99.1 ～ +7.6
150	305	229	5.5	8.2	8.0	13.7	12.9	25.3	3.7	5.5	-149 ～ +11.4
200	406	305	7.3	10.9	10.7	18.3	17.1	33.7	4.9	7.3	-198 ～ +15.2
250	508	381	9.1	13.7	13.4	22.9	21.4	42.1	6.1	9.2	-248 ～ +19.1
300	610	457	10.9	16.4	16.1	27.4	25.7	50.4	7.3	11.0	-297 ～ +22.9
350	711	533	12.7	19.1	18.8	32.0	29.9	58.8	8.5	12.9	-347 ～ +26.7
400	813	610	14.6	21.9	21.5	36.6	34.2	67.2	9.8	14.7	-396 ～ +30.5
450	914	686	16.4	24.6	24.2	41.2	38.4	75.6	11.0	16.6	-446 ～ +34.3
500	1016	762	18.2	27.3	26.9	45.8	42.7	84.0	12.2	18.4	-495 ～ +38.1
530	1077	808	19.3	29.0	28.5	48.5	45.2	89.0	12.9	19.5	-525 ～ +40.4

レンズユニット			RS-SL03WF	RS-SL06UW	高さ H [cm] **	
投写比 *			0.91:1	0.61:1		
対角 [型]	画面サイズ [cm]		投写距離 L [m]		RS-SL03WF	RS-SL06UW
	横	縦				
40	81	61	0.78	0.53	-37.4 ～ -23.6	-39.6 ～ +15.2
60	122	91	1.17	0.79	-56.1 ～ -35.4	-59.4 ～ +22.9
80	163	122	1.56	1.05	-74.7 ～ -47.2	-79.2 ～ +30.5
100	203	152	1.95	1.32	-93.4 ～ -59.0	-99.1 ～ +38.1
150	305	229	2.93	1.97	-140 ～ -88.5	-149 ～ +57.2
200	406	305	3.90	2.63	-187 ～ -118	-198 ～ +76.2
250	508	381	4.88	3.29	-234 ～ -147	-248 ～ +95.3
260	528	396	5.07	3.42	-243 ～ -153	-258 ～ +99.1

* 投写比は画面サイズ100型投写時の計算値です。

** 高さHはレンズシフトモードが「標準」の場合の計算値です。
レンズシフトモードが「拡張」の場合の画面位置は「レンズシフト機能で調整する」（P58）を参考にしてください。

レンズユニットの取り付け・取り外し

警告

- **レンズユニットの取り付け・取り外しを行う場合必ず、電源プラグまたはコネクターを抜いてください。火災や感電・けがの原因になります。**
- **本機を天井から吊るしている場合は、本機を床や作業台に下ろしてからレンズユニットの取り付け・交換を行ってください。部品などが落下し、けがや故障の原因になることがあります。**
- **レンズユニットの取り付け、取り外しはお客様自身では行なわず、設置業者または販売店に依頼するか、キヤノンお客様相談センターにお問い合わせください。**

注意

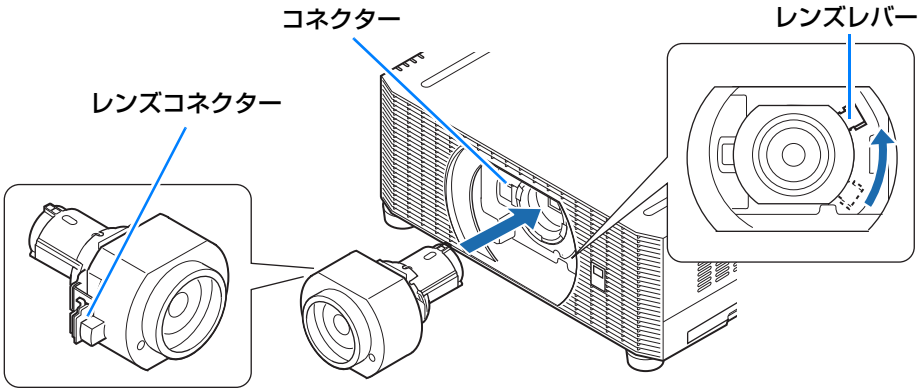
- **本機はレンズシフト機能により、モーターでレンズが上下左右に動きます。レンズが動いているときは、レンズに触れないでください。けがの原因になることがあります。**
- **レンズユニットを交換する際は、本機の電源を切った後、30分以上経過し、レンズユニットが十分に冷えたことを確認してから行ってください。やけどやけがの原因となることがあります。**

注意

- **レンズユニットの取り付け、取り外しのとき、レンズ表面を手でさわったり傷をつけたりしないようご注意ください。**
- **レンズユニットおよびレンズモーターに配線されたリード線などの部品に無理な力を加えないでください。故障の原因になることがあります。**
- **ホコリの多い場所でのレンズユニット交換は避けてください。本機内にゴミやホコリが入ると画質を損なう原因になります。**
- **レンズユニット取り付け後に本機を運んだり持ち上げたりするとき、レンズ部を絶対に持たないでください。レンズユニットの故障の原因になります。**
- **本機の輸送が必要になったときは、本機からレンズユニットを取り外して輸送してください。輸送時に本機へ過度の衝撃がかかり、レンズユニットの故障の原因になることがあります。**
- **適合するプロジェクターの詳細については、販売店にご相談ください。**

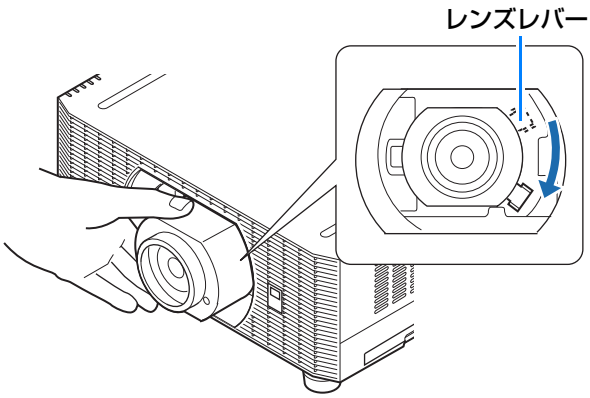
■ レンズユニットを取り付ける

1 レンズレバーが上端に来ていることを確認し、本体のコネクターとレンズコネクターの位置が合うように、レンズコネクターを左側に向けてレンズユニットを本体に取り付けます。



レンズユニットの取り付けは、レンズユニットをプロジェクターに対し水平にまっすぐに取り付けてください。斜めに取り付けてしまうと、レンズレバーが動かなかったり、投写の際に画像がくっきり見えなくなることがあります。

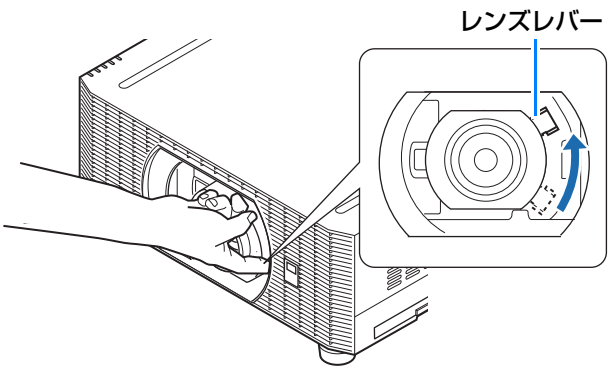
2 **レンズレバーを時計回りに回し、レンズユニットを固定します。**



- レンズユニットを固定する場合、レンズユニットがプロジェクター本体の奥まで入っていることを確認してから、図のようにレンズレバーを下端まで時計回りに回してしっかり固定ください。レンズユニットが奥まで入っていないと、レンズレバーが動かなかったり、投写の際に画像がくっきり見えなくなることがあります。
- 本機にはレンズメモリ機能があります。レンズを交換した後は、レンズメモリの再設定が必要です。
  レンズを交換した後は、電源再投入のタイミングで自動的にレンズシフトリセットが実行されます。ただし、同一種類のレンズの再装着、交換では手動で「レンズシフト リセット」（P143）を実行してください。
- 交換レンズに付属の使用説明書も参照してください。

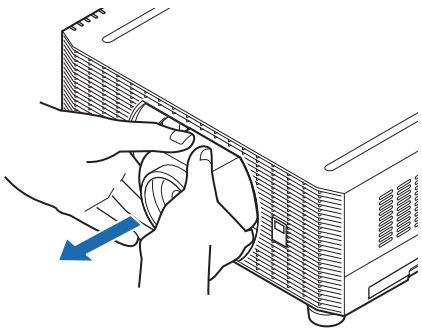
レンズユニットを取り外すには

1 **レンズレバーを上端まで反時計回りに回します。**



2 **レンズユニットを抑えながら引き抜きます。**

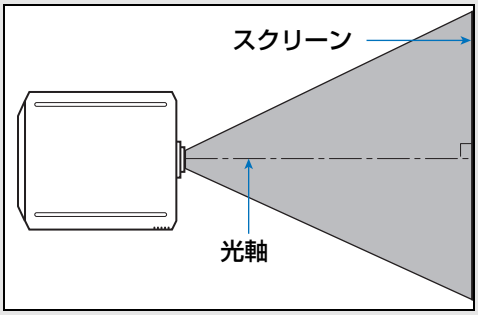
レンズユニットを取り外す場合、プロジェクター本体に対しレンズユニットを水平にまっすぐ取り出してください。



設置する

本機をスクリーンの正面に置いてください。

- まっすぐ投写しないと画面がひずみます。
- スクリーンには、太陽光線や照明が直接当たらないようにしてください。明るい部屋では、照明を消す、カーテンを引くなどすると、画面が見やすくなります。

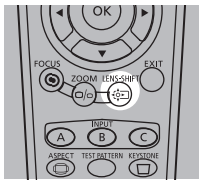


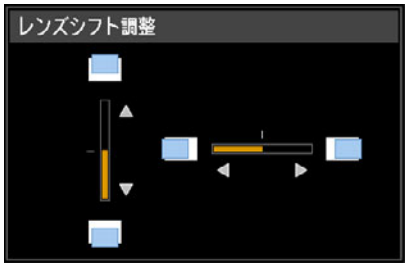
■ 机や床に置く（スクリーンより低い場所に設置する）ときは

本機の投写位置は、レンズシフト機能か調整脚で調整できます。

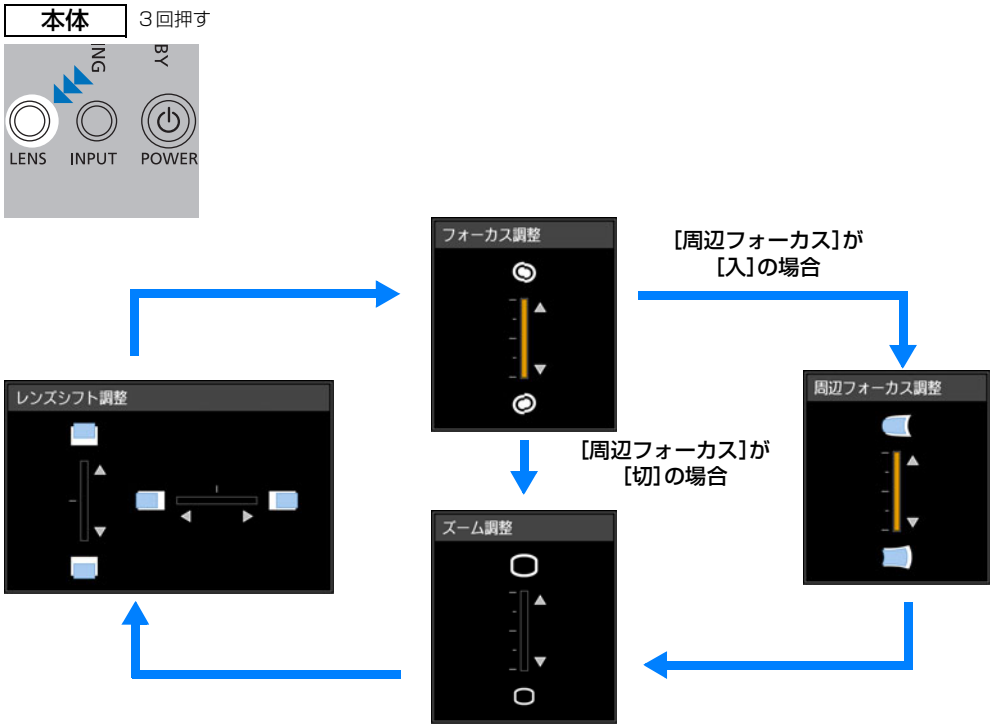
1 **リモコンの【LENS-SHIFT】ボタンを押すと、レンズシフト調整画面が表示されます。**

リモコン



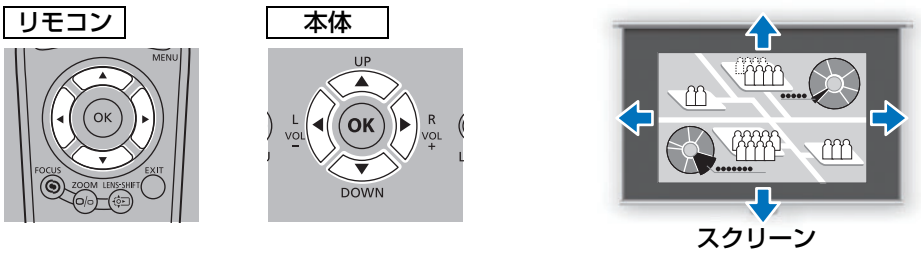


本体の【LENS】ボタンを押すたびにレンズで調整する項目についての画面表示が切り換わります。
【LENS】ボタンを３回（[周辺フォーカス]が[入]の場合は４回）押すと、レンズシフト調整画面が表示されます。



2 **方向ボタンで調整します。**

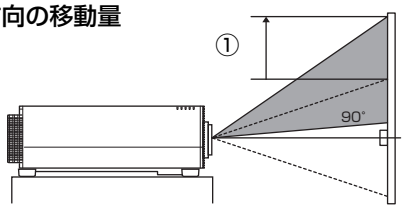
リモコンまたは本体の【▲】【▼】ボタンを押すと画面の位置が上下に移動します。
リモコンまたは本体の【◀】【▶】ボタンを押すと画面の位置が左右に移動します。
それぞれのボタンを長押しするとその方向へ画面が動き続けます。



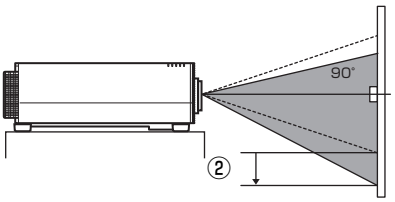
レンズシフト機能で調整する

投写レンズを上下左右にスライドさせ、画面位置を上下左右に移動することができます。これをレンズシフト機能といいます。本機におけるレンズシフト量は、次の通りです。

上下方向の移動量

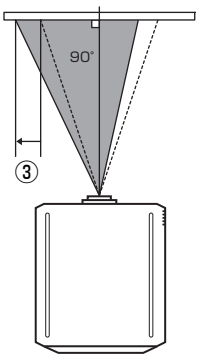


上側へ最大レンズシフトさせたとき

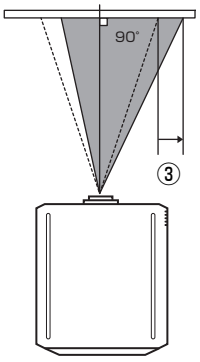


下側へ最大レンズシフトさせたとき

左右方向の移動量



左側へ最大レンズシフトさせたとき



右側へ最大レンズシフトさせたとき

各交換レンズの移動量

レンズユニット	レンズシフトモード：標準	レンズシフトモード：拡張 *
RS-SL01ST	上（①）　：＋55% 下（②）　：－15% 左右（③）：±10%	上（①）　：＋90% 下（②）　：－90% 左右（③）：±30%
RS-SL02LZ		
RS-SL04UL		
RS-SL05WZ		
RS-SL03WF	上（①）　：＋11.3% 下（②）　：－11.3% 左右（③）：±4.6%	
RS-SL06UW	上（①）　：＋75% 下（②）　：－15% 左右（③）：±30%	

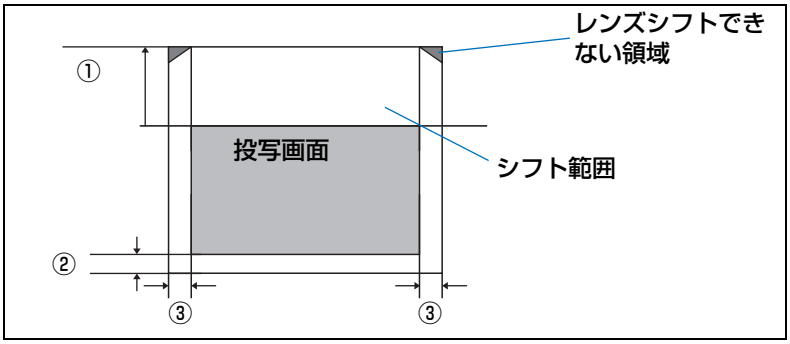
* レンズシフトモードが「拡張」の場合は、シフト量によって投写映像の画質が低下することがあります。

あらかじめ、本機とコンピューターやAV機器（P64）や電源コード（P67）を接続してください。

レンズシフトできない領域について（レンズシフトモードが「標準」の場合）

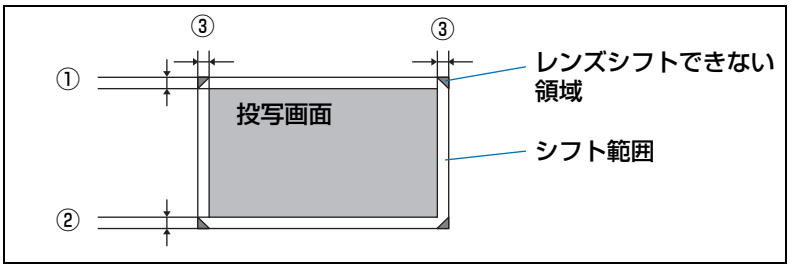
• 各ズームレンズ(RS-SL01ST / RS-SL02LZ / RS-SL04UL / RS-SL05WZ)の場合

上方向のシフト量が 44%を超えると、左右方向にシフトできるシフト量が少なくなります。上方向に最大55%までシフトした状態（①）では、左右方向へのシフトはできなくなります。



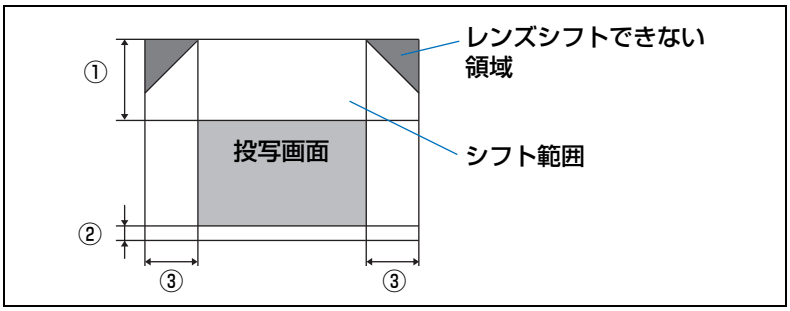
• 固定短焦点レンズ（RS-SL03WF)の場合

上下方向にシフトするほど、左右方向へのシフト量は少なくなります。上下方向に最大11.3%までシフトした状態では、左右方向へのシフトはできなくなります。



• 超短焦点レンズ（RS-SL06UW）の場合

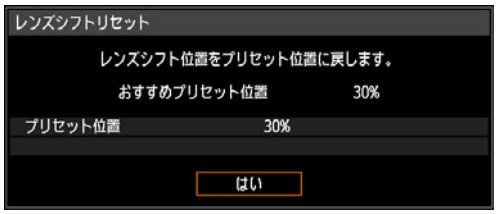
上下方向にシフトするほど、左右方向へのシフト量は少なくなります。上方向のシフト量が最大75%までシフトした状態では、左右方向へのシフトはできなくなります。



レンズシフトモードを［拡張］にした場合、4 隅までレンズシフト可能ですが、画質が低下することがあります。

設定位置をリセットするには

画面位置の調整中にリモコンの【LENS-SHIFT】ボタンまたは本体の【LENS】ボタンを長押しして、［レンズシフトリセット］画面を表示させます。使用しているレンズに応じた選択肢が表示されるので、方向ボタンでいずれかを選び、【OK】ボタンを押します。



レンズユニットの種類	選択できる項目
RS-SL01ST	50% ：上 50%、左右 0% 0% ：上下左右とも 0%
RS-SL02LZ	
RS-SL04UL	
RS-SL05WZ	
RS-SL03WF	0% ：上下左右とも 0%
RS-SL06UW	

- リセットの操作をしても選択した位置からわずかにずれることがあります。
- 正確な位置出しが必要な場合は、レンズシフト機能を使用して微調整してください。

周辺フォーカスを調整する

画面周辺部のフォーカスを調整できる機能です。

- ドーム型スクリーンに投写する場合に、周辺のフォーカスを調整します。
- 平面スクリーンにおいて画面全体のピントを合わせても画面周辺がぼけている場合は、周辺フォーカスを調整してピントを合わせます。

- 装着するレンズによっては、周辺フォーカス機能が使えません。
- あらかじめ［周辺フォーカス］を［入］に設定する必要があります。（P140）

■ 画面周辺のピントを合わせる

リモコンの【FOCUS】ボタンまたは本体の【LENS】ボタンで画面周辺のピントを調整することができます。

1 リモコンの【FOCUS】ボタンを２回押すと、周辺フォーカス調整画面が表示されます。

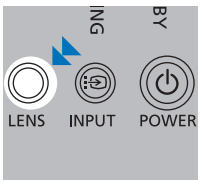
リモコン　２回押す

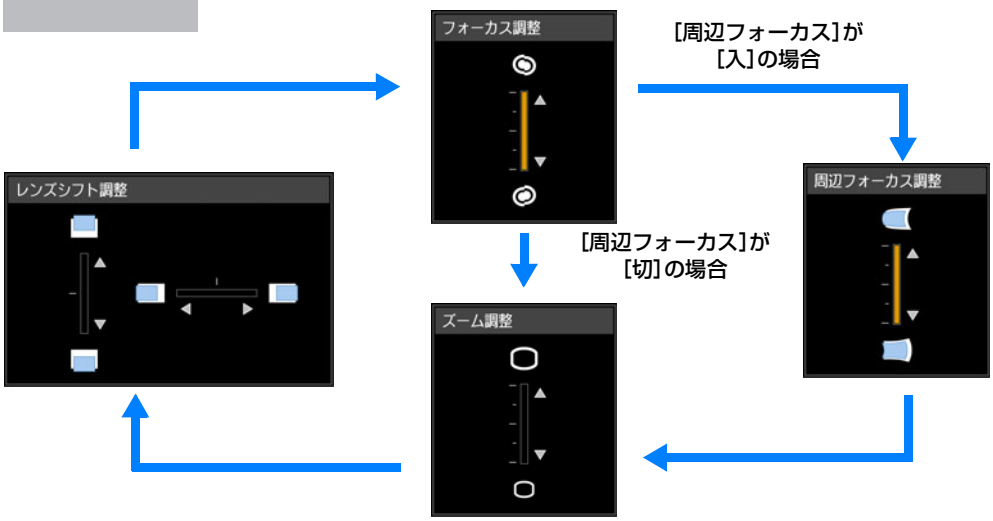




本体の【LENS】ボタンは、押すたびにレンズ関連の画面表示が切り換わります。【LENS】ボタンを２回押すと、周辺フォーカス調整画面が表示されます。

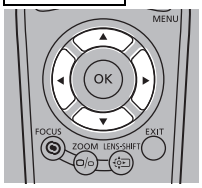
本体　２回押す



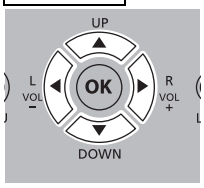


2 **方向ボタンで画面周辺のピントを合わせます。**

リモコン



本体



【▲】【▶】【▼】【◀】ボタンで、周辺のフォーカスを調整します。

周辺フォーカス調整画面でインジケーターを上端、下端付近まで動かすと、投写画面中心付近のピントがぼけることがあります。この場合、以下の①～③を繰り返して投写画面全体のピントを調整してください。

① ［フォーカス調整］（P36）で投写画面中心のピントを合わせる。
② ［周辺フォーカス調整］で投写画面周辺のピントを合わせる。
③ 投写画面中心のピントを確認する。

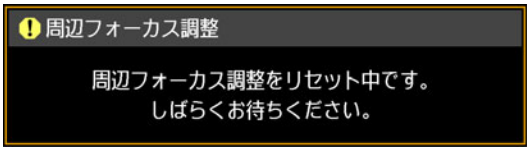
レンズシフト調整機能を使用している場合、使用していない場合に比べ光軸が投写画面中心からずれた位置になりますが、①～③を繰り返すことで調整することができます。

3 **ピントが合ったら【OK】ボタン、または【FOCUS】ボタンを押します。**

■ 調整をリセットする

周辺フォーカス調整の設定値をリセット（レンズの周辺フォーカスを標準位置に戻す）します。

調整をリセットするには、［設置設定］メニューから、［プロフェッショナル設定］、［周辺フォーカス］、［リセット］の順に選びます。

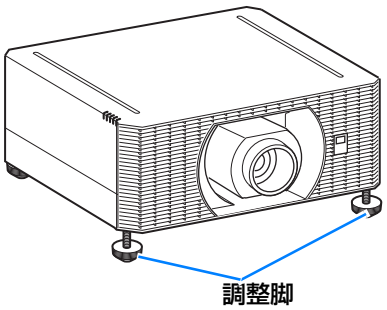


上記の画面が消えた後に［周辺フォーカス］の設定値がリセットされ、レンズの周辺フォーカスが標準位置に戻ります。リセットは［切］、［入］にかかわらず実行することができます。

［周辺フォーカス］を［切］にしただけでは、周辺フォーカスの設定値はリセットされません。周辺フォーカス調整値を維持したまま、操作を禁止したい場合は［切］を使用してください。

調整脚で投写位置を調整する

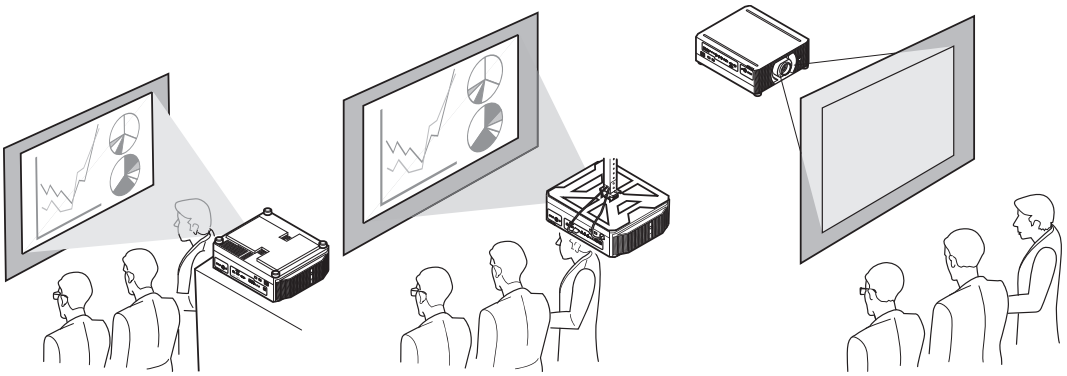
調整脚を使うと最大-1.8° ～＋1.8° の調整が可能です。



■ 高い位置で投写したり天吊り、スクリーン裏側から投写するときは

本機を高い棚などの上において投写する方法があります。また、天井から逆さに吊り下げ（天吊り）て投写したり、透過型スクリーンを使用してスクリーン裏側から投写（リア投写）することもできます。

メニューの［反転表示］（P135）で設置方法に合った投写方法を設定します。



1 **リモコンまたは本体の【MENU】ボタンを押し、[設置設定] > [反転表示] を選びます。**

2 **設置向きを選びます。**

選択	機能
なし	反転表示を行わずに通常の投写をするときに選びます。
天吊り	天井から吊り下げ、逆さに設置するときに選びます。 上下左右が反転します。
リア	スクリーンの裏から投写するときに選びます。 左右が反転します。
リア・天吊り	天井から逆さに吊り下げ、リア投写するときに選びます。 上下が反転します。

警告 **本機を高いところに置いて使用する場合は、必ず水平で安定した場所に設置してください。本機が落下して事故やけがの原因になります。**

吊り下げで使用するときには、オプションの天吊り金具（品番：RS-CL15）と天吊りアーム（品番：RS-CL17）が必要です。さらに、設置環境に合わせて、延長パイプ（品番：RS-CL08、またはRS-CL09）が必要になる場合があります。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

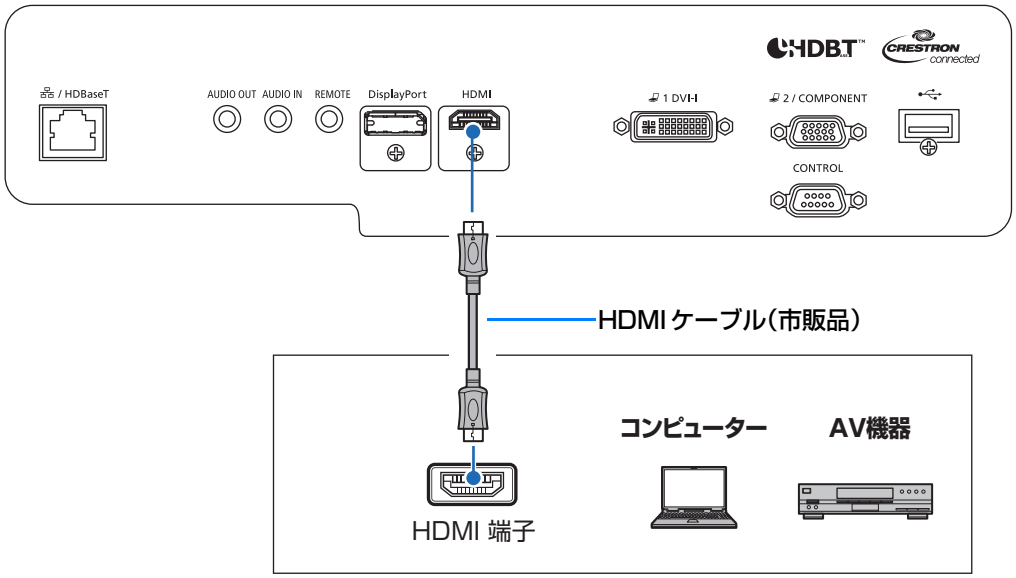
注 意

- **必ず専用の天吊り金具を使用してください。**
- **お客様による天吊り金具の設置は絶対におやめください。**

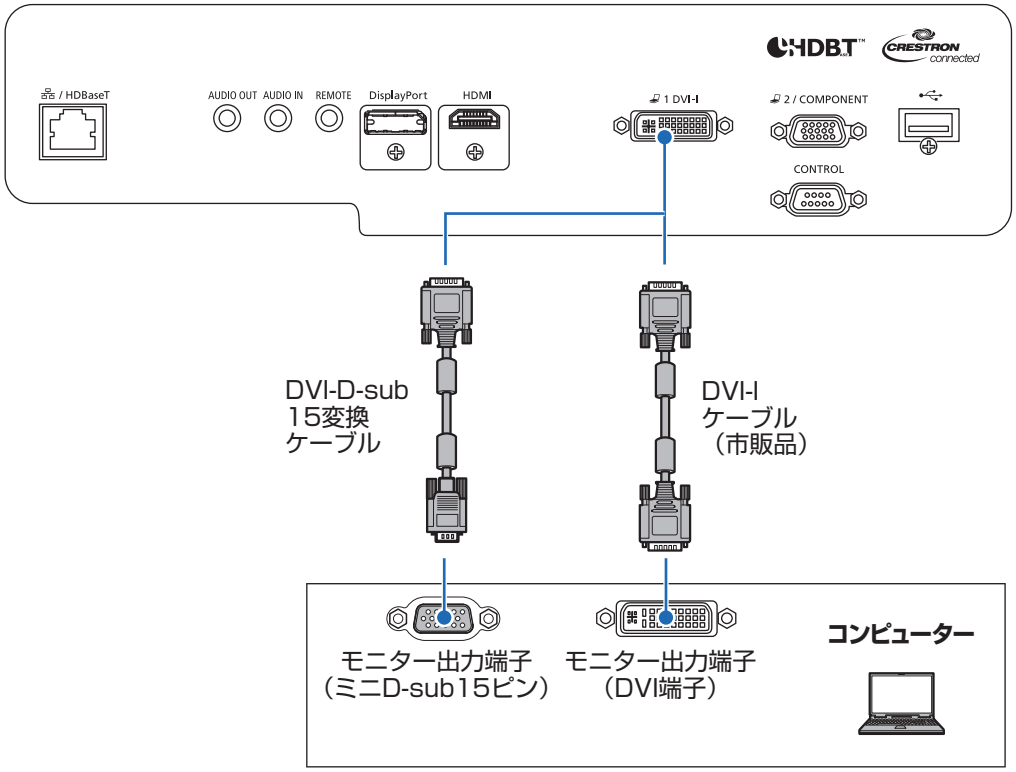
機器を接続する

注 意 **プロジェクターと接続機器の電源を切ってから接続してください。**

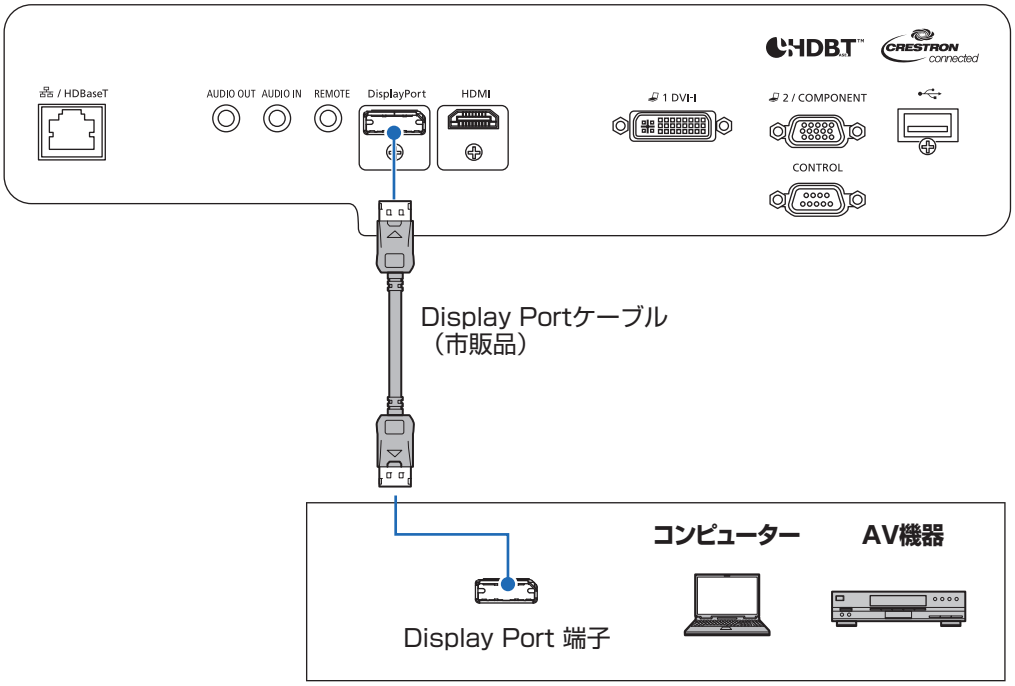
■ HDMI 入力端子と接続



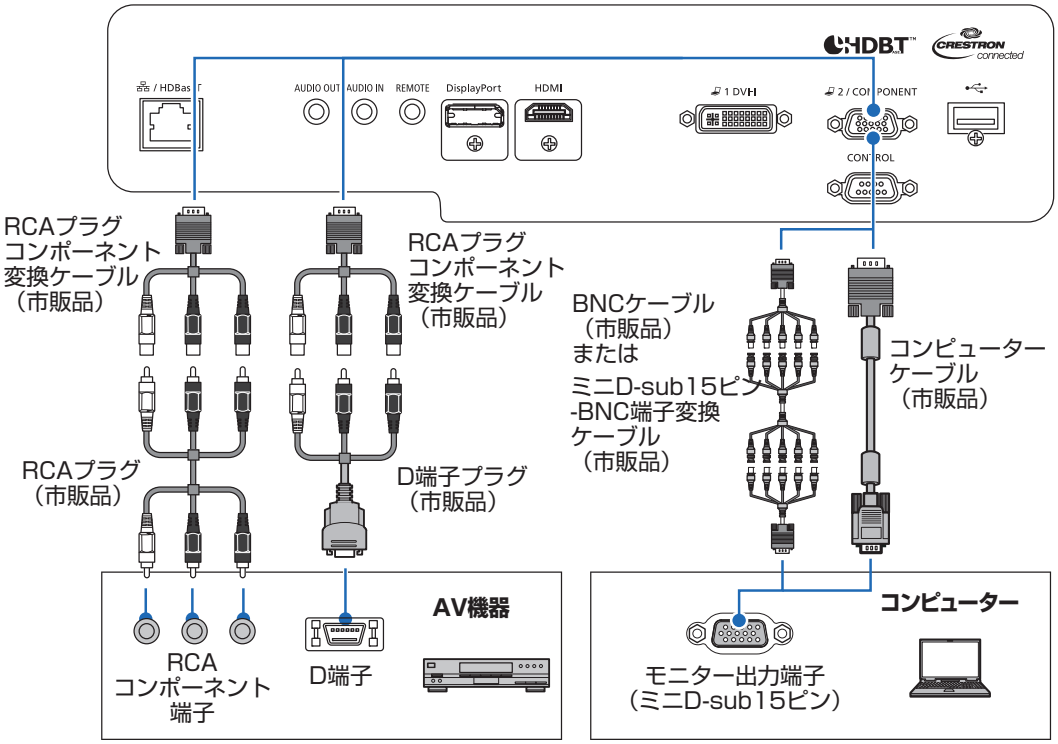
■ DVI 入力端子と接続



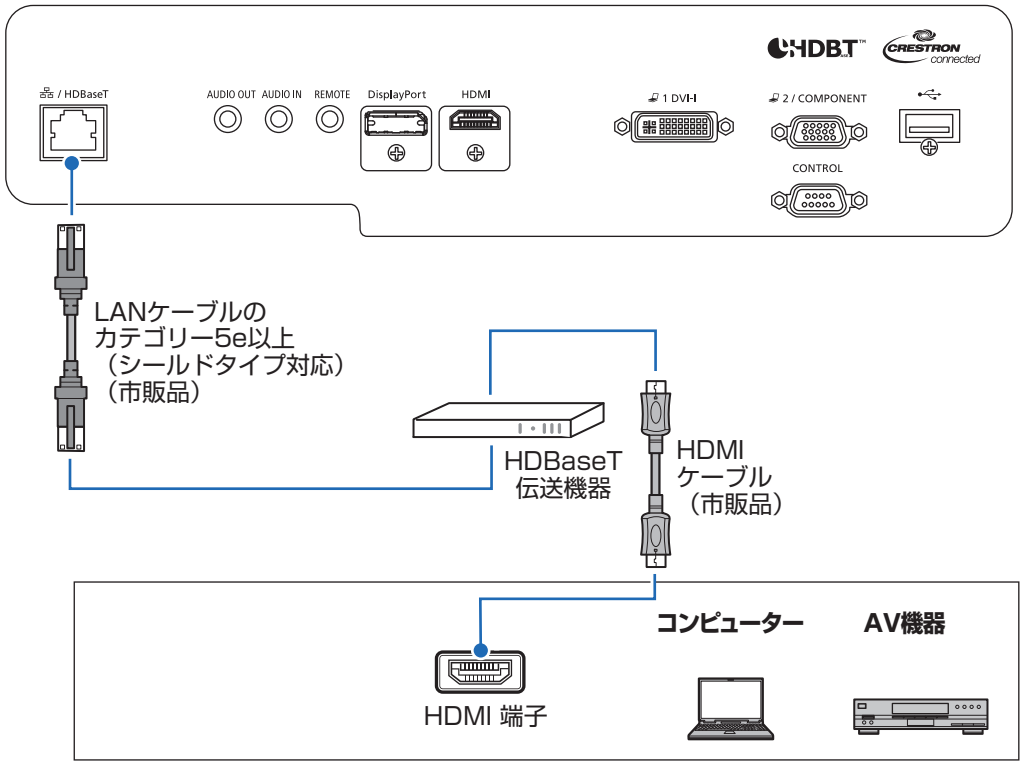
■ DisplayPort 端子と接続



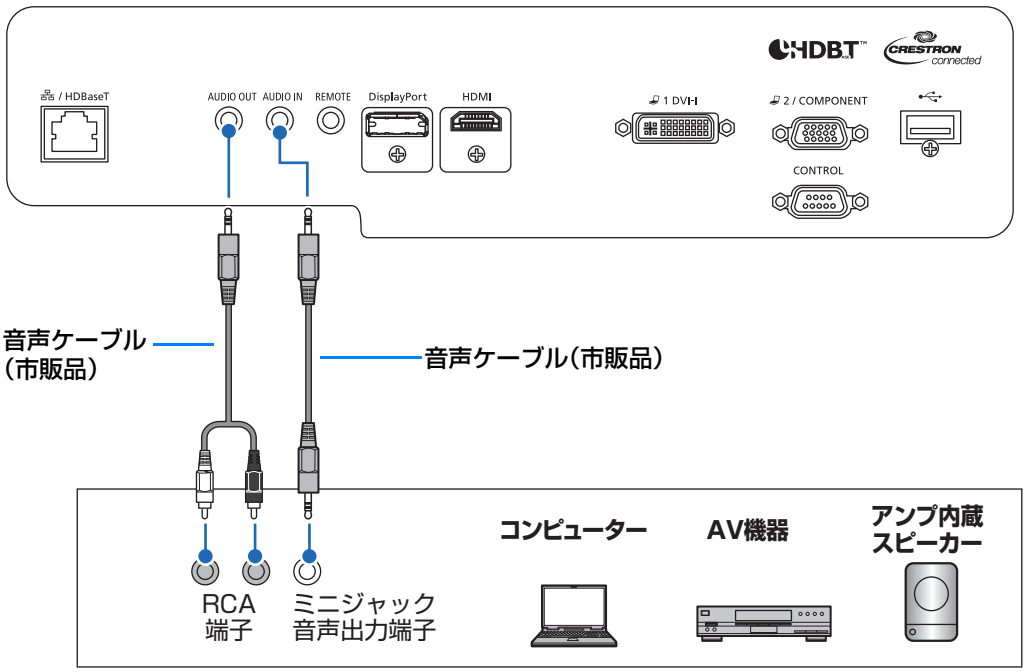
■ アナログ PC-2 / コンポーネント入力端子と接続



■ LAN / HDBaseT 端子と接続

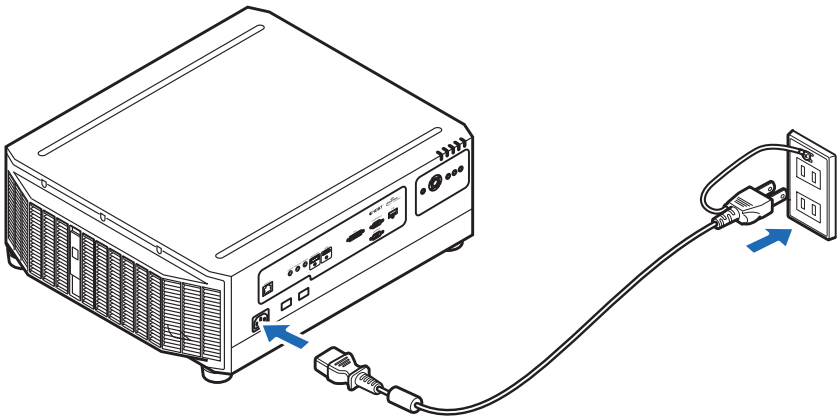


■ 音声入出力端子と接続



■ 電源コードを接続する

プロジェクターに電源コードを接続します。



警告

- **電源コードのアース線を必ずアースに接続してください。**
- **アース線の接続は、必ず電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。また アース線を外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。**
- **電源プラグやコネクターは根元まで確実に差し込んでください。**

- 長期間ご使用にならないときは電源プラグを抜いてください。
- 電源プラグを長期間抜いた状態が続くと、［日付・時刻設定］がリセットされる場合があります。（P159）

ネットワークに接続する

■ ネットワーク接続の概要

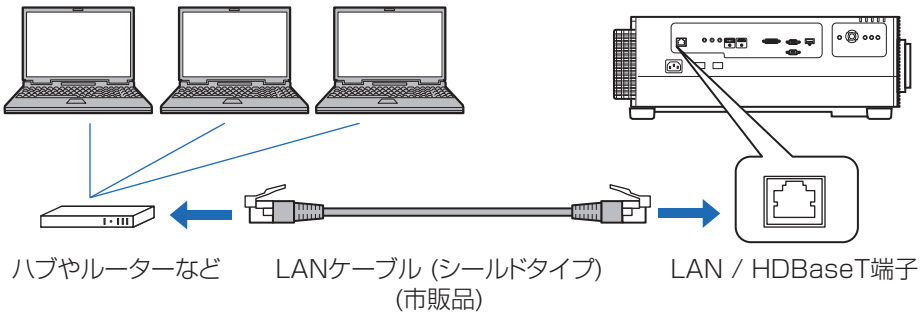
本機（プロジェクター）をネットワークに接続することで、プロジェクターのエラー通知メールをコンピューターで受信したり、コンピューターからプロジェクターを制御したりすることができます。
ネットワークへの接続方法により、コンピューター側で準備が必要になる場合があります。

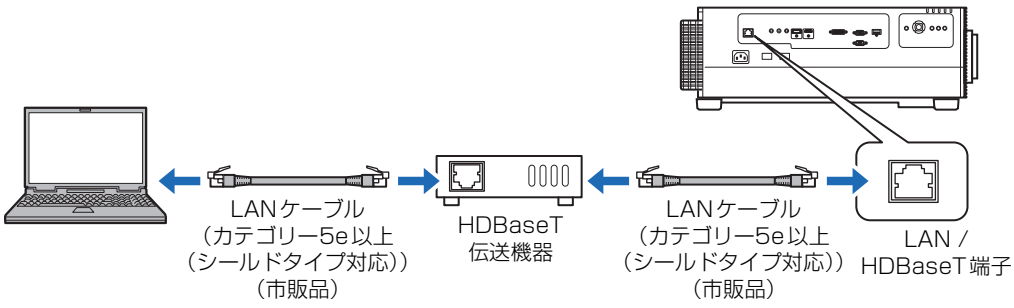
■ 接続方法について

有線LANと無線LANで接続することができます。

有線 LAN

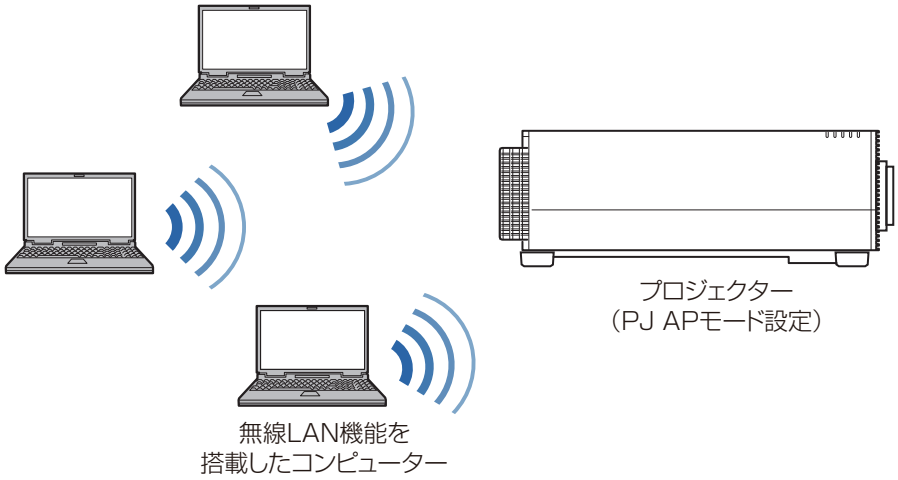
プロジェクターとコンピューターを、LANケーブルを介してネットワーク環境に接続します。プロジェクターのLAN / HDBaseT端子にLANケーブルを接続して通信します。





無線LAN

- **PJ AP（プロジェクターアクセスポイント）モード**
  プロジェクターをアクセスポイントとして動作させ、無線LAN機能を有するコンピューターとダイレクトで通信することができます。
  同時に最大５台までの機器が接続できます。

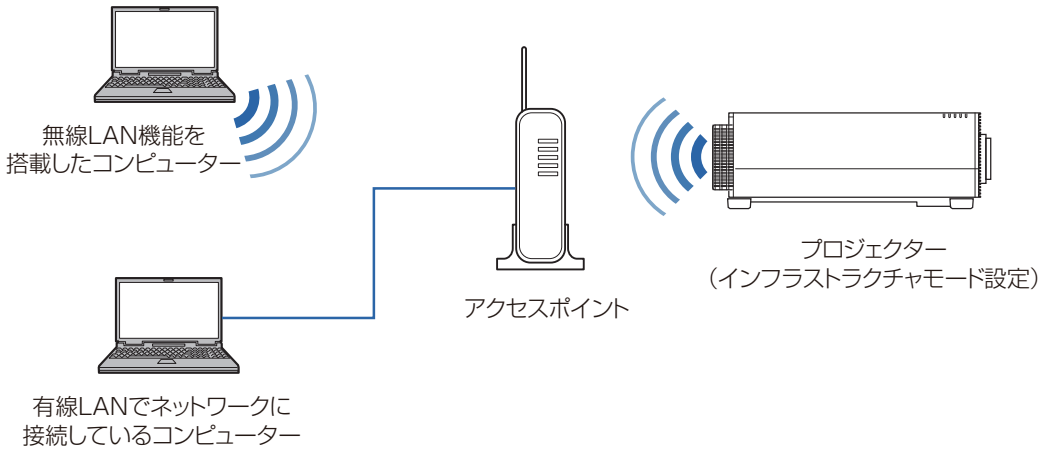


PJ AP モードで使用できるネットワーク機能は、以下の項目です。

- Web 機能
- NMPJ 機能（ネットワーク画面転送）
- ユーザーコマンド機能
- SNMP 機能

上記以外のネットワーク機能（PJLink、Mail、AMX Device Discovery、Crestron RoomView）は使用できません。

- **インフラストラクチャモード**
  プロジェクターを無線 LAN クライアントとして動作させ、無線 LAN アクセスポイントに接続することができます。
  コンピューターとプロジェクターは、無線LANアクセスポイントを介して通信します。



ネットワークの接続について

- インフラストラクチャモードで使用できるネットワーク機能は、以下の項目です。
  - Web機能
  - Mail機能
  - NMPJ機能（ネットワーク画面転送）
  - ユーザーコマンド機能
  - SNMP機能

  上記以外のネットワーク機能（PJLink、AMX Device Discovery、Crestron RoomView）は使用できません。

- インフラストラクチャモードを使用する場合、以下の制約があります
  - アクセスポイントのSSIDにASCIIコード（半角英数字、半角記号）以外の文字を使用されている場合、検索結果が文字化けして表示される可能性があります。
  - アクセスポイントのSSIDにASCIIコード（半角英数字、半角記号）以外の文字が使用されている場合、接続の保証はできません。

  同じSSIDを使用しているアクセスポイントが複数あった場合、信号強度の強いアクセスポイントだけが検索結果に表示されます。

- プロジェクターの［ネットワーク（有線/無線）］の設定が［切/切］（ネットワーク接続が無効）になっている場合は、使用する有線 LAN または無線 LAN を［入］に変更してください。（P168）無線LANは、接続するモードを選んでください。

- LAN / HDBaseT端子の通信速度は100Mbps（上限値）です。

- 「インフォメーション」（P182）を参照して、プロジェクターのIPアドレスが、ネットワーク上にある他のコンピューターなどと重複していないことを確認してください。プロジェクターの IP アドレスを設定する場合は、「有線 LAN 基本情報の設定［Wired］」（P189）または、「無線 LAN 基本情報の設定［Wireless］」（P191）の手順に従ってWeb 画面で行うか、プロジェクターの「詳細設定（有線）」（P169）、「詳細設定（無線）」（P174）を使用して行います。

- 接続するネットワーク環境でDHCPサーバーが稼動している場合は、プロジェクターの［DHCP］画面で［入］を選択し、DHCP 機能（P169、P176）を有効にして接続することができます。

- 有線 LAN とインフラストラクチャモードは同時に使用できません。
- PJ AP モードとインフラストラクチャモードは同時に使用できません。
- 有線 LAN と PJ AP モードは同一のサブネットワーク内では使用できません。
- 新しくネットワークにコンピューターを接続する場合は、コンピューターの設定も行う必要があります。この場合は、ネットワークの管理者にお問い合わせください。

■ コンピューターのネットワーク設定をする

コンピューターのIPアドレス（有線または無線）を設定する方法をOS ごとに説明します。

Windows 10 の場合

1 **画面左下のスタートボタン（Windows ロゴ）をクリックします。**

2 **表示されるスタートメニューのプログラム［Windows システムツール］から［コントロールパネル］をクリックします。**

- Windows 10 のバージョンによっては、［Windows システムツール］は［すべてのアプリ］をクリック後に表示されます。

3 **［ネットワークの状態とタスクの表示］をクリックします。**

- アイコン表示の場合
  ［ネットワークと共有センター］をクリックします。

4 **［アダプターの設定の変更］をクリックします。**

5 **有線LANの場合は［イーサネット］、無線LANの場合は［Wi-Fi］を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。**

6 **「この接続は次の項目を使用します」の一覧から［インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4)］を選んで［プロパティ］ボタンをクリックし、変更する前のネットワーク設定（IP アドレスやサブネットマスク、デフォルトゲートウェイなど）をメモしておきます。**

7 **［次のIP アドレスを使う］を選択し、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。**
プロジェクターの工場出荷時の IP アドレス（有線）は「192.168.254.254」、IP アドレス（無線）は「192.168.253.254」なので、これと重複しないよう設定してください。

8 **設定が終わったら［OK］ボタンをクリックし、［イーサネットのプロパティ］画面の［閉じる］ボタンをクリックして閉じます。**

Windows 8.1 の場合

1 **スタート画面左下の下向き矢印をクリックします。**

2 **［コントロールパネル］をクリックします。**

- デスクトップ画面から操作する場合
  キーボードの［Windows ロゴ］キー と［X］キーを同時に押します。
  画面左下に表示されるショートカットメニューから［コントロールパネル］をクリックします。

3 **［ネットワークの状態とタスクの表示］をクリックします。**
- アイコン表示の場合
  ［ネットワークと共有センター］をクリックします。

4 **［アダプターの設定の変更］をクリックします。**

5 **有線 LAN の場合は［イーサネット］、無線 LAN の場合は［Wi-Fi］を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。**

6 **［インターネット プロトコル バージョン 4（TCP/IPv4）］を選んで［プロパティ］ボタンをクリックし、変更する前のネットワーク設定（IP アドレスやサブネットマスク、デフォルトゲートウェイなど）をメモしておきます。**

7 **［次の IP アドレスを使う］を選択し、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。**
プロジェクターの工場出荷時の IP アドレス（有線）は「192.168.254.254」、IP アドレス（無線）は「192.168.253.254」なので、これと重複しないよう設定してください。

8 **設定が終わったら［OK］ボタンをクリックし、［ローカルエリア接続］のプロパティ画面の［閉じる］ボタンをクリックして閉じます。**

Windows 7の場合

1 **コンピューターの［スタート］メニューで［コントロールパネル］を開きます。**

2 **［ネットワークとインターネット］をクリックし、［ネットワークの状態とタスクの表示］をクリックします。**

3 **ウィンドウの左側のメニューにある［アダプターの設定の変更］をクリックします。**

4 **有線LANの場合は［ローカルエリア接続］、無線LANの場合は［ワイヤレスネットワーク接続］を右クリックして［プロパティ］を開きます。**

5 **［インターネット プロトコル バージョン 4（TCP/IPv4）］を選んで［プロパティ］ボタンをクリックし、変更する前のネットワーク設定（IP アドレスやサブネットマスク、デフォルトゲートウェイなど）をメモしておきます。**

6 **［次のIP アドレスを使う］を選択し、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。**
プロジェクターの工場出荷時の IP アドレス（有線）は「192.168.254.254」、IP アドレス（無線）は「192.168.253.254」なので、これと重複しないよう設定してください。

7 **設定が終わったら［OK］ボタンをクリックし、［ローカルエリア接続］のプロパティ画面の［閉じる］ボタンをクリックして閉じます。**

Mac OS X の場合

1 アップルメニューを開き、[システム環境設定] を選びます。

2 システム環境設定ウィンドウの [ネットワーク] をクリックし、ネットワーク画面を表示します。

3 有線LANの場合は [内蔵Ethernet]、無線LANの場合は [Wi-Fi] を選び、[詳細] を選択します。

4 [TCP/IP] タブをクリックして、表示される変更前のネットワーク設定（IPアドレスやサブネットマスク、ルーター、DNSサーバーなど）をメモします。

5 新しいネットワーク環境を作成し、IPアドレスとサブネットマスクを設定します。
プロジェクターの工場出荷時の IP アドレス（有線）は「192.168.254.254」、IP アドレス（無線）は「192.168.253.254」なので、これと重複しないよう設定してください。

6 [OK] をクリックし、[適用] を選択してネットワーク画面を閉じます。

コンピューターのIPアドレスの設定を戻すとき

変更時と同じ手順で、メモしておいた内容に従って変更前の値を設定してください。

■ ネットワークを設定する

ネットワーク設定画面の表示

1 コンピューターとプロジェクターの電源を入れます。

プロジェクターの電源プラグをコンセントにさし、通電してから約 40 秒間はネットワーク機能が使えません。

2 Webブラウザを起動し、アドレスに「http://（プロジェクターのIPアドレス）」を入力して [Enter] キーを押します。
プロジェクターの Web 画面が表示されます。



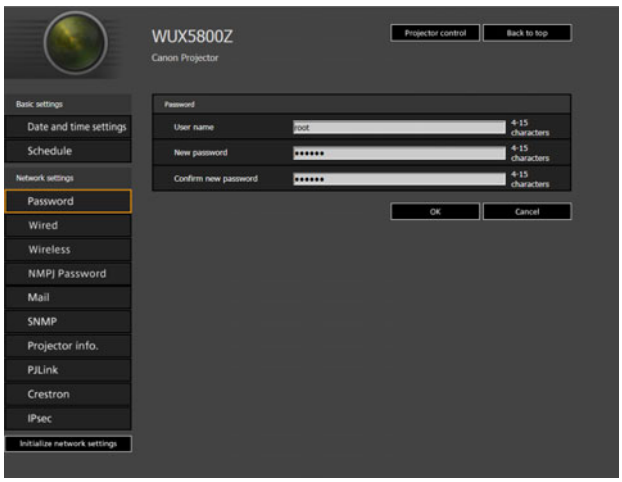
表示される情報は次の通りです。

Projector control	プロジェクターコントロール画面を表示します。
Settings	セッティング画面を表示します。
Projector name	ネットワーク上でのプロジェクター名
Comment	プロジェクターの設置場所などのコメント
MAC address (Wired)	有線 LAN の MAC アドレス
IP address (Wired)	有線 LAN（IPv4）の IP アドレス
MAC address (Wireless)	無線 LAN の MAC アドレス
IP address (Wireless)	無線 LAN（IPv4）の IP アドレス
Power status	プロジェクターの電源の状態
Filter time	エアフィルターの使用時間
Alert	エラーメッセージ（エラーが発生した場合） Temperature abnormality：温度エラー Light source abnormality：光源エラー Faulty air filter unit：エアフィルターエラー Faulty cooling fan：ファンエラー Faulty power supply：電源エラー Faulty lens：レンズエラー

工場出荷時の有線 LAN（IPv4）の IP アドレスは「192.168.254.254」、無線 LAN（IPv4）の IP アドレスは「192.168.253.254」です。DHCP 設定の場合はネットワーク管理者にプロジェクターの IP アドレスをお問い合わせください。プロジェクターのメニューから、IP アドレスを確認することができます。（P169）

3 **Web 画面の［Settings］をクリックします。**
パスワードの入力画面が表示されます。

4 **パスワード入力画面にユーザー名とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。**
工場出荷時のユーザー名は「root」、パスワードは「system」です。
セッティング画面が表示されます。この画面でネットワークの設定を行います。

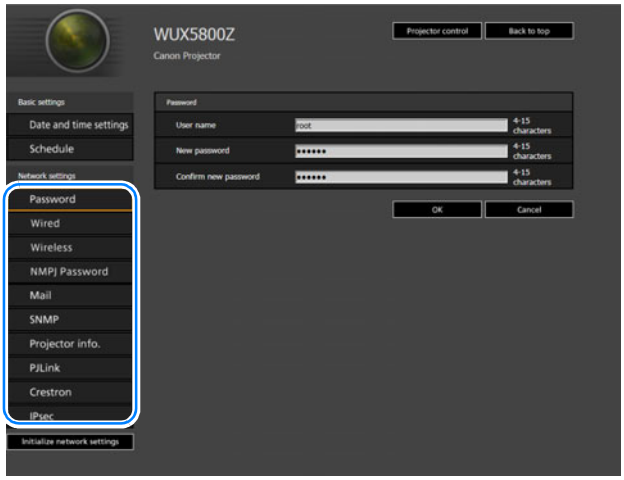


プロジェクターの Web 画面について詳しくは、「プロジェクターの Web 画面メニューの説明」（P183）をご覧ください。

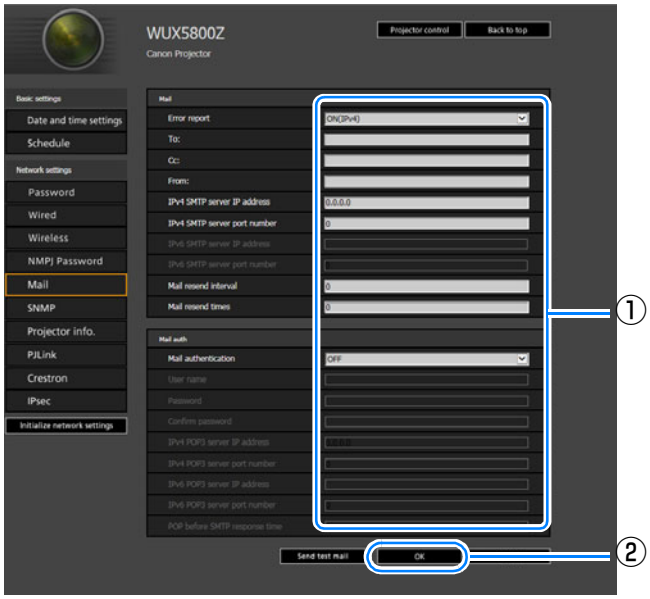
コンピューターからプロジェクターを制御する場合は［Projector control］をクリックします。（P82）

ネットワークの設定

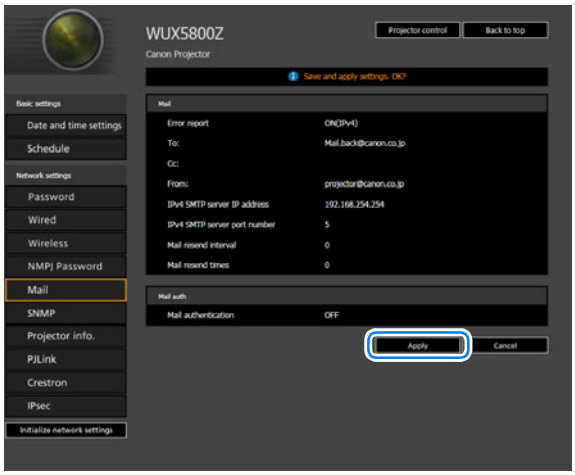
1 **セッティング画面のメニューから、設定したい機能を選択します。**



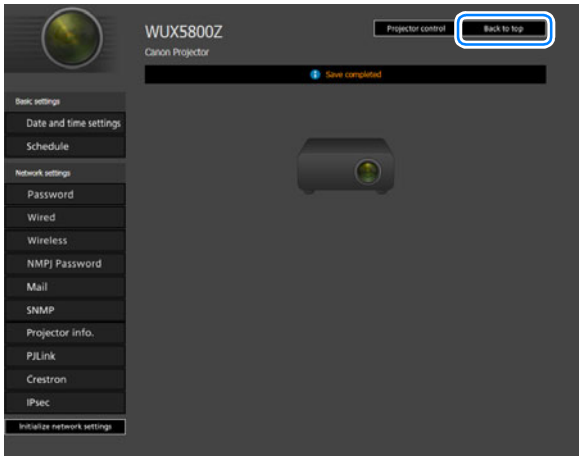
2 表示された各欄に設定内容を入力し（①）、[OK] をクリックします（②）。



3 確認画面が表示されるので内容を確認し、問題がなければ [Apply] をクリックします。

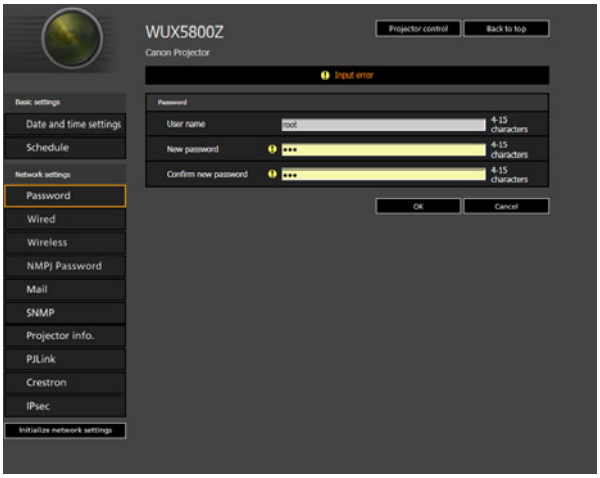


設定内容がプロジェクターに反映されます。
メニューで「Wired」や「Wireless」、[Password] を選択していた場合、「Save completed. Please change setting and reconnect.」と表示されます。
それ以外の機能を選択している場合は、「Save completed」と表示されます。[Back to top] をクリックし、Web 画面のトップ画面に戻ります。



設定時のエラーについて

設定に関してエラーが発生した場合は、画面にエラー名が表示され、エラーの原因になっている入力欄に「!」マークが表示されます。



エラーの意味は以下の通りです。

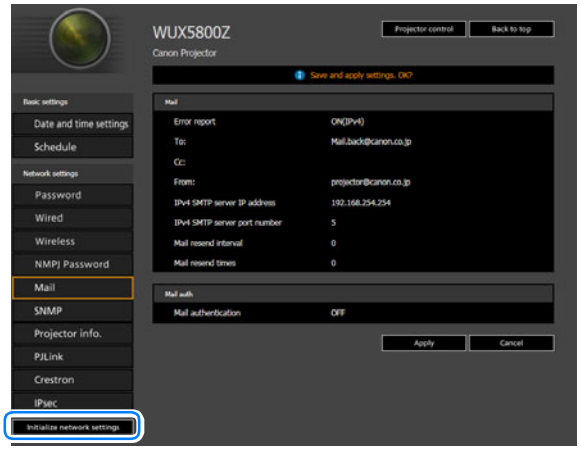
エラー	意味
Input error	各設定画面で有効範囲外の設定がされた。
Password setting error	設定したパスワードと確認パスワードが一致しない。
Invalid SMTP	SMTP サーバーの IP アドレスが設定されていない。
System failed to connect SMTP server.	テストメール送信時に SMTP サーバーとの接続に失敗した。
System failed to connect POP3 server.	テストメール送信時に POP3 サーバーとの接続に失敗した。
System doesn't support this auth type.	サーバー側でサポートしていない認証タイプを設定した。
System failed to authenticate.	テストメール送信時に認証が失敗した。

エラー	意味
The system failed to send the test mail.	SMTP サーバーとの接続または通常発生しないエラーによりテストメール送信が失敗した。
Wired network is down	有線 LAN のネットワーク機能が無効に設定されている。
At the time of Monday, it is already set.*	指定した曜日と時間に既にスケジュールが設定されているため、スケジュールの設定に失敗した。 * 曜日によりメッセージが異なります。
Cannot make network settings because IPsec setting is ON.	IPsec が "ON" に設定されているため、ネットワークの設定ができない。
Cannot make IPsec settings because DHCP setting is ON.	DHCP が "ON" に設定されているため、IPsec を設定できない。

ネットワークの設定を工場出荷時の設定に戻す

1 「ネットワークを設定する」（P73）の手順１～３を行い、セッティング画面を表示します。

2 [Initialize network settings] をクリックします。



3 確認画面が表示されるので、[OK] をクリックします。

■ エラー通知メール

プロジェクターにエラーが発生したときは、次のエラー表のメッセージが英文で送信されます。

エラー表

温度に関するエラー	件名	Temperature abnormality
	本文	The temperature inside the projector is too high for some reason or the outside air temperature is higher than the operating range. If the problem is inside the projector, check whether the projector is installed and operating normally, unplug the projector from the power outlet to cool down the projector interior and then restart projection. If the air intake or exhaust vent is blocked, remove the obstacle. If the air filter is clogged, replace it. If the same warning occurs again, there may be a malfunction in the projector. Contact the Canon Customer Support Center.
	内容	本体内部の温度が何らかの異常で高温になっているか、外気温度が規定以上になっています。本体側の異常の場合は、設置や操作が正しく行われているか確認し、電源プラグをコンセントから抜き、本体の内部をしばらく冷やしてから投写してください。吸気口または排気口がふさがれているときは、ふさいでいるものを取り除いてください。エアフィルターが目詰まりしている場合は、交換を行ってください。再度、同じワーニングが表示される場合は、本体の故障が考えられます。キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
光源に関するエラー	件名	Light source abnormality
	本文	The light source does not illuminate. Restart the projector and check projection. If the light source does not illuminate after this, the light source drive circuit may be damaged. Contact the Canon Customer Support Center.
	内容	光源が点灯しません。電源を入れ直して、投写されるか確認してください。それでも光源が点灯しない場合は、光源の駆動回路などの故障が考えられます。キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

エアフィルターに関するエラー	件名	Faulty air filter unit
	本文	The air filter is not installed correctly. Install the air filter correctly and restart the projector. If the same warning occurs again, there may be a malfunction in the projector. Contact the Canon Customer Support Center.
	内容	エアフィルターの装着異常です。エアフィルターを正しく装着し、電源を入れ直してください。再度、同じワーニングが表示される場合は、本体の故障が考えられます。キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
ファンに関するエラー	件名	Faulty cooling fan
	本文	There may be a malfunction in the cooling fan or another component. Unplug the projector from the power outlet, then plug it back into the outlet and turn on the projector again. If the same warning occurs again, there may be a malfunction in the projector. Contact the Canon Customer Support Center.
	内容	冷却ファンまたはその他の故障が考えられます。電源プラグをコンセントから抜き、再度コンセントに接続して電源を入れ直してください。再度、同じワーニングが表示される場合は、本体の故障が考えられます。キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
電源に関するエラー	件名	Faulty power supply
	本文	Abnormal voltage is applied to some parts in the power supply or another failure may have occurred. Unplug the projector from the power outlet, then plug it back into the outlet and turn on the projector again. If the same warning occurs again, there may be a malfunction in the projector. Unplug the projector from the power outlet. Contact the Canon Customer Support Center.
	内容	電源の一部が異常な電圧になっているか、その他の故障が考えられます。電源プラグをコンセントから抜き、再度コンセントに接続して電源を入れ直してください。再度、同じワーニングが表示される場合は、本体の故障が考えられます。電源プラグをコンセントから抜いてください。キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

レンズに関するエラー	件名	Faulty lens
	本文	The lens unit is not installed correctly. Unplug the projector, install the lens unit correctly, and then plug the projector in again. If the same warning occurs again, there may be a malfunction in the projector. Contact the Canon Customer Support Center.
	内容	レンズユニットが正しく装着されていません。電源プラグをコンセントから抜き、レンズユニットを正しく装着してから電源プラグをコンセントに接続してください。再度、同じワーニングが表示される場合は、本体の故障が考えられます。キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

コンピューターからプロジェクターを制御する

本機を有線 LAN または無線 LAN に接続することで、ネットワーク経由でコンピューターから本機の制御が行えます。

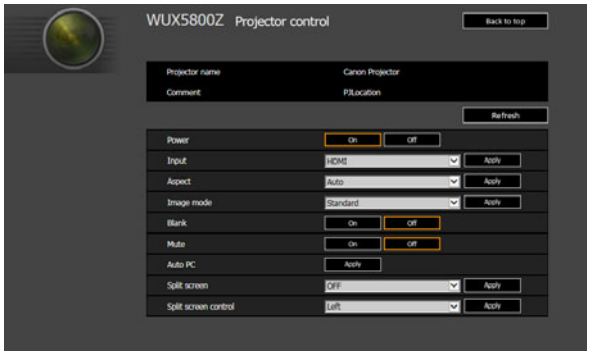
1 **コンピューターとプロジェクターの電源を入れます。**

2 **Web ブラウザを起動し、アドレスに「http://（プロジェクターの IP アドレス）」を入力して［Enter］キーを押します。**
プロジェクターの Web 画面が表示されます。

工場出荷時の IP アドレス（有線）は「192.168.254.254」、IP アドレス（無線）は「192.168.253.254」です。DHCP 設定の場合はネットワーク管理者にプロジェクターの IP アドレスをお問い合わせください。プロジェクターのメニューから、IP アドレスを確認することができます。（P169）

3 **Web 画面の［Projector control］をクリックします。**
パスワードの入力画面が表示されます。

4 **パスワード入力画面にユーザー名とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。**
工場出荷時のユーザー名は「root」、パスワード「system」です。
プロジェクターコントロール画面が表示されます。



この画面でプロジェクターの制御を行います。

項目	説明
Projector name	接続しているプロジェクター名が表示されます。(P197)
Comment	プロジェクターの設置場所などのコメントを表示します。(P197)
Refresh	表示内容を最新の情報に更新します。
Power	プロジェクターの電源をオン / オフします。
Input	入力信号を選択し、[Apply] をクリックすると、入力信号が切り換わります。(P35)
Aspect	アスペクトを選択し、[Apply] をクリックすると、アスペクトが切り換わります。(P87)
Image mode	イメージモードを選択し、[Apply] をクリックすると、イメージモードが切り換わります。(P37)
Blank	ブランク設定のオン / オフを切り換えます。(P40)
Mute	ミュート設定のオン / オフを切り換えます。(P42)
Auto PC	[Apply] をクリックすると、オート PC が実行されます。(P114)
Split screen	二画面機能の設定を選び、[Apply] をクリックすると、二画面表示のオン / オフを切り換えます。
Split screen control	二画面の操作権設定を選び、[Apply] をクリックすると、操作の対象が切り換わります。
Information	画面上部に制御結果や制御エラーの情報が表示されます。

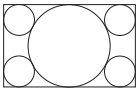
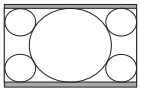
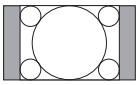
5 **作業が終わったら、[Back to top] をクリックし、Web 画面のトップ画面に戻ります。**



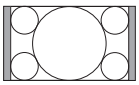
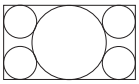
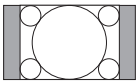
スクリーンのサイズに合わせて投写する

スクリーンのサイズを最大に活かした投写を行うため、スクリーンの縦横比、入力信号の種類などに合わせて、最適なスクリーンアスペクトとアスペクトを選ぶ必要があります。次の表を参照してスクリーンアスペクトとアスペクトを設定してください。

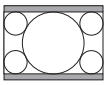
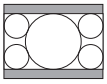
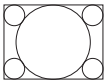
16：10のスクリーンに映像本来のアスペクト比で投写したい場合

映像本来のアスペクト比	スクリーンアスペクトの設定 （P86）	アスペクトの設定（P87）	画面のイメージ
（16：10） 1920×1200 1440×900 1280×800	［16：10］	［16：10］ ［オート］	
（16：9） 1920×1080 1280×720		［16：9］ ［オート］	
（4：3） 1600×1200 1400×1050 640×480		［4：3］ ［オート］	

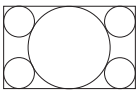
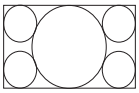
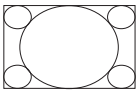
16：9のスクリーンに映像本来のアスペクト比で投写したい場合

映像本来のアスペクト比	スクリーンアスペクトの設定 （P86）	アスペクトの設定（P87）	画面のイメージ
（16：10） 1920×1200 1440×900 1280×800	［16：9］ ［16：9 Dイメージシフト］	［オート］	
（16：9） 1920×1080 1280×720		［16：9］ ［オート］	
（4：3） 1600×1200 1400×1050 640×480		［4：3］ ［オート］	

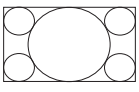
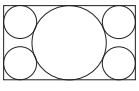
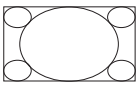
4：3のスクリーンに映像本来のアスペクト比で投写したい場合

映像本来のアスペクト比	スクリーンアスペクトの設定 （P86）	アスペクトの設定（P87）	画面のイメージ
（16：10） 1920×1200 1440×900 1280×800	［4：3］ ［4：3 D イメージシフト］	［16：10］ ［オート］	
（16：9） 1920×1080 1280×720		［16：9］ ［オート］	
（4：3） 1600×1200 1400×1050 640×480		［4：3］ ［オート］	

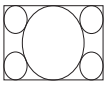
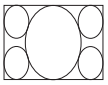
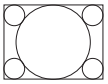
16：10のスクリーンに全面を使って投写したい場合

映像本来のアスペクト比	スクリーンアスペクトの設定 （P86）	アスペクトの設定（P87）	画面のイメージ
（16：10） 1920×1200 1440×900 1280×800	［16：10］	［16：10］ ［オート］	
（16：9） 1920×1080 1280×720		［16：10］	
（4：3） 1600×1200 1400×1050 640×480		［16：10］	

16：9のスクリーンに全面を使って投写したい場合

映像本来のアスペクト比	スクリーンアスペクトの設定 （P86）	アスペクトの設定（P87）	画面のイメージ
（16：10） 1920×1200 1440×900 1280×800	［16：9］ ［16：9 D イメージシフト］	［16：9］	
（16：9） 1920×1080 1280×720		［16：9］ ［オート］	
（4：3） 1600×1200 1400×1050 640×480		［16：9］	

4：3のスクリーンに全面を使って投写したい場合

映像本来のアスペクト比	スクリーンアスペクトの設定	アスペクトの設定（P87）	画面のイメージ
（16：10） 1920×1200 1440×900 1280×800	［4：3］ ［4：3 D イメージシフト］	［4：3］	
（16：9） 1920×1080 1280×720		［4：3］	
（4：3） 1600×1200 1400×1050 640×480		［4：3］ ［オート］	

■ スクリーンアスペクトを選ぶ

使用するスクリーンの縦横比に合わせて選びます。

メニュー画面で［設置設定］＞［スクリーンアスペクト］の順に選びます。



選択	機能
16：10*	スクリーンの縦横比が 16：10 のときに選びます。壁に投写するときも、このスクリーンアスペクトを選んでください。
16：9*	スクリーンの縦横比が 16：9 のときに選びます。
4：3*	スクリーンの縦横比が 4：3 のときに選びます。
16：9 D イメージシフト	スクリーンの縦横比が 16：9 のときに選びます。 このモードは台形ひずみの補正ができませんが、水平に投写したまま、映像を上下方向に移動できます。
4：3 D イメージシフト	スクリーンの縦横比が 4：3 のときに選びます。 このモードは台形ひずみの補正ができませんが、水平に投写したまま、映像を左右方向に移動できます。

* このモードは台形ひずみの補正ができます。

- スクリーンアスペクトを変更すると、キーストーン補正とデジタルイメージシフトはリセットされます。
- スクリーンアスペクトの種類によっては、アスペクトが自動的に［オート］に切り換わることがあります。

■ アスペクトを選ぶ

入力信号の種類、縦横比、解像度に合わせてアスペクトを選びます。
リモコンの【ASPECT】ボタンを押すたびに、アスペクトの種類が切り換わります。*



選択	機能
オート	入力信号の縦横比のまま投写します。一般的な投写のときはこのモードを選んでください。
16：10*	入力信号の縦横比を 16：10 にして投写します。縦横比 16：10 の映像ソフトが［オート］で正しく投写できないときに選んでください。
16：9	入力信号の縦横比を 16：9 にして投写します。縦横比 16：9 の映像ソフトが［オート］で正しく投写できないときに選んでください。
4：3	入力信号の縦横比を 4：3 にして投写します。縦横比 4：3 の映像ソフトが［オート］で正しく投写できないときに選んでください。
ズーム *	スクリーンアスペクトに合わせて画面の上下または左右をカットし、中央部分を拡大して投写します。映像ソフトで上下に黒帯があるときなどに選んでください。
リアル *	入力信号の解像度のまま投写します。最大解像度以下の解像度のコンピューター画面をより鮮明に投写するときに選んでください。

* 入力信号や解像度により選択できない場合があります。選択できないメニューはグレーアウト、または非表示になります。

- LAN、USB の場合は、自動的に［オート］が選択されます。
- スクリーンアスペクトや入力信号の種類により、表示される内容が異なります。
- ［映像設定］＞［アスペクト］で表示されるメニューからも切り換えられます。（P114）
- コンポーネント信号では［16:10］のスクリーンアスペクトは選択できません。

■ アスペクトとスクリーンアスペクトの関係

- 16：9 の映像ソフトが［オート］で正常に投写されない場合は、アスペクトを［16：9］に設定してください。
- 地上波の映画放送などで、16：9 の映像の上下に黒枠があるときは、アスペクトで［ズーム］を選ぶことで、16:9 の領域を 16:9 スクリーンいっぱいに投写することができます。なお［ズーム］は、入力信号や解像度により選択できない場合があります。
- 台形ひずみの補正を行うときは、スクリーンアスペクトを［4:3　D イメージシフト］と［16:9 D イメージシフト］以外に設定してください。

台形ひずみを調整する

台形ひずみ（キーストーン）補正の方法には、縦横キーストーン補正と４点補正の２種類があります。
縦横キーストーン補正では、上下、または左右方向の長さ（ひずみ）を個別に調整し、４点補正では投写画面の４隅の位置をそれぞれ調整します。
リモコンまたは本体の【KEYSTONE】ボタンでキーストーンの補正ができます。

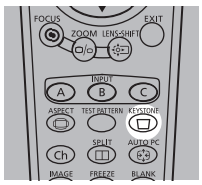
■ 縦横キーストーンで補正する

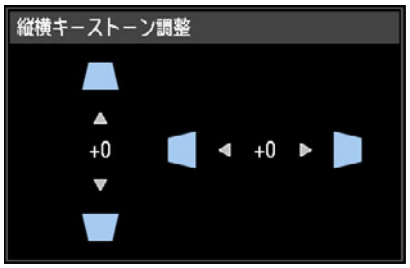
1 **［設置設定］＞［キーストーン］＞［縦横キーストーン］を選びます。**



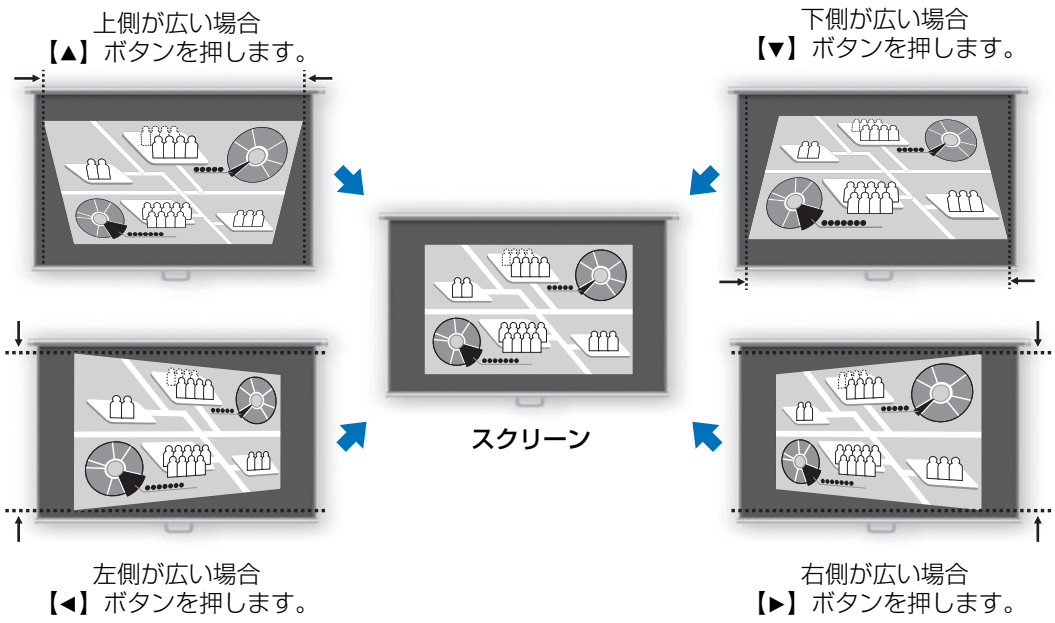
2 **リモコンまたは本体の【KEYSTONE】ボタンを押すと、縦横キーストーン調整画面が表示されます。**

リモコン





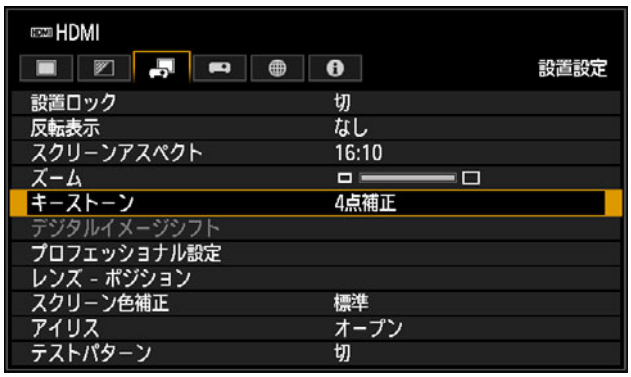
3 方向ボタンで調整し、【OK】ボタンを押します。



- 縦横キーストーンの補正中は、設置設定メニューの［ズーム］（P136）は使えません。
- 縦横キーストーン範囲は使用するレンズ、ズーム位置、シフト位置により異なる場合があります。

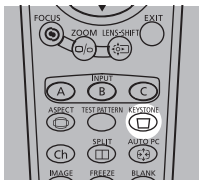
■ 4点補正で補正する

1 ［設置設定］＞［キーストーン］＞［4点補正］を選びます。



2 リモコンまたは本体の【KEYSTONE】ボタンを押すと、4 点補正画面が表示されます。

リモコン





3 方向ボタンで、補正する角を選択し、【OK】ボタンを押します。

リモコン





4 方向ボタンで調整し、【OK】ボタンを押します。

リモコン

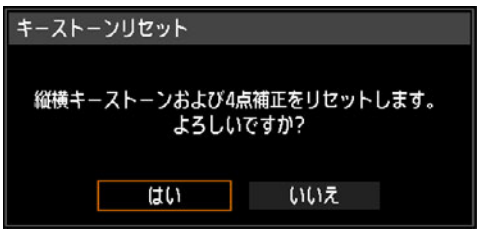




4 点補正をした後に設置設定メニューの［ズーム］(P136) で調整した場合、4 点補正の設定は解除されます。

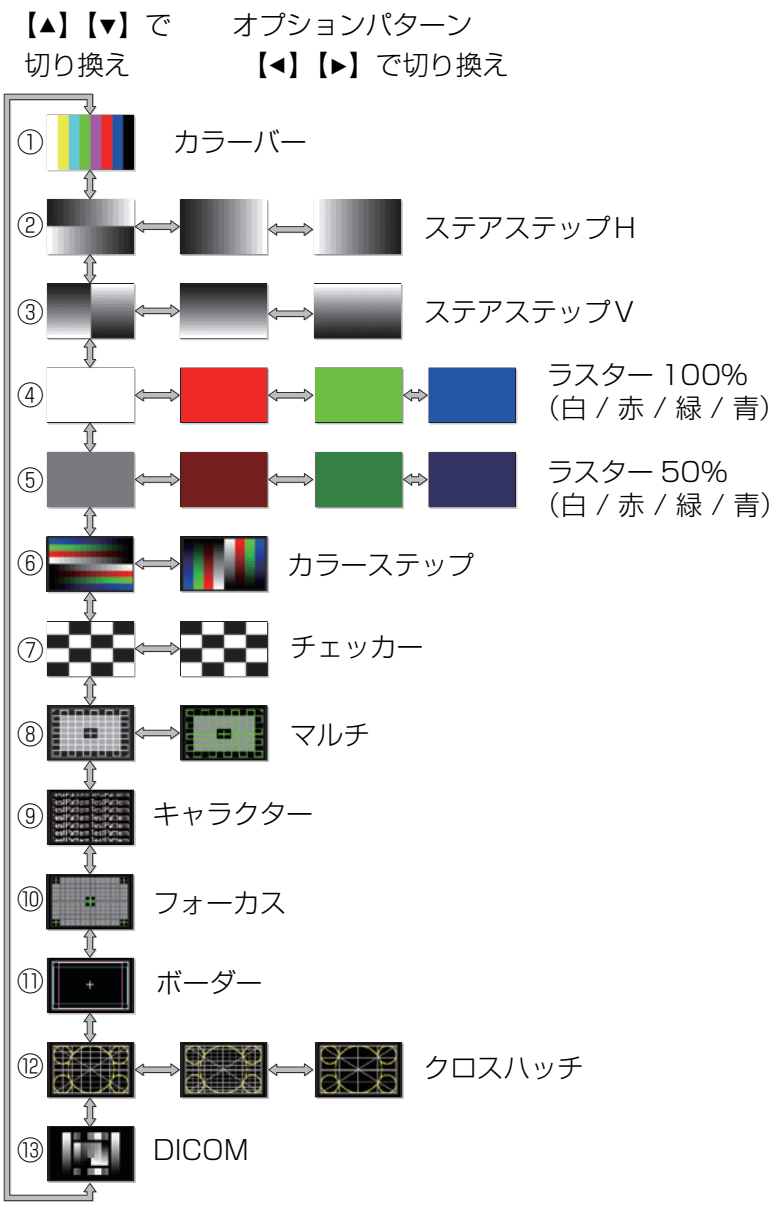
補正をリセットするには

リモコンまたは本体の【KEYSTONE】ボタンを2回押して［キーストーンリセット］画面を表示させ、［◀］ボタンで［はい］を選び、【OK】ボタンを押します。



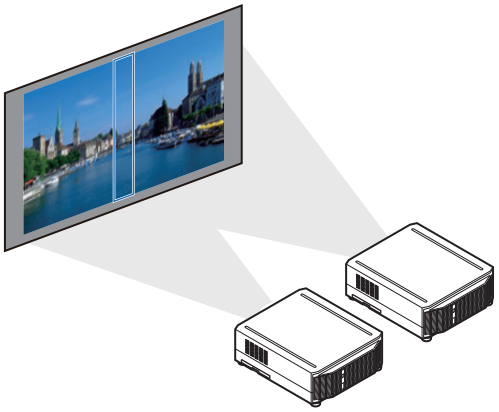
テストパターンを使って調整する

設置時の解像度や色の調整はテストパターンを使って行います。
［設置設定］メニューの［テストパターン］（P145）で［入］を選ぶ、または、リモコンの【TEST PATTERN】ボタンを押すと、テストパターン・ダイレクトメニューが表示されます。
テストパターン・ダイレクトメニューの表示中に【▲】【▼】ボタンを押すと、他のテストパターンに切り換えることができます。また、オプションのパターンがある場合、【◀】【▶】ボタンで切り換えることができます。テストパターンが表示されると、表示中のテストパターン名の略称と操作ガイドのダイアログが表示されます。
投写したテストパターンを見ながら調整してください。
表示できるテストパターンは、以下の通りです。



エッジブレンディング機能を使って投写する

複数台のプロジェクターを並べて投写するとき、各プロジェクターから投写される映像の重なった部分の明るさを調整して目立たなくし、投写します。この機能を「エッジブレンディング」機能といいます。
2 台のプロジェクターを並べて投写した場合の基本的なエッジブレンディングの設定は、以下の手順で行います。



複数台のプロジェクターを並べてスクリーンへ投写する場合、プロジェクターごとに色合いのバランスが異なるため、同一機種の組み合わせであってもそれぞれ色合いの違いが目立つ場合があります。

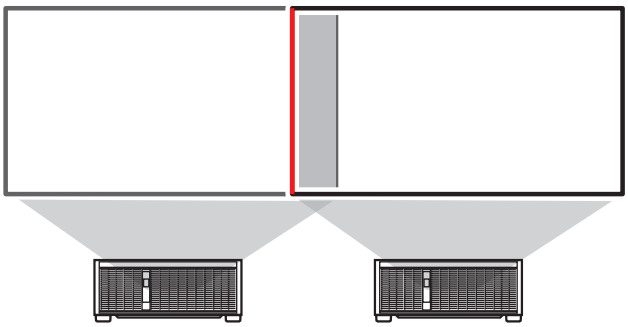
1 **［設置設定］＞［プロフェッショナル設定］＞［エッジブレンディング］＞［調整］の順に選びます。**



2 **［マーカー］を［入］にします。**

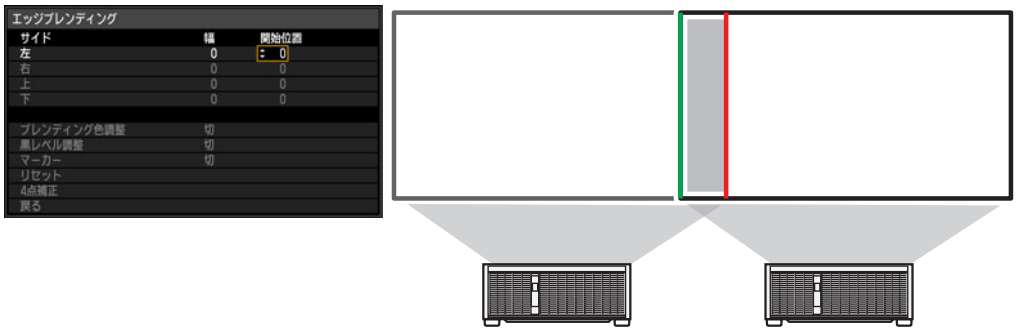
映像に赤（調整の開始位置を示す開始マーカー）と緑（調整の終端位置を示す終端マーカー）の線（マーカー）が表示されます。

初めてエッジブレンディング機能で調整する場合は、赤と緑のマーカーが重なり、赤しか見えません。



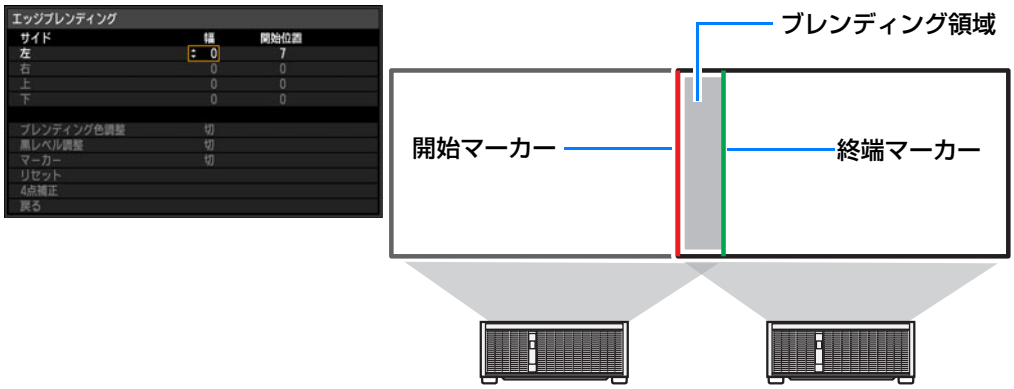
3 **［サイド］の［開始位置］を選び、【▲】【▼】ボタンで映像が重なっている部分の外側端に開始マーカーを移動します。**

上下左右の各方向について行ってください。



4 **［幅］を選び、【▲】【▼】ボタンで映像が重なっている部分の内側端に終端マーカーを移動します。**

上下左右の方向について行ってください。



開始マーカーと終端マーカーの間をブレンディング領域と呼びます。この領域がグラデーション加工され、重なった状態で他の部分と同じ明るさになるように調整されます。片側の映像の設定が終わったら、もう片側の映像も同様にブレンディング領域を設定してください。その際、それぞれの映像のブレンディング領域が同じになるよう調整してください。

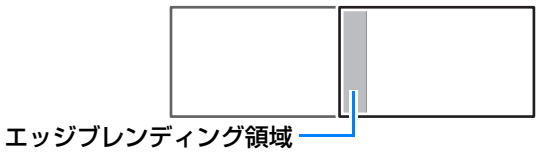
5 **［マーカー］を［切］にします。**

■ 映像の重なった部分を調整する

映像が重なって投写されている部分を調整し、重なり部分を滑らかにすることができます。

重なった部分の色つき、色ずれを調整する

映像を重ねて投写すると、重なった部分の色つき、色ずれが目立つことがあります。ブレンディング色調整により、映像の重なり部分を目立たなくすることができます。



1 **［設置設定］＞［プロフェッショナル設定］＞［エッジブレンディング］＞［調整］＞［ブレンディング色調整］＞［調整］の順に選びます。**



2 **初めに［白］で赤・緑・青を同時に調整し、さらに［赤］、［緑］、［青］をそれぞれの色味を個別に調整します。**

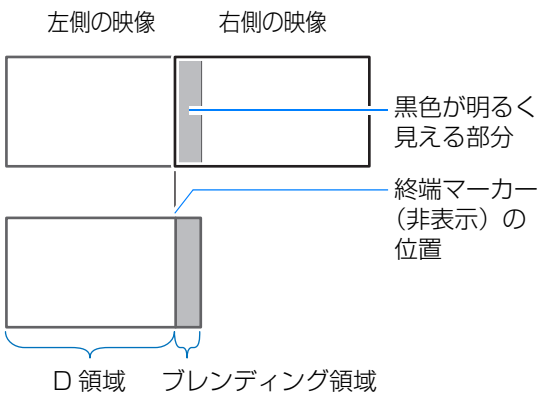
3 **すべてのプロジェクターについて同様の調整を行います。**

重なった部分の黒色を他の場所と合わせる

映像を重ねて投写すると、重なった部分の黒色が他の部分よりも明るく投写されます。重なっていない部分の黒レベル調整をすることで、重なり部分を目立たなくすることができます。

映像の重なっていない終端マーカーの内側部分をD領域と呼び、この領域を調整します。

本来は終端マーカーから順にA、B、Cの領域があります。ここでは、A、B、Cの幅を初期値の0にしたまま、D領域のみを調整する場合について説明します。

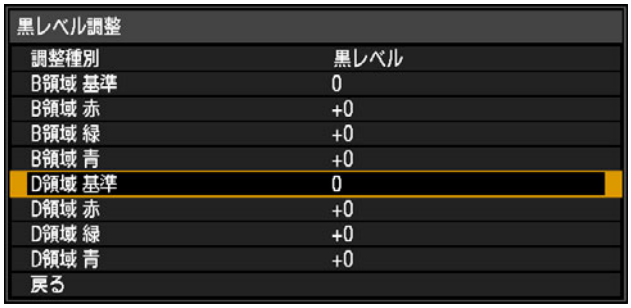


調整を行う前に［システム設定］＞［ユーザー画面設定］＞［無信号時画面］を［黒］に設定し、入力信号のない映像を投写した状態で照明を消すなどして、黒色の画像が確認できるようにしてください。

1 **［設置設定］＞［プロフェッショナル設定］＞［エッジブレンディング］＞［調整］＞［黒レベル調整］＞［調整］の順に選びます。**

2 **［調整種別］＞［黒レベル］の順に選びます。**

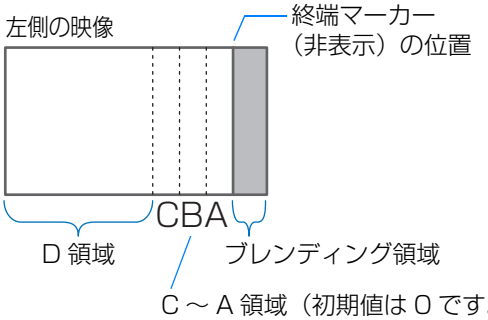
3 **［D領域 基準］を選び、投写映像を見ながらブレンディング領域とD領域の明るさと色が同じになるように調整します。**



4 **すべてのプロジェクターについて同様の調整を行います。**

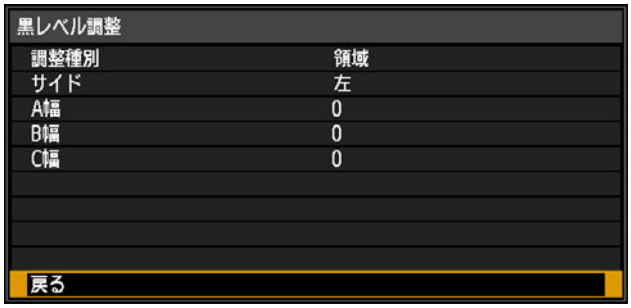
■ 重なった部分のつなぎ目を目立たなくする

D 領域の右端（ブレンディング領域に接する部分）の黒レベルが周囲と違って見えることがあります。
B 領域の黒レベルを調整することにより、つなぎ目をより滑らかにすることができます。
各領域では、以下のような調整をします。
ブレンディング領域が投写映像に対して複数（上下左右方向）表示される場合、A、B、Cの領域の幅をそれぞれに設定する必要があります。
ここでは、B 領域を調整する方法を説明します。



A 領域： 黒レベルの調整はできません。
B 領域： D 領域とは別に黒レベルを調整します。
C 領域： B 領域と D 領域の黒レベルを滑らかにつなげます。

1 ［設置設定］＞［プロフェッショナル設定］＞［エッジブレンディング］＞［調整］＞［黒レベル調整］＞［調整］の順に選びます。



2 ［調整種別］＞［領域］＞［サイド］＞［右］の順に選びます。

3 ［B幅］を選び、B領域の幅を黒レベルが違って見える部分に大まかに合わせます。

4 ［調整種別］＞［黒レベル］＞［B領域 基準］を見ながら調整します。

5 A、B、Cの領域の幅を映像を見ながら調整します。

6 必要に応じてB領域の黒レベルを再調整します。

- B 領域の黒レベル調整の結果は上下左右、すべてのサイドに反映されます。
- 「ブレンディング色調整」などの調整を行っても、画像の重なり部分に色つきや輝度差が残る場合があります。
- ［調整種別］＞［黒レベル］の［赤］［緑］［青］を調整することで、より詳細に調整できます。

■ 4点補正を行う

映像を重ねて投写する場合、複数台のプロジェクターの投写位置を正確に合わせる必要があります。ブレンディング領域のそれぞれの角ごとの位置を調整し、基準となるプロジェクターのブレンディング領域に合わせることができます。

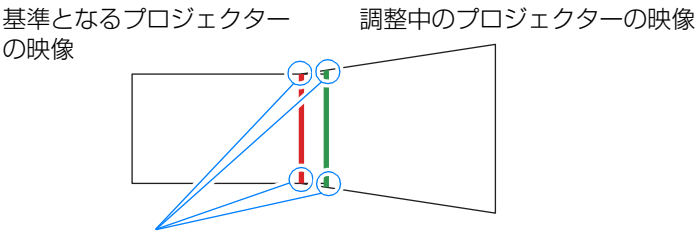
1 基準となるプロジェクターのキーストーン（P137）およびエッジブレンディング（P140）を設定し、エッジブレンディングのマーカーを［入］（P92）にします。

2 ［設置設定］＞［プロフェッショナル設定］＞［エッジブレンディング］＞［調整］＞［4点補正］の順に選びます。

3 **調整する点を選び、画面全体が均整のとれた位置になるよう調整します。**



4 **投写画面を見ながら基準となるプロジェクターのマーカーと、調整中のプロジェクターのマーカーができるだけ重なるように調整します。**



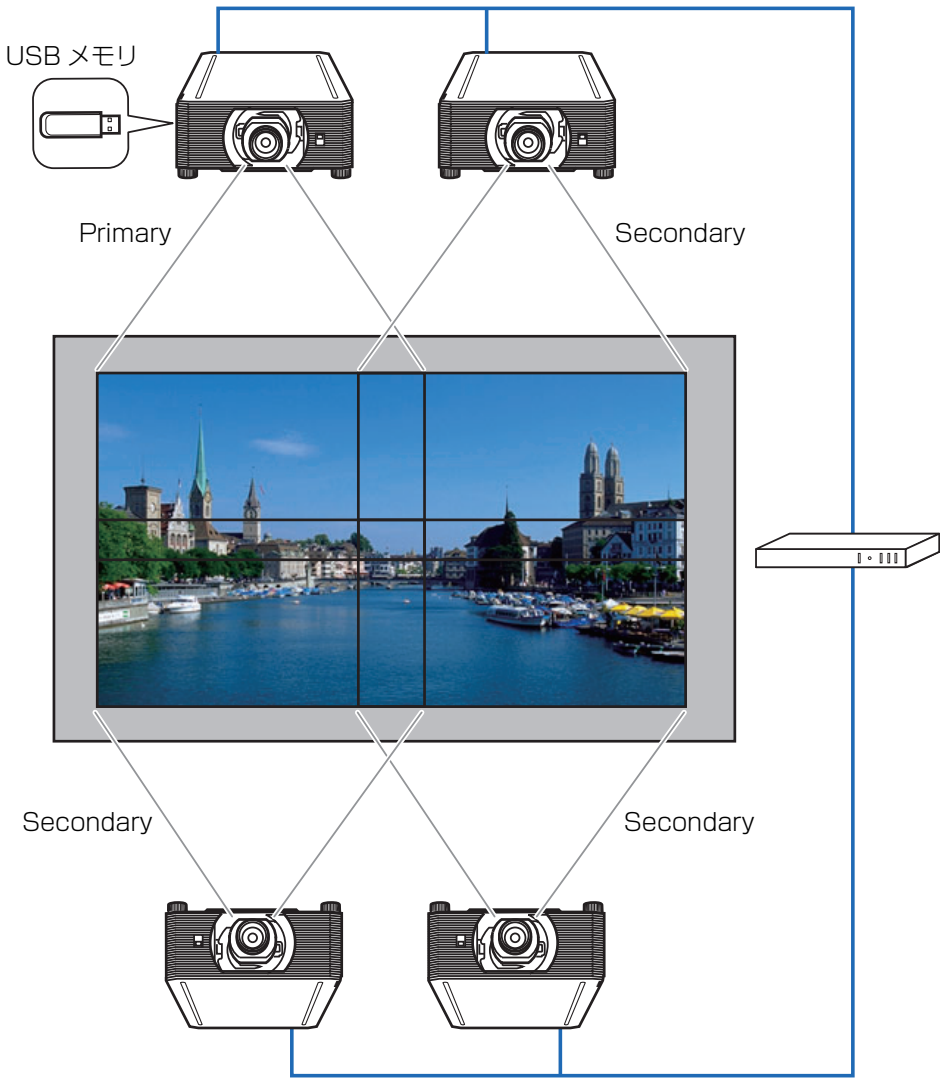
重なり部分の 4 隅の位置をそれぞれ調整します。
調整する点の位置を補正すると、重なり部分の反対側の点も移動し、画面全体が補正されます。

5 **基準となるプロジェクターのエッジブレンディングのマーカーを［切］（P92）にします。**

- あらかじめ［サイド］の調整（P92）をしてください。
- ［キーストーン］の設定が［4 点補正］でかつ、スクリーンアスペクトが［16：10］のとき、エッジブレンディングの幅が 12 以上のサイドについて調整できます。
- リセットは［キーストーン］（P137）から実行してください。
- エッジブレンディング幅が少ないと、調整量が少なくなる場合があります。

PC フリーマルチプロジェクション機能を使って投写する

USBメモリに保存されたJPEG画像を最大9台のプロジェクターで分割して大画面に投写します。
プロジェクターを有線LANで接続し、投写画面の左上の部分を投写するプロジェクター1台をPrimary、それ以外のプロジェクター1 ～ 8台をSecondaryと定義して、Primaryプロジェクターで全体の操作をします。



無線 LAN では PC フリーマルチプロジェクション機能は使えません。

本機能で使用できるプロジェクターの台数と配置パターンは以下の通りです。
Primary に設定するプロジェクターは常に画面左上を投写し、配置番号は 1 となります。

台数	配置パターン（行 × 列）
2	【1×2】 1 2　【2×1】 1 / 2
3	【1×3】 1 2 3
4	【1×4】 1 2 3 4　【2×2】 1 2 / 3 4
5	【1×5】 1 2 3 4 5
6	【1×6】 1 2 3 4 5 6　【2×3】 1 2 3 / 4 5 6　【3×2】 1 2 / 3 4 / 5 6
7	【1×7】 1 2 3 4 5 6 7
8	【1×8】 1 2 3 4 5 6 7 8　【2×4】 1 2 3 4 / 5 6 7 8
9	【1×9】 1 2 3 4 5 6 7 8 9　【3×3】 1 2 3 / 4 5 6 / 7 8 9

以下の手順でプロジェクターの設定をします。

1 **エッジブレンディング（P92）やキーストーン補正（P88）などの［設置設定］や［イメージ調整］を行い、画面の重なり部分の調整をします。**

2 **有線でネットワークに接続し、［ネットワーク（有線 / 無線）］を［入 / 切］または［入 / 入（Pj AP）］（P168）にします。**

3 Secondary プロジェクターの設定をします。

［映像設定］>[PC フリーマルチプロジェクション］>［モード設定］>［Secondary］の順に選びます。



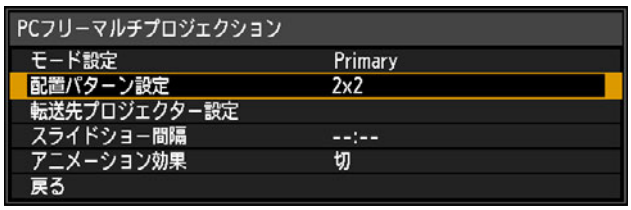
Secondary に設定するすべてのプロジェクターで設定してください。

4 Primary プロジェクターの設定をします。

①［映像設定］>［PC フリーマルチプロジェクション］>［モード設定］>［Primary］の順に選びます。

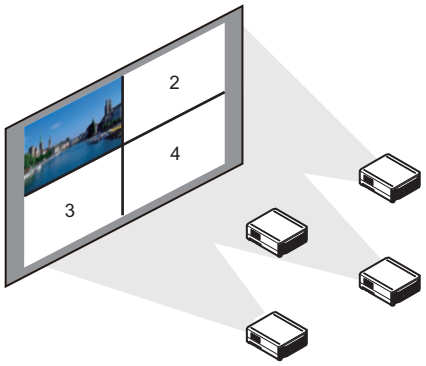


②［PC フリーマルチプロジェクション］画面で、以下の設定を行います。



- ［配置パターン設定］
  プロジェクターの台数と配置パターンを設定します。（P99）
- ［転送先プロジェクター設定］
  Secondary プロジェクターの IP アドレスを設定します。
- ［スライドショー間隔］
  スライドショー間隔を設定します。（最小 5 秒～最大 10 分）
- ［アニメーション効果］
  スライドショー時のアニメーション効果を設定します。

5 Primary プロジェクターで、［映像設定］＞［PC フリーマルチプロジェクション］＞［転送先プロジェクター設定］＞［確認］の順に選び、各プロジェクターの配置番号を確認します。





- 投写中に電源を切り、もう一度電源を入れたときは、最後に投写していたフォルダ内の画像を先頭から自動でスライドショーで投写します。
- 対応する番号に切り換わらない場合、IP アドレスの設定を見直してください。

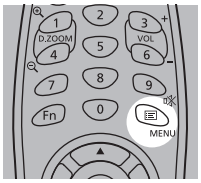
メニュー編

メニューの使いかた

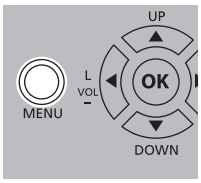
メニュー（MENU）で本機の動作をきめ細かく設定できます。

1 【MENU】ボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。

リモコン



本体



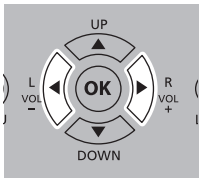


2 【◀】【▶】ボタンでタブを選びます。

リモコン



本体

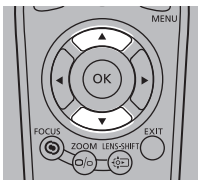




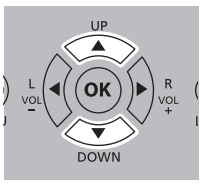
- オレンジの表示がタブ位置にない場合は、【▲】【▼】ボタンで一番上に移動させます。

3 【▲】【▼】ボタンで項目を選びます。

リモコン



本体

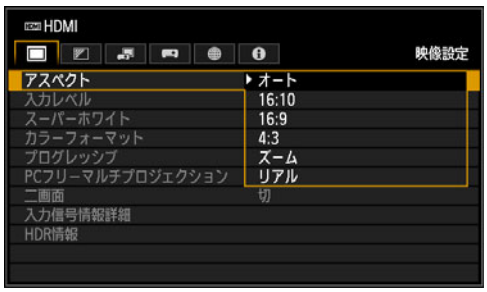




4 内容を選びます。

項目により内容の選び方が異なります。

リストから選ぶ　例：アスペクト（P114）



1. アスペクトを選びます。
2. 【OK】ボタンまたは【▶】ボタンを押すと内容のリストが表示されます。
3. 【▲】【▼】ボタンで内容を選びます。
4. 決まったら【OK】または【▶】ボタンを押します。

【◀】【▶】ボタンで調整する　例：コントラスト（P125）



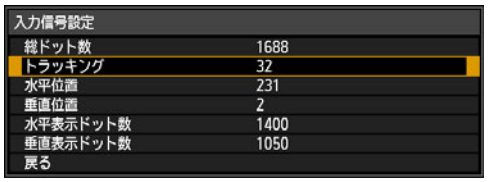
1. コントラストを選びます。
2. 【◀】【▶】ボタンで調整量を変えます。

別画面を表示させて選ぶ（1）例：ユーザー画像登録（P147）



1. ユーザー画像登録を選びます。
2. 【OK】ボタンを押すと別画面が表示されます。
3. 画面のメッセージに従って操作します。

別画面を表示させて選ぶ（2）例：トラッキング（P115）



1. 入力信号設定を選びます。
2. 【OK】ボタンを押すと別画面が表示されます。
3. 【▲】【▼】ボタンでトラッキングを選びます。
4. 【◀】【▶】ボタンで数値を選びます。

5 **【MENU】ボタンを押すとメニュー画面が消えます。**
【EXIT】ボタンを押しても、メニュー画面が消えます。

メニュー画面は、次の６つのタブに分かれています。

［映像設定］タブ（P113）
入力映像の信号形式や投写方法を設定します。

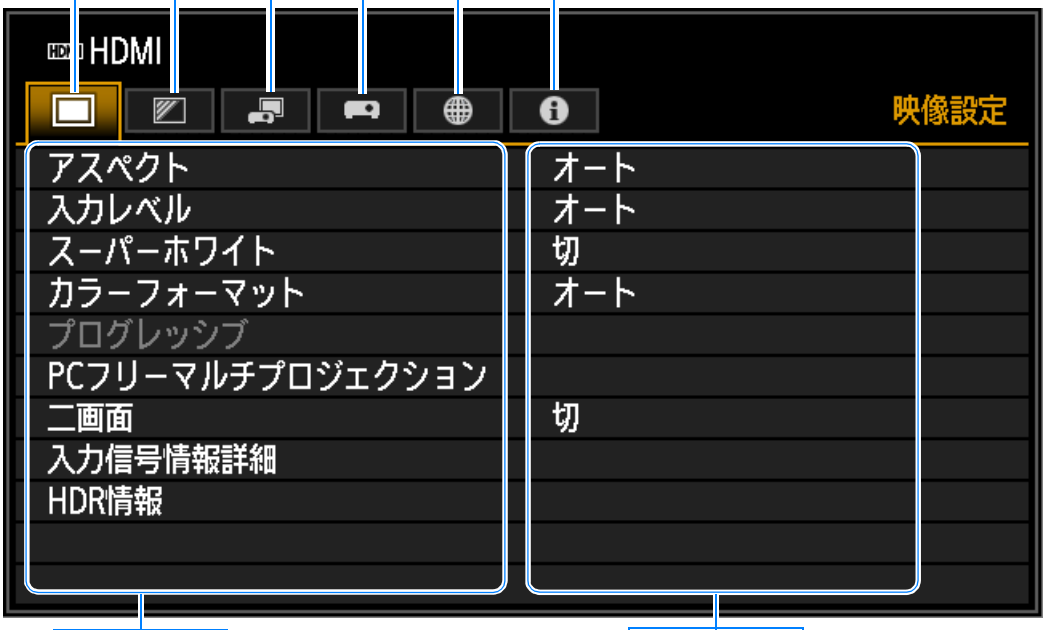
［イメージ調整］タブ(P123)
画質や色をお好みに合わせて調整します。

［設置設定］タブ（P134）
本機を設置するときの設定です。

［システム設定］タブ（P146）
本機の動作に関する設定です。

［ネットワーク設定］タブ（P166）
本機をネットワーク経由でコンピューターから利用する場合の設定です。

［インフォメーション］タブ（P182）
投写中の映像の信号形式や、本機固有の情報を確認できます。



映像設定（P113）

メニュー	選択 / サブメニュー			詳細
アスペクト	オート*、16:10 (1)、16：9 (2)、4：3 (2)、ズーム (3)、リアル (2)			P114
オートPC (4)				P114
入力信号選択 (4)				P114
入力信号設定 (4)	総ドット数、トラッキング、水平位置、垂直位置、水平表示ドット数、垂直表示ドット数			P115
入力レベル (5)	オート*、標準、拡張			P116
スーパーホワイト (5)	切、入*			P116
カラーフォーマット (5)	オート*、RGB、YCbCr			P117
プログレッシブ (3)	切、フィルム / オート*、ビデオ1、ビデオ2、25p/30p(PsF)			P117
スライドショー間隔 (6)	[--:--]			P117
アニメーション効果 (6)	切*、クロスフェード、フェードアウト / イン			P118
PC フリーマルチプロジェクション	モード設定	切*、Primary、Secondary		P118
	配置パターン設定	台数、配置パターン		P119
	転送先プロジェクター設定	IP アドレス、確認、確定		P119
	スライドショー間隔	[--:--]		P119
	アニメーション効果	切*、クロスフェード、フェードアウト / イン		P119
二画面	切*、入			P120
	設定	二画面	切*、入	
		操作権	左画面*、右画面	
		左右入れ替え	はい、いいえ	
		レイアウト	モード3-7、モード5-5、モード7-3	
入力信号情報詳細 (5)	フォーマット情報、色 / レンジ情報、DP Link 情報			P121
HDR情報 (7)	EOTF、 Display primaries [0]、[1]、[2]、 White point、 Max display mastering luminance、 Min display mastering luminance、 Max content light level、 Max frame-average light level			P122

*：工場出荷時、または工場出荷設定後の状態です。

下記は、以下の入力信号のときに表示されます。
(1)：HDMI、DisplayPort、デジタルPC、アナログPC、HDBaseT
(2)：HDMI、DisplayPort、デジタルPC、アナログPC、コンポーネント、HDBaseT
(3)：HDMI、DisplayPort、コンポーネント、HDBaseT
(4)：アナログPC
(5)：HDMI、DisplayPort、HDBaseT
(6)：USB
(7)：HDMI、HDBaseT

イメージ調整（P123）

メニュー	選択 / サブメニュー			詳細
イメージモード	スタンダード*、プレゼンテーション、ダイナミック、ビデオ、フォト／sRGB、DICOM SIM、ユーザー 1～5			P124
ユーザーメモリ作成 / 保存 基準イメージモード	ユーザー 1、ユーザー 2、ユーザー 3、ユーザー 4、ユーザー 5			P124
明るさ				P125
コントラスト				P125
シャープネス				P125
ガンマ				P125
HDR レンジ				P125
色調整	色の濃さ、色合い、色温度、赤ゲイン、緑ゲイン 青ゲイン、赤オフセット、緑オフセット、青オフセット			P126
高度な調整	アンビエントライト (8)	切*		P127
		調整	種類、レベル	
	ランダムノイズリダクション(9)	切*、弱、中、強		P127
	MPEG ノイズリダクション(9)	切*、弱、中、強		P127
	モスキートノイズリダクション(10)	切*、弱、中、強		P128
	ダイナミックガンマ (*1)	切*、弱、中、強		P128
	コントラスト詳細調整	ダイナミックコントラスト(*2)	切*、弱、中、強	P129
		マニュアル光量調整(13)		
		マニュアル信号調整(13)		
		消灯制御(15)	無効*、有効	
		消灯検出信号レベル		
		消灯検出期間		
		消灯速度	標準*、低速	
	カラリメトリ (11)	オート*、BT.709、BT.2020		P129
	HDR (11)	オート*、切、入		P130
	記憶色補正 (*1)	肌色	切*、弱、中、強	P130
		空色	切*、弱、中、強	
		緑色	切*、弱、中、強	
	6 軸色調整	切*、調整		P130
	ガンマ詳細調整 (12)	切*、調整		P131
光源モード	標準*、静音 1、静音 2、調整			P132
輝度レベル（14）				P132
リセット	はい、いいえ			P133
イメージ優先 （2 画面表示時）	プライマリ*、セカンダリ			P133

*は工場出荷時、または工場出荷設定後の状態です。

下記は、以下の設定で工場出荷時の設定が異なります。
(*1) ： イメージモードが［ダイナミック］の場合は［弱］
(*2) ： イメージモードが［ダイナミック］の場合は［強］

下記は、以下のときに表示されます。
(8)：イメージモードが［フォト/sRGB］のとき
(9)：入力信号がLAN、USB 以外のとき
(10)：入力信号がLAN、USBのとき
(11)：イメージモードが［ビデオ］のとき
(12)：イメージモードがDICOM SIM以外のとき
(13)：ダイナミックコントラストが［切］のとき
(14)：運用モードが［標準］以外のとき
(15)：ダイナミックコントラスト［強］のとき

設置設定（P134）

メニュー	選択 / サブメニュー			詳細
設置ロック	切*、入			P135
反転表示	なし*、天吊り、リア、リア・天吊り			P135
スクリーンアスペクト	16:10*、16:9、4:3、16:9 Dイメージシフト、4:3 Dイメージシフト			P136
ズーム				P136
キーストーン	縦横キーストーン*、4点補正			P137
	リセット	はい、いいえ		
デジタルイメージシフト				P137
プロフェッショナル設定	RGBアライメント	マイクロデジタルイメージシフト	切*、調整	P138
		レジストレーション	切*、調整	
	高地設定	切*、入		P139
	運用モード	標準*、輝度一定、長寿命1、長寿命2		P139
	レンズシフトモード	標準*、拡張		P139
	周辺フォーカス	切*		P140
		入	はい	
		リセット		
	エッジブレンディング	切*		P140
		調整	左、右、上、下、ブレンディング色調整、黒レベル調整、マーカー、リセット、4点補正	
レンズ-ポジション	ポジションロード1～3			P143
	ポジションセーブ1～3			
	レンズシフトリセット	プリセット位置	XX%(16)、0%	
		はい		
スクリーン色補正	標準*			P144
	黒板			
	調整	赤ゲイン、緑ゲイン、青ゲイン、赤オフセット、緑オフセット、青オフセット		
アイリス	オープン*、調整			P144
テストパターン	切*			P145
	入			

*：工場出荷時、または工場出荷設定後の状態です。
(16) XX%は、装着しているレンズのプリセット位置が表示されます。

システム設定（P146）

メニュー	選択 / サブメニュー			詳細
ユーザー画面設定	ユーザー画像登録	はい、いいえ		P147
	ユーザー画像位置	左上、右上、中央*、左下、右下		P147
	無信号時画面	黒、青*、ユーザー画像		P147
	BLANK時画面	黒、青、消灯*、ユーザー画像		P147
	起動時画面	表示しない、Canonロゴ*、ユーザー画像		P148
オンスクリーン	メニュー表示位置	左上、右上、中央*、左下、右下		P148
	メニュー表示時間	標準*、延長		P148
	メニュー回転	オート、なし*、左90°、右90°		P149
	ガイド	切、入*		P149
	入力状態表示	切、入*		P150
	NMPJ待機表示	切、入*		P150
	二画面ID表示	切、入*		P150
	エアフィルター警告表示	切、入*		P150
	高温注意表示	切*、入		P150
リモコン / 操作部	電子音	切、入*		P151
	キーリピート	切、入*		P151
	キーロック	切*、本体、リモコン（ワイヤレス）		P151
	リモコン受光部設定	オール*、フロント、リア		P152
	リモコンチャンネル	Ch1、Ch2、Ch3、Ch4、オール*		P152
	［INPUT A-C］ボタン設定	INPUT A	無効、HDMI*、DisplayPort、デジタルPC、アナログPC-1、アナログPC-2、コンポーネント、HDBaseT、LAN、USB	P153
		INPUT B	無効、HDMI、DisplayPort*、デジタルPC、アナログPC-1、アナログPC-2、コンポーネント、HDBaseT、LAN、USB	
		INPUT C	無効、HDMI、DisplayPort、デジタルPC、アナログPC-1、アナログPC-2*、コンポーネント、HDBaseT、LAN、USB	
	［Fn］ボタン設定	無効*、二画面		P153
音声入力端子選択	HDMI	切、オーディオ イン、HDMI*		P153
	DisplayPort	切、オーディオ イン、DisplayPort*		
	デジタルPC	切、オーディオ イン*		
	アナログPC-1	切、オーディオ イン*		
	アナログPC-2	切、オーディオ イン*		
	コンポーネント	切、オーディオ イン*		
	HDBaseT	切、オーディオ イン、HDBaseT*		
	LAN	切、オーディオ イン、LAN*		
	USB	切、オーディオ イン*		
HDBaseT信号品質				P154
Extron XTP	切*、入			P154
シリアル通信	サービスポート*、HDBaseT			P154
	詳細	ボーレート、データビット長、パリティ		
		ストップビット	1*、2	

メニュー	選択 / サブメニュー			詳細
電源設定	スタンバイ電力設定	通常、省電力*		P155
	高速起動	切*、入		P155
	パワーマネージメントモード	無効、消灯、スタンバイ*		P156
	パワーマネージメント時間	5 分、10 分、15 分*、20 分、30 分、60 分		P156
	ダイレクトパワーオン	切*、入		P156
MB リダクション	切*、弱、強			P157
言語	English*、Deutsch、Français、Italiano、Español、Português、Svenska、Русский、Nederlands、Suomi、Norsk、Türkçe、Polski、Magyar、Čeština、Dansk、إنجليزي、中文简体、中文繁體、한국어、日本語			P157
その他の設定	パスワード設定	切*、入		P158
	パスワード登録			P159
	日付・時刻設定	日付・時刻		P159
		日付の表示形式	年 / 月 / 日、 月 / 日 / 年、日 / 月 / 年	
		サマータイム	切*、入、編集	
		エリア、タイムゾーン		
		SNTP	切、入 (IPv4)、入 (IPv6)	
	スケジュール	通常	切*、入、編集	P160
		特定期間 1 ～ 5	切*、入、編集	
	キャリブレーション	ガンマリストア	切*、調整	P163
		光源補正	はい、いいえ	
	エアフィルターカウンター	リセット	はい、いいえ	P164
	通電カウンター			P164
	ファームウェアバージョン	はい、いいえ		P164
	工場出荷設定	はい、いいえ		P165

*：工場出荷時、または工場出荷設定後の状態です。

ネットワーク設定（P166）

メニュー	選択 / サブメニュー			詳細
ネットワーク設定変更	ロック解除	パスワード入力		P167
	ロック*			
ネットワーク パスワード設定	切、入*			P167
ネットワーク パスワード登録	パスワード入力			P167
ネットワーク（有線 / 無線）	切 / 切*、入 / 切、入 / 入 （Pj AP）、切 / 入 （Pj AP）、切 / 入 （Infra）			P168
詳細設定（有線）	MAC アドレス			P169
	IPv4 アドレス詳細設定	IP アドレス、サブネットマスク、 ゲートウェイアドレス		
		DHCP	切*、入	
		TCP/IP 設定	IP アドレス、 サブネットマスク、 ゲートウェイアドレス	
	IPv6	切*、入		P170
	IPv6 アドレス詳細設定	リンクローカル、自動 <1> ～ <5>、 手動、ゲートウェイアドレス		
		自動設定	切、入*	
		手動設定	IP アドレス、プレフィックス長、ゲートウェイアドレス	
	ネットワーク設定 初期化	はい、いいえ		P172

メニュー	選択 / サブメニュー			詳細
詳細設定（無線）	モード、SSID、セキュリティ、チャンネル、信号強度、MACアドレス			P174
	WiFi Protected Setup	PBC	OK、キャンセル	
		PIN	OK、キャンセル	
	手動設定	モード		
		SSID	更新 SSID 表示1～14 SSID入力 手動入力SSID表示	
		セキュリティ	Open、WEP、 WPA2 AES、 WPA/WPA2 TKIP/AES	
		チャンネル		
		キー ID	1、2、3、4	
		キータイプ	アスキー、16進数	
		キー		
	IPv4アドレス詳細設定	IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス		P176
		DHCP	切*、入	
		TCP/IP 設定	IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス	
	IPv6	切*、入		
	IPv6アドレス詳細設定	リンクローカル、自動 <1>～<5>、 手動、ゲートウェイアドレス		
		自動設定	切、入*	
		手動設定	IPアドレス、プレフィックス長、ゲートウェイアドレス	
	ネットワーク設定 初期化	はい、いいえ		
PJLink	切、入*			P179
AMX Device Discovery	切*、入			P180
Crestron RoomView	切*、入			P180
インフォメーション	メール送信元アドレス			P181
	メール送信先アドレス			
	詳細情報（有線）	IPv4		
		IPv6	リンクローカル、自動、手動	
	詳細情報（無線）	IPv4		
		IPv6	リンクローカル、自動、手動	

*：工場出荷時、または工場出荷設定後の状態です。

インフォメーション (P182)

メニュー
モデル名
入力信号
ファームウェアバージョン
シリアルNo.
プロジェクター使用時間
IPアドレス（有線）
IPアドレス（無線）
プロジェクター名
コメント
システム情報ID

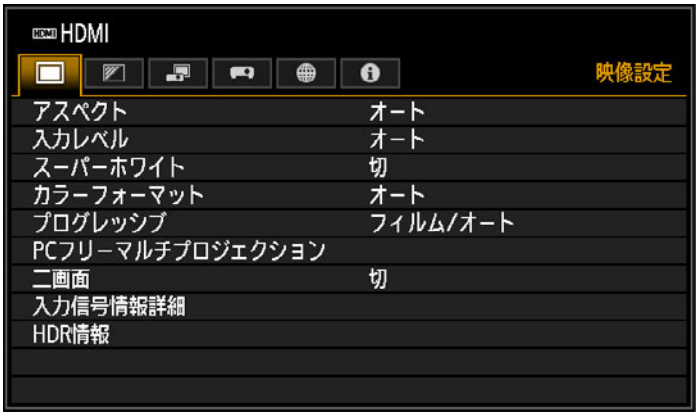
*は工場出荷時、または工場出荷設定後の状態です。

以下の項目は工場出荷設定を行ってもリセットされません。

- 選択されている入力信号
- ［イメージ調整］の下記項目
  - ユーザーメモリ保存
  - 基準イメージモード
  - ガンマ詳細（保存した値）
- ［設置設定］の下記項目
  - レンズ - ポジション
  - 高地設定
  - レンズシフトモード
  - 周辺フォーカス調整値
  - レジストレーション
  - 運用モード
- ［システム設定］の下記項目
  - リモコンチャンネル
  - Extron XTP
  - シリアル通信（ストップビット）
  - スタンバイ電力設定
  - 言語
  - 日付・時刻設定
  - スケジュールの各項目
  - ガンマリストア
  - エアフィルターカウンター
  - 通電カウンター
  - ファームウェアバージョン
- ［ネットワーク設定］の各項目
- ［インフォメーション］の各項目

映像設定

映像の縦横比や解像度、またUSBメモリを接続して投写するなどの設定について説明します。



入力信号がHDMIのメニュー画面

メニュー	機能	詳細
アスペクト	映像の縦横比に合わせてアスペクトを設定します。	P114
オート PC	表示位置のずれや画面のちらつきを自動的に調整します。	P114
入力信号選択	コンピューターの映像の解像度を手動で合わせます。	P114
入力信号設定	入力信号の各設定を行います。	P115
入力レベル	HDMI 信号、HDBaseT 信号、または DisplayPort 信号の入力レベルを選びます。	P116
スーパーホワイト	HDMI 信号、HDBaseT 信号、または DisplayPort 信号でスーパーホワイトモード対応を選びます。	P116
カラーフォーマット	HDMI 信号、HDBaseT 信号、または DisplayPort 信号のカラーフォーマットを選びます。	P117
プログレッシブ	フイルム映像の静止画やビデオ映像の動画に合わせて最適な映像処理を設定します。	P117
スライドショー間隔	USB メモリ内の画像をスライドショーで投写するときの画像の切り換え間隔を設定します。	P117
アニメーション効果	USB メモリ内の画像をスライドショーで投写するときのアニメーション効果を設定します。	P118
PC フリーマルチプロジェクション	USB メモリ内の画像をネットワークに接続した複数台のプロジェクターで投写するときの設定をします。	P118
二画面	2 系統の映像を並べて投写します。	P120
入力信号情報詳細	使用している入力端子ごとに、入力信号の詳細な情報を表示します。	P121

メニュー	機能	詳細
HDR 情報	HDMI 信号のダイナミックレンジとマスタリングインフォフレーム（Dynamic Range and Mastering InfoFrame）の情報を表示します。	P122

選択できないメニューはグレーアウト、または非表示になります。

アスペクト

MENU >[映像設定]>[アスペクト]

映像の入力信号に対し、どのような縦横比で投写するかの設定をします。
リモコンの【ASPECT】ボタンでも切り換えができます。

選択	機能
オート	入力信号の縦横比のまま投写します。 一般的な投写のときはこのモードを選んでください。
16：10	入力信号の縦横比を 16：10 にして投写します。
16：9	入力信号の縦横比を 16：9 にして投写します。
4：3	入力信号の縦横比を 4：3 にして投写します。
ズーム	スクリーンアスペクトに合わせて画面の上下または左右をカットし、中央部分を拡大縮小して投写します。
リアル	入力信号の解像度のまま投写します。

選択できないメニューはグレーアウト、または非表示になります。

- LAN、USB の場合は、自動的に［オート］が選択されます。
- スクリーンアスペクトや入力信号の種類で表示される内容が異なります。
- コンポーネント信号では［16:10］のスクリーンアスペクトは選択できません。

オート PC

MENU >[映像設定]>[オート PC]

入力信号が［アナログ PC-1］［アナログ PC-2］の場合、表示位置のずれや画面のちらつきを自動的に調整します。

オート PC での調整が不十分なときは、次の操作を行ってください。
- ［入力信号選択］からコンピューターの解像度に合わせて入力信号を選んでください。
- 上記の操作でも調整が不十分なときは、［入力信号設定］から、［総ドット数］、［トラッキング］、［水平 / 垂直位置］、［水平 / 垂直表示ドット数］を調整してください。（P115）
- 本機が対応している信号形式については、203 ～ 204 ページの表を参照してください。

入力信号選択

MENU >[映像設定]>[入力信号選択]

入力信号が［アナログ PC-1］［アナログ PC-2］の場合、コンピューターの映像がオート PC 機能で正しく投写されないときに、解像度を選びます。

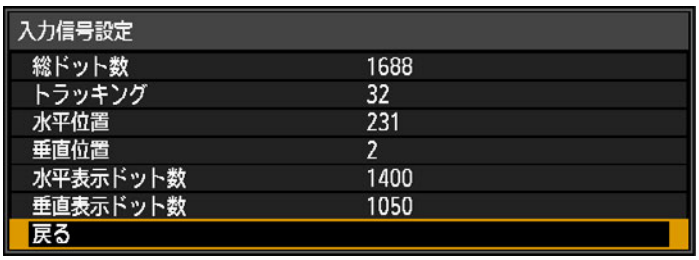
コンピューターの解像度に合わせて入力信号を選んでください。【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

本機が対応している信号形式については、203 ～ 204 ページの表を参照してください。

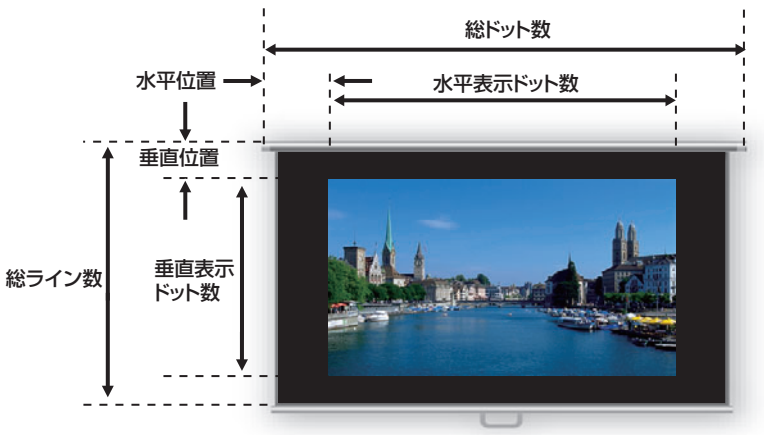
入力信号設定

MENU >［映像設定］>**［入力信号設定］**

入力信号が［アナログ PC-1］［アナログ PC-2］の場合、入力信号の各設定を行います。
【◀】【▶】ボタンで調整量を変えます。
オートPC（P114）を行っても映像が正しく表示されない場合に調整します。



サブメニュー	機能
総ドット数	水平期間の総ドット数を調整します。画面に縞模様が現れるときなどに調整します。
トラッキング	映像信号から画面を構成するタイミングを微調整します。画面がくずれたり、ちらつくときに調整します。
水平位置	画面の水平位置を調整して左右のずれを調整します。
垂直位置	画面の垂直位置を調整して上下のずれを調整します。
水平表示ドット数	画面の水平方向のドット数を調整します。
垂直表示ドット数	画面の垂直方向のドット数を調整します。



入力レベル

MENU >[映像設定]>[入力レベル]

映像ソフトをデジタルビデオ信号（HDMI信号、HDBaseT信号、またはDisplayPort信号）で投写するときに入力レベルを調整します。

選択	機能
オート	入力信号に応じて入力レベルを自動的に切り換えます。
標準	入力レベルを 16 ～ 235 の制限付きで入力します。
拡張	入力レベルを 0 ～ 255 でフル入力します。

- AV 機器からの信号形式が RGB のときのみ選べます。
- [オート]では信号レベルを自動的に選びます。(AV 機器や HDBaesT の伝送機器によっては対応していないことがあります)
- AV 機器の HDMI 出力が［標準］、［拡張］に切り換えられるときは、［拡張］に設定することをおすすめします。映像のコントラストが向上し、暗部がより忠実に表現されます。なおこの場合の［ 入力レベル］は［オート］または［拡張］を選んでください。
  詳しくは、接続する AV 機器の取扱説明書を参照してください。

スーパーホワイト

MENU >[映像設定]>[スーパーホワイト]

HDMI 信号、HDBaseT 信号、または DisplayPort 信号の白色表示を、入力レベルが 16 ～ 235 の白信号に対し、100%（235）～ 109%（255）の明るさの階調表現で行うときに選びます。

選択	機能
切	スーパーホワイトの機能を使用しません。 入力レベル「235」の白信号を白の明るさ 100% とし、入力レベル「235」以上の白信号もすべて明るさ 100% として投写します。
入	入力レベル「16 ～ 235」の入力信号に対し、白 109%（入力レベル「255」）を明るさ 100% に換算して投写します。

- ［入力レベル］が［拡張］に設定されているときは、スーパーホワイトは効果がありません。
- ［入］にしたときに映像の乱れや不自然さが気になる場合は、［切］に設定してください。
- ［入］に設定すると、全体的に暗くなります。

カラーフォーマット

MENU >[映像設定]>[カラーフォーマット]

HDMI信号、HDBaseT信号、またはDisplayPort信号のカラーフォーマットを選びます。

選択	機能
オート	入力信号に応じて最適なカラーフォーマットを選びます。
RGB	強制的に RGB 信号として扱います。
YCbCr	強制的に色差信号として扱います。

プログレッシブ

MENU >[映像設定]>[プログレッシブ]

HDMI 信号のインターレース信号が入力されたときに、フイルム映像の静止画やビデオ映像の動画に合わせて最適な映像処理を設定できます。

選択	機能
切	プログレッシブ処理を行いません。
フィルム / オート	静止画や一般的な動画に適しています。フィルム映像やビデオ映像に対しプログレッシブ処理を行います。
ビデオ 1	高画質で動きの遅いビデオ映像に適しています。高精細なビデオ映像に最適なプログレッシブ処理を行います。
ビデオ 2	動きの速いビデオ映像に適しています。動きの速いビデオ映像に対し最適なプログレッシブ処理を行います。
25p/30p (PsF)	1080PsF / 25（25 フレーム / 秒）および 1080PsF / 30（30 フレーム / 秒）の映像に対しプログレッシブ処理を行います。

- 動きの多い映像で、ちらつきや横線が目立つときは［切］にしてください。
- 二画面時は、プログレッシブ設定はできません。

スライドショー間隔

MENU >[映像設定]>[スライドショー間隔]

USBメモリの画像を自動的に順次表示させることができます。

【◀】【▶】ボタンで画像の切り換え間隔（分：秒）を最小1秒～最大60分で設定します。

- スライドショーを開始した後、入力信号を［USB］以外に変更した場合は、スライドショーを停止します。再度［USB］に入力信号を戻した場合は、停止した画像からスライドショーを再開します。
- スライドショー中にD.ZOOM機能を使用した場合、次の画像に切り換わると、D.ZOOMは解除されます。

アニメーション効果

MENU >[映像設定]>[アニメーション効果]

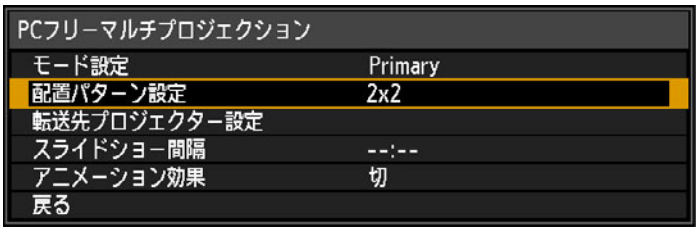
USB メモリ内の画像をスライドショーで投写するときのアニメーション効果を設定します。

選択	機能
切	アニメーション効果を使用しません。
クロスフェード	フェードアウトしながら、次の画面をフェードインします。
フェードアウト / イン	フェードアウトし、黒画面を経由して、次の画面をフェードインします。

PC フリーマルチプロジェクション

MENU >[映像設定]>[PC フリーマルチプロジェクション]

USB メモリ内の画像をネットワークに接続された複数台のプロジェクターで投写するときの設定をします。操作の手順については「PC フリーマルチプロジェクション機能を使って投写する」（P98）をご覧ください。



モード設定

Primary[*1] または Secondary[*2] どちらのモードで PC フリーマルチプロジェクションを行うか設定します。

[*1] USB メモリを接続し、投写する映像を Secondary プロジェクターに配信します。
[*2] Primary プロジェクターから送られる映像を投写します。

選択	機能
切	PC フリーマルチプロジェクションを実行しません。
Primary	Primary モードに設定します。
Secondary	Secondary モードに設定します。

モードの設定をするには、有線でネットワークに接続し、ネットワーク機能（有線 / 無線）を［入 / 切］または［入 / 入（Pj AP)］（P168）にしてください。

配置パターン設定

プロジェクターの台数と配置パターン（P99）を設定します。

選択	機能
台数	プロジェクターの台数（Primary および Secondary の総数）を設定します。2 台から 9 台まで設定できます。
配置パターン	配置パターンを選択します。各配置パターンの最も左上に Primary の投写画面が配置されます。

転送先プロジェクター設定

Secondary モードに設定したプロジェクターの IP アドレスを設定します。

選択	機能
IP アドレス	転送先のプロジェクターの IP アドレスを入力します。［1］は Primary モードのプロジェクターです。「ネットワーク設定」で設定されている有線 LAN の IP アドレスが表示されます。
確認	IP アドレス欄で設定した Secondary モードのプロジェクターに対応する番号（［2 ～ 9］）を、各 Secondary モードのプロジェクターで投写します。
確定	転送先のプロジェクターの IP アドレスを確定します。

スライドショー間隔

スライドショーで投写するときの画像の切り換え間隔（分：秒）を最小 5 秒～最大 10 分で設定します。
モード設定が［Primary］のときに設定できます。

PC フリーマルチプロジェクション機能で投写中に電源を切り、再度電源を入れた時は、最後に投写していたフォルダ内の先頭の画像から自動でスライドショーを開始します。

アニメーション効果

スライドショーで投写するときのアニメーション効果を設定します。
モード設定が［Primary］のときに設定できます。

選択	機能
切	アニメーション効果を使用しません。
クロスフェード	フェードアウトしながら、次の画面をフェードインします。
フェードアウト / イン	フェードアウトし、黒画面を経由して、次の画面をフェードインします。

二画面

MENU >[映像設定]>【二画面】

プロジェクターに接続した複数の入力信号から 2 系統の映像を並べて投写することができます。

選択	機能
切	二画面表示を終了します。
入	二画面表示にします。
設定	<table><tr><th>サブメニュー</th><th>機能</th></tr><tr><td>二画面</td><td>二画面表示と一画面表示を切り換えます。</td></tr><tr><td>操作権</td><td>操作する画面を選びます。左画面を選んだときは［1］、右画面を選んだときは［2］が表示されます。</td></tr><tr><td>左右入れ替え</td><td>左画面と右画面の映像を入れ替えます。</td></tr><tr><td rowspan="3">レイアウト</td><td>モード 3-7　左画面と右画面を横幅比率 30：70 で表示します。</td></tr><tr><td>モード 5-5　左画面と右画面を横幅比率 50：50 で表示します。</td></tr><tr><td>モード 7-3　左画面と右画面を横幅比率 70：30 で表示します。</td></tr></table>

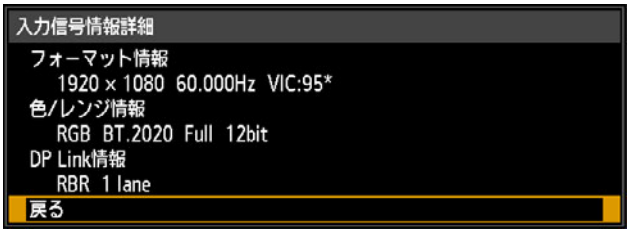
- 画面中央に△（▶）または△（◀）が出ているときにリモコンの【◀】【▶】ボタンで操作権を移動します。
- 二画面切り換え時は、インプット画面内に左右二つの信号名と、入力状態を表示します。

二画面表示について詳しくは、「2 つの映像を並べて投写する」(P47) をご覧ください。

入力信号情報詳細

MENU >[映像設定]>**[入力信号情報詳細]**

選択中の入力端子に入力されている映像信号の情報詳細を表示します。
本メニューはHDMI、DisplayPortまたはHDBaseTで入力する場合に表示されます。



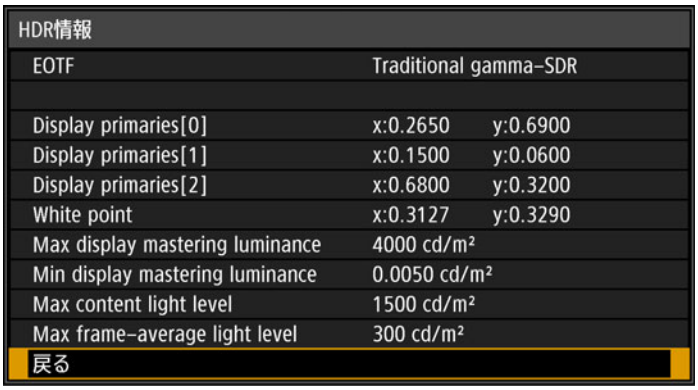
フォーマット情報として、解像度、周波数、VIC（Video Identification Code）が表示されます。
色情報として、カラーフォーマット / サブサンプリング、カラリメトリが表示されます。
レンジ情報として、レンジ、深度が表示されます。
さらにDisplayPort映像信号の場合は、DPLink情報の説明（レート、レーン数）が表示されます。

HDR 情報

MENU >[映像設定]>**[HDR 情報]**

入力がHDMI信号またはHDBT信号のとき、ダイナミックレンジとマスタリングインフォフレーム（Dynamic Range and Mastering InfoFrame）の情報を表示します。

信号がSDR型かHDR型かを識別して表示します。
信号がHDR型の信号の場合は、信号の中に色と明るさの情報を含む領域を持っており、その情報を表示します。表示される情報は以下の通りです。



項目	表示	内容	
EOTF	Traditional gamma-SDR	SDR 信号	映像コンテンツがもつガンマ情報をそれぞれ表示
	SMPTE ST 2084	HDR 信号	
Display primaries [0],[1],[2]	x: 0.00002 ～ 1.00000 y: 0.00002 ～ 1.00000	色空間の中で色域を示す三角形の 3 つの頂点の座標	
White point	x: 0.00002 ～ 1.00000 y: 0.00002 ～ 1.00000	色空間の中に表示される「白」の座標	
Max display mastering luminance	1 ～ 65535 cd/m^2	映像コンテンツ制作時に使用したディスプレイの明るさの最大値	
Min display mastering luminance	0.0001 ～ 6.5535 cd/m^2	映像コンテンツ制作時に使用したディスプレイの明るさの最小値	
Max content light level	1 ～ 65535 cd/m^2	映像コンテンツが含むシーンの明るさの最大値	
Max frame-average light level	1 ～ 65535 cd/m^2	映像コンテンツが含むシーンの明るさの平均値	

イメージ調整

映像の明るさやコントラスト、シャープネスなどの画質の設定について説明します。



入力信号がHDMIのメニュー画面

メニュー	機能	詳細
イメージモード *	投写する映像に適した画質を選びます。	P124
ユーザーメモリ作成	任意に設定した画質の設定を保存します。	P124
基準イメージモード	ユーザーメモリで使用した元のイメージモードが表示されます。	P124
明るさ *	映像の明るさを調整します。	P125
コントラスト *	映像のコントラストを調整します。	P125
シャープネス *	映像の鮮明度を調整します。	P125
ガンマ *	映像が暗い、または明るくて見えにくい部分を補正します。	P125
HDR レンジ *	「SMPTE ST 2084」のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。	P125
色調整 *	映像のより詳細な調整をします。	P126
高度な調整 *	ノイズや色味などについて詳細な設定を行います。	P126
光源モード *	投写輝度と動作音を調整します。	P132
輝度レベル *	レーザーダイオードの駆動電流を制御し、投写輝度を調整します。	P132
リセット	現在のイメージ調整の設定を工場出荷時の状態に戻します。	P133
イメージ優先 *	2 画面表示のときに、どちらの画面の画像処理条件を適用させるかを選びます。	P133

選択できないメニューはグレーアウト、または非表示になります。

* 調整内容は、入力信号とイメージモードの組み合わせごとに記憶されます。

イメージモード

MENU >[イメージ調整]>[イメージモード]

投写する映像に合わせ、画質を選びます。リモコンの【IMAGE】ボタンを押しても選択できます。(P27)

選択	映像の種類	特長
スタンダード	コンピューター画面や映像ソフト（動画）	画面が明るく、白の色味、自然な彩色
プレゼンテーション	文字を中心とした画像	画面が明るい
ダイナミック	映像ソフト（動画）	画面が明るい
ビデオ	ビデオカメラ映像	画面がやや暗く、テレビに近い色表現
フォト / sRGB	sRGB 対応のデジタルカメラ画像	画面がやや暗く、sRGB 規格対応
DICOM SIM	医療用などのモノクロ映像	DICOM Standard Part14 に準じています。ただし、診断などには使用できません。
ユーザー 1 ～ 5	ユーザー自身が画質の設定の組み合わせを 5 種類までメモリ（ユーザーメモリ）に保存することができます。保存した設定は、イメージモードとしてここで選択できます。	

選択できないメニューはグレーアウト、または非表示になります。

各イメージモードの画質は、次の各項目が調整できます。
[明るさ]、[コントラスト]、[シャープネス]、[ガンマ]、[色調整]、[高度な調整] の各項目、[光源モード]、[輝度レベル]

ユーザーメモリ作成 / 保存

MENU >[イメージ調整]>[ユーザーメモリ作成 / 保存]

任意に設定した画質の設定を５種類まで保存できます。

- 保存される設定値は、[明るさ]、[コントラスト]、[シャープネス]、[ガンマ]、[HDR レンジ]、[色調整]、[高度な調整]、[光源モード]、[輝度レベル] です。
- ユーザーメモリには、設定変更の元になったイメージモード名も一緒に保存されます。イメージモードでユーザーメモリが選択された場合は、元になったイメージモードが「基準イメージモード」としてメニューに表示されます。

明るさ

MENU >[イメージ調整]>**[明るさ]**

映像の明るさを調整します。

コントラスト

MENU >[イメージ調整]>**[コントラスト]**

明るい部分と暗い部分の差を調整し、メリハリのある映像やソフトな映像に調整します。

シャープネス

MENU >[イメージ調整]>**[シャープネス]**

映像の鮮明度を調整します。

ガンマ

MENU >[イメージ調整]>**[ガンマ]**

映像が暗くて見えにくい、または明るくて見えにくい部分を補正します。

ガンマ詳細調整（P131）により、より詳細な調整を行うことができます。

HDR レンジ

MENU >[イメージ調整]>**[HDR レンジ]**

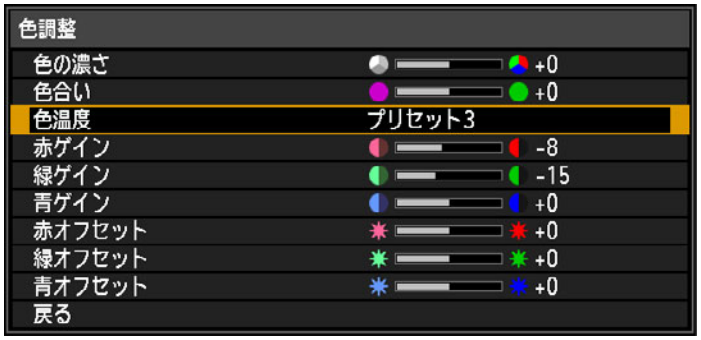
「SMPTE ST 2084」のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。
メニューに［HDR レンジ］が表示される場合は、［ガンマ］が表示されません。

次のときにのみ、［HDR レンジ］を設定することができます。
- イメージモード（P124）が［ビデオ］で、HDR（P130）が［入］のとき
- イメージモード（P124）が［ビデオ］で、HDR（P130）が［オート］、かつ入力信号が HDR 信号のとき

色調整

MENU >[イメージ調整]>**[色調整]**

映像の色の濃さ、色合い、色温度などを調整します。



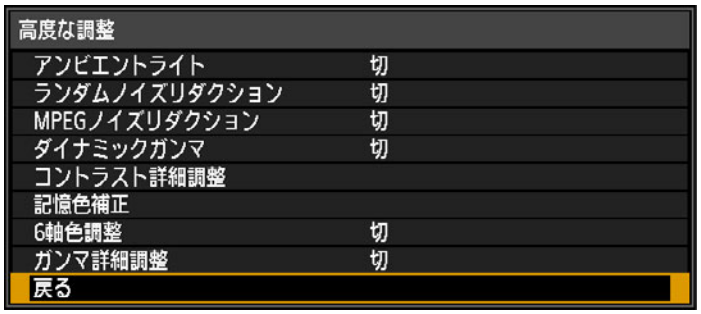
サブメニュー	機能
色の濃さ	色の濃さを調整します。
色合い	紫がかった映像、緑がかった映像の色合いを調整します。
色温度	白の色味を調整します。
赤 / 緑 / 青ゲイン	赤、緑、青の色味のゲインを調整します。
赤 / 緑 / 青オフセット	赤、緑、青のオフセットを調整します。

イメージモードが［DICOM SIM］のときは、［色温度］が数値による調整ではなく、以下の5種類のプリセットから選択します。
プリセット１：DICOM Standard Part14 に対して、明るさを優先します。
プリセット２：DICOM Standard Part14 に対して、色の色味を優先します。
プリセット３：DICOM Standard Part14 に対応した色を表現します。
プリセット４：X 線フィルム（クリアベース）の色を表現します。
プリセット５：X 線フィルム（ブルーベース）の色を表現します。

高度な調整

MENU >[イメージ調整]>**[高度な調整]**

ノイズや色味などについて詳細な設定を行います。



アンビエントライト

スクリーン上に届く環境光による影響を低減させ投写します。

選択	機能		
切	調整せずに投写します。		
調整	種類	電球	環境光が電球、または電球色蛍光灯の場合。
		蛍光灯	環境光が昼白色蛍光灯の場合。
	レベル	弱	環境光が通常の場合。
		強	環境光が明るい場合。

アンビエントライトのレベルの設定例

レベル	場所の目安
弱	映写室、スポーツバーなど
強	会議室、教室など

［アンビエントライト］は、イメージモードがフォト /sRGB のときに選ぶことができます。(P124)

ランダムノイズリダクション

映像のランダムノイズ * を低減します。

* 周波数や振幅が不規則なノイズです。

選択	機能
切	ランダムノイズリダクションを行いません。
弱 中 強	ランダムノイズリダクションの強度を 3 段階で指定します。

- 動きの速い映像の場合は［弱］を、動きの遅い映像の場合は［強］を選んでください。
- 入力信号が LAN、USB 以外のときに選ぶことができます。

MPEG ノイズリダクション

映像の MPEG ノイズ * を低減します。

* JPEG 形式の画像や MPEG 形式の動画で、ブロック状に見えるノイズです。

選択	機能
切	MPEG ノイズリダクションを行いません。
弱 中 強	MPEG ノイズリダクションの強度を 3 段階で指定します。

入力信号が LAN、USB 以外のときに選ぶことができます。

モスキートノイズリダクション

映像のモスキートノイズ * を低減します。

* JPEG 形式の画像や MPEG 形式の動画で、輪郭部分や色の変化の激しい部分で起こるノイズです。

選択	機能
切	モスキートノイズリダクションを行いません。
弱 中 強	モスキートノイズリダクションの強度を 3 段階で指定します。

入力信号が、HDMI、HDBaseT、DisplayPort、デジタル PC、アナログ PC-1、アナログ PC-2、コンポーネントのときは、この項目は表示されまん。

ダイナミックガンマ

明るいところと暗いところの階調表現が自動的に改善されます。

選択	機能
切	ダイナミックガンマを行いません。
弱 中 強	ダイナミックガンマの強度を 3 段階で指定します。

コントラスト詳細調整

投写中の映像が暗い時に光源の輝度と信号の補正量を調整し、暗い部分をより暗くして投写します。「消灯制御」「消灯検出信号レベル」「消灯検出期間」「消灯速度」を使用するには「ダイナミックコントラスト」設定を「強」に選択します。他を選択した場合はグレーアウトとなります。

<table>
<tr><th>サブメニュー</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>ダイナミック
コントラスト</td><td>入力信号の変化に対して自動でコントラストを強調します。
<table><tr><th>選択</th><th>機能</th></tr><tr><td>切</td><td>ダイナミックコントラストの調整を行いません。</td></tr><tr><td>弱
中
強</td><td>ダイナミックコントラストの強度を 3 段階で指定します。</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>マニュアル
光量調整</td><td>光源の輝度を手動で調整します。</td></tr>
<tr><td>マニュアル
信号調整</td><td>信号処理の補正量を手動で調整します。</td></tr>
<tr><td>消灯制御</td><td>「消灯検出信号レベル」「消灯検出期間」「消灯速度」機能を有効にするか選択します。
<table><tr><th>選択</th><th>機能</th></tr><tr><td>無効</td><td>「消灯検出信号レベル」「消灯検出期間」「消灯速度」機能を使用しない。</td></tr><tr><td>有効</td><td>「消灯検出信号レベル」「消灯検出期間」「消灯速度」機能を使用する。</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>消灯検出
信号レベル</td><td>消灯にむけ判断する内部データレベルを指定します。</td></tr>
<tr><td>消灯検出期間</td><td>消灯にむけ判断する判定期間を秒単位で指定します。</td></tr>
<tr><td>消灯速度</td><td>減光する過程の速度を指定します。
<table><tr><th>選択</th><th>機能</th></tr><tr><td>標準</td><td>瞬時に消灯する。</td></tr><tr><td>低速</td><td>徐々に消灯する。</td></tr></table></td></tr>
</table>

カラリメトリ

色空間を選びます。

選択	機能
オート	入力信号に応じて、BT.709 と BT.2020 から最適な色空間を選びます。
BT.709	強制的に BT.709 の色空間を適用します。
BT.2020	強制的に BT.2020 の色空間を適用します。

イメージモード（P124）が［ビデオ］のときにのみ、［カラリメトリ］を設定することができます。

HDR（High Dynamic Range）

HDR レンジ調整機能によって映像の輝度レンジを拡大し、白トビや黒つぶれを抑えた映像を表示できます。

選択	機能
オート	入力信号が HDR 信号の場合は自動的に HDR を使用します。
切	強制的に HDR を使用していない状態にします。
入	強制的に HDR を使用した状態にします。

イメージモード（P124）が［ビデオ］のときにのみ、［HDR］を設定することができます。

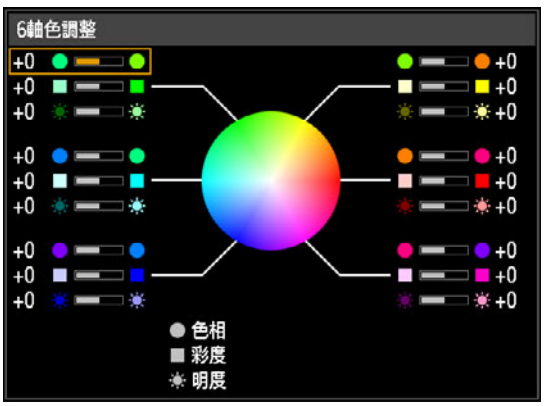
記憶色補正

肌色、空色、緑色を、人の記憶のイメージに合わせて美しく表現します。

サブメニュー	機能	
肌色 空色 緑色	**切**	補正は行いません。
	弱 **中** **強**	補正の強度を指定します。

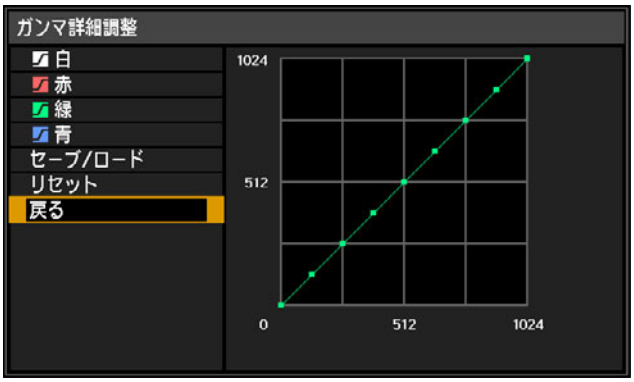
6 軸色調整

映像の色味を RGB（赤、緑、青）および CMY（シアン、マゼンタ、イエロー）できめ細かく調整します。

選択	機能
切	6 軸色調整を行いません。
調整	 【▲】【▼】ボタンで［○色相（色合い）］、［□彩度（色の濃さ）］、［☼明度（色の明るさ）］を選び、【◀】【▶】ボタンで調整します。 • 色調整が終わったら、【OK】ボタンを押します。 表示しているメニュー画面には、調整は適用されません。
リセット	調整を 0 に戻します。

ガンマ詳細調整

白、赤、緑、青の４つのガンマ曲線を調整します。赤、緑、青は個別に調整できます。白を調整すると、他の３色に調整量が反映されます。どちらで調整を行っても、最後の調整値が上書きされます。
また、［セーブ / ロード］を選択し、表示される画面で調整値を保存したり、保存した調整値を呼び出すこともできます。
【▲】【▼】ボタンで色を選び、【OK】ボタンを押します。
次に【◀】【▶】ボタンでガンマ曲線上の点を選び、【▲】【▼】ボタンで点の位置を調整します。調整が終わったら【OK】ボタンを押して確定します。

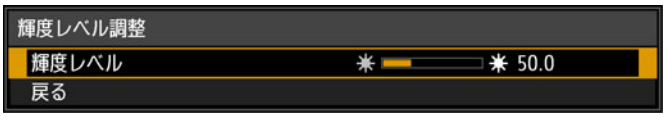


- イメージモードが［DICOM SIM］以外のときに、［ガンマ詳細調整］を選ぶことができます。
- ガンマ補正については、ガンマ（P125）を参照してください。
- 入力信号、またはテストパターンを使って調整してください。
- 表示しているメニュー画面には、調整は適用されません。
- 保存できる調整値は五つまでです。

光源モード

MENU >[イメージ調整]>**[光源モード]**

投写光の光量を落とすことで消費電力を抑え、冷却ファンの音を静かにします。

選択	機能
標準	最大の明るさで投写します。
静音 1	明るさを制限したいときや静音が求められるときに選びます。
静音 2	さらに明るさを制限し、静音にします。
調整	明るさに応じて、冷却 FAN の回転数を調整します。 表示される輝度調整画面で、【◀】【▶】ボタンで明るさを調整します。  光源モードが［調整］のとき、輝度レベルメニューを表示します。

［光源モード］は運用モードが［標準］のときに表示されます。運用モード（P139）を［標準］以外に設定した場合、［光源モード］メニューの代わりに［輝度レベル］メニューが表示されます。

輝度レベル

MENU >[イメージ調整]>**[輝度レベル]**

レーザーダイオードを制御し、投写輝度の調整を行います。

【◀】【▶】ボタンで明るさを調整します。



［輝度レベル］は運用モード（P139）を［標準］以外に設定した場合、［光源モード］ニューの代わりに［輝度レベル］メニューが表示されます。

リセット

MENU >[イメージ調整]>**[リセット]**

現在使用しているイメージ調整の設定を、工場出荷時の状態に戻します。

選択	機能
はい	イメージ調整の設定をリセットします。
いいえ	リセットを中止します。

- [イメージモード]でユーザー1 ～ 5 を選択しているときにリセットすると、[ユーザー1 ～ 5] に保存されている状態に戻ります。
- 投写中の入力信号とイメージモードの組み合わせの設定内容のみリセットされます。

イメージ優先

MENU >[イメージ調整]>**[イメージ優先]**

2 画面表示のときに、どちらの画面にイメージ調整の設定を適用するかを選びます。

選択	機能
プライマリ	操作権のある画面を［プライマリ］にします。2 画面それぞれの画面に対し個別にイメージ調整メニューが設定できない項目は、［プライマリ］の設定が［セカンダリ］にも反映されます。
セカンダリ	操作権のある画面が［プライマリ］の場合は、選択できません。左画面と右画面でイメージ優先を逆にする場合は操作権をもう一方の画面に移し、［セカンダリ］⇒［プライマリ］に変更します。

- **個別に設定できる項目**
  明るさ（P125）、コントラスト（P125）、ガンマ（P125）、色調整（P126）、ガンマ詳細調整（P131）
- **［プライマリ］の設定が［セカンダリ］にも反映される項目**
  イメージモード（P124）、ガンマ詳細調整以外の高度な調整（P126 ～ P130）

設置設定

スクリーンや投写する映像の補正、プロジェクターの設置方向など設置に関する設定をします。



入力信号がHDMIのメニュー画面

メニュー	機能	詳細
設置ロック	設置に関連する機能の操作を禁止することができます。	P135
反転表示	天吊り投写やリア投写、リア・天吊り投写の設定をします。	P135
スクリーンアスペクト	投写するスクリーンの縦横比に応じて選びます。	P136
ズーム	固定短焦点レンズ（RS-SL03WF）および超短焦点レンズ（RS-SL06UW）を装着した場合に電子的に映像を縮小して投写します。	P136
キーストーン	キーストーン補正の調整方法を設定します。	P137
デジタルイメージシフト	表示している映像の位置を移動します。	P137
プロフェッショナル設定	プロジェクターを設置するときの詳細な設定をします。	P138
レンズ - ポジション	レンズの位置情報（フォーカス、ズーム、レンズシフト）などを記憶し、復元します。	P143
スクリーン色補正	スクリーンの色に合わせて映像の色味を調整します。	P144
アイリス	機械的な絞りの度合いを手動で調整します。 光量を絞るほど暗くなりますが、コントラストが良くなります。	P144
テストパターン	本機設置時に解像度や色の確認をするため、テストパターンを投写します。	P145

選択できないメニューはグレーアウト、または非表示になります。

設置ロック

MENU >[設置設定]>[設置ロック]

設置に関連する以下の設定変更をできなくします。

- 反転表示
- スクリーンアスペクト
- ズーム
- キーストーン
- レンズ-ポジションのポジションセーブ
- レンズシフトリセット
- デジタルイメージシフト
- プロフェッショナル設定
- フォーカス調整
- レンズシフト調整
- ズーム調整

選択	機能
切	設置ロックを使用しません。
入	設置関連の機能の設定変更ができなくなります。

反転表示

MENU >[設置設定]>[反転表示]

プロジェクターの設置向きを設定します。

選択	機能
なし	反転表示を行わずに通常の投写をするときに選びます。
天吊り	天井から吊り下げ、逆さに設置するときに選びます。 上下左右が反転します。
リア	スクリーンの裏から投写するときに選びます。 左右が反転します。
リア・天吊り	天井から逆さに吊り下げ、スクリーンの裏から投写するときに選びます。 上下が反転します。

- 天井から吊り下げるときは、オプションの天吊り金具（RS-CL15）と天吊りアーム（RS-CL17) が必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
- 反転表示を行うと台形ひずみ（キーストーン）の補正はリセットされるため、改めて補正してください。
- 反転表示の設定を変更しても、本体操作部のキー割り当ては変更されません。

スクリーンアスペクト

MENU >[設置設定]>[スクリーンアスペクト]

投写するスクリーンの縦横比に応じて選びます。

選択	機能
16：10	スクリーンの縦横比が 16：10 のときに選びます。
16：9	スクリーンの縦横比が 16：9 のときに選びます。
4：3	スクリーンの縦横比が 4：3 のときに選びます。
16：9 D イメージシフト	スクリーンの縦横比が 16：9 のときに選びます。 このモードはキーストーン補正ができませんが、映像を上下方向に移動させることができます。
4：3 D イメージシフト	スクリーンの縦横比が 4：3 のときに選びます。 このモードはキーストーン補正ができませんが、映像を左右方向に移動させることができます。

- スクリーンアスペクトを変更すると、キーストーン補正とデジタルイメージシフトはリセットされます。
- スクリーンアスペクトの種類によっては、アスペクトが自動的に［オート］に切り換わることがあります。

ズーム

MENU >[設置設定]>[ズーム]

固定短焦点レンズ（RS-SL03WF）および超短焦点レンズ（RS-SL06UW）を装着した場合、投写画面がスクリーンに入りきらないときに、映像を電子的に小さく表示します。このズームは映像中心を基準に縮小されます。

リモコンの【◀】ボタンを押すと映像が縮小して投写され、【▶】ボタンを押すと元に戻します。100%～75%の間で投写することができます。

- リモコンの D.ZOOM ボタンでは［ズーム］は使用できません。
- 以下の操作をしているときは、［ズーム］が使えません。
  - ［キーストーン］の設定が［縦横キーストーン］のとき
  - 二画面表示時（P47）
- 4 点補正（P137）後に［ズーム］を使うと 4 点補正値が解除され、［ズーム］の設定値になります。［ズーム］で設定した後に、4 点補正で微調整してください。
- ［ズーム］で投写画面がスクリーンに入りきらないときは、4 点補正（P137）を行うと画角の微調整ができ、スクリーン内への投写ができます。
- レンズを固定短焦点レンズ（RS-SL03WF）および超短焦点レンズ（RS-SL06UW）以外に交換すると、設定はリセットされ、100% に戻ります。
- ［デジタル PC］、［アナログ PC-1］、［アナログ PC-2］ではズーム機能は使用できません。

キーストーン

MENU >**[設置設定]**>**[キーストーン]**

キーストーン補正として縦横キーストーンと 4 点補正のどちらを使用するかを設定します。キーストーン補正のリセットも行えます。リモコンの【KEYSTONE】ボタンを押したときも実行できます。

サブメニュー	機能
縦横キーストーン	縦横キーストーン補正を実行します。上下、左右方向の長さを変更します。
4 点補正	4 点補正を実行します。それぞれの角ごとに位置を調整します。
リセット	設定したキーストーンの値をリセットします。

- キーストーンの値をリセットすると、固定短焦点レンズ（RS-SL03WF）および超短焦点レンズ（RS-SL06UW）でのズーム機能の設定もリセットされます。
- 縦横キーストーン範囲は使用するレンズ、ズーム位置、シフト位置により異なる場合があります。

デジタルイメージシフト

MENU >**[設置設定]**>**[デジタルイメージシフト]**

表示している映像の位置を移動します。
スクリーンアスペクトが 16:9 D イメージシフト時は【▲】【▼】ボタンで垂直方向、4:3 Dイメージシフト時は【◀】【▶】ボタンで水平方向の補正をします。

スクリーンアスペクトが 16:9、16:10、4:3 のときは選べません。

プロフェッショナル設定

MENU >[設置設定]>[プロフェッショナル設定]

プロジェクターを設置するときの詳細な設定をします。



超短焦点レンズ（RS-SL06UW）を装着した場合の画面

RGB アライメント

色ずれ調整を行います。

サブメニュー	機能
マイクロデジタルイメージシフト	表示画面位置の微調整を行います。
レジストレーション	色ずれを調整します。赤、緑、青の色ずれを個別に調整できます。

マイクロデジタルイメージシフト

サブメニュー	機能
切	マイクロデジタルイメージシフトを行いません。
調整	

マイクロデジタルイメージシフト > 調整

サブメニュー	機能
調整	【▲】【▼】ボタンで垂直方向の、【◀】【▶】ボタンで水平方向のシフトを行います。
チャート	調整を補助するチャートを表示します。チャートを表示しながら微調整します。
戻る	前画面に戻ります。

レジストレーション

サブメニュー	機能
切	レジストレーションを行いません。
調整	

レジストレーション > 調整

サブメニュー	機能
赤 / 緑 / 青	【▲】【▼】ボタンで垂直方向の、【◀】【▶】ボタンで水平方向のシフトを行います。
チャート	調整を補助するチャートを表示します。チャートを表示しながら微調整します。
戻る	前画面に戻ります。

チャートを表示すると音声が出力されません。

高地設定

冷却用のファンの動作を、低地の場合と、海抜 2,300m 以上の高地の場合とで切り換えます。

選択	機能
切	海抜 2,300m 未満で使用する場合の設定です。
入	海抜 2,300m 以上で使用する場合の設定です。

設定値が不適切な場合、本機の部品の寿命が縮まる可能性があります。

運用モード

光源と冷却ファンの制御方法を切り換えます。

選択	機能
標準	標準の駆動モードです。使用時間に伴い、輝度が低下します。
輝度一定	レーザーダイオードの劣化状態をセンサーで検知し、劣化した分のレーザーダイオード駆動電流を増加させることで、設定時の輝度をほぼ一定に維持します。
長寿命 1	光源モードの輝度レベルを低減し、ファン駆動を制御することで、光学部材の寿命を延長します。
長寿命 2	光源モードの輝度レベルをさらに低減し、さらにファン駆動を制御することで、光学部材の寿命をより延長します。

24 時間以上連続で使用する場合、または電源コードを抜いてパワー OFF している場合は、以下のいずれかでキャリブレーションの光源補正を実行してください。実行しない場合は輝度一定を維持することができません。

- 定期的に［キャリブレーション］（P163）の［光源補正］を［はい］に設定する。
- ［スケジュール］（P160）のキャリブレーション［CALIBRATION］を設定する。

レンズシフトモード

レンズシフト機能で設定可能なシフト量を切り換えます。

選択	機能
標準	レンズシフト機能で設定可能なシフト量を標準に設定します。
拡張	レンズシフト機能で設定可能なシフト量が拡張されます。

- 拡張を選択した場合、シフト量によって映像の画質および、キーストーン補正の精度が低下することがあります。
- レンズシフト位置が拡張領域（標準位置より外側）にある場合に、［標準］を選択するとレンズシフトリセット（P143）が実行されます。

周辺フォーカス

ドーム型スクリーン等に投影するときに、周辺のフォーカスを調整したり、リモコン操作による周辺フォーカス調整の ON / OFF を選びます。詳細な調整方法については「周辺フォーカスを調整する」（P61）をご覧ください。

選択	機能
切	周辺フォーカス調整を OFF にします。
入	周辺フォーカス調整を ON にします。本体の【LENS】ボタンを 2 回、またはリモコンの【FOCUS】ボタンを 2 回押すと調整用の画面が表示されます。
リセット	周辺フォーカス調整を標準位置へ戻します。

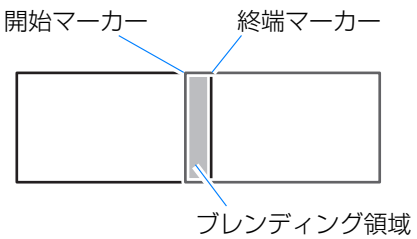
- 装着するレンズによっては、周辺フォーカス機能が使えません。
- ［切］にすると、周辺フォーカス調整値を維持したまま、調整画面が表示されなくなります。周辺フォーカス調整の操作を禁止したい場合に使用してください。

エッジブレンディング

複数台のプロジェクターを並べて投写するとき、映像の重なった部分（ブレンディング領域）の明るさと色を調整して重なった部分を目立たなくします。詳細な調整方法については「エッジブレンディング機能を使って投写する」（P92）を参照してください。

選択	機能
切	ブレンディング領域の調整を行いません。
調整	ブレンディング領域の調整を行うメニューを表示します。

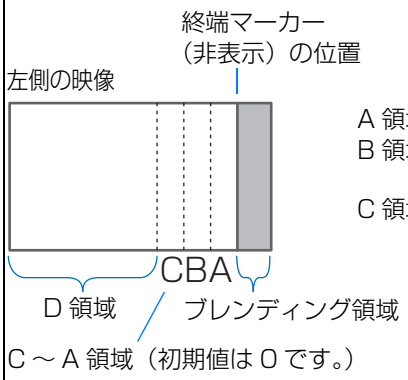




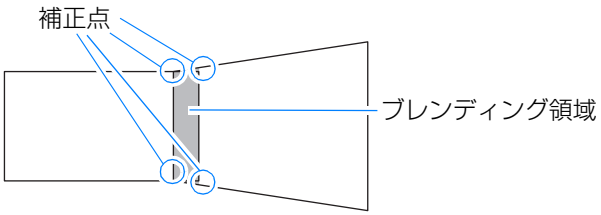
右側の投写画面を調整する場合

- 調整を行ってもブレンディング領域に色つきや輝度差が残る場合があります。
- 各プロジェクターのイメージモードを揃えたり、以下の調整を行うことでエッジブレンディングの効果を高めることができます。
  ① 明るさ、コントラスト、赤 / 緑 / 青ゲイン、赤 / 緑 / 青オフセット、黒レベル、ブレンディング色、色温度、色の濃さ、色合い、シャープネス、ガンマ（P126）
  ② 6 軸色調整を用いた色調整（P130）
  ③ ガンマ詳細調整を用いたガンマ調整（P131）
  ④ キーストーンを用いた 4 点補正（P137）

<table>
<tr><th>サブメニュー</th><th>機能</th></tr>
<tr><td rowspan="4">サイド</td><td>左 / 右 / 上 / 下</td><td>調整を行うブレンディング領域の方向を選択します。</td></tr>
<tr><td>幅</td><td>開始マーカーから終端マーカーまでの幅を指定します。</td></tr>
<tr><td>開始位置</td><td>開始マーカーの位置を移動させます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">• ブレンディング領域を大きく設定すると入力信号ダイアログなどが隠れてしまう場合があります。そのときは一時的にエッジブレンディングを［切］にして表示を確認してください。
• 開始マーカーは通常映像の端部に合わせますが、内側に動かすこともできます。そのとき開始マーカーの外側は黒映像と同じになります。</td></tr>
<tr><td>ブレンディング色調整</td><td colspan="2">ブレンディング領域の色つき、色ずれを調整します。
<table>
<tr><th>サブメニュー</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>切</td><td>ブレンディング色調整は行いません。</td></tr>
<tr><td>調整</td><td>ブレンディング領域の色つき、色ずれを調整します。
<table>
<tr><th>選択</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>白</td><td>ブレンディング領域の赤 / 緑 / 青の色つき、色ずれを同時調整します。</td></tr>
<tr><td>赤 / 緑 / 青</td><td>ブレンディング領域の赤 / 緑 / 青それぞれの色つき、色ずれを個別に調整します。</td></tr>
</table></td></tr>
</table></td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>サブメニュー</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>黒レベル調整</td><td>
ブレンディング領域では黒色が他の部分よりも明るく投写されるため、重ならない部分の黒レベルを調整して輝度差を目立たなくします。


A 領域：黒レベルの調整はできません。
B 領域：D 領域とは別に黒レベルを調整します。
C 領域：B 領域と D 領域の黒レベルを滑らかにつなげます。
<table>
<tr><th>サブメニュー</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>切</td><td>黒レベル調整は行いません。</td></tr>
<tr><td>領域</td><td>ブレンディング領域と接するつなぎ目をより滑らかにするため C ～ A 領域の調整をします。
<table>
<tr><th>選択</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>サイド</td><td>調整を行う方向を左 / 右 / 上 / 下から選択します。</td></tr>
<tr><td>A 幅 /B 幅 / C 幅</td><td>A/B/C それぞれの領域の幅を調整します。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>黒レベル</td><td>B 領域と D 領域の黒レベルの明るさと色味を調整します。
<table>
<tr><th>選択</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>B/D 領域基準</td><td>B/D 領域の黒レベルの明るさを調整します。</td></tr>
<tr><td>B/D 領域赤 / 緑 / 青</td><td>B/D 領域の黒レベルの赤 / 緑 / 青それぞれの色味を個別に調整します。</td></tr>
</table></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>マーカー</td><td>
調整範囲を示すマーカーを表示します。
<table>
<tr><th>選択</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>切</td><td>調整範囲を示すマーカーは表示しません。</td></tr>
<tr><td>入</td><td>調整範囲を示すマーカーを表示します。
赤は開始マーカー、緑は終端マーカーです。</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

サブメニュー	機能
リセット	調整結果をリセットします。
4 点補正	基準となるプロジェクターに合わせてブレンディング領域の 4 隅の位置をそれぞれ調整することで、画面ひずみを補正します。すでにキーストーン調整された基準となるプロジェクターのブレンディング領域に重なるように調整することで、マルチ投影の位置調整ができます。  **左右上下** 調整を行うブレンディング領域の方向を選択します。選択した領域の 4 隅の位置調整に合わせて画面全体が変化します。 • ［キーストーン］の設定が［4 点補正］でかつ、スクリーンアスペクトが［16 : 10］のとき、エッジブレンディングの幅が 12 以上のサイドについて調整できます。 • リセットは［キーストーン］（P137）から実行してください。

レンズ - ポジション

MENU >**[設置設定]**>**[レンズ - ポジション]**

レンズポジションのメモリ機能により、レンズの位置情報（フォーカス、ズーム、レンズシフト）などを3つまで記憶しておくことができ、復元もできます。

サブメニュー	機能
ポジションロード 1、2、3	ポジションセーブ 1 ～ 3 で記憶したレンズポジションに復元します。
ポジションセーブ 1、2、3	レンズポジションをポジションセーブ 1 ～ 3 に記憶します。
レンズシフトリセット	レンズシフト位置をプリセット位置に戻します。 • プリセット位置はレンズの種類により変わります。 • 天吊り設定など本体の向きを変えると、それに準じてプリセット位置は変わります。例えば、「+50%、0%」が「-50%、0%」に変わります。

- 記録したポジションをロック（保護）したい場合、設置ロック（P135) を「入」にしてください。
- レンズの位置情報（フォーカス、ズーム、レンズシフト）の他に以下の設定についても設定値が記憶されます。
  - 縦横キーストーン /4 点補正
  - スクリーン色補正
  - デジタルイメージシフト
  - スクリーンアスペクト値
  - ズーム値
- ［ポジションロード］は一度［ポジションセーブ］を行わないと選択できません。
- レンズシフトの基準位置は、装着しているレンズにより異なります。
- レンズポジションのメモリ機能を使用しても、投写画面が設定（ポジションセーブ）した位置から、わずかにずれることがあります。
- 投写画面サイズをスクリーン画面（投影領域）サイズより少し小さく設定することで、投写画面全体を欠けることなく、複数ポジションの投写画面を切り換えることができます。
- 正確な位置出しが必要な場合は、レンズシフト、ズーム、フォーカス機能を使用して微調整してください。

スクリーン色補正

MENU >**[設置設定]**>**[スクリーン色補正]**

投写するスクリーンの色に応じて、投写する映像の色味を調整できます。

サブメニュー	機能
標準	標準的なスクリーンのときに選びます。自然光に近い色調で投写します。
黒板	黒板（濃緑色）をスクリーンにするときに選びます。黒板上でも［標準］に近い色味になります。
調整	赤 / 緑 / 青の色味をそれぞれ細かく調整するときに選びます。

アイリス

MENU >**[設置設定]**>**[アイリス]**

明るさよりもコントラストを重視した投写を行うときに本機能を使用します。

サブメニュー	機能
オープン	機械的な絞りを使用しません。
調整	機械的な絞りの度合いを手動で調整します。 

［アイリス］の設定により消費電力が変化することはありません。

テストパターン

MENU >**[設置設定]**>**[テストパターン]**

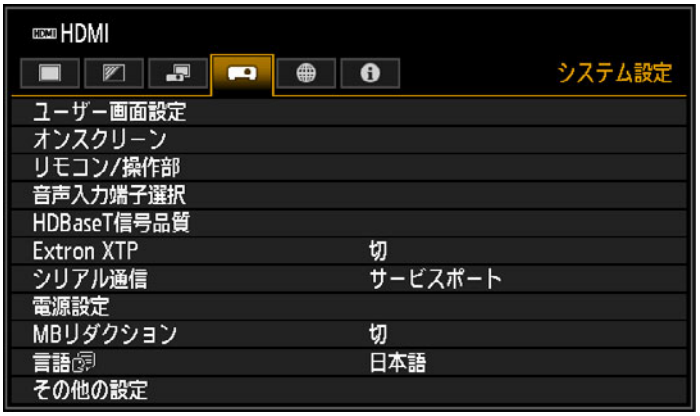
映像信号入力を接続しなくてもテストパターン（P91）を投写することができます。
本機の設置時に解像度や色の確認をすることができます。リモコンの【TEST PATTERN】ボタンを押しても選択できます。

選択	機能
切	テストパターンの表示をしません。
入	テストパターンの表示をします。

- テストパターン・ダイレクトメニュー表示中は、【▲】【▼】ボタンで他のテストパターンに切り換えることができます。また、テストパターンにオプションの設定がある場合は、【◀】【▶】ボタンで設定を変更できます。
- テストパターン・ダイレクトメニューは一定時間後に消えます。【▲】【▼】ボタンを押すことにより再表示されます。

システム設定

電源投入時やスタンバイ時、操作音など、本機やリモコンの動作に関する設定をします。



入力信号がHDMIのメニュー画面

メニュー	機能	詳細
ユーザー画面設定	電源を入れたときや入力信号が検出されなくなったときに表示する画面などの設定をします。	P147
オンスクリーン	メニューの表示位置やガイド、警告、注意を示すアイコンの表示、非表示などの設定をします。	P148
リモコン / 操作部	リモコンや本体のボタン操作などを設定します。	P151
音声入力端子選択	音声を入力する端子を選びます。	P153
HDBaseT 信号品質	HDBaseT の映像信号品質を表示します。	P154
Extron XTP	HDBaseT でネットワークに接続しているときに、Extron 社制の XTP 装置と接続します。	P154
シリアル通信	シリアル通信の設定値を表示します。	P154
電源設定	起動時や、スタンバイ状態時、無信号入力時などの電源設定をします。	P155
MB リダクション	MB（モーションブラー）とは、動画の再生時に生じるブレのことです。MB リダクションにより、動画のブレを軽減することができます。	P157
言語	メニューに表示する言語を選べます。	P157
その他の設定	パスワードの登録やエアフィルターの交換時期の表示などの設定をします。	P158

選択できないメニューはグレーアウト、または非表示になります。

ユーザー画面設定

MENU >[システム設定]>**[ユーザー画面設定]**

画像の登録や表示の設定をします。



ユーザー画像登録

現在表示している画面をユーザー画像として登録します。登録したユーザー画像は、無信号時の画面、BLANK 時の画面、起動時の画面として使用することができます。

選択	機能
はい	登録する画像を画面に表示します。 赤い枠に読み込む範囲を合わせ、【OK】ボタンを押します。枠の中の画像が登録されます。
いいえ	ユーザー画像の登録を中止します。

ユーザー画像として登録できるのは、スクリーンアスペクトが 16：10 の場合のみです。

ユーザー画像位置

登録したユーザー画像の表示位置を設定します。
ユーザー画面を登録したときに設定することができます。左上、右上、中央、左下、右下から選びます。

無信号時画面

入力信号がないときの表示画面の設定をします。

選択	機能
黒	黒画面になります。
青	青画面になります。
ユーザー画像	ユーザー画像が表示されます。

BLANK 時画面

リモコンの【BLANK】ボタンを押して画像を一時的に消したときに表示する画面を選びます。

選択	機能
黒	黒画面になります。
青	青画面になります。
消灯	光源をオフにします。
ユーザー画像	ユーザー画像が表示されます。

起動時画面

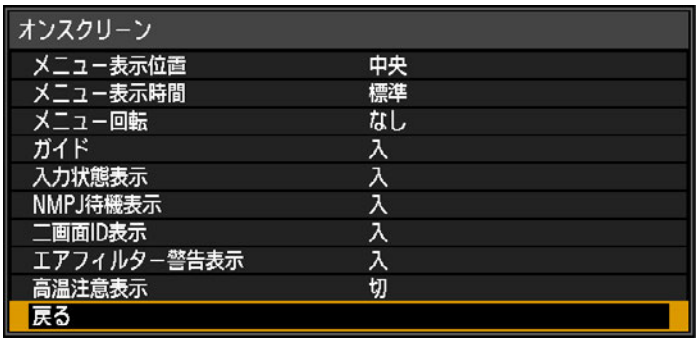
電源を入れてから入力信号の投写ができるまでの間に表示する画面を選びます。

選択	機能
表示しない	黒画面が表示されます。
Canon ロゴ	あらかじめ登録されているキヤノンのロゴを表示します。
ユーザー画像	ユーザー画像が表示されます。

オンスクリーン

MENU >[システム設定]>**[オンスクリーン]**

操作の補助となるガイドやメニュー、警告や注意を示すアイコンの設定をします。



メニュー表示位置

メニュー表示の位置を変えます。
左上、右上、中央、左下、右下から選びます。

エッジブレンディング機能を使用しているときは、メニュー表示位置が［中央］に固定されるため、他の表示位置はグレーアウトし、選択できません。

メニュー表示時間

通常は 10 秒または 30 秒のメニュー表示時間を 3 分に延長します。

選択	機能
標準	表示時間は 10 秒または 30 秒です。
延長	表示時間は 3 分です。

以下の表示時間が変わります。

項目	[標準]	[延長]
- MENU 画面 - エッジブレンディング・4 点補正（P140）	30 秒	3 分
- インプット（P35） - キーストーン（P88） - キーストーンリセット（P90） - フォーカス（P36） - ズーム（P36） - レンズシフト（P58） - レンズシフトリセット（P60） - 周辺フォーカス - D イメージシフト（P137） - D イメージシフトリセット - アスペクト（P114） - イメージモード（P124） - 音量（P24、P28） - ガンマ（P125）	10 秒	3 分

メニュー回転

メニューの表示向きを回転します。本機をポートレート投写など 90° 傾けて設置した場合、投写画面の上下に合わせてメニュー画面の向きを揃えるために設定します。

選択	機能
オート	重力センサ ー を使用して、左 90° ポートレート設置、右 90° ポートレート設置、平置き設置を判別し、自動的にメニューの向きを回転します。
なし	メニューを回転しません。平置き時に正しく見える向きにメニューを表示します。
左 90°	メニューを 90° 回転させます。本機を左または右に 90° ポートレート設置したときにメニューが正しい向きで見えます。
右 90°	

- 電源を入れたときや、オート以外のメニューから［オート］を選んだ直後の本機の設置向きを検知し、メニューの回転方向が判断されます。
- 映像の投写中に本機の設置向きを回転しても、自動的にはメニューの向きは変わりません。

ガイド

ガイド画面を表示します。

選択	機能
切	ガイド画面を表示しません。
入	ガイド画面を表示します。

ガイド画面は次の場合に表示されます。
- 入力信号が確認できない場合。
- ［BLANK］、［FREEZE］、［D.ZOOM］時に無効なボタンが押された場合。（P27）
- 設置ロック（P135）が［入］に設定されており、設置ロック中の操作禁止のボタンが押された場合。
- 電源が ON の場合に、【POWER】ボタンを押した場合。

入力状態表示

無信号時や信号設定時に入力信号の状態を画面に表示するかどうかを設定します。

選択	機能
切	入力状態を表示しません。
入	入力状態を表示します。

NMPJ 待機表示

NMPJ の接続が待機中であることをメッセージで表示するかどうかを設定します。

選択	機能
切	NMPJ の接続が待機中であるメッセージを表示しません。
入	NMPJ の接続が待機中であるメッセージを表示します。

二画面 ID 表示

二画面表示時に、「1」または「2」の数字（二画面 ID）を表示するかどうかを設定します。画面 ID の表示を［切］にした場合でも、操作権を表す 4 隅のマーカーは表示されます。

選択	機能
切	画面 ID を表示しません。
入	画面 ID を表示します。

エアフィルター警告表示

エアフィルターの交換が必要な場合に、交換を促す警告を表示します。

選択	機能
切	エアフィルター警告を表示しません。
入	エアフィルター警告を表示します。

エアフィルター警告表示「切」を選択した場合、エアフィルター交換の警告が表示されません。エアフィルターカウンター（P164）で交換時期の確認をお勧めします。

高温注意表示

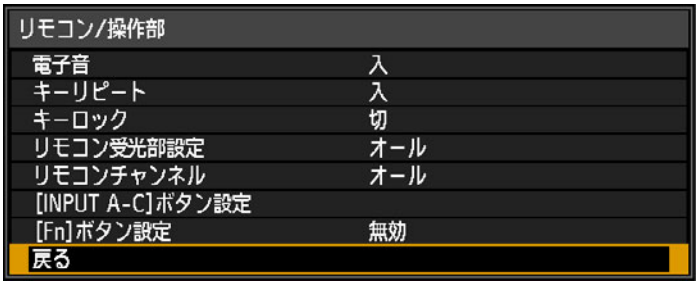
本機内部の温度が上がり、異常温度に近づいたときに、高温注意アイコン  を表示するかどうかを設定します。

選択	機能
切	高温注意アイコンを表示しません。
入	高温注意アイコンを表示します。

リモコン / 操作部

MENU >[システム設定]>**[リモコン / 操作部]**

リモコンや本体操作部のボタン操作などの設定を行います。



電子音

操作時の電子音の有無を設定します。

選択	機能
切	電子音を鳴らしません。
入	電子音を鳴らします。

リモコンの【MUTE】ボタンで音を消しているときは、電子音は鳴りません。

キーリピート

本体やリモコンのボタンを押したままにしたとき、連続して押した状態と同じ動作をさせること（キーリピート）ができます。

選択	機能
切	キーリピートを行いません。
入	キーリピートを行います。

キーロック

本体またはリモコン（ワイヤレス）のいずれかの操作をできないように設定します。

選択	機能
切	キーロックをしません。本体・リモコンどちらからでも操作することができます。
本体	本体操作部が使用できなくなります。 リモコン側で操作してください。
リモコン （ワイヤレス）	赤外線でのリモコン操作ができなくなります（P30）。本体側で操作してください。 別売品のリモコン（RS-RC05）をケーブルに接続して操作することはできます 。

キーロックを強制解除するには

本機の電源を切り、電源コードをいったん抜いてください。次に、本体の【OK】ボタンを押しながら電源コードを差し込み、そのまま【OK】ボタンを離さないでください。しばらくして電子音が鳴り、キーロックが解除されます。

キーロックは、本体操作部を用いて［本体］を設定することはできません。リモコンを用いて［リモコン（ワイヤレス）］の設定も同様にできません。

リモコン受光部設定

使用するリモコンの受光部を選択します。

選択	機能
オール	前面、背面両方のリモコン受光部を使用します。
フロント	前面のリモコン受光部を使用します。
リア	背面のリモコン受光部を使用します。

リモコンチャンネル

ひとつのリモコンで複数台（最大 4 台）のプロジェクターを同時に使用するとき、操作するプロジェクターを使い分けるためリモコンのチャンネル設定をします。

本体側のチャンネルを選ぶ

リモコンをケーブル接続して使用する場合は、リモコンのチャンネル設定は不要です。

選択	機能
Ch1	このプロジェクターで使用するリモコンのチャンネルを選びます。
Ch2	
Ch3	
Ch4	
オール	すべてのチャンネルのリモコンが使用できるようになります。

リモコン側のチャンネルを選ぶ

メニューで本体側のチャンネル切り換えを行ったら、リモコンで以下の操作を行い、必ずリモコン側のチャンネルも切り換えてください。

Ch1	Ch ボタンと【1】ボタンを同時に 3 秒間押します。
Ch2	Ch ボタンと【2】ボタンを同時に 3 秒間押します。
Ch3	Ch ボタンと【3】ボタンを同時に 3 秒間押します。
Ch4	Ch ボタンと【4】ボタンを同時に 3 秒間押します。
オール	Ch ボタンと【0】ボタンを同時に 3 秒間押します。

[INPUT A-C] ボタン設定

リモコンの【INPUT A】、【INPUT B】、【INPUT C】ボタンに割り当てる入力信号を選択します。直接、入力信号を選択することができます。

選択	機能
INPUT A	割り当てる入力信号を［無効］、［HDMI］、［DisplayPort］、［デジタル PC］、［アナログ PC-1］、［アナログ PC-2］、［コンポーネント］、［HDBaseT］、［LAN］、［USB］から選びます。
INPUT B	
INPUT C	

[Fn] ボタン設定

リモコンの【Fn】ボタンに割り当てる機能を選択します。

選択	機能
無効	リモコンの【Fn】ボタンに機能を設定しません。
二画面	リモコンの【Fn】ボタンに二画面表示の切り換え機能を設定します。

リモコンの【Fn】ボタンに割り当てる機能を選択します。

音声入力端子選択

MENU >**[システム設定]>[音声入力端子選択]**

各入力信号の音声を入力する端子を選びます。

サブメニュー	機能
HDMI	音声を入力する端子を選びます。
DisplayPort	
デジタル PC	
アナログ PC-1	
アナログ PC-2	
コンポーネント	
HDBaseT	
LAN	
USB	

選択	機能
切	音声出力を行いません。
オーディオイン	AUDIO IN 端子から入力される音声を出力します。
HDMI	HDMI の音声信号を出力します。
HDBaseT	HDBaseT の音声信号を出力します。
DisplayPort	DisplayPort の音声信号を出力します。
LAN	LAN の音声信号を出力します。NMPJ アプリケーションにより音声転送されます。

HDBaseT 信号品質

MENU >[システム設定]>[HDBaseT 信号品質]

HDBaseTの映像信号品質を表示します。白線は実際のHDBaseT入力信号値です。



高	緑色。推奨レベルです。
中	黄色。信号が不安定です。ケーブルの配線状況の見直しをお薦めします。
低	赤色。使用できません。ケーブルを配線し直すか、ケーブルを交換してください。

ケーブルは重ねたり、まとめて束ねたりしないでください。

Extron XTP

MENU >[システム設定]>[Extron XTP]

HDBaseT で接続しているとき、Extron 社の XTP トランスミッターに接続するかどうかを設定します。

サブメニュー	機能
切	XTP に対応している機器に接続しません。
入	XTP に対応している機器に接続します。

シリアル通信

MENU >[システム設定]>[シリアル通信]

シリアル通信機能で使用するポートを選びます。また、シリアル通信機能で選択したポートの設定値を確認することができます。

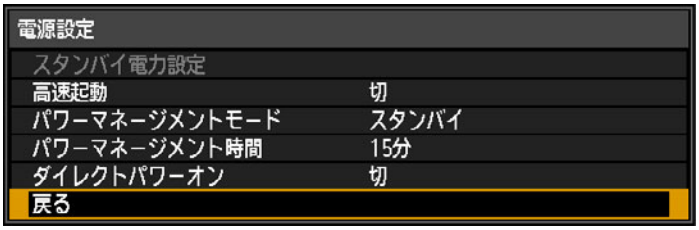
サブメニュー	機能
サービスポート	サービス用端子（CONTROL）を使用します。
HDBaseT	HDBaseT 端子を使用します。

サブメニュー	機能
詳細	選択 / 機能 ボーレート / 変調速度（単位はビット / 秒）を表します。 データビット長 / データのビット数を表します。 パリティ / パリティのビット数を表します。 ストップビット / データビットの終了を示すマークの長さを、1 または 2 から選択します。

電源設定

MENU >[システム設定]>**[電源設定]**

スタンバイ状態時、無信号入力時、起動時などの電源設定をします。



スタンバイ電力設定

スタンバイ状態時のネットワーク機能動作状態を設定します。

選択	機能
通常	ネットワーク機能が有効の場合は Web 設定、PJLink などすべてのネットワーク機能が動作します。
省電力	一部の有線 LAN 機能（ネットワーク経由の操作など）を除いて無効にします。

- スケジュール機能（P160）を有効にすると、[スタンバイ電力設定] は [通常] に固定されます。
- 無線 LAN 機能（P168）を有効にすると、[スタンバイ電力設定] は [通常] に固定されます。
- IPsec 機能（P199）を有効にすると、[スタンバイ電力設定] は [通常] に固定されます。

高速起動

電源オフ時に、90 分間一部の回路を通電状態として、次の電源オン後の起動時間を短縮します。ただし、瞬間的な大光量変化を防止するため約 1.7 秒をかけて映像を投写します。

選択	機能
切	高速起動を使用しません。
入	高速起動を使用します。

パワーマネージメントモード

映像入力信号がない状態（無信号状態）で、消灯やスタンバイ状態にできます。リモコンや本体操作部の操作がない（無操作状態）場合、所定時間が経過した後に、自動的に消灯や電源がオフになる機能です。

選択	機能
無効	パワーマネージメントモードを使用しません。
消灯	光源のみオフします。
スタンバイ	電源を切り、スタンバイ状態にします。

- 消灯から復帰するのは、映像信号（消灯前と同じ入力信号）が復活した場合、またはリモコン／本体のボタンを操作した場合、ユーザーコマンドで電源 ON を行った場合です。
- スタンバイ状態から復帰するには、通常の電源を入れる操作が必要です。
- ［無効］に設定した場合は、［ダイレクトパワーオン］は使用できません。

パワーマネージメント時間

［パワーマネージメントモード］で設定した消灯やスタンバイ状態になるまでの時間を設定します。

選択	機能
5 分～ 60 分	入力信号がなくなって 30 秒が経過し、かつ操作がない状態が継続すると、選択した時間のカウントダウン表示を開始します。

- ブランク中にカウントダウンを開始する条件になると、ブランクは解除されます。
- カウントダウンを開始すると、音声出力は停止します。

ダイレクトパワーオン

【POWER】ボタンを押さずに、電源コードの接続だけで電源が入るようにできます。

選択	機能
切	電源を入れるために【POWER】ボタンの操作が必要です。
入	電源コードの接続だけで電源が入ります。

- ダイレクトパワーオンを［入］にするときは、［パワーマネージメントモード］の設定を［無効］以外に設定してください。［無効］にするとダイレクトパワーオンは使用できません。
- 本機はダイレクトパワーオフ機能を備えています。投写中に電源ボタンを押さないで、電源コードをコンセントから抜いて電源を切っても、故障などを起こしません。
  ただし、コンセントを抜く直前に行われた設定の変更は保存されない場合があります。

MB リダクション

MENU >[システム設定]>[MB リダクション]

MB（モーションブラー）とは、動画の再生時に生じるブレのことです。MB リダクションにより、動画のブレを軽減することができます。

選択	機能
切	MB リダクションを実行しません。
弱	動きの速い映像のブレを軽減します。若干映像が暗くなることや画面がちらつくことがあります。
強	［弱］よりも動きの速い映像のブレを軽減します。映像が暗くなることや画面がちらつくことがあります。

- ［弱］、［強］にしたときにちらつきが気になる場合は、［切］に設定してください。
- イメージモードが［DICOM SIM］の場合は、［MB リダクション］は機能しません。メニューはグレーアウト表示となります。

言語

MENU >[システム設定]>[言語]

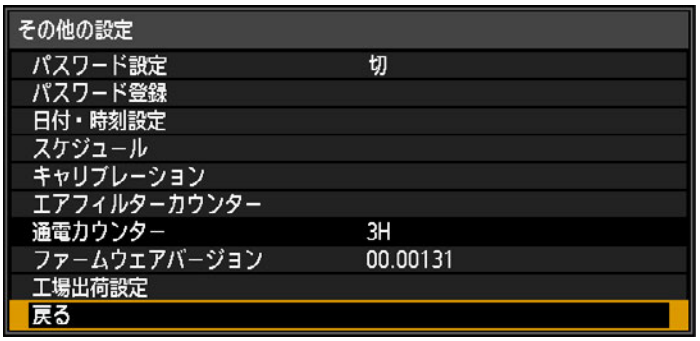
メニューに表示する言語を選びます。

言語		
English 英語	Русский ロシア語	Čeština チェコ語
Deutsch ドイツ語	Nederlands オランダ語	Dansk デンマーク語
Français フランス語	Suomi フィンランド語	إنجليزي アラビア語
Italiano イタリア語	Norsk ノルウェー語	中文简体 中国語（簡体）
Español スペイン語	Türkçe トルコ語	中文繁體 中国語（繁体）
Português ポルトガル語	Polski ポーランド語	한국어 韓国語
Svenska スウェーデン語	Magyar ハンガリー語	日本語 日本語

その他の設定

MENU >[システム設定]>**[その他の設定]**

パスワードの登録や設定、エアフィルターのカウンターのリセット、スケジュールなどの設定をします。



パスワード設定

パスワードを入力しないと投写ができないようにします。

選択	機能
切	パスワードを入力しなくても投写できます。
入	パスワードを入力しないと投写できません。

パスワードを強制解除するには

本体側で解除する方法	本機の電源を切り、電源コードをいったん抜いてください。 次に、本体の【MENU】ボタンを押しながら電源コードを差し込みます。電子音が鳴るまで【MENU】ボタンを押し続けてください。 電子音が鳴るとパスワードの解除は完了です。（登録したパスワードもリセットされます）
リモコン側で解除する方法	リモコンからパスワードを強制解除するには、スタンバイ状態で【MENU】ボタンを 3 回押し、【POWER】ボタンを押してください。

- ［パスワード登録］を行わないとパスワード設定を［入］にできません。
  パスワード機能を使用すると、電源を入れたときにパスワードの入力画面が表示されます。
  パスワードは 4 桁で入力します。
  【▲】、【▶】、【▼】、【◀】ボタンまたはリモコンの数字ボタンの組み合わせで設定します。
  パスワードが一致すれば投写が始まります。パスワードを 3 回間違えると、電源が切れます。
- パスワードの入力画面のまま無操作状態で 3 分間経過した場合も電源が切れます。

パスワード登録

投写を始めるためのパスワードを登録します。

パスワードは 4 桁で入力します。
方向ボタン【▲】(1)、【▶】(2)、【▼】(3)、【◀】(4)、またはリモコンの数字ボタンの組み合わせで設定します。
左の桁から順番に入力し、入力が終わると自動的に登録されます。
パスワードの登録を中止するときは【MENU】ボタンを押してください。

日付・時刻設定

現在の日付と時刻や、その表示形式、サマータイム、タイムゾーンなどを設定します。

サブメニュー	機能
日付・時刻	日付と時刻を設定します。現在設定されている日付と時刻が表示され、時刻は 1 秒ごとに更新されます。 日付・時刻が未設定のとき、表示は空欄になります。 **サブメニュー**：**機能** 日付：日付を入力します。 時刻：時刻を入力します。 確定：入力した値を確定します。このタイミングで、日付・時刻が動作を開始します。 • 表示される日付と時刻の形式は［日付の表示形式］で設定します。 • 電源を長期間抜いた状態が続くと設定がリセットされる場合があります。
日付の表示形式	日付・時刻、スケジュールなどにおける日付の表示形式を［年 / 月 / 日］、［月 / 日 / 年］、［日 / 月 / 年］から選びます。
サマータイム	サマータイム開始時に時計を 1 時間進め、サマータイム終了時に時計を 1 時間戻します。サマータイムの開始と終了の時期をあらかじめ設定しておく必要があります。 **選択**：**機能** 切：サマータイム機能を使用しません。 入：サマータイム機能を使用します。 編集：サマータイムの開始 / 終了タイミングを編集します。開始日時と終了日時の編集画面が開くので、月・曜日・時刻を設定してください。 開始、終了タイミングが未設定のときは、［サマータイム］の［入］はグレーアウトします。
エリア	設置場所と同じタイムゾーンの地域名を選びます。 ［タイムゾーン］に選択した地域に対応するタイムゾーンが表示されます。

<table>
<tr><th>サブメニュー</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>SNTP</td><td>時刻の同期に SNTP（Simple Network Time Protocol.）を使用するかを選びます。
<table>
<tr><th>選択</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>入 (IPv4)</td><td>IPv4 の SNTP を使用します。</td></tr>
<tr><td>入 (IPv6)</td><td>IPv6 の SNTP を使用します。</td></tr>
<tr><td>切</td><td>SNTP を使用しません。</td></tr>
</table>
• ネットワーク（有線 / 無線）が［切 / 切］のときは、［SNTP］はグレーアウトします。
• SNTP サーバーの IP アドレスは Web 画面から設定してください。SNTP サーバーの IP アドレスが設定されていないときは、［SNTP］はグレーアウトします。</td></tr>
</table>

スケジュール

本機を自動的に動作させるためのスケジュールを登録することができます。期間を限定しない「通常」スケジュールと、期間を限定した 5 つの「特定期間」スケジュールが選択できます。

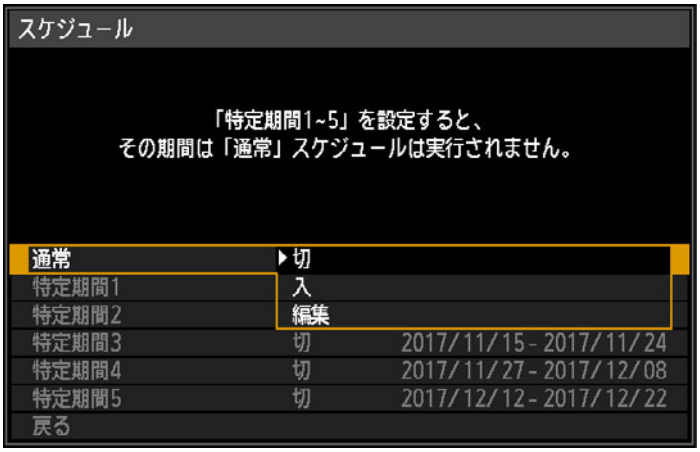


各特定期間の「期間」を、互いに重複して設定することはできません。

選択	機能
通常	期間を限定しないスケジュールを設定できます。
特定期間 1-5	5 つの限定した期間のスケジュールを設定できます。

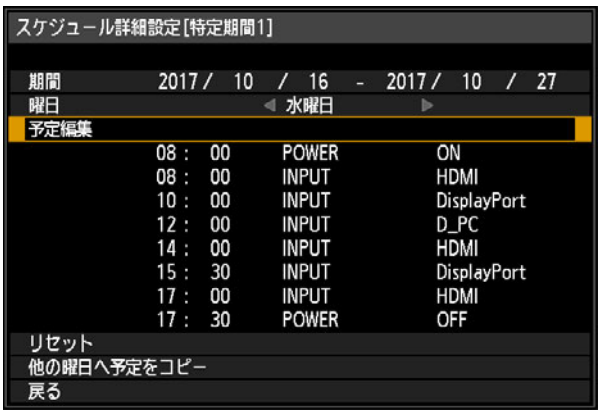
- [特定期間 1]～[特定期間 5]は、期間が未設定の場合には[入]はグレーアウトします。
- [特定期間 1]～[特定期間 5]は、期間通して過去となった場合には[入／切]はグレーアウトします。
- いずれかのスケジュールを[入]に設定すると、スタンバイ電力設定（P155）が[通常]になります。
- 「特定期間」スケジュールの間は、「通常」スケジュールの実行が抑制され、「特定期間」スケジュールが実行されます。

スケジュール詳細設定



選択	機能
切	スケジュールを使用しません。
入	スケジュールを使用します。
編集	スケジュールを編集することができます。 ■通常 

<table>
<tr><th>選択</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>編集</td><td>■特定期間
 

設定したい［曜日］を選び、時間とオペレーション、パラメータを選びます。
<table>
<tr><th>サブメニュー</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>期間</td><td>動作させる期間（開始日付、終了日付）を編集します。通常スケジュールの場合は、［期間］はありません。</td></tr>
<tr><td>曜日</td><td>編集する曜日を切り換えます。</td></tr>
<tr><td>予定編集</td><td>［曜日］で選択した曜日のプログラムを編集します。時刻、オペレーションとパラメータ（POWER ON / OFF、INPUT、CALIBRATION）を設定、削除できます。
 
</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>選択</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>編集</td><td>
<table>
<tr><th>サブメニュー</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>リセット</td><td>選択中のスケジュールの設定内容をリセットします。［期間］および全曜日の設定内容をリセットします。</td></tr>
<tr><td>他の曜日へ
予定をコピー</td><td>予定コピーメニューを表示し、［曜日］で選択した曜日のプログラムを他の曜日へコピーできます。
 
</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

キャリブレーション

本機を長期間使用した場合や環境変化などによる画質の変化を調整をします。

<table>
<tr><th>サブメニュー</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>ガンマリストア</td><td>
長期間のご使用によって、階調特性の変化や無彩色の色つきが気になったときに使用します。ガンマリストアは点灯後、約 30 分以上経過しないと使用可能となりません。
<table>
<tr><th>選択</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>切</td><td>ガンマリストアを実行せず、工場出荷時の設定に戻します。</td></tr>
<tr><td>調整</td><td>ガンマリストアを実行し、結果を適用します。</td></tr>
</table>

• ガンマリストアを実行すると、階調特性や無彩色の色つきを購入時（工場出荷時）の状態に近づけられますが、完全に元の状態に戻すことはできません。
• ガンマリストアを実行すると、約 3 分間、調整画面が投写されます。
• ガンマリストアを中断するには、【POWER】ボタン、または【EXIT】ボタンを押してください。中断すると【切】の状態に戻ります。
</td></tr>
</table>

サブメニュー	機能
光源補正	長時間のご使用によって光源の輝度や色の劣化が気になった時に使用します。 選択：機能 はい：光源補正を実行します。 いいえ：光源補正を実行しません。

光源補正は、点灯後、約 30 分以上経過しないと使用可能となりません。

エアフィルターカウンター

エアフィルターの交換時期を知らせるカウンターを表示します。
また、カウンターリセット画面が表示されます。

- エアフィルターの交換後はエアフィルターカウンターのリセットを行ってください。
- エアフィルターの交換については 201 ～ 202 ページを参照してください。

通電カウンター

プロジェクターが電源に接続されていた総時間を表示します。

［工場出荷設定］を行っても初期化されません。

ファームウェアバージョン

ファームウェア（本機の内蔵プログラム）を新しいバージョンに更新します。
表示されるバージョンを確認した上でバージョンアップを実行してください。



本機のファームウェアのアップデートは以下の手順で行います。

1. アップデートプログラムは弊社の Web サイトからダウンロードし、USB メモリのルートディレクトリに保存します。
2. USB メモリを USB 端子に接続します。
3. 画面に表示される指示に従って操作してください。

- ここに記載されているバージョンは実際のものとは異なります。
- アップデートプログラムがダウンロードできない場合があります。詳しくはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
- 更新処理には数分かかります。ファームウェアの更新中は、赤い LED が点滅します。LED 点滅中は電源を切らないでください。更新完了後は、自動的に本機の電源が切れ、スタンバイ状態になります。

工場出荷設定

メニューで設定した内容を購入時（工場出荷時）の状態に戻します。

選択	機能
はい	工場出荷時の状態に戻します。
いいえ	工場出荷時の状態に戻しません。

ネットワーク設定

ネットワーク（有線 / 無線）への接続の設定や、ネットワーク使用時のパスワードの登録など、ネットワークを使用するときの設定について説明します。



入力信号がHDMIのメニュー画面

メニュー	機能	詳細
ネットワーク設定変更	ネットワークの設定を変更できないようにロック / ロック解除を設定します。	P167
ネットワーク パスワード設定	ネットワークの設定を変更する際にパスワードを必要とするかどうかを切り換えます。	P167
ネットワーク パスワード登録	ネットワークパスワードの登録をします。	P167
ネットワーク （有線 / 無線）	有線 LAN 機能の入／切と、無線 LAN 機能の入／切およびモードを設定します。	P168
詳細設定（有線）	有線 LAN で接続するときの詳細な情報の表示および設定をします。	P169
詳細設定（無線）	無線 LAN で接続するときの詳細な情報の表示および設定をします。	P174
PJLink*	プロジェクターの PJLink 機能の使用の有無を設定します。	P179
AMX Device Discovery*	AMX Device Discovery の検出の設定をします。	P180
Crestron RoomView*	Crestron RoomView の使用設定をします。	P180
インフォメーション	ネットワーク関連の情報を表示します。	P181

選択できないメニューはグレーアウト、または非表示になります。

* 有線LANでのみ有効です。

ネットワーク設定変更

MENU >[ネットワーク設定]>**[ネットワーク設定変更]**

ネットワーク設定が変更できないようロックしたり、ロックを解除したりします。

選択	機能
ロック解除	ロックを解除し、他のネットワーク設定項目を変更できるようにします。ロック解除にはパスワードの入力が必要です。**【▲】【▶】【▼】【◀】**ボタンまたはリモコンの数字ボタンを使い、4 桁のネットワークパスワードを入力します。
ロック	ロックします。

- **ネットワークのロックを強制解除するには**
  【▲】【OK】【▶】【OK】【▼】【OK】の順にボタンを押すと、ロックが解除されます。これによりネットワークパスワードは**【▲】【▲】【▲】【▲】**(**【1】【1】【1】【1】**)に初期化されます。
- 「ネットワークパスワード設定」を「切」に設定すると、常にロックが解除された状態となります。

ネットワークパスワード設定

MENU >[ネットワーク設定]>**[ネットワークパスワード設定]**

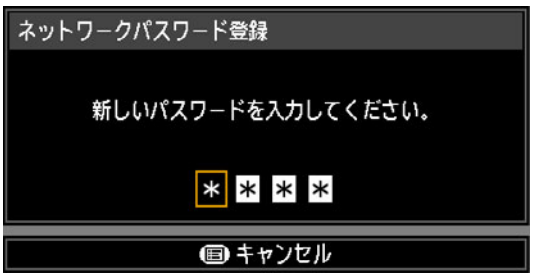
プロジェクターのネットワーク設定を変更する際にパスワードを必要とするかどうかを切り換えます。

選択	機能
切	ネットワークパスワードを使用しません。
入	ネットワークパスワードを使用します。

ネットワークパスワード登録

MENU >[ネットワーク設定]>**[ネットワークパスワード登録]**

【▲】【▶】【▼】【◀】ボタンまたはリモコンの数字ボタンを使い、プロジェクターのネットワークパスワードを登録します。



ネットワーク（有線 / 無線）

MENU >[ネットワーク設定]>[ネットワーク(有線 / 無線)]

有線 LAN のネットワーク機能の入 / 切と、無線 LAN のネットワーク機能の入 / 切およびモードを設定します。

［切］に設定すると、消費電力を抑えることができます。

選択	機能
切 / 切	ネットワーク機能を無効にします。
入 / 切	有線 LAN 機能のみを有効にします。
入 / 入（Pj AP）	有線 LAN 機能、無線 LAN 機能（PJ AP モード）を有効にします。
切 / 入（Pj AP）	無線 LAN 機能（PJ AP モード）のみを有効にします。
切 / 入（Infra）	無線 LAN 機能（インフラストラクチャモード）のみを有効にします。

無線 LAN を使用して接続する場合

- PJ AP モード（P68）で接続した場合、初回起動時にセキュリティキーの設定を確認する画面が表示されます。
- PC フリーマルチプロジェクションのモード設定を［Primary］または［Secondary］に設定した場合は、［ネットワーク（有線 / 無線）］の設定は変更できません。

詳細設定（有線）

MENU >[ネットワーク設定]>**[詳細設定(有線)]**

有線 LAN で接続したときの IP アドレス、ゲートウェイアドレスなどを表示したり、手動で変更します。有線LAN機能が［入］のときのみ有効です。

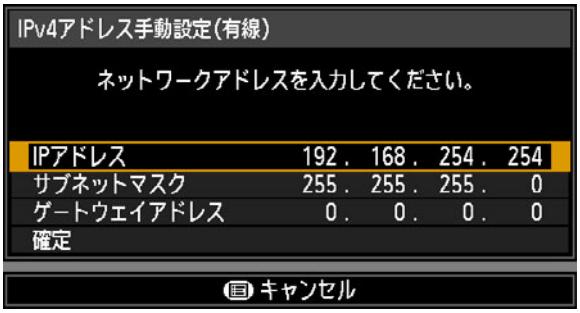


メニュー	機能
MAC アドレス	本機の有線側の MAC アドレスです。
IPv4 アドレス詳細設定	本機の有線 LAN（IPv4）機能の詳細を設定します。



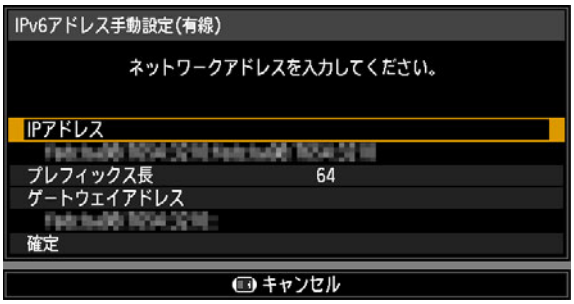
サブメニュー	機能
IP アドレス	有線 LAN（IPv4）の IP アドレスです。
サブネットマスク	有線 LAN（IPv4）のサブネットマスクです。
ゲートウェイアドレス	有線 LAN（IPv4）のゲートウェイアドレスです。
DHCP	

選択	機能
切	DHCP 機能を無効にします。TCP / IP の手動設定が可能になります。
入	DHCP 機能を有効にします。DHCP サーバーが探索されます。IP アドレスは DHCP サーバーから取得されるため、TCP / IP の手動設定の各項目（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス）の入力ができなくなります。

<table>
<tr><th>メニュー</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>IPv4 アドレス
詳細設定</td><td>
<table>
<tr><th>サブメニュー</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>TCP/IP 設定</td><td>接続するときの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの変更、設定を行います。
 

• [DHCP]（P169）が［入］の場合は本メニューはグレーアウトされ、設定不可となります。
• 無効な値を入力した場合は、「入力が正しくありません。」と表示されます。その場合は、正しい値を入力し直してください。
• ［ネットワーク（有線 / 無線）］の設定が［入 / 入（Pj AP）］のときに PJ AP モードと同一のサブネットワークに設定すると、「同一セグメント IP は設定できません。」と表示されます。異なるサブネットワークに入力し直すか、［ネットワーク（有線 / 無線）］の設定を［入 / 切］に変更してから有線 LAN の IP アドレスを入力し直してください。</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>IPv6</td><td>
<table>
<tr><th>選択</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>切</td><td>本機の有線 LAN（IPv6）機能を無効にします。</td></tr>
<tr><td>入</td><td>本機の有線 LAN（IPv6）機能を有効にします。
［IPv6 アドレス詳細設定］が選択可能になります。</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>メニュー</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>IPv6 アドレス
詳細設定</td><td>本機の有線 LAN (IPv6) 機能の詳細を設定します。
 

<table>
<tr><th>サブメニュー</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>リンクローカル</td><td>有線 LAN（IPv6）のリンクローカルアドレスです。</td></tr>
<tr><td>自動</td><td>有線 LAN（IPv6）の自動アドレス（最大 5 つ）です。</td></tr>
<tr><td>手動</td><td>有線 LAN（IPv6）の手動アドレスです。</td></tr>
<tr><td>ゲートウェイ</td><td>有線 LAN（IPv6）のゲートウェイアドレスです。</td></tr>
<tr><td>自動設定</td><td>有線 LAN（IPv6）の自動アドレス設定を有効 / 無効にします。</td></tr>
<tr><td>手動設定</td><td>有線 LAN（IPv6）を手動設定します。IPv6 アドレス、プレフィックス長、ゲートウェイアドレスの変更、設定を行います。
 

無効な値を入力した場合は、「入力が正しくありません。」と表示されます。その場合は、正しい値を入力し直してください。</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

メニュー	機能

ネットワーク設定初期化	ネットワークに関する以下の項目を初期化します。
	
	本機のメニューから設定する項目
	• ネットワーク設定変更（P167）
	• ネットワークパスワード設定（P167）
	• ネットワークパスワード登録（P167）
	• ネットワーク（有線 / 無線）（P168）
	• 詳細設定 （有線）（P169）
	  • IPv4アドレス詳細設定（P169）
	  • DHCP（有線LAN（IPv4））（P169）
	  • TCP/IP設定（P170）
	  • IPアドレス（有線LAN（IPv4））（P169）
	  • サブネットマスク（有線LAN（IPv4））（P169）
	  • ゲートウェイアドレス（有線LAN（IPv4））（P169）
	  • IPv6（P170）
	  • IPv6アドレス詳細設定（P171）
	  • 自動設定（P171）
	  • 手動設定（P171）
	  • IPアドレス（有線LAN（IPv6））（P171）
	  • プレフィックス長（P171）
	  • ゲートウェイアドレス（有線LAN（IPv6））（P171）
	• PCフリーマルチプロジェクション
	  転送先プロジェクター設定
	  [1]IPアドレス～[9]IPアドレス
	• PJLink（P179）
	• AMX Device Discovery（P180）
	• Crestron RoomView（P180）

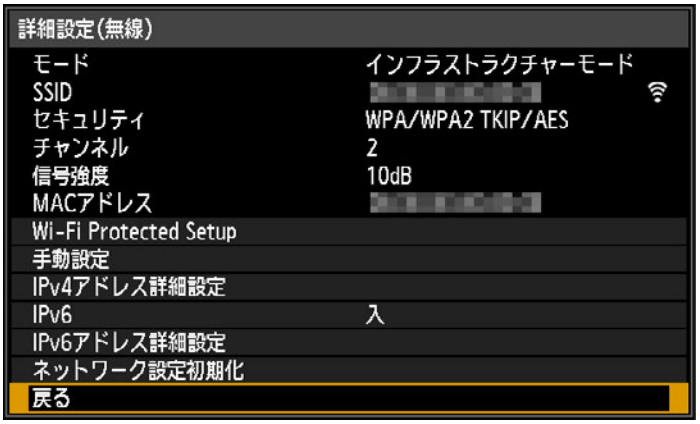
メニュー	機能

ネットワーク設定初期化	**Web画面から設定する項目**
	• [Password]（P183）
	• [Wired]（P189）
	  • IPv4に関する以下の項目
	  • DHCP（P189）
	  • IP address（P189）
	  • Subnet mask（P189）
	  • Default gateway（P189）
	  • IPv6に関する以下の項目
	  • IPv6（P190）
	  • Autoconfiguration（P190）
	  • IP address（P190）
	  • Prefix length（P190）
	  • Default gateway（P190）
	• [NMPJ Password]（P193）
	• [Mail]（P194）
	• [SNMP]（P196）
	• [Projector info.]（P197）
	• [PJLink]（P198）
	• [IPsec]（P199）

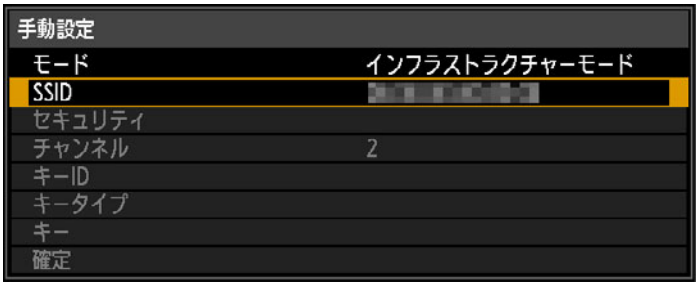
詳細設定（無線）

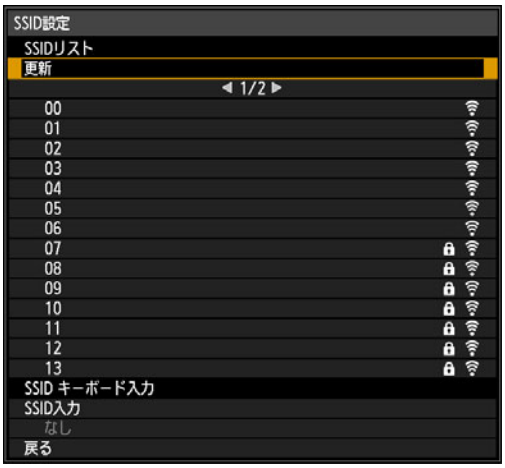
MENU >[ネットワーク設定]>[詳細設定(無線)]

無線 LAN で接続したときの IP アドレス、ゲートウェイアドレスなどを表示したり、手動で変更します。無線LAN機能が［入］のときのみ有効です。



メニュー	機能
モード	無線 LAN のモードを表示します。（P68、P69）
SSID	アクセスポイントの SSID を表示します。
セキュリティ	セキュリティ設定を表示します。
チャンネル	接続先のチャンネルを表示します。
信号強度	信号強度の実測値を表示します。
MAC アドレス	本機の無線側 MAC アドレスです。
Wi-Fi Protected Setup	インフラストラクチャモードを使用するときの接続方法を選びます。 **サブメニュー** / **機能** PBC / PBC（プッシュボタン）方式で接続します。画面の表示に従い、無線 LAN の親機（アクセスポイント）のプッシュボタンを押してから 2 分以内に画面の［OK］を選びます。 PIN / PIN 方式で接続します。画面に表示された 8 桁の PIN コードを無線 LAN の親機（アクセスポイント）に入力し、10 分以内に画面の［OK］を選びます。

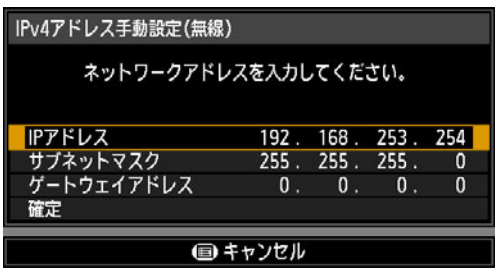
<table>
<tr><th>メニュー</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>手動設定</td><td>本機の無線 LAN を手動で設定します。
 

<table>
<tr><th>サブメニュー</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>モード</td><td>無線 LAN のモードを表示します。（P68、P69）</td></tr>
<tr><td>SSID</td><td>接続できるアクセスポイントの SSID 一覧が表示されます。周辺で使用できるアクセスポイントを探したり、接続先の SSID をキーボードから入力することができます。
 
</td></tr>
<tr><td>セキュリティ</td><td>無線 LAN のセキュリティを［Open］、［WEP］、［WPA2 AES］、［WPA / WPA2 TKIP / AES］から選びます。PJ AP モードのときは、［Open］または［WPA2 AES］を選択できます。</td></tr>
<tr><td>チャンネル</td><td>無線 LAN の接続が完了したときに無線 LAN のチャンネルを 1 ～ 11 で表示します。</td></tr>
<tr><td>キー ID</td><td>無線 LAN の WEP キー ID を選択します。セキュリティが［WEP］の場合のみ選択できます。</td></tr>
<tr><td>キータイプ</td><td>無線 LAN のセキュリティキーの入力タイプを選択します。セキュリティが［Open］の場合は選択できません。</td></tr>
<tr><td>キー</td><td>セキュリティキーを入力します。
セキュリティが［Open］の場合は選択できません。</td></tr>
<tr><td>確定</td><td>設定した内容で接続します。</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>メニュー</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>IPv4 アドレス詳細設定</td><td>
本機の無線 LAN（IPv4）機能の詳細を設定します。

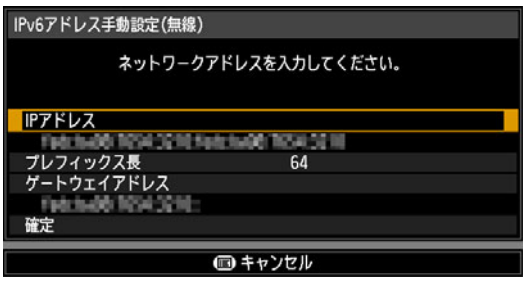

<table>
<tr><th>サブメニュー</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>IP アドレス</td><td>本機の無線 LAN（IPv4）の IP アドレスです。</td></tr>
<tr><td>サブネットマスク</td><td>本機の無線 LAN（IPv4）のサブネットマスクです。</td></tr>
<tr><td>ゲートウェイアドレス</td><td>本機の無線 LAN（IPv4）のゲートウェイアドレスです。</td></tr>
<tr><td>DHCP</td><td>本機の無線 LAN の DHCP 機能の無効、有効を切り換えます。
<table>
<tr><th>選択</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>切</td><td>DHCP 機能を無効にします。TCP / IP の手動設定が可能になります。</td></tr>
<tr><td>入</td><td>DHCP 機能を有効にします。DHCP サーバーが探索されます。IP アドレスは DHCP サーバーから取得されるため、TCP / IP の手動設定の各項目（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス）の入力ができなくなります。</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>TCP/IP 設定</td><td>本機の無線 LAN の TCP / IP の設定を行います。

［DHCP］が［入］の場合は本メニューはグレーアウトされ、設定不可となります。
無効な値を入力した場合は、「入力が正しくありません。」と表示されます。その場合は、正しい値を入力し直してください。



</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>メニュー</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>IPv6</td><td>
<table>
<tr><th>選択</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>切</td><td>本機の無線 LAN（IPv6）機能を無効にします。</td></tr>
<tr><td>入</td><td>本機の無線 LAN（IPv6）機能を有効にします。
［IPv6 アドレス詳細設定］が選択可能になります。</td></tr>
</table>
PJ AP モード（P168）で接続した場合、IPv6 には対応していません。［IPv6］メニューと［IPv6 アドレス詳細設定］メニューはグレーアウトになります。
</td></tr>
<tr><td>IPv6 アドレス詳細設定</td><td>
本機の無線 LAN（IPv6）機能の詳細を設定します。


<table>
<tr><th>サブメニュー</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>リンクローカル</td><td>無線 LAN の IPv6 リンクローカルアドレスを表示します。</td></tr>
<tr><td>自動</td><td>無線 LAN の IPv6 の自動アドレス（最大 5 つ）を表示します。</td></tr>
<tr><td>手動</td><td>無線 LAN の IPv6 の手動アドレスを表示します。</td></tr>
<tr><td>ゲートウェイ</td><td>無線 LAN の IPv6 のゲートウェイアドレスを表示します。</td></tr>
<tr><td>自動設定</td><td>無線 LAN の IPv6 の自動アドレス設定を有効 / 無効にします。</td></tr>
<tr><td>手動設定</td><td>無線 LAN の IPv6 を手動設定します。IPv6 アドレス、プレフィックス長、ゲートウェイアドレスの変更、設定を行います。


無効な値を入力した場合は、「入力が正しくありません。」と表示されます。その場合は、正しい値を入力し直してください。
</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

メニュー	機能

ネットワーク設定初期化	ネットワークに関する以下の項目を初期化します。
	
	本機のメニューから設定する項目
	• ネットワーク設定変更（P167）
	• ネットワークパスワード設定（P167）
	• ネットワークパスワード登録（P167）
	• ネットワーク（有線 / 無線）（P168）
	• 詳細設定（無線）（P174）の以下の項目
	  • IPv4アドレス詳細設定（P176）
	  • DHCP（無線LAN（IPv4））（P176）
	  • TCP/IP設定（P176）
	  • IPアドレス（無線LAN（IPv4））（P176）
	  • サブネットマスク（無線LAN（IPv4））（P176）
	  • ゲートウェイアドレス（無線LAN（IPv4））（P176）
	  • IPv6（P177）
	  • IPv6アドレス詳細設定（P177）
	  • 自動設定（P177）
	  • 手動設定（P177）
	  • IPアドレス（無線LAN（IPv6））（P177）
	  • プレフィックス長（P177）
	  • ゲートウェイアドレス（無線LAN（IPv6））（P177）
	
	Web画面から設定する項目
	• [Password]（P183）
	• [Wireless]（P191）の以下の項目
	  • IPv4に関する以下の項目
	  • DHCP（P191）
	  • IP address（P191）
	  • Subnet mask（P191）
	  • Default gateway（P191）
	  • IPv6に関する以下の項目
	  • IPv6（P192）
	  • Autoconfiguration（P192）
	  • IP address（P192）
	  • Prefix length（P192）
	  • Default gateway（P192）
	• [NMPJ Password]（P193）
	• [Mail]（P194）
	• [Projector info.]（P197）
	• [IPsec]（P199）

PJLink

MENU >[ネットワーク設定]>[PJLink]

プロジェクターのPJLink機能の無効、有効を切り換えます。
[入] にすると、ネットワーク経由でPJLink規格に沿ったコマンドによる制御が行えます。

選択	機能
切	PJLink 機能を無効にします。
入	PJLink 機能を有効にします。

- このプロジェクターは JBMIA（Japan Business Machine and Information System Industries Association：社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会）の PJLink 標準定義の Class2 に準拠しています。このプロジェクターは、PJLink Class2 によって定義されたすべてのコマンドをサポートして、PJLink 適合性を検証しています。
  - PJLink のコマンド通信ポート番号は 4352(TCP) です。
  - PJLink のデバイス検索ポート番号は 4352(UDP) です。
  - PJLink の利用については「PJLinkを設定する[PJLink]」(P198)を参照してください。

入力端子対応表

入力ソース番号	入力信号名称
11	アナログ PC-1
12	アナログ PC-2
13	コンポーネント
31	デジタル PC
32	HDMI
33	DisplayPort
41	USB
51	LAN
52	HDBaseT

PJLinkとは

メーカーを問わずに、プロジェクターの集中管理やコントローラーからの操作を実現します。今後主流となるネットワーク経由のプロジェクター監視・制御において、早期の体系化をJBMIA による推進で実現し、ユーザーの利便性をあげ、プロジェクターの普及促進を図ることを目的としています。

Class 1：プロジェクターの基本機能の制御・監視仕様を標準化
Class 2：Class 1 に対して、コマンド追加・デバイス検索・状態通知・IPv6 対応を標準化

PJLink 仕様書は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の WEB サイトをご覧ください。
PJLink サイト URL　　http://pjlink.jbmia.or.jp

AMX Device Discovery

MENU >[ネットワーク設定]>**[AMX Device Discovery]**

ネットワーク環境で、AMXのAMX Device Discovery対応機器による検出をするときに設定します。ネットワーク環境にAMX Device Discoveryがないときは、[切]を選びます。

選択	機能
切	AMX Device Discovery を無効にします。
入	AMX Device Discovery を有効にします。ネットワーク経由で定期的に AMX ビーコンパケットがプロジェクターから発行されます。

- AMX Device Discovery の詳細については AMX の Web ページを参照してください。
  http://www.amx.com

Crestron RoomView

MENU >[ネットワーク設定]>**[Crestron RoomView]**

Crestron 社の Crestron RoomView とは、ネットワークに接続している複数のプロジェクターを遠隔から操作してシステムの診断や、電源 ON / OFF などを、一括管理できるシステムです。Crestron RoomViewを使用するかどうかを設定します。

選択	機能
切	Crestron RoomView を使用しません。
入	Crestron RoomView を使用します。RoomView 用ポートが開き、CIP パケット応答を行います。これにより RoomView Express / Server アプリケーション、または Crestron Controller 経由での通信が可能になります。(P198)

- Crestron RoomView の詳細については、Crestron® 社の Web ページを参照してください。
  http://www.crestron.com

インフォメーション

MENU >[ネットワーク設定]>[インフォメーション]

ネットワーク関連の情報を表示します。

メニュー			機能
メール送信元アドレス			エラーメールの送信元メールアドレスです。(P194)
メール送信先アドレス			エラーメールの送信先メールアドレスが設定されているかを、「未設定」または「設定済み」で表示します。(P194)
詳細情報(有線)	IPv4		有線 LAN(IPv4)の IP アドレスです。
	IPv6	リンクローカル	有線 LAN(IPv6)のリンクローカル IP アドレスです。
		自動	有線 LAN(IPv6)の自動 IP アドレスです。
		手動	有線 LAN(IPv6)の手動 IP アドレスです。
詳細情報(無線)	IPv4		無線 LAN(IPv4)の IP アドレスです。
	IPv6	リンクローカル	無線 LAN(IPv6)のリンクローカル IP アドレスです。
		自動	無線 LAN(IPv6)の自動 IP アドレスです。
		手動	無線 LAN(IPv6)の手動 IP アドレスです。

- 詳細情報(有線)メニューの情報は、[ネットワーク(有線 / 無線)]の設定が[入 / *]のときに表示されます。
- 詳細情報(無線)メニューの情報は、[ネットワーク(有線 / 無線)]の設定が[* / 入]のときに表示されます。

インフォメーション

投写中の映像の信号形式や、本機固有の情報を確認できます。



メニュー	機能
モデル名	機種名が表示されます。
入力信号	選択中の入力信号の詳細です。 「信号種別」「信号解像度」「周波数」「カラーフォーマット」などの情報が表示されます。
ファームウェアバージョン	現在のファームウェアのバージョンです。
シリアル No.	本機固有のシリアルナンバーです。
プロジェクター使用時間	総点灯時間を表示します。
IP アドレス（有線）*	有線でネットワーク接続しているときの IP アドレス（IPv4）です。
IP アドレス（無線）*	無線でネットワーク接続しているときの IP アドレス（IPv4）です。
プロジェクター名 *	ネットワーク上での本機の識別名です。
コメント *	本機の設置場所などのコメントが表示されます。（P197）
システム情報 ID	システムの情報です。通常は表示されません。

* ネットワーク（有線 / 無線）が［切 / 切］のとき、値は表示されません。
ネットワーク（有線 / 無線）の設定値によって値が表示されない場合があります。
○：表示、×：非表示

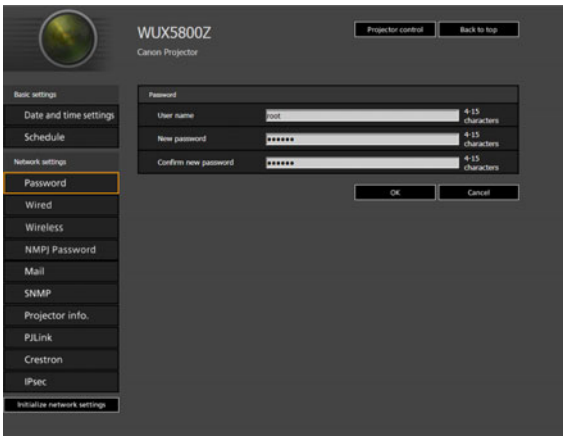
ネットワーク（有線 / 無線）	切 / 切	入 / 切	入 / 入（Pj AP）	切 / 入（Pj AP）	切 / 入（Infra）
IP アドレス（有線）	×	○	○	×	×
IP アドレス（無線）	×	×	○	○	○
プロジェクター名	×	○	○	○	○
コメント	×	○	○	○	○

プロジェクターの Web 画面メニューの説明

ここでは、プロジェクターのWeb画面のメニューについて説明します。

パスワードの設定［Password］

セッティング画面の［Password］では、Web画面にログインする際のユーザー名やパスワードの設定をします。設定の手順については「ネットワークの設定」(P75) を参照してください。

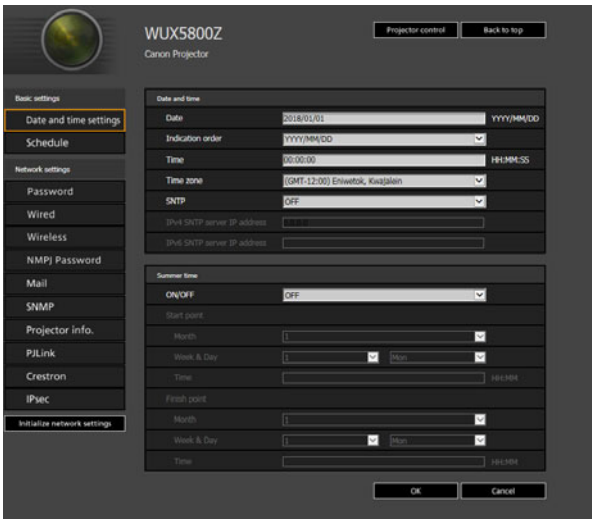


項目	説明	工場出荷時の設定
User name	Web 画面にログインする際のユーザー名を半角の英数字・記号（4 ～ 15 文字）で入力します。	root
New password	Web 画面にログインする際のパスワードを半角の英数字・記号（4 ～ 15 文字）で入力します。	system
Confirm new password	確認のため、［New password］と同じパスワードを入力します。	system

工場出荷時のパスワードは変更することを推奨します。

日付・時刻の設定［Date and time settings］

セッティング画面の［Date and time settings］では、現在の日付と時刻や、その表示形式、タイムゾーン、サマータイムなどの設定をします。設定の手順については「ネットワークの設定」(P75) を参照してください。



項目		説明	工場出荷時の設定
Date and time	Date	日付を半角数字で入力します。	2018/01/01
	Indication order	日付の表示形式を［YYYY/MM/DD］、［MM/DD/YYYY］、［DD/MM/YYYY］から選びます。	YYYY/MM/DD
	Time	時刻を半角数字（00:00:00 ～ 23:59:59）で入力します。	00:00:00
	Time zone	タイムゾーンの地域名を選択します。	(GMT) Dublin, Lisbon, London
	SNTP	SNTP（Simple Network Time Protocol）機能の ON / OFF を選択します。 ON（IPv4）の場合、以下の項目は設定不可となります。 ［Date］ ［Time］ ［IPv6 SNTP server IP address］ ON（IPv6）の場合、以下の項目は設定不可となります。 ［Date］ ［Time］ ［IPv4 SNTP server IP address］	OFF
	IPv4 SNTP server IP address	IPv4 用の SNTP サーバーの IP アドレスを半角数字で入力します。	0.0.0.0
	IPv6 SNTP server IP address	IPv6 用の SNTP サーバーの IP アドレスを半角数字で入力します。	＜空欄＞

項目		説明	工場出荷時の設定
Summer time	ON / OFF	サマータイム機能（サマータイム開始時に時計を 1 時間進め、サマータイム終了時に時計を 1 時間戻す）の ON / OFF を選択します。 OFF の場合、以下の項目は設定不可となります。 [Start point Month] [Start point Week] [Start point Day] [Start point Time] [Finish point Month] [Finish point Week] [Finish point Day] [Finish point Time]	OFF
	Start point Month	サマータイムの開始月を選択します。	1
	Start point Week	サマータイムの開始週を選択します。	1
	Start point Day	サマータイムの開始曜日を選択します。	Mon
	Start point Time	サマータイムの開始時刻を半角数字（00:00 ～ 23:59）で入力します。	00:00
	Finish point Month	サマータイムの終了月を選択します。	1
	Finish point Week	サマータイムの終了週を選択します。	1
	Finish point Day	サマータイムの終了曜日を選択します。	Mon
	Finish point Time	サマータイムの終了時刻を半角数字（00:00 ～ 23:59）で入力します。	00:00

スケジュールの設定［Schedule］

セッティング画面の［Schedule］では、本機を自動的に動作させるためのスケジュールの設定をします。スケジュールは、対象期間を限定しない通常スケジュール（Usually）と、対象期間を限定した 5 つの特定期間スケジュール（Period.1 ～ Period.5）を選択できます。設定の手順については「ネットワークの設定」(P75) を参照してください。



項目		説明	工場出荷時の設定
Schedule view	Select period	設定する特定期間スケジュールを選択します。	Period.1
	Time setting	特定期間スケジュールの開始日付（左側の入力ボックス）と終了日付（右側の入力ボックス）を半角数字で入力します。 特定期間スケジュールの日付を互いに重複して設定することはできません。	2018/01/01
	Usually	通常のスケジュールを表示し、スケジュールの ON / OFF をチェックボックスで選択します。	チェックなし（OFF）
	Period.1	特定期間 1 のスケジュールを年月日単位で表示し、スケジュールの ON / OFF をチェックボックスで選択します。	チェックなし（OFF）
	Period.2	特定期間 2 のスケジュールを年月日単位で表示し、スケジュールの ON / OFF をチェックボックスで選択します。	チェックなし（OFF）
	Period.3	特定期間 3 のスケジュールを年月日単位で表示し、スケジュールの ON / OFF をチェックボックスで選択します。	チェックなし（OFF）

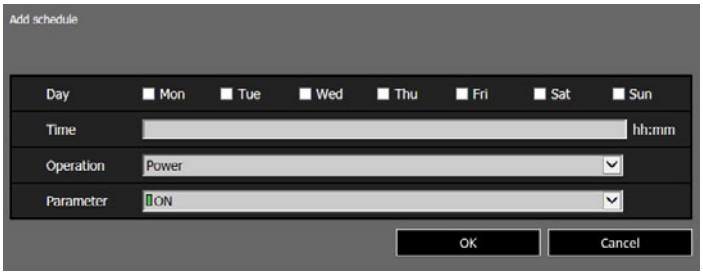
項目		説明	工場出荷時の設定
Schedule view	Period.4	特定期間 4 のスケジュールを年月日単位で表示し、スケジュールの ON / OFF をチェックボックスで選択します。	チェックなし（OFF）
	Period.5	特定期間 5 のスケジュールを年月日単位で表示し、スケジュールの ON / OFF をチェックボックスで選択します。	チェックなし（OFF）
Time Schedule		［Schedule view］で選択した通常 / 特定期間スケジュールについて、該当期間のスケジュールを曜日・時刻単位で表示します。 緑の縦線は電源 ON、灰色の縦線は電源 OFF を示し、水色の縦線は入力信号の切り換えを示します。 各曜日のスケジュールは 8 つまで登録できます。	—

［Time Schedule］の各項目をクリックすると、Edit schedule画面が表示され、選択した曜日・時刻のスケジュールを編集することができます。



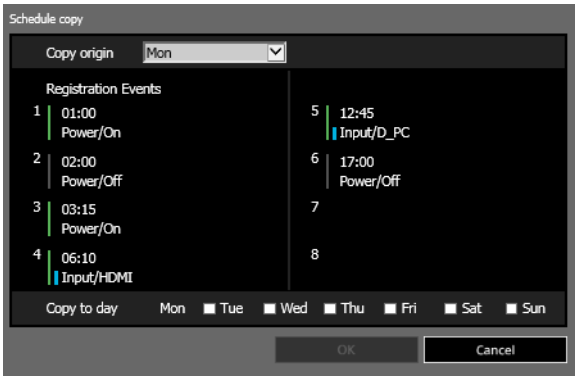
項目		説明	工場出荷時の設定
Edit schedule	Day	選択したスケジュールの曜日を表示します。	—
	Time	自動実行する時刻を半角数字（00:00 ～ 23:59）で入力します。	＜空欄＞
	Operation	自動実行する操作を Power / Input / Calibration から選択します。	Power
	Parameter	自動実行する操作のパラメータを、以下から選択します。 • ［Operation］がPowerの場合 ON / OFF • ［Operation］がInputの場合 HDMI / DisplayPort / D_PC / A_PC1 / A_PC2 / COMP / HDBaseT / LAN / USB	ON

［Time Schedule］で［Add schedule］をクリックすると、Add schedule画面が表示され、選択している通常 / 特定期間スケジュールについて、新たなスケジュールを追加することができます。



項目		説明	工場出荷時の設定
Add schedule	Day	自動実行する曜日を選択します。 チェックボックスは、複数の選択ができます。	チェックなし
	Time	自動実行する時刻を半角数字（00:00 ～ 23:59）で入力します。	＜空欄＞
	Operation	自動実行する操作を Power / Input から選択します。	Power
	Parameter	自動実行する操作のパラメータを、以下から選択します。 • ［Operation］がPowerの場合 ON / OFF • ［Operation］がInputの場合 HDMI / DisplayPort / D_PC / A_PC1 / A_PC2 / COMP / HDBaseT / LAN / USB • ［Operation］がCalibration の場合 LIGHT	ON

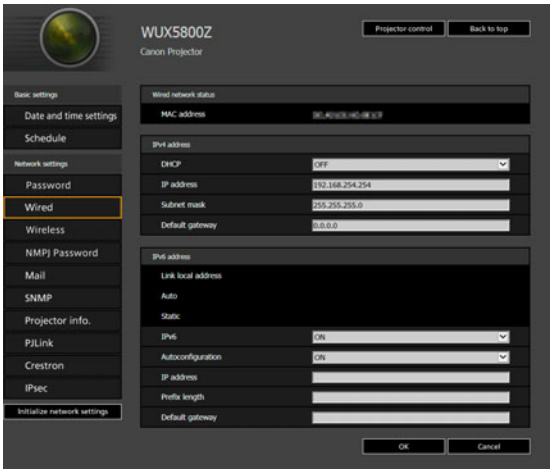
［Time Schedule］で［Copy schedule to different day］をクリックすると、Schedule copy画面が表示され、選択している通常 / 特定期間スケジュールについて、任意の曜日スケジュールを他の曜日にコピーすることができます。



項目		説明	工場出荷時の設定
Schedule copy	Copy origin	コピー元の曜日を選択します。	Mon
	Registration Events	選択した曜日のスケジュール内容を表示します。	＜空欄＞
	Copy to day	コピー先の曜日を選択します。 チェックボックスは、複数の選択ができます。	チェックなし

有線LAN基本情報の設定［Wired］

セッティング画面の［Wired］では、有線LANの基本情報についての設定をします。設定の手順については「ネットワークの設定」(P75) を参照してください。



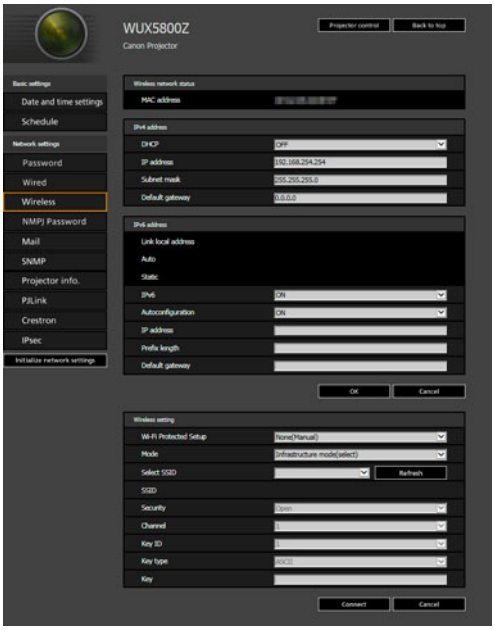
項目		説明	工場出荷時の設定
MAC address		プロジェクターの有線 LAN の MAC アドレスを表示します。	プロジェクターの有線 LAN の MAC アドレス
IPv4 address	DHCP	有線 LAN（IPv4）の DHCP 機能の ON / OFF を選択します。ON の場合、IP アドレスは DHCP サーバーから取得されるため、以下の項目は設定不可となります。 [IP address] [Subnet mask] [Default gateway]	OFF
	IP address	プロジェクターの有線 LAN（IPv4）の IP アドレスを半角数字で入力します。	192.168.254.254
	Subnet mask	有線 LAN（IPv4）のサブネットマスクを半角数字で入力します。	255.255.255.0
	Default gateway	有線 LAN（IPv4）のデフォルトゲートウェイアドレスを半角数字で入力します。	0.0.0.0

項目		説明	工場出荷時の設定
IPv6 address	IPv6	有線 LAN（IPv6）の IPv6 機能の ON / OFF を設定します。 OFF の場合、以下の項目は設定不可となります。 [Autoconfiguration] [IP address] [Prefix length] [Default gateway]	OFF
	Autoconfiguration	有線 LAN（IPv6）の自動設定機能の ON / OFF を選択します。 ON の場合、以下の項目は設定不可となります。 [IP address] [Prefix length] [Default gateway]	ON
	IP address	有線 LAN（IPv6）アドレスを半角数字や英字の A ～ F で入力します。	＜空欄＞
	Prefix length	有線 LAN（IPv6）のプレフィックス長を半角数字で入力します。	＜空欄＞
	Default gateway	有線 LAN（IPv6）のデフォルトゲートウェイアドレスを半角数字や英字の A ～ F で入力します。	＜空欄＞

TCP / IP に関する設定を変更した場合は、ネットワークに接続し直す必要があります。
ネットワークのサブネットマスクを変更した場合は、上記の画面で［Subnet mask］を選び、新しいサブネットマスクを設定してください。

無線LAN基本情報の設定［Wireless］

セッティング画面の［Wireless］では、無線LANの基本情報についての設定をします。設定の手順については「ネットワークの設定」(P75) を参照してください。



項目		説明	工場出荷時の設定
MAC address		プロジェクターの無線 LAN の MAC アドレスを表示します。	プロジェクターの無線 LAN の MAC アドレス
IPv4 address	DHCP	無線 LAN（IPv4）の DHCP 機能の ON / OFF を選択します。ON の場合、IP アドレスは DHCP サーバーから取得されるため、以下の項目は設定不可となります。 [IP address] [Subnet mask] [Default gateway]	OFF
	IP address	プロジェクターの無線 LAN（IPv4）アドレスを半角数字で入力します。	192.168.253.254
	Subnet mask	無線 LAN（IPv4）のサブネットマスクを半角数字で入力します。	255.255.255.0
	Default gateway	無線 LAN（IPv4）のデフォルトゲートウェイアドレスを半角数字で入力します。	0.0.0.0

項目		説明	工場出荷時の設定
IPv6 address	IPv6	無線 LAN（IPv6）機能の ON / OFF を設定します。 OFF の場合、以下の項目は設定不可となります。 [Autoconfiguration] [IP address] [Prefix length] [Default gateway]	OFF
	Autoconfiguration	無線 LAN（IPv6）の自動設定機能の ON / OFF を選択します。 ON の場合、以下の項目は設定不可となります。 [IP address] [Prefix length] [Default gateway]	ON
	IP address	無線 LAN（IPv6）の IP アドレスを半角数字や英字の A ～ F で入力します。	＜空欄＞
	Prefix length	無線 LAN（IPv6）のプレフィックス長を半角数字で入力します。	＜空欄＞
	Default gateway	無線 LAN（IPv6）のデフォルトゲートウェイアドレスを半角数字や英字の A ～ F で入力します。	＜空欄＞
Wireless setting	Wi-Fi Protected Setup	無線 LAN 接続方法を選択します。 無線 LAN のモードが PJ AP モードの場合は選択できません。	None (Manual)
	Mode	無線 LAN 接続モードを表示、選択します。無線 LAN のモードが PJ AP モードの場合は、選択できません。	infrastructure mode (select)
	Select SSID	無線 LAN のアクセスポイントの SSID を選択します。無線 LAN のモードが PJ AP モードの場合は、選択できません。	＜空欄＞
	SSID	無線 LAN のアクセスポイントの SSID を表示、変更します。 無線 LAN のモードが PJ AP モードの場合には、SSID の一部を変更できます。	＜空欄＞
	Security	無線 LAN セキュリティ設定値を表示、選択します。	Open
	Channel	無線 LAN チャネル数を表示、選択します。無線 LAN のモードがインフラストラクチャモードの場合は、選択できません。	6

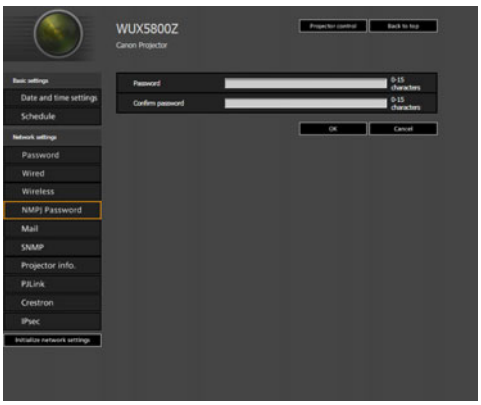
項目		説明	工場出荷時の設定
Wireless setting	Key ID	無線 LAN の WEP キー ID を表示、選択します。Security の設定が WEP 以外の場合は選択できません。	1
	Key type	無線 LAN のセキュリティキーの入力タイプを選択します。無線 LAN のモードが PJ AP モードの場合は、選択できません。	ASCII
	Key	無線 LAN のセキュリティキーを入力します。	＜空欄＞

- TCP / IPに関する設定を変更した場合は、ネットワークに接続し直す必要があります。ネットワークのサブネットマスクを変更した場合は、上記の画面で［Subnet mask］を選び、新しいサブネットマスクを設定してください。
- PJ AP モード（P68）で接続した場合、IPv6 には対応していません。[IPv6 address] はグレーアウトになります。
- 無線 LAN で PJ AP モード（P68）を接続しているときに SSID の一部を変更する場合は「PJ-」と「_Canon0D」の間が編集できます。半角の英数字、ハイフン（-）、アンダースコア（_）を（1 ～ 15 文字）入力します。



ネットワーク・マルチ・プロジェクションの設定［NMPJ Password］

セッティング画面の［NMPJ Password］では、ネットワーク・マルチ・プロジェクションの認証に必要な項目を設定します。設定の手順については「ネットワークの設定」(P75)を参照してください。



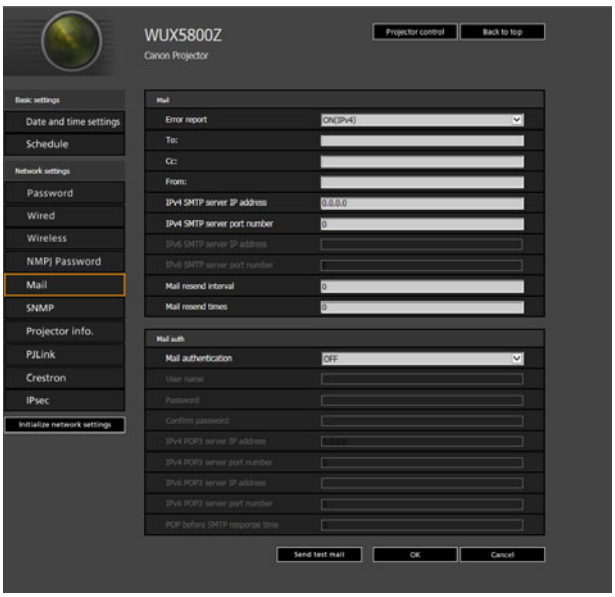
項目	説明	工場出荷時の設定
Password	ネットワーク･マルチ・プロジェクションの接続時に必要なパスワードを半角の英数字（0 ～ 15 文字）で設定します。	＜空欄＞

項目	説明	工場出荷時の設定
Confirm password	確認のため、［Password］と同じパスワードを入力します。	＜空欄＞

ネットワーク・マルチ・プロジェクション（NMPJ）について詳しくは、NMPJ 使用説明書をご覧ください。使用説明書のダウンロードサイト：（https://global.canon/iprj/）

メールを設定する［Mail］

セッティング画面の［Mail］では、エラーメール送信およびテストメール送信を行うために必要な項目を設定します。設定の手順については「ネットワークの設定」(P75) を参照してください。



項目	説明	工場出荷時の設定
Error report	エラーメール送信機能の ON / OFF と、使用するネットワーク IPv4 / IPv6 を選択します。	OFF
To:	エラーメールの送信先メールアドレスを半角の英数字・記号（1 ～ 63 文字）で入力します。	MailUserAccount
Cc:	エラーメールの Cc 送信先メールアドレスを半角の英数字・記号（1 ～ 63 文字）で入力します。	＜空欄＞
From:	エラーメールの送信元メールアドレスを半角の英数字・記号（1 ～ 63 文字）で入力します。	Projector@canon.co.jp
IPv4 SMTP server IP address	IPv4 用の SMTP サーバーの IP アドレスを半角数字で入力します。	0.0.0.0

項目	説明	工場出荷時の設定
IPv4 SMTP server port number	IPv4 用の SMTP サーバーのポート番号を半角数字（1 ～ 65535）で入力します。	25
IPv6 SMTP server IP address	IPv6 用の SMTP サーバーの IP アドレスを半角数字で入力します。	＜空欄＞
IPv6 SMTP server port number	IPv6 用の SMTP サーバーのポート番号を半角数字（1 ～ 65535）で入力します。	25
Mail resend interval*	エラーメール再送間隔（秒単位）を 0 ～ 59 秒の範囲で半角数字で入力します。	10
Mail resend times	エラーメール再送回数を 0 ～ 255 回の範囲で半角数字で入力します。	3

* 0秒を設定した場合、待機時間なしで指定されたエラーメール再送回数の再送を繰り返します。

メール認証を設定する

Mail 画面の［Mail auth］では、エラーが発生したときに送信されるメールの認証について設定します。設定の手順については「ネットワークの設定」(P75) を参照してください。

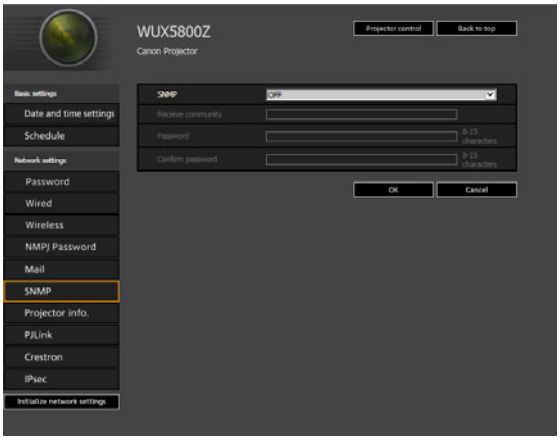
項目	説明	工場出荷時の設定
Mail authentication	メール認証方式を選択します。OFF の場合は、メール認証の他の項目は変更できません。	OFF
User name	メール認証を行うためのユーザー名を半角英数字・記号（1 ～ 63 文字）で入力します。	＜空欄＞
Password	メール認証を行うためのパスワードを半角英数字・記号（1 ～ 63 文字）で入力します。	＜空欄＞
Confirm password	確認のため［Password］と同じパスワードを入力します。	＜空欄＞
IPv4 POP3 server IP address	IPv4 用の POP3 サーバーの IP アドレスを半角数字で入力します。	0.0.0.0
IPv4 POP3 server port number	IPv4 用の POP3 サーバーのポート番号を半角数字（1 ～ 65535）で入力します。	110
IPv6 POP3 server IP address	IPv6 用の POP3 サーバーの IP アドレスを半角数字で入力します。	＜空欄＞
IPv6 POP3 server port number	IPv6 用の POP3 サーバーのポート番号を半角数字（1 ～ 65535）で入力します。	110
POP before SMTP response time	POP3 認証終了から SMTP 認証までの待機時間（ミリ秒単位）を半角数字（0 ～ 9999 ミリ秒）で入力します。	300

テストメールを送信する

Mail 画面の［Send test mail］をクリックすると、Mail 画面で設定したメールアドレスに対し、テストメールを送信することができます。

SNMP を設定する［SNMP］

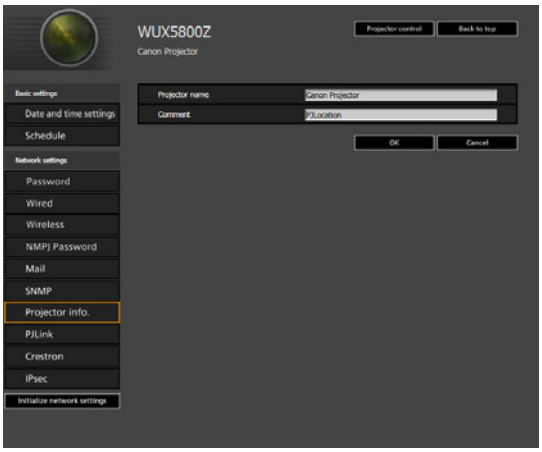
セッティング画面の［SNMP］では、SNMP（Simple Network Management Protocol）を利用したプロジェクターの管理について設定します。設定の手順については「ネットワークの設定」(P75) を参照してください。



項目	説明	工場出荷時の設定
SNMP	SNMP 機能のバージョンを選択します。OFF の場合、この画面の他の項目は設定不可となります。	OFF
Receive community	プロジェクター情報を受信するコミュニティ名を半角の英数字・記号（1 ～ 15 文字）で入力します。	＜空欄＞
Password	コミュニティ設定のパスワードを半角の英数字・記号（8 ～ 15 文字）で入力します。SNMP のバージョンが V3 の場合のみ設定できます。	＜空欄＞
Confirm password	確認のため、［Password］と同じパスワードを入力します。	＜空欄＞

プロジェクター情報を設定する［Projector info.］

セッティング画面の［Projector info.］では、複数のプロジェクターがネットワーク上にある場合の識別を行うための名前と設置場所などを設定します。設定の手順については「ネットワークの設定」(P75) を参照してください。

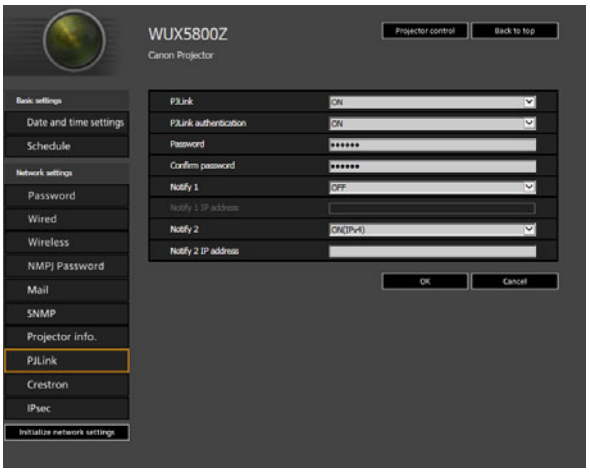


項目	説明	工場出荷時の設定
Projector name	プロジェクター名を半角の英数字・記号（1 ～ 63 文字）で入力します。	Canon Projector001
Comment	プロジェクターの設置場所などのコメントを入力します。	＜空欄＞

［Projector name］と［Comment］には，＃など使用できない文字があります。

PJLink を設定する［PJLink］

セッティング画面の［PJLink］では、ネットワークでのプロジェクター管理の規格である PJLink 機能について設定します。設定の手順については「ネットワークの設定」(P75) を参照してください。また、PJLink については「PJLink とは」(P179) を参照してください。



項目	説明	工場出荷時の設定
PJLink	PJLink 機能の ON / OFF を選択します。OFF の場合、この画面の他の項目は設定不可となります。	ON
PJLink authentication	PJLink 認証機能の ON / OFF を選択します。OFF の場合、以下の項目は変更できません。 ［Password］ ［Confirm password］	ON
Password	PJLink 認証パスワードを半角の英数字（1 ～ 32 文字）で入力します。	system
Confirm password	確認のため［Password］と同じパスワードを入力します。	system
Notify 1	自発的状態通知を送信するかどうかを設定します。OFF の場合、［Notify 1 IP Address］は設定無効となります。	OFF
Notify 1 IP Address	［Notify 1］が ON の場合、通知先の IP アドレスを設定します。	＜空欄＞
Notify 2	通知先を複数設定したい場合に設定します。	OFF
Notify 2 IP Address	［Notify 2］が ON の場合、通知先の IP アドレスを設定します。	＜空欄＞

クレストロン社製のコントローラーの設定をする［Crestron］

Crestron e-Control 画面が開きます。詳しくはクレストロン社の Web ページをご覧ください。http://www.crestron.com

IPsec機能の設定をする［IPsec］

IPsecとは、ネットワーク上で送受信されるIPパケットの盗聴や改ざんなどを防ぐことを目的としたプロトコルです。IPsec は、インターネットの基本プロトコルである IP にセキュリティ機能を追加するため、アプリケーションやネットワーク構成に依存せずにセキュリティの確保を目指すものです。



項目	説明	工場出荷時の設定
IPsec	IPsec 機能の ON / OFF を選択します。	OFF
Pre-Shared key	IKE SA を確立する際に利用する事前共有鍵を入力します。	＜空欄＞
Exempt HTTP from IPsec	HTTP 通信を IPsec による暗号化の対象外とするか（ON）、暗号化通信の対象とするか（OFF）を設定します。	ON

- IPsec機能を使う場合は、本機と通信する対向機器側で設定されているIPsecの動作条件に合わせる必要があります。
- 本機が対応しているIPSecの動作条件は、プロジェクターのWeb画面で確認することができます。
- Exempt HTTP from IPsec を OFF にしている際に、プロジェクターと通信する対向機器側で誤った IPsec 設定を行うと、プロジェクターの Web ページにアクセスできなくなります。
  アクセス不能となることを防止するために、HTTP 通信を IPsec の除外対象に設定できます。
- IPsec 機能を有効にすると、スタンバイ電力設定は「通常」に固定されます。
- IPsec 機能を ON にする場合は、本機と通信する機器（例：コンピューター）にも、適切な IPsec 設定をする必要があります。
- IPv4 における DHCP が ON の場合、IPsec 設定の変更はできません。
- IPsec機能が有効の場合、IPv4におけるDHCP設定の変更、IPv6における自動設定の変更はできません。
- IPsec 機能が有効の場合、IPv4 の TCP/IP 設定、IPv6 の手動設定の変更はできません。

メンテナンス / 製品の仕様 / 困ったときには

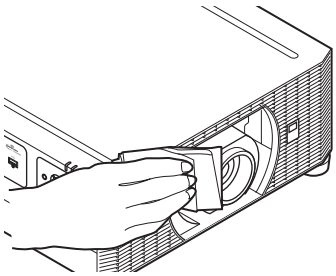
本体を清掃する

本機に、ホコリなどがたまらないようにこまめに清掃してください。
レンズ表面が汚れると、投写する映像に影響が出る場合があります。

⚠警告 **本機のメンテナンスの際に接着剤、潤滑剤、油、アルカリ性の洗剤などを使用しないでください。付着するとキャビネットが割れ、本機が落下し事故やけがの原因になります。**

⚠注意 **本体を清掃するときは、必ず本体の電源を切り、冷却ファンが停止してから電源プラグをコンセントから抜き、1 時間以上経過してから行ってください。電源を切った直後は、本体がたいへん高温になっているため、やけどやけがをする原因になることがあります。**

本体や本体操作部の汚れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布を浸してよく絞り、ふき取ってから乾いた布で仕上げてください。



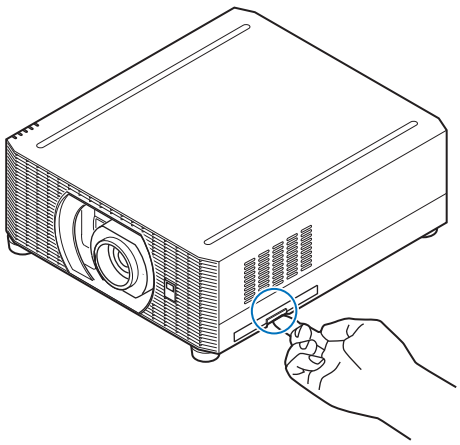
注意
- **ベンジンや揮発性の清掃液を使用すると、変質したり塗装がはげることがあります。**
- **化学ぞうきんは使用しないでください。**
- **レンズの表面は傷が付きやすいので、固い布やティッシュペーパーなどは使用しないでください。**

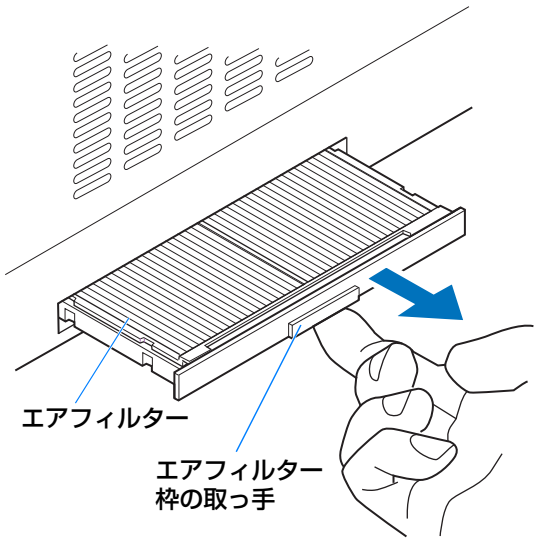
エアフィルターを交換する

エアフィルターの交換は次の手順で行ってください。

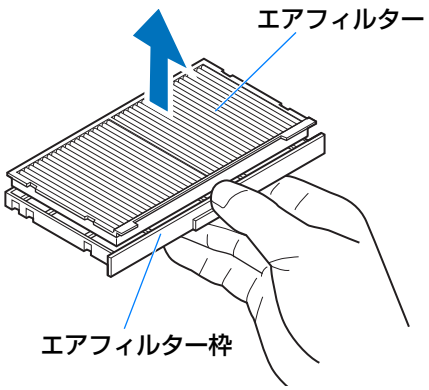
1 **本機の電源を切り、電源プラグを抜きます。**

2 **本体側面のフィルターユニット下部の切欠き部に指を掛け、フィルターユニットを引き出します。**

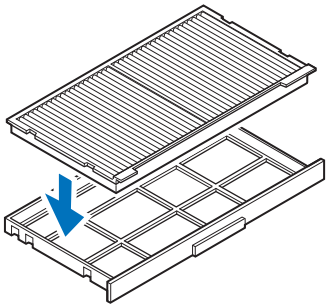




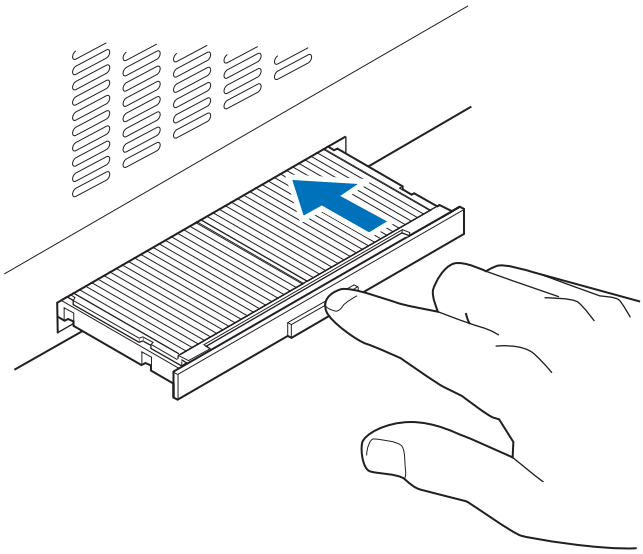
3 エアフィルターを下側から押し出し、エアフィルター枠から取り外します。



4 新しいエアフィルターをエアフィルター枠に取り付けます。



5 エアフィルターを取り付けた枠を本機に奥までしっかり取り付けます。



- エアフィルターの交換後は、［エアフィルターカウンター］をリセット（P164）してください。
- エアフィルターはていねいに扱ってください。破損するとエアフィルターの効果が損なわれます。
- エアフィルター（品番：RS-FL05）のご注文は、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 対応信号について

本機には、次の信号形式が用意されています。
コンピューターまたはAV機器が下の表のいずれかに対応していれば、オートPC機能などにより入力信号が自動的に判断され、正しい映像を投写することができます。

アナログPC

解像度（ドット）	信号形式	水平周波数（KHz）	垂直周波数（Hz）
640×480	VGA	31.469	59.940
720×480	—	31.469	59.940
720×576	—	31.250	50.000
800×600	SVGA	37.879	60.317
848×480	—	31.020	60.000
1024×768	XGA	48.363	60.004
1280×768	WXGA	47.776	59.870
		47.396	59.995
1280×800		49.702	59.810
		49.306	59.910
1280×960	—	60.000	60.000
1280×1024	SXGA	63.981	60.020
1366×768	—	47.712	59.790
1400×1050	SXGA+	64.744	59.948
		65.317	59.978
1440×900	WXGA+	55.935	59.887
		55.469	59.901
1600×900	—	60.000	60.000
1600×1200	UXGA	75.000	60.000
1680×1050	WSXGA+	64.674	59.883
		65.290	59.954
1920×1080	—	56.250	50.000
		67.500	60.000
1920×1200	WUXGA	74.038	59.950

デジタルPC

解像度（ドット）	信号形式	水平周波数(KHz)	垂直周波数(Hz)
640×480	D-VGA	31.469	59.940
720×480	—	31.469	59.940
720×576	—	31.250	50.000
800×600	D-SVGA	37.879	60.317
1024×768	D-XGA	48.363	60.004
1280×720	—	37.500	50.000
		45.000	60.000
1280×800	D-WXGA	49.702	59.810
		49.306	59.910
1280×1024	D-SXGA	63.981	60.020
1366×768	—	47.712	59.790
1400×1050	D-SXGA+	64.744	59.948
		65.317	59.978
1440×900	D-WXGA+	55.935	59.887
		55.469	59.901
1600×900	—	60.000	60.000
1600×1200	D-UXGA	75.000	60.000
1680×1050	D-WSXGA+	64.674	59.883
		65.290	59.954
1920×1080	—	27.000	24.000
		56.250	50.000
		67.500	60.000

解像度（ドット）	信号形式	水平周波数(KHz)	垂直周波数(Hz)
1080PsF (1920×1080i)	—	27.000	24.000
		28.125	25.000
		33.750	30.000
1920×1200	D-WUXGA	74.038	59.950

HDMI / DisplayPort / HDBaseT

コンピューターと接続時

解像度（ドット）	信号形式	水平周波数（KHz）	垂直周波数（Hz）
640×480	VGA	31.469	59.940
800×600	SVGA	37.879	60.317
1024×768	XGA	48.363	60.004
1280×800	WXGA	49.702	59.810
		49.306	59.910
1280×1024	SXGA	63.981	60.020
1366×768	—	47.712	59.790
1400×1050	SXGA+	64.744	59.948
		65.317	59.978
1440×900	WXGA+	55.935	59.887
		55.469	59.901
1600×900	—	60.000	60.000
1600×1200	UXGA	75.000	60.000
1680×1050	WSXGA+	64.674	59.883
		65.290	59.954
1920×1200	WUXGA	74.038	59.950

AV機器と接続時

信号形式	水平周波数（KHz）	垂直周波数（Hz）
480p	31.469	59.940
576p	31.250	50.000
720p	37.500	50.000
	45.000	60.000
1080i	28.125	50.000
	33.750	60.000
1080p	27.000	24.000
	56.250	50.000
	67.500	60.000

コンポーネント

信号形式	水平周波数（KHz）	垂直周波数（Hz）
480i	15.734	59.940
480p	31.469	59.940
576i	15.625	50.000
576p	31.250	50.000
720p	37.500	50.000
	45.000	60.000
1080i	28.125	50.000
	33.750	60.000
1080p	56.250	50.000
	67.500	60.000
1080PsF	27.000	24.000
	28.125	25.000
	33.750	30.000

※ 表中の仕様は予告なしに変更する場合があります。
※ ドットクロックが162MHzを越えるコンピューター出力には対応しておりません。
※ コンピューターケーブルはすべてのピンが結線された（全結線）タイプを使用してください。全結線でないタイプでは、映像が正しく表示されない場合があります。

■ 本体

形名		WUX7000Z	WUX6600Z	WUX5800Z
表示方式		反射型液晶パネル（LCOS）× 3 枚		
光学方式		ダイクロイックミラー、偏光ビームスプリッターによる色分離・プリズムによる色合成方式		
表示素子	有効表示域サイズ	0.71 型 / 16:10		
	有効画素数	2,304,000（1920 × 1200）		
	その他特徴	アクティブマトリックス方式		
投写レンズ	ズーム（*4）	1.5 倍（電動）		
	フォーカス	電動		
	レンズシフト（*4）（*5）	V：-15 ～ +55%（電動）H：± 10%（電動）		
	焦点距離（*4）	f = 23.0mm ～ 34.5mm		
	F 値（*4）	F1.89 ～ F2.65		
光源	種類	青色レーザーダイオード + 黄色蛍光体		
画面サイズおよび投写距離（*4）		最小：101.6cm（40 インチ）～最大：1524cm（600 インチ）、投写距離：1.3m ～ 29.0m		
色数		1,677 万色		
光出力（*1）（*2）		7000lm	6600lm	5800lm
コントラスト比（*1）（*3）		6,000,000：1		
周辺照度比（*1）（*4）		90%		
スピーカー		1W、モノラル		
入力対応信号		対応信号（P203 ～ 204 ページ）をご覧ください。		
表示解像度	コンピューター信号入力	最大入力解像度　1920×1200 ドット		
	ビデオ信号入力	最大入力解像度　1920×1200 ドット		
映像信号	アナログ PC 入力	WUXGA、UXGA、WSXGA+、SXGA+、WXGA+、FWXGA、WXGA、SXGA、XGA、SVGA、VGA		
	デジタル PC 入力	WUXGA、UXGA、WSXGA+、SXGA+、WXGA+、FWXGA、WXGA、SXGA、XGA、SVGA、VGA		
	デジタルビデオ入力	1080p、1080i、720p、576p、480p		
	コンポーネントビデオ入力	1080p、1080i、720p、576p、576i、480p、480i		
映像信号入力端子	ミニ D-sub15 ピン	アナログ PC / コンポーネント		
	DVI-I	デジタル PC / アナログ PC（DVI コネクター 29 ピン）		
	HDMI	デジタル PC、デジタルビデオ		
	DisplayPort	デジタル PC、デジタルビデオ		
	RJ-45	HDBaseT 入力（映像、音声、制御、ネットワーク）		
その他入出力端子	ミニジャック	音声入力		
	ミニジャック	音声出力		
	ミニジャック	ワイヤードリモコン		
	RS-232C	CONTROL（Dsub9）		
	USB	USB Type A		

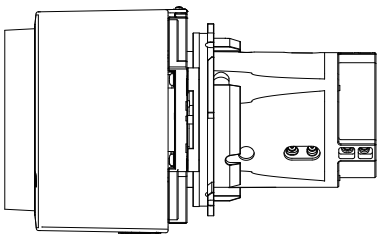
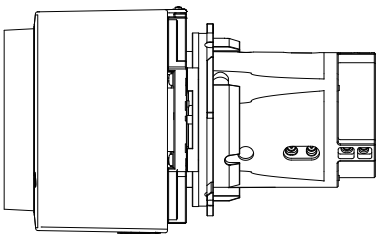
形名		WUX7000Z	WUX6600Z	WUX5800Z
騒音（光源モード）標準 / 静音 1/ 静音 2		36/32/29dB	36/32/29dB	35/32/29dB
使用温度		0 ℃～ 45 ℃		
電源		AC100V ～ 240V　50 / 60Hz		
最大消費電力		540W	520W	470W
待機消費電力	LAN OFF、 シリアル通信 : サービスポート	0.28W		
	LAN ON、 シリアル通信 : サービスポート	1.6W		
	LAN OFF、 シリアル通信 : HDBaseT	1.5W		
	LAN ON、 シリアル通信 : HDBaseT	1.6W		
標準外形寸法		幅 480mm× 高さ 196mm× 奥行 545mm		
質量		約 17 kg（投写レンズを含まない。）		
附属品		リモコン、リモコン用乾電池、電源コード、コンピューターケーブル、 重要なおしらせ（Important Information）、保証書、かんたんガイド		
無線 LAN	規格	IEEE802.11b/g/n		
	対応チャンネル	1 CH - 11 CH		
	周波数帯域	2.4 GHz		

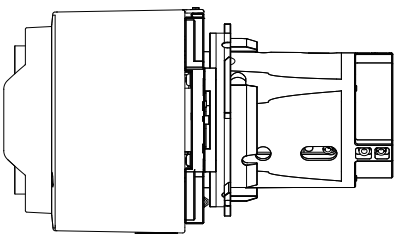
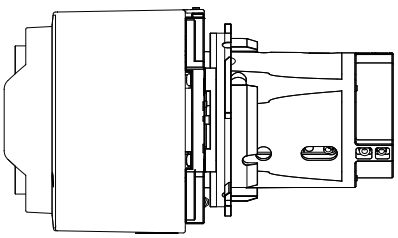
(*1) 出荷時における本プロジェクター全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911: 2015データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については附属書Bに基づいています。
(*2) 標準ズームレンズ（RS-SL01ST）使用時、イメージモードが［プレゼンテーション］、MBリダクションが［切］、光源モードが［標準］の場合。また、プロジェクター保護のため、使用環境温度の上昇に応じて、プロジェクターの光出力が低下することがあります。
(*3) 標準ズームレンズ（RS-SL01ST）使用時、イメージモードが［プレゼンテーション］、MBリダクションが［切］、光源モードが［標準］、アイリスが［オープン］、ダイナミックコントラスト［強］、消灯制御［有効］の場合
(*4) 標準ズームレンズ（RS-SL01ST）使用時
(*5) レンズシフトモードが標準の場合
※ 液晶パネルの有効画素は99.99%以上です。投写中0.01%以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合がありますが、これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。
※ 長時間・連続使用する際は、光学部品の劣化を早めることがありますのでご注意ください。
※ 本プロジェクターはJIS C 61000-3-2適合品です。
※ 製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

■ リモコン

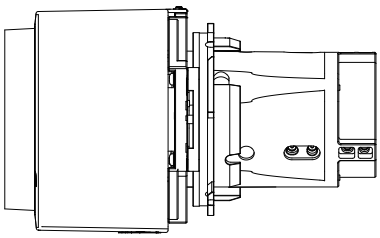
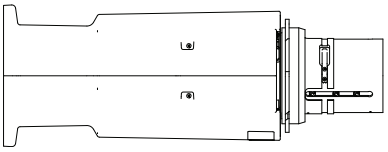
品番	RS-RC07
電源	DC3.0V　単 4 形乾電池 2 本使用
到達距離	約 8m 縦横 ±25°（受光部正面）
本体寸法	幅 46.5mm× 高さ 23mm× 奥行 159mm
質量	56 g

■ 各レンズユニットの仕様（別売品）

名称	標準ズームレンズ	望遠ズームレンズ
品番	RS-SL01ST	RS-SL02LZ
外観		
焦点距離	23.0 ～ 34.5mm	34.0 ～ 57.7mm
F ナンバー	1.89 ～ 2.65	1.99 ～ 2.83
幅	143.4mm	143.4mm
高さ	106.7mm	106.7mm
長さ	175.3mm	175.3mm
質量	約 725g	約 925g
ズーム比	1.5×	1.7×
投写距離	1.3m ～ 29.0m	1.9m ～ 48.5m
100 型投写距離	3.21m ～ 4.82m	4.72m ～ 8.05m

名称	超望遠ズームレンズ	短焦点ズームレンズ
品番	RS-SL04UL	RS-SL05WZ
外観		
焦点距離	53.6 ～ 105.6mm	15.56 ～ 23.34mm
F ナンバー	2.34 ～ 2.81	2.09 ～ 2.34
幅	143.4mm	143.4mm
高さ	106.7mm	106.7mm
長さ	183.7mm	183.7mm
質量	約 1110g	約 1065g
ズーム比	1.97×	1.5×
投写距離	4.6m ～ 89.0m	0.9m ～ 19.5m
100 型投写距離	7.64m ～ 14.94m	2.15m ～ 3.23m

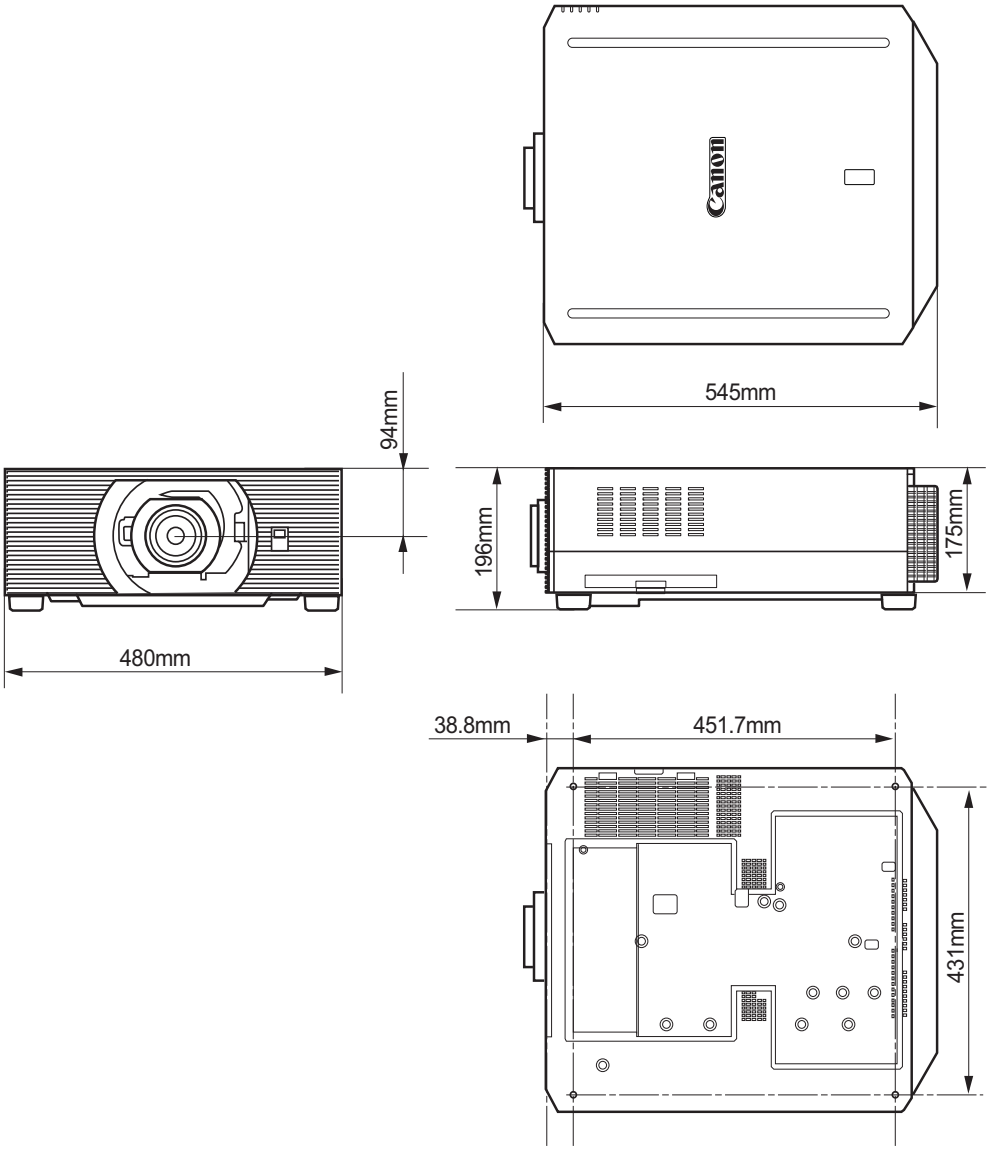
各レンズのレンズシフト量は「レンズシフト機能で調整する」を参照してください。(P58)

名称	固定短焦点レンズ	超短焦点レンズ
品番	RS-SL03WF	RS-SL06UW
外観		
焦点距離	12.8mm	8.39mm
F ナンバー	2.0	2.40
幅	143.4mm	143.4mm
高さ	106.7mm	113.7mm
長さ	175.3mm	304.3mm
質量	約 1060g	約 1520g
ズーム比	–	–
投写距離	0.69m ～ 5.17m	0.45m ～ 3.51m
100 型投写距離	1.73m	1.16m

各レンズのレンズシフト量は「レンズシフト機能で調整する」を参照してください。(P58)

■ 外観図

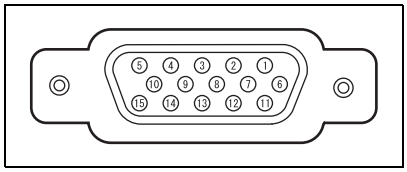
WUX7000Z/WUX6600Z/WUX5800Z



■ アナログ PC-2 / コンポーネント端子

コンピューターのアナログ PC 入力、コンポーネント入力端子として動作します。接続にはD-sub用コンピューターケーブルを使用してください。
端子仕様は、アナログPC入力、コンポーネント入力とも同一です。

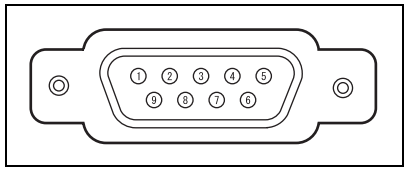
ミニD-sub15ピン



ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	R	9	+ 5V パワー
2	G	10	接地（垂直同期）
3	B	11	接地
4	OPEN	12	DDC データ
5	接地（水平同期）	13	水平同期
6	接地（R）	14	垂直同期
7	接地（G）	15	DDC クロック
8	接地（B）		

■ サービス用端子（CONTROL）

ピン配列



ピン番号	信号
1	OPEN
2	RxD
3	TxD
4	OPEN
5	GND
6	OPEN
7	内部プルアップ
8	OPEN
9	OPEN

通信フォーマット

通信方式　　：RS-232C 調歩同期 半２重通信
通信速度　　：19200bps
キャラクタ長　：８ビット
ストップビット：可変（1,2ビット切り換え）、工場出荷時および工場出荷設定後の状態は 1。
パリティ　　：なし
フロー制御　　：なし

ユーザーコマンド

コマンド種		ASCII 表記	バイナリ表記
電源	電源 ON	POWER=ON<CR>	50h 4Fh 57h 45h 52h 3Dh 4Fh 4Eh 0Dh
	電源 OFF	POWER=OFF<CR>	50h 4Fh 57h 45h 52h 3Dh 4Fh 46h 46h 0Dh
電源状態取得		GET=POWER<CR>	47h 45h 54h 3Dh 50h 4Fh 57h 45h 52h 0Dh
入力ソース	HDMI	INPUT=HDMI<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 48h 44h 4Dh 49h 0Dh
	DisplayPort	INPUT=DP<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 44h 50h 0Dh
	デジタル PC	INPUT=D-RGB<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 44h 2Dh 52h 47h 42h 0Dh
	アナログ PC-1	INPUT=A-RGB1<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 41h 2Dh 52h 47h 42h 31h 0Dh
	アナログ PC-2	INPUT=A-RGB2<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 41h 2Dh 52h 47h 42h 32h 0Dh
	コンポーネント	INPUT=COMP<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 43h 4Fh 4Dh 50h 0Dh
	HDBaseT	INPUT=HDBT<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 48h 44h 42h 54h 0Dh
	LAN	INPUT=LAN<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 4Ch 41h 4Eh 0Dh
	USB	INPUT=USB<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 55h 53h 42h 0Dh
入力ソース取得		GET=INPUT<CR>	47h 45h 54h 3Dh 49h 4Eh 50h 55h 54h 0Dh
イメージモード	スタンダード	IMAGE=STANDARD<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 53h 54h 41h 4Eh 44h 41h 52h 44h 0Dh
	プレゼンテーション	IMAGE=PRESENTATION<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 50h 52h 45h 53h 45h 4Eh 54h 41h 54h 49h 4Fh 4Eh 0Dh
	ダイナミック	IMAGE=DYNAMIC<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 44h 59h 4Eh 41h 4Dh 49h 43h 0Dh
	ビデオ	IMAGE=VIDEO<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 56h 49h 44h 45h 4Fh 0Dh
	フォト /sRGB	IMAGE=PHOTO_SRGB<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 50h 48h 4Fh 54h 4Fh 5Fh 53h 52h 47h 42h 0Dh
	DICOM Sim	IMAGE=DCM_SIM<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 44h 43h 4Dh 5Fh 53h 49h 4Dh 0Dh
	ユーザー 1	IMAGE=USER_1<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 55h 53h 45h 52h 5Fh 31h 0Dh
	ユーザー 2	IMAGE=USER_2<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 55h 53h 45h 52h 5Fh 32h 0Dh
	ユーザー 3	IMAGE=USER_3<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 55h 53h 45h 52h 5Fh 33h 0Dh
	ユーザー 4	IMAGE=USER_4<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 55h 53h 45h 52h 5Fh 34h 0Dh
	ユーザー 5	IMAGE=USER_5<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 55h 53h 45h 52h 5Fh 35h 0Dh
イメージモード取得		GET=IMAGE<CR>	47h 45h 54h 3Dh 49h 4Dh 41h 47h 45h 0Dh
明るさ	明るさ設定	BRI=＜数値＞<CR>	42h 52h 49h 3Dh ＜数字コード＞ 0Dh
明るさ取得		GET=BRI<CR>	47h 45h 54h 3Dh 42h 52h 49h 0Dh
シャープネス	シャープネス設定	SHARP=＜数値＞<CR>	53h 48h 41h 52h 50h 3Dh ＜数字コード＞ 0Dh

コマンド種		ASCII 表記	バイナリ表記
シャープネス取得		GET=SHARP<CR>	47h 45h 54h 3Dh 53h 48h 41h 52h 50h 0Dh
コントラスト	コントラスト設定	CONT=＜数値＞<CR>	43h 4Fh 4Eh 54h 3Dh ＜数字コード＞ 0Dh
コントラスト取得		GET=CONT<CR>	47h 45h 54h 3Dh 43h 4Fh 4Eh 54h 0Dh
アスペクト	オート	ASPECT=AUTO<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 41h 55h 54h 4Fh 0Dh
	4:3	ASPECT=4:3<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 34h 3Ah 33h 0Dh
	16:9	ASPECT=16:9<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 31h 36h 3Ah 39h 0Dh
	16:10	ASPECT=16:10<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 31h 36h 3Ah 31h 30h 0Dh
	ズーム	ASPECT=ZOOM<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 5Ah 4Fh 4Fh 4Dh 0Dh
	リアル	ASPECT=TRUE<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 54h 52h 55h 45h 0Dh
アスペクト取得		GET=ASPECT<CR>	47h 45h 54h 3Dh 41h 53h 50h 45h 43h 54h 0Dh
ブランク	実行	BLANK=ON<CR>	42h 4Ch 41h 4Eh 4Bh 3Dh 4Fh 4Eh 0Dh
	解除	BLANK=OFF<CR>	42h 4Ch 41h 4Eh 4Bh 3Dh 4Fh 46h 46h 0Dh
ブランク取得		GET=BLANK<CR>	47h 45h 54h 3Dh 42h 4Ch 41h 4Eh 4Bh 0Dh

LED インジケーターのワーニング

本体に異常が発生すると、電源が切れた後、本体側面部のLEDインジケーターが点灯または点滅し続けます。

- 本体の冷却が終了した後に、電源コードを抜いてから対処してください。

LED インジケーターの状態	内容	原因と対処
WARNINGとTEMPが点灯	温度の異常	本体内部の温度が何らかの異常で高温になっているか、外気温度が規定以上になっています。本体側の異常の場合は、設置や操作が正しく行われているか確認し、電源プラグをコンセントから抜き、本体の内部をしばらく冷やしてから投写してください。吸気口または排気口がふさがれているときは、ふさいでいるものを取り除いてください。エアフィルターが目詰まりしている場合は、交換を行ってください。（P201）再度、同じワーニングが表示される場合は、本体の故障が考えられます。*
WARNINGとLIGHTが点灯	光源の異常	光源が点灯しません。電源を入れ直して、投写されるか確認してください。それでも光源が点灯しない場合は、光源の駆動回路などの故障が考えられます。*
WARNINGのみが３回点滅を繰り返す	フィルター異常	エアフィルターの装着異常です。エアフィルターを正しく装着し、電源を入れ直してください。再度、同じワーニングが表示される場合は、本体の故障が考えられます。*
WARNINGのみが４回点滅を繰り返す	冷却ファンの異常	冷却ファンまたはその他の故障が考えられます。電源プラグをコンセントから抜き、再度コンセントに接続して電源を入れ直してください。再度、同じワーニングが表示される場合は、本体の故障が考えられます。*
WARNINGのみが５回点滅を繰り返す	電源の異常	電源の一部が異常な電圧になっているか、その他の故障が考えられます。電源プラグをコンセントから抜き、再度コンセントに接続して電源を入れ直してください。再度、同じワーニングが表示される場合は、本体の故障が考えられます。電源プラグをコンセントから抜いてください。*
WARNINGのみが６回点滅を繰り返す	レンズユニットの装着異常	レンズユニットが正しく装着されていません。電源プラグをコンセントから抜き、レンズユニットを正しく装着してから電源プラグをコンセントに接続してください。再度、同じワーニングが表示される場合は、本体の故障が考えられます。*

* キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

困ったときのアドバイス

■ 電源が入らない

原　因	対処のしかた
電源コードが正しく接続されていない	電源コードがきちんと接続されていることを確認してください。（P67）
電源コードを接続した直後である	電源プラグを接続し、1 秒以上経過してから【POWER】ボタンを押してください。接続直後は電源を入れることができません。（P34）
吸気口または排気口がふさがれて本体内部の温度が上昇し、安全装置が作動した	安全装置の作動中は、電源コードを接続しても [POWER] インジケーターは点灯しません。なお安全装置は安全のため、お客様が解除できないようになっています。吸気口または排気口をふさいでるものを取り除いてください。*
レンズユニットが正しく取り付けられていない	レンズユニットが正しく装着されていません。電源プラグをコンセントから抜き、レンズユニットを正しく装着してから電源プラグをコンセントに接続してください。再度、同じワーニングが表示される場合は、本体の故障が考えられます。*
エアフィルターが正しく取り付けられていない	エアフィルターが正しく取り付けられていることを確認してください。（P201）
キーロックが設定されている	本体またはリモコンのキーロック（P151）が設定されているか確認してください。

* キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

■ 映像が投写されない

原　因	対処のしかた
接続ケーブルが正しく接続されていない	コンピューターやAV機器とプロジェクターとが正しく接続されていることを確認してください。(P64～P66)
電源を入れて 20 秒経過していない	電源を入れると、約20秒間オープニング画面が表示されます。すぐに映像を投写する場合は、リモコンまたは本体操作部の【OK】ボタンを押してください。(P24、P27)
AV 機器から映像が送られていない	接続したビデオカメラ、DVD などで、映像の再生が行われていることを確認してください。
入力端子への接続が正しくない	接続している機器が本体の入力端子へ正しく接続されていることを確認してください。(P26)
接続機器の入力信号が選ばれていない	接続している機器と同じ入力信号が正しく［INPUT］メニューから選ばれていることを確認してください。(P35)
入力信号の形式が合っていない	入力信号の形式が正しく選ばれていることを確認してください。(P114、P203)
【BLANK】になっている	リモコンの【BLANK】ボタンを押してください。(P40)
コンピューター側の問題で映像が送られない	プロジェクター、コンピューターの順で電源を入れなおしてください。
コンピューター側の外部モニターへの出力が正しく設定されていない	コンピューターの外部モニターへの出力をオンに設定してください。外部モニターへの出力をオンにするには、コンピューターのキーボードの［Fn］を押しながら、［LCD］や［VGA］または画面のアイコンが表記されたファンクションキーを押します。Windows10 / Windows 8.1 / Windows 7 ではWindows ロゴキーを押しながらP キーを押すと、画面出力を切り換えることができます。(P36) なお、キー操作はコンピューターの種類によって異なります。詳しくは、ご使用のコンピューターの取扱説明書などを確認してください。
コンピューターの画面設定が二画面（マルチディスプレイ）モードになっている	二画面モードになっている場合は、コンピューター側の操作で出力設定を複製表示モードにしてください。 なお、出力設定の方法はコンピューターによって異なります。詳しくは、ご使用のコンピューターの取扱説明書などを確認してください。
USB ファイルブラウザの対応ファイルではない	投写できるのは、最大画素数が 10912×8640 ドット、半角英数字のファイル名、FAT フォーマットのJPEG ファイルです。
LAN ケーブル（シールドタイプ）が正しく接続されていない	［INPUT］メニューで［LAN］または［HDBaseT］を選んでいる場合は、プロジェクターに LAN ケーブル（シールドタイプ）が正しく接続されていることを確認してください。(P68)

■ 音声が出ない

原　因	対処のしかた
音声ケーブルが正しく接続されていない	音声ケーブルの接続を確認してください。(P66)
【MUTE】になっている	リモコンの【MUTE】ボタンを押してください。(P28)
音量が最小に調整されている	リモコンの【VOL】ボタンまたは本体操作部の【VOL+】ボタンを押して音量を調整してください。(P24、P28)
抵抗内蔵の音声ケーブルが使用されている	音声ケーブルは、抵抗なしのものを使用してください。
音声入力端子の選択が［切］になっている	適切な音声入力端子の設定に変更してください。(P153)

■ 映像が鮮明でない

原　因	対処のしかた
フォーカスが合っていない	フォーカスを調整してください。(P36)
スクリーンまでの距離が近すぎる	スクリーンとの距離が適正であるか確認してください。(P50)
本体がスクリーンの正面に置かれていない	スクリーンに対して過度に斜め方向から投写していないか確認してください。ある程度の角度であれば、キーストーンの補正機能で補正できます。(P88)
温度差の激しい場所に移動した	温度の低い場所から温度の高い場所に移動した場合、レンズにくもりが発生する場合があります。しばらくすると、くもりは消え、正常な画面の投写が可能になります。
レンズが汚れている	レンズを清掃してください。(P201)
トラッキングが合っていない	［オートPC］(P114)または［トラッキング］(P115)でトラッキングを調整してください。
動画がぼけて投写される	MBリダクションを設定してください。(P157)
MB リダクションが設定できない	USB メモリやネットワーク・マルチ・プロジェクションで投写している映像には、MBリダクションが設定できません。
シャープネスが設定できない	二画面投写時は、シャープネスの調整ができません。
レンズユニットが正しく取り付けられていない	レンズユニットが正しく取り付けられているか確認してください。(P53)
レンズレバーが固定されていない	レンズユニットが正しく取り付けられているか確認してください。(P53)

■ 映像が正しく表示されない

原　因	対処のしかた
映像が上下、または左右逆に投写される	天吊り / リア投写の設定に誤りがあります。表示設定メニューで［反転表示］の設定内容を確認してください。（P135）
ドットクロックが 162MHz を越える信号を入力している	コンピューター側で、信号のドットクロックを 162MHz 以下に設定してください。
一部のピンが結線されていないコンピューターケーブルを使用している	すべてのピンが結線されたコンピューターケーブルを使用してください。

■ 電源が切れてしまう

原　因	対処のしかた
吸気口または排気口がふさがれている	吸気口または排気口がふさがれていないか確認してください。吸気口または排気口がふさがれていると、本体内部の温度が上昇し、本体保護のために自動的に電源が切れるようになっています。（［WARNING］インジケーターと［TEMP］インジケーターが点灯します。）本体の温度が下がってから、吸気口または排気口をふさがないようにして、再度電源を入れてください。（P16、P23）
エアフィルターが汚れている	エアフィルターがホコリなどで目詰まりしていないか確認してください。 目詰まりしている場合はエアフィルターの交換を行ってください。（P201）
使用環境が適正でない	使用環境が 0 ℃～ 45 ℃であることを確認してください。（P15） 海抜 2,300m 以上の高地でご使用される場合は、プロジェクターの設定を変更する必要があります。設置設定メニューの［プロフェッショナル設定］の［高地設定］を［入］にしてください。（P139）

■ ネットワークに接続できない

原　因	対処のしかた
LAN ケーブル（シールドタイプ）が正しく接続されていない	プロジェクターに LAN ケーブル（シールドタイプ）が正しく接続されていることを確認してください。（P68）
電源を入れて約 40 秒経過していない	プロジェクターの電源プラグをコンセントにさし、通電してから約40秒間はネットワーク機能が使えません。約40秒以上経過してから再度ネットワークに接続してください。（P73）
無線LANに接続できない	「ネットワークの設定」（P75～ P77）、「無線LAN（Wi-Fi）について」（P20）、「詳細設定（無線）」（P174～ P178）の手順に従い、再度設定してください。 PJ APモードの場合、プロジェクター本体側で無線LANのチャンネル変更をお試しください（P174～ P178）。 インフラストラクチャモードの場合、ご利用のアクセスポイント側で無線LANのチャンネル変更をお試しください。 それでも接続ができない場合はキヤノンお客様センターにご連絡ください。
HDBaseT 伝送機器などの電源が入っていない	HDBaseT 伝送機器の電源を確認してください。

■ リモコンの操作ができない

原　因	対処のしかた
電池が正しく入っていない / 電池が切れている	電池が正しく入っているか確認してください。電池が入っている場合は、新しい電池と交換してください。（P29）
リモコンの届かない位置から操作している	プロジェクター本体のリモコン受光範囲内で操作しているか確認してください。（P30）
リモコンと本体の間に障害物がある	プロジェクター本体のリモコン受光部とリモコンの間の障害物を取り除くか、障害物のない位置でリモコンを操作してください。
リモコンの使用環境が適正でない	プロジェクター本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていないか確認してください。（P30）
リモコンのチャンネル設定が合っていない	リモコンのチャンネル設定を切り換えていないか確認してください。システム設定メニューで［リモコンチャンネル］の設定を確認できます。（P152）
キーロックでリモコンの操作を禁止している	［キーロック］でリモコンからの操作がロックされていないか確認してください。 システム設定メニューで［キーロック］を［切］に設定してください。（P151）
照明の光がリモコン受光部に入っている	照明の光を遮ってください。

機器上に表示する安全に関わる図記号（シンボルマーク）

以下のシンボルマークが製品に表示されている場合は、次のような内容を表しています。

シンボルマーク	意味	
	"ON"(power)	電源 ON
	"OFF"(power)	電源 OFF
	Stand-by	スタンバイ
	"ON/OFF"(push-push)	オン / オフ
	Earth; ground	アース
	Protective earth; protective ground	保護接地
	Dangerous voltage inside. Do not open covers other than instructed.	感電注意
	Caution, hot surface. Do not touch.	高温注意
	Caution, hazardous moving fan blades. Keep away from moving fan blades.	可動ファン注意
	Caution, very bright light. Do not stare into the beam.	投写中に覗きこみ禁止
	Not for household use.	住宅環境での使用禁止
	LASER RADIATION	レーザー放射

索引

英数字

6 軸色調整 130
AMX Device Discovery 180
BLANK 40
Crestron RoomView 180
D. ZOOM 42
DICOM SIM 38
DVI-I 端子 26
FREEZE 40
HDBaseT 4, 154
HDBaseT 端子 26, 66, 68
HDMI 端子 26
LED インジケーター 25, 213
MENU 103
MUTE 42
OK 27
PC フリーマルチプロジェクション 118
PJLink 179, 198
USB 端子 26
VOL 41
WARNING インジケーター 25, 213

あ

明るさ 125
アナログ PC-1 / DVI-I 端子 26
アナログ PC-2 / コンポーネント端子 26
アンビエントライト 127

い

イメージ調整 105, 123
インフォメーション 105, 182

え

エアフィルター 201
映像設定 105, 113
映像の拡大 42
エコ設定 41
エッジブレンディング 4, 92, 140

お

オート PC 114
音声出力端子 26
音声入力端子 26
音量調整 41

か

環境光による影響 127
ガンマ補正 125

き

キーロック 151
記憶色補正 130
起動時画面 148

け

言語 157

こ

コントラスト 125

し

システム設定 105, 146
シャープネス 125
省電力 41
信号形式 203

す

スクリーン色補正 144
スライドショー 46, 117, 119

せ

接続端子 26
設置設定 105, 134

た

ダイナミックガンマ 128, 129
ダイレクトパワーオン 156

て

デジタルズーム 27
テストパターン 91
天吊り 135

と

トラッキング 115

に

入力端子 26

ね

ネットワーク設定 105, 166
ネットワークパスワード 167

ネットワーク・マルチ・
プロジェクション（NMPJ）.....4, 193

の
ノイズリダクション 127, 128

は
パスワード 158, 159

ひ
表示解像度（コンピューターの準備）....36
表示言語の選択 157
表示状態を設定する 113

ふ
複数台のプロジェクターで
投写する 98, 118

ほ
本体操作部 24

み
ミュート 42

む
無線 LAN 68, 174

め
メニュー 103

り
リア投写 135
リセット 133, 165
リモコン 27, 29, 152

ろ
ロゴ表示 148

保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています

保証書は、本機に付属しています。お買い上げ日、販売店名などが記入されていることをお確かめの上、内容をお読みいただき、大切に保管してください。
なお、保証内容については保証書に記載しております。

■修理サービスのご相談

修理サービスのご相談は、裏表紙のキヤノンお客様相談センターにご相談ください。

■修理を依頼される前に

213～218ページの「困ったときには」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

■修理方法

本商品は、引取修理させていただきます。
お客様先にプロジェクターを引取にお伺いし、修理完了後にお届けいたします。また、ご要望により代替機の貸出サービスを準備しております。

〈修理料金〉

保証期間内	引取修理サービス	無償
	代替機貸出サービス	無償
保証期間終了後	引取修理サービス	有償
	代替機貸出サービス	有償

※ 上記、引取サービスおよび代替機の貸し出しは、キヤノンお客様相談センターにてサービスをご利用いただいた場合に適用されます。
※ 引取修理サービスは、国内のみのお取り扱いとなります。

■修理を依頼されるときにご連絡いただきたいこと

- **お客様のお名前**
- **ご住所、お電話番号**
- **商品の機種名およびシリアルナンバー**
- **故障の内容（できるだけ詳しく）**

■補修用性能部品について

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後 7 年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

別売品

- **天吊り金具　品番：RS-CL15**[*1]
- **天吊りアーム　品番：RS-CL17**[*1]
- **天吊りパイプ（350-550mm）品番：RS-CL08**[*2]
- **天吊りパイプ（550-950mm）品番：RS-CL09**[*2]
- **交換エアフィルター　品番：RS-FL05**
- **リモコン　品番：RS-RC07**
- **リモコン　品番：RS-RC05**

[*1] 本機を天井に取り付ける場合、天吊り金具（RS-CL15）と天吊りアーム（RS-CL17）の両方が必要となります
[*2] 高い天井から本機を吊り下げる場合に使用します。

●長年ご使用のプロジェクターの点検をぜひ！

（熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか	●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●映像が時々消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ●内部に水や異物が入った。 ●その他異常や故障がある。	→	ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

お客様メモ	
品　番	
お買い上げ年月日	年　月　日
お買い上げ店名	☎

Canon

お客様相談センター（全国共通番号）

0570-08-0071

［受付時間］〈平日〉9:00～17:00
（土日祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます）
※上記番号をご利用いただけない方は、03-6634-4487をご利用ください。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

YT1-7538-003
© CANON INC. 2018